

第3章 就学児童用調査の結果

I. 回答家庭のプロフィール

1 居住区 [問1]

■回答者の居住区は、「淀川区」が7.0%で最も多く、次いで「城東区」が6.7%、「平野区」が6.4%、「住吉区」が5.9%となっている。

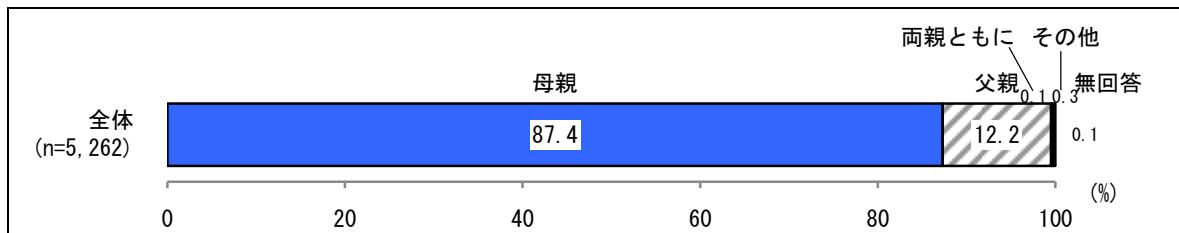
・居住区

		全体	
		実数	%
1	北区	285	5.4
2	都島区	225	4.3
3	福島区	161	3.1
4	此花区	111	2.1
5	中央区	224	4.3
6	西区	199	3.8
7	港区	147	2.8
8	大正区	101	1.9
9	天王寺区	182	3.5
10	浪速区	123	2.3
11	西淀川区	193	3.7
12	淀川区	370	7.0
13	東淀川区	304	5.8
14	東成区	165	3.1
15	生野区	211	4.0
16	旭区	173	3.3
17	城東区	352	6.7
18	鶴見区	235	4.5
19	阿倍野区	231	4.4
20	住之江区	217	4.1
21	住吉区	312	5.9
22	東住吉区	240	4.6
23	平野区	335	6.4
24	西成区	160	3.0
	無回答	6	0.1
n (回答者数)/構成比(%) の合計		5,262	100.0

2 回答者 [問2]

■回答者のあて名のこどもからみた関係は、「母親」が87.4%、「父親」が12.2%となっている。

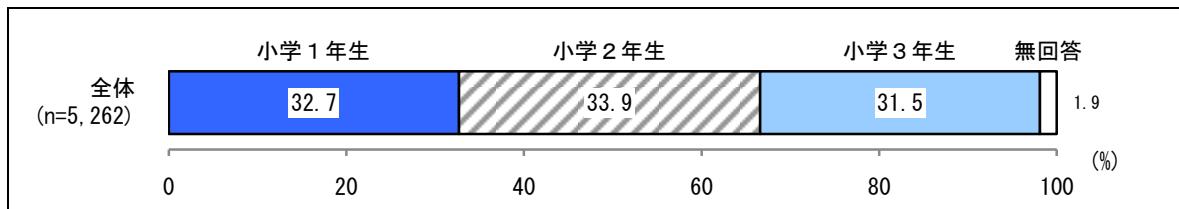
・回答者



3 こどもの学年 [問3]

■あて名のこどもの学年は、「小学2年生」が33.9%、「小学1年生」が32.7%、「小学3年生」が31.5%となっている。

・こどもの学年

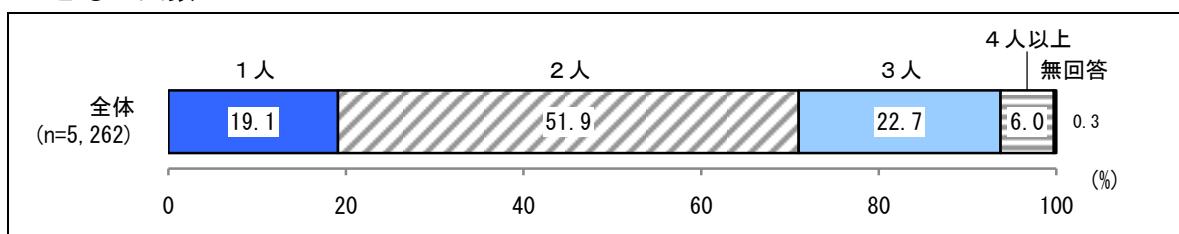


4 世帯の子どもの人数・末子の年齢 [問4]

(1) 子どもの人数

■子どもの人数は、「2人」が51.9%で最も多く、次いで「3人」が22.7%、「1人」が19.1%となっている。

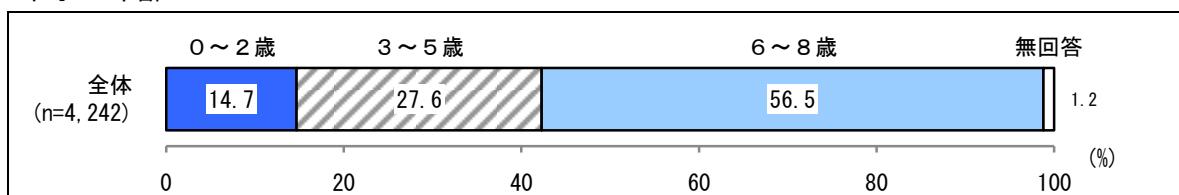
・子どもの人数



(2) 末子の年齢

■末子の年齢は、「6～8歳」が56.5%で最も多く、次いで「3～5歳」が27.6%、「0～2歳」が14.7%となっている。

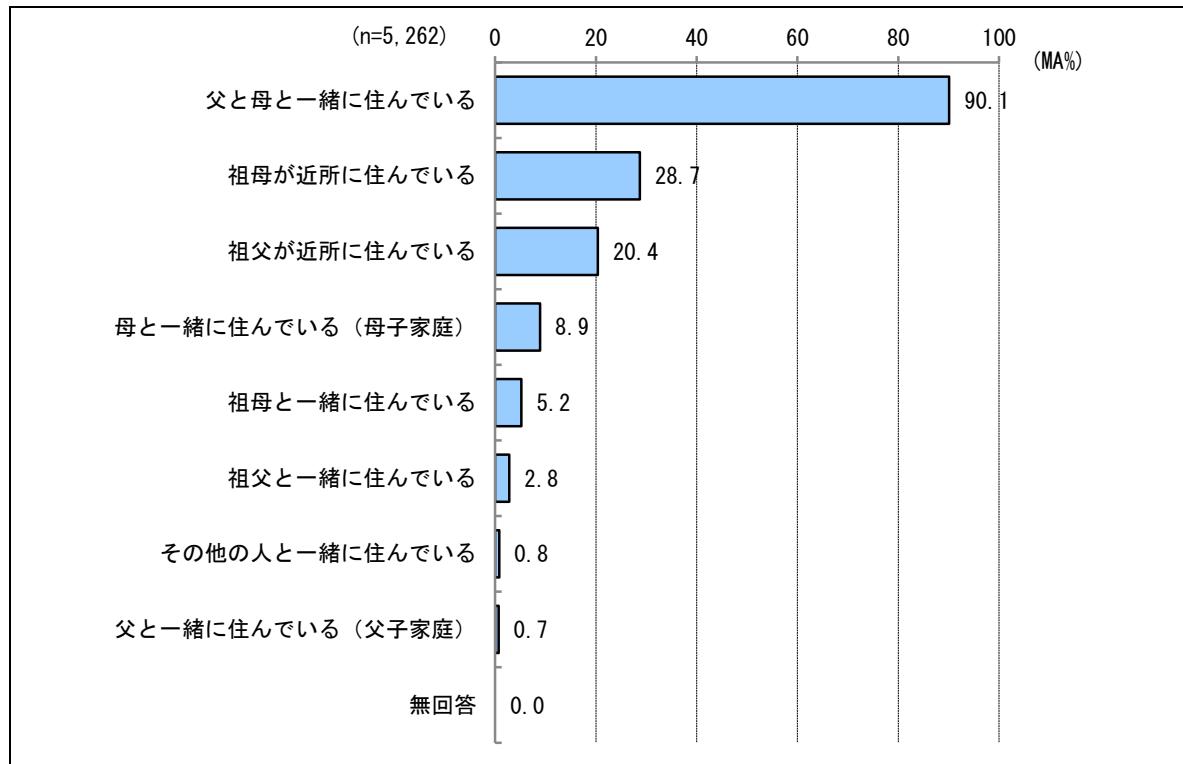
・末子の年齢



5 家族との同居・近居の状況 [問5]

■家族との同居・近居の状況は、「父と母と一緒に住んでいる」が90.1%で最も多く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が28.7%、「祖父が近所に住んでいる」が20.4%となっている。

・家族との同居・近居の状況



II. 子どもの育ちをめぐる環境について

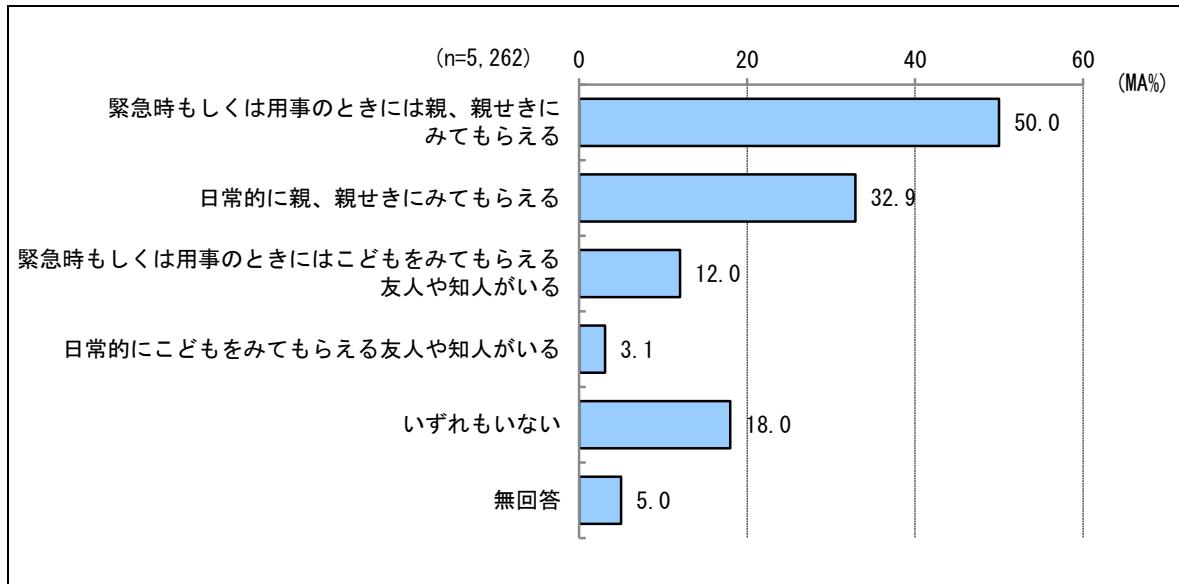
1 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人の状況

(1) 子どもの面倒を見てもらえる人の状況

問6 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。（〇はいくつでも）

■日頃の子どもの面倒を見てもらえる人の状況は、「緊急時もしくは用事のときには親、親せきにみてもらえる」が50.0%で最も多く、次いで「日常的に親、親せきにみてもらえる」が32.9%、「いずれもいない」が18.0%となっている。

・子どもの面倒を見てもらえる人の状況



(2) 親や親せきに子どもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち

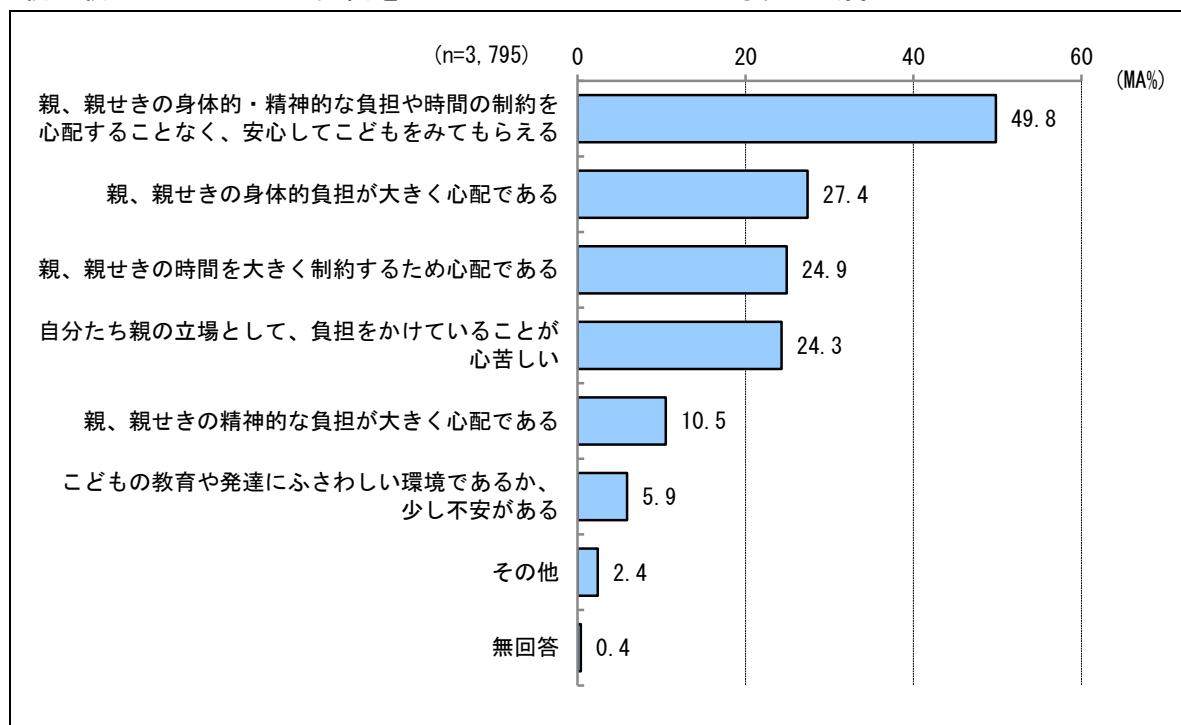
問6で『親、親せきにみてもらえる』を選んだ方におうかがいします。

問6-1 こどもをみてもらっていることに対する気持ちをお答えください。

(○はいくつでも)

■ 「日常的または緊急時にこどもを親や親せきにみてもらえる」と回答した人に、親や親せきに子どもの面倒をみてもらっていることに対する気持ちについてたずねると、「親、親せきの身体的・精神的な負担や時間を心配することなく、安心してこどもをみてもらえる」が49.8%で最も多く、次いで「親、親せきの身体的負担が大きく心配である」が27.4%、「親、親せきの時間を大きく制約するため心配である」が24.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.3%となっている。

・親や親せきに子どもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち



(3) 友人や知人に子どもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち

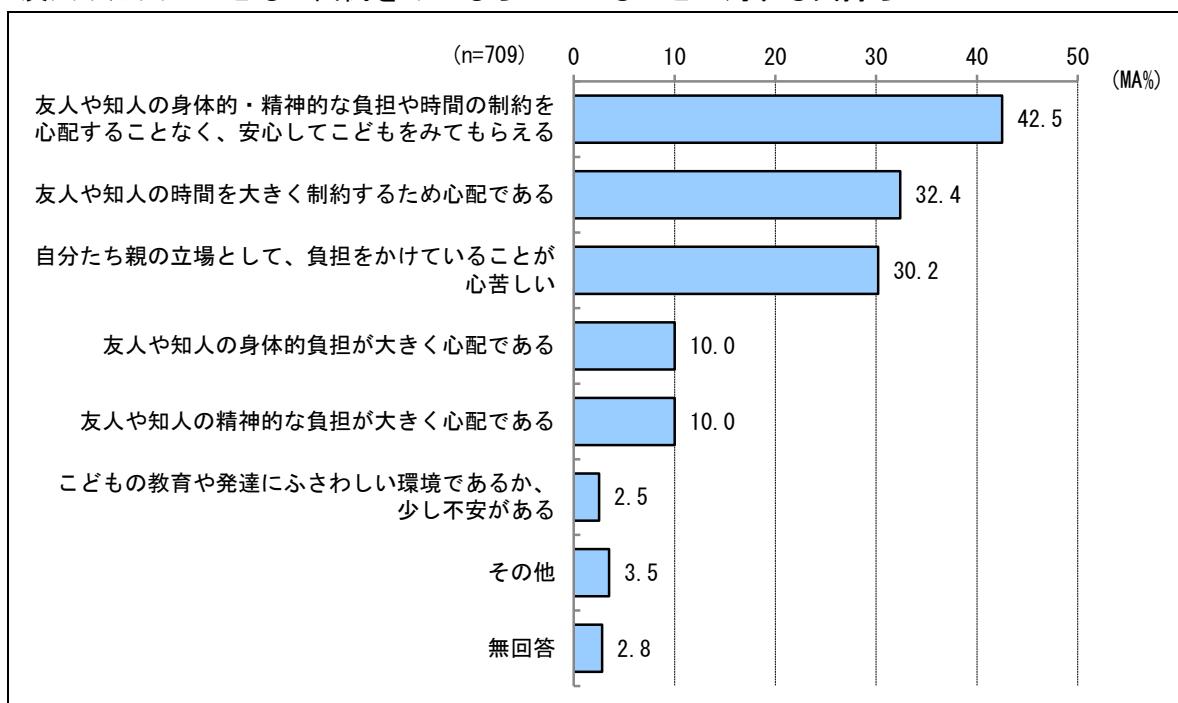
問6で『子どもをみてもらえる友人や知人がいる』を選んだ方におうかがいします。

問6-2 こどもをみてもらっていることに対する気持ちをお答えください。

(○はいくつでも)

■ 「日常的または緊急時に子どもを友人や知人にみてもらえる」と回答した人に、友人や知人に子どもの面倒をみてもらっていることに対する気持ちについてたずねると、「友人や知人の身体的・精神的な負担や時間の制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.5%で最も多く、次いで「友人や知人の時間を大きく制約するため心配である」が32.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.2%となっている。

・友人や知人に子どもの面倒をみてもらっていることに対する気持ち

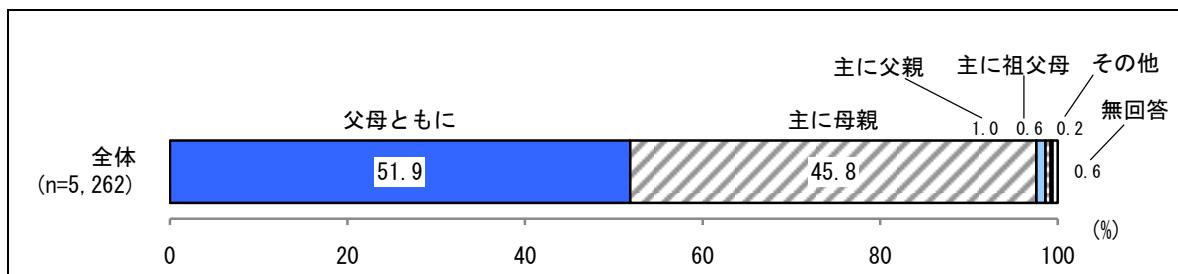


(4) あて名の子どもの子育てや教育を主にしている人

問7 あて名のお子さんから見て、お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。 (○は1つ)

■ あて名の子どもの子育てや教育を主にしている人は、「父母ともに」が51.9%で最も多く、次いで「主に母親」が45.8%となっている。

・あて名の子どもの子育てや教育を主にしている人



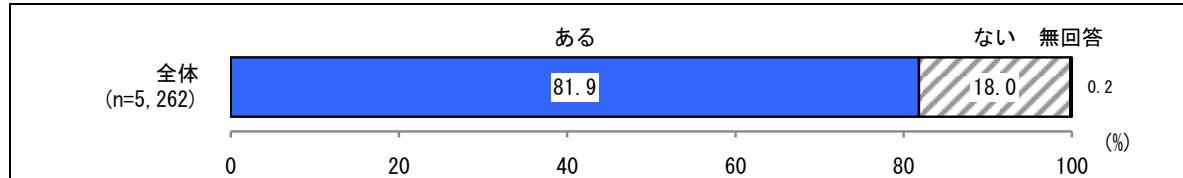
2 子育てや教育についての相談先

(1) 子育てや教育について気軽に相談できるところの有無

問8 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できるところはありますか。 (○は1つ)

■子育てや教育について気軽に相談できるところの有無については、「ある」が81.9%、「ない」が18.0%となっている。

・子育てや教育について気軽に相談できるところの有無



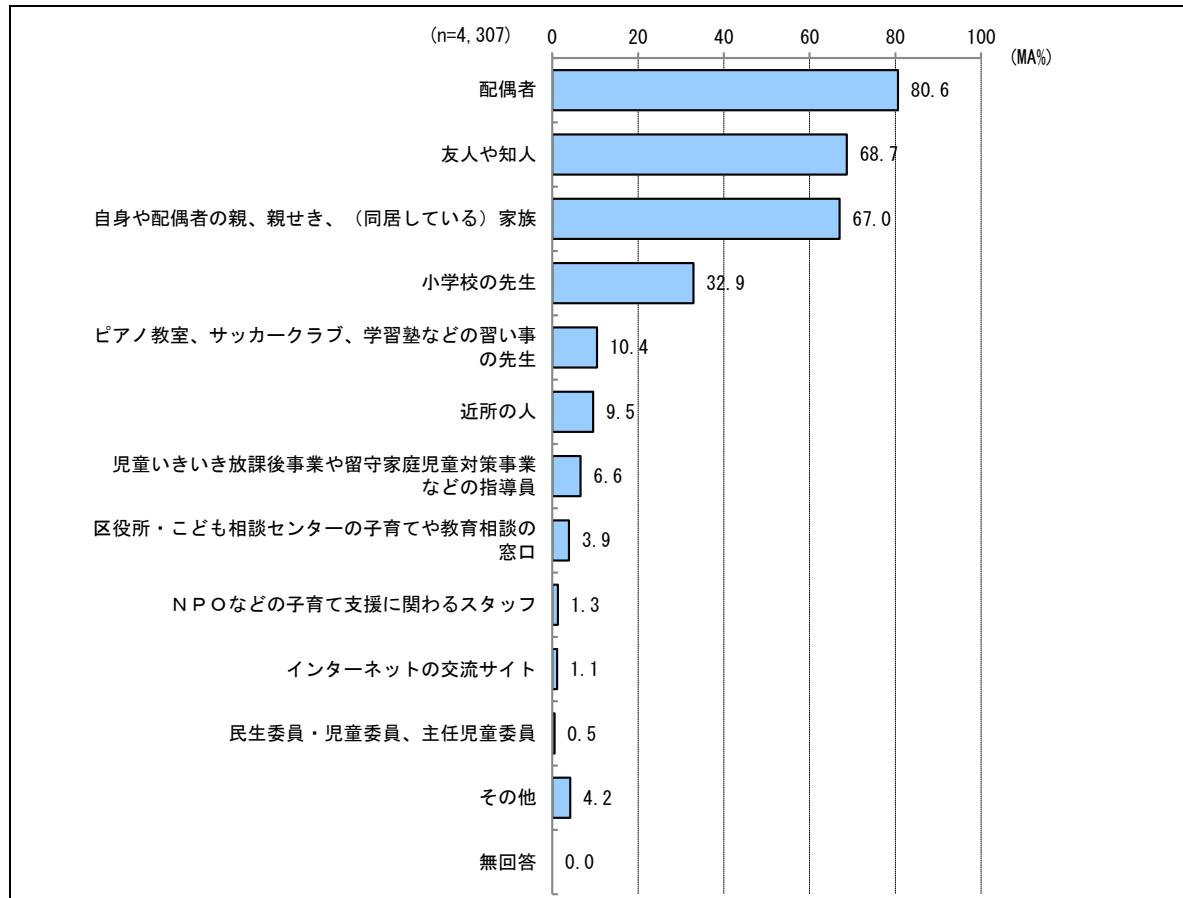
(2) 子育てや教育についての相談先

問8で「ある」を選んだ方におうかがいします。

問8-1 気軽に相談できる人や場所などをお答えください。 (○はいくつでも)

■子育てや教育について気軽に相談できるところがあると回答した人に、その相談先をたずねると、「配偶者」が80.6%で最も多く、次いで「友人や知人」が68.7%、「自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が67.0%となっている。

・子育てや教育についての相談先



III. 保護者の就労状況について

1 就労状況

問9 母親、父親それぞれの現在の就労状況についてお答えください。

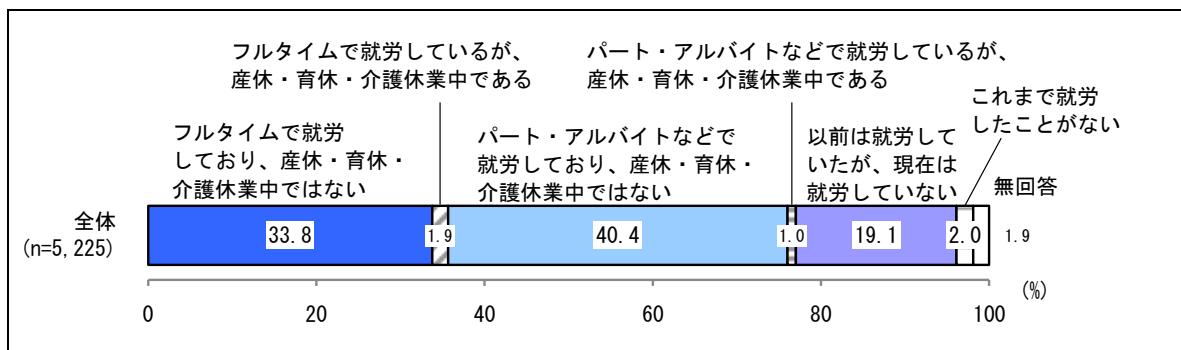
(母親・父親いずれも○は1つ)

※就労には、自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。

(1) 母親

■母親の現在の就労状況については、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.4%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.1%となっている。

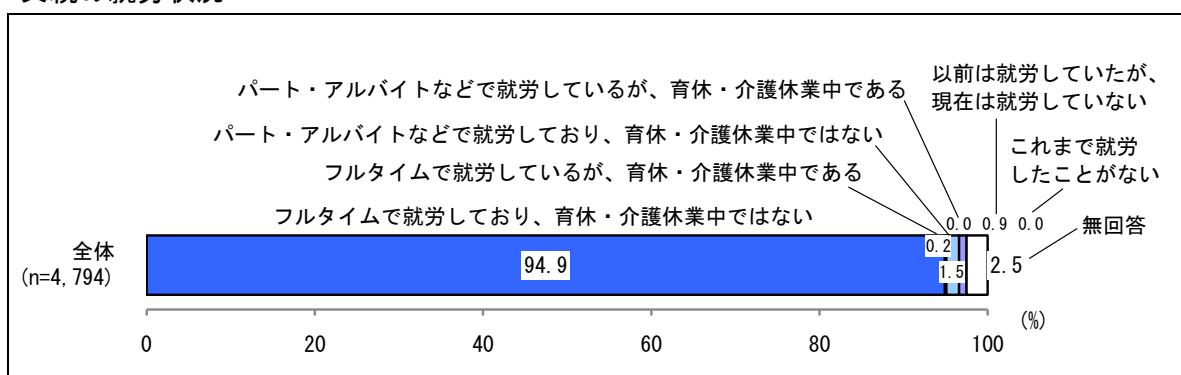
・母親の就労状況



(2) 父親

■父親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が94.9%となっている。

・父親の就労状況



2 週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間

問9で「フルタイムで就労」または「パート・アルバイトなどで就労」を選んだ方（休業中も含む）におうかがいします。

問9-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日当たりどのくらいの時間働きますか。具体的な数字を記入してください。

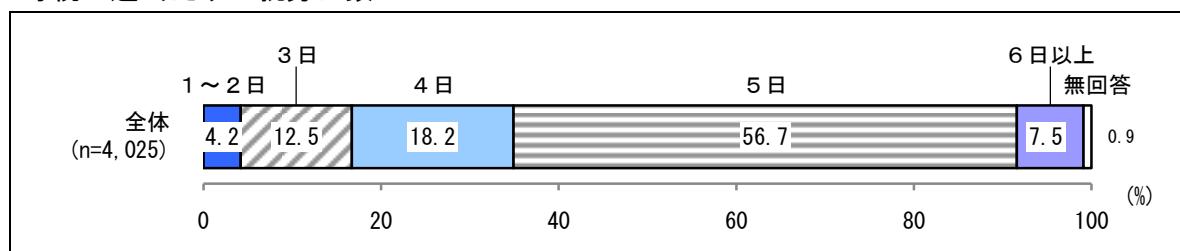
※不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

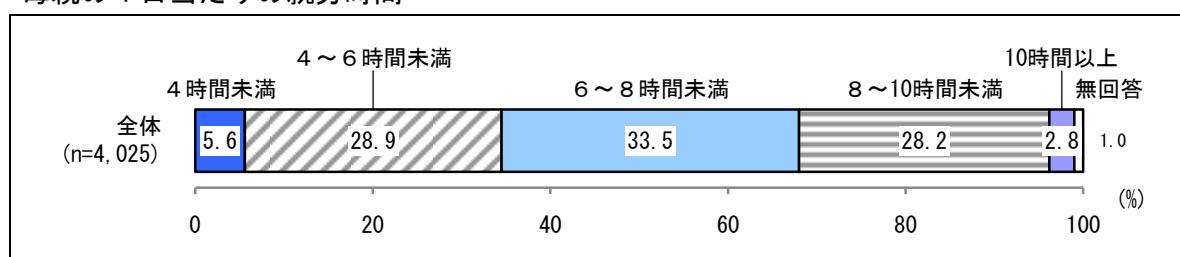
（1）母親

- 母親がフルタイムまたはパート・アルバイトなどで就労していると回答した人に、1週間当たりの就労日数についてたずねると、「5日」が56.7%で最も多く、次いで「4日」が18.2%、「3日」が12.5%となっている。
- 1日当たりの就労時間は、「6～8時間未満」が33.5%で最も多く、次いで「4～6時間未満」が28.9%、「8～10時間未満」が28.2%となっている。

・母親の週当たりの就労日数



・母親の1日当たりの就労時間

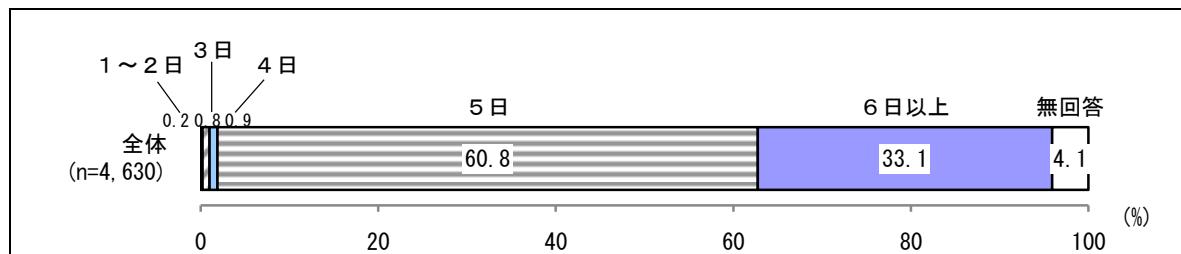


(2) 父親

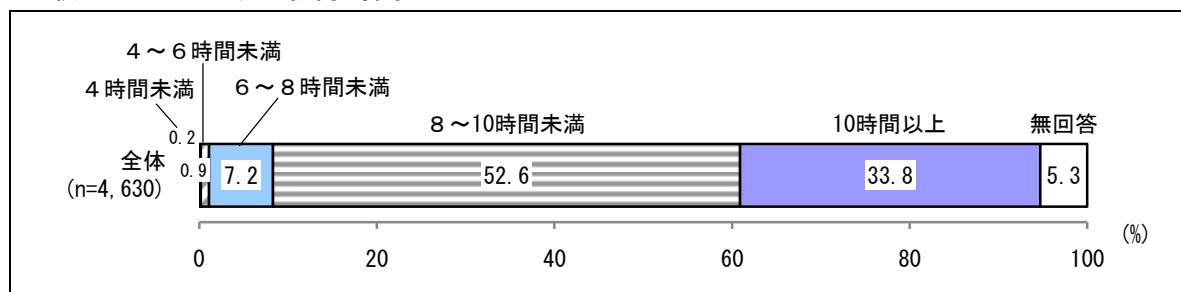
■父親がフルタイムまたはパート・アルバイトなどで就労していると回答した人に、1週間当たりの就労日数についてたずねると、「5日」が60.8%で最も多く、次いで「6日以上」が33.1%となっている。

■1日当たりの就労時間は、「8～10時間未満」が52.6%で最も多く、次いで「10時間以上」が33.8%、「6～8時間未満」が7.2%となっている。

・父親の週当たりの就労日数



・父親の1日当たりの就労時間



3 就労する保護者が家を出る時間及び帰宅時間

問9-2 家を出る時間と帰宅時間をご記入ください。

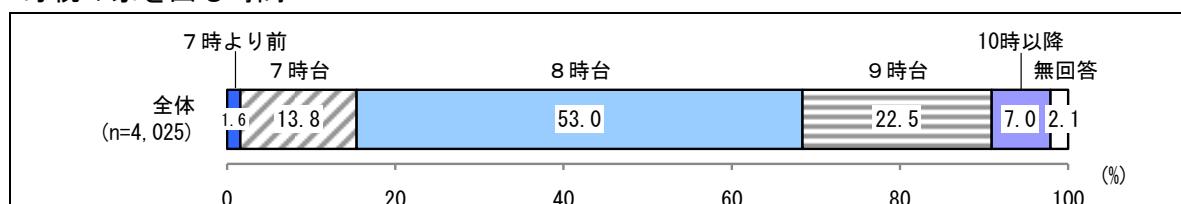
※時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

※時間は「18：00」のように、24時間制で記入してください。

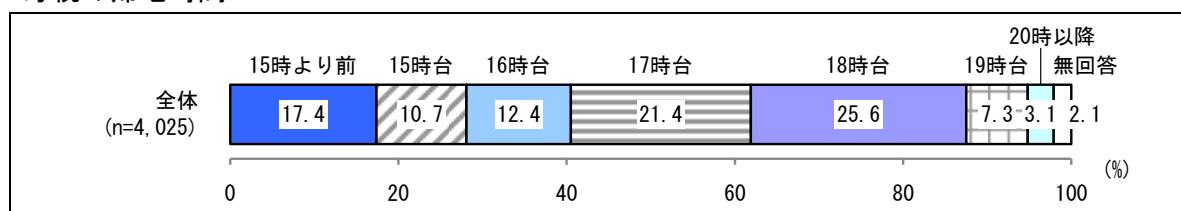
(1) 母親

- 母親の家を出る時間については、「8時台」が53.0%で最も多く、次いで「9時台」が22.5%、「7時台」が13.8%となっている。
- 母親の帰宅時間については、「18時台」が25.6%で最も多く、次いで「17時台」が21.4%、「15時より前」が17.4%となっている。

・母親の家を出る時間



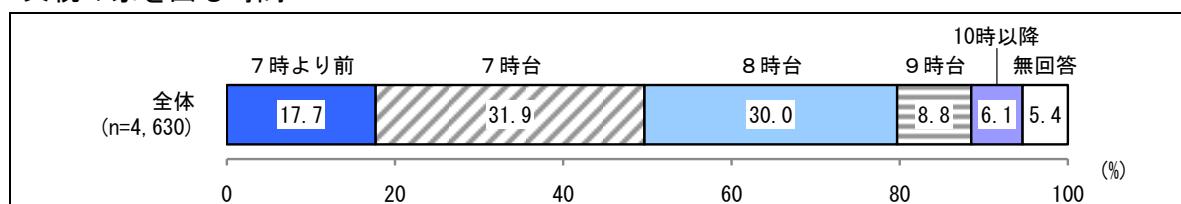
・母親の帰宅時間



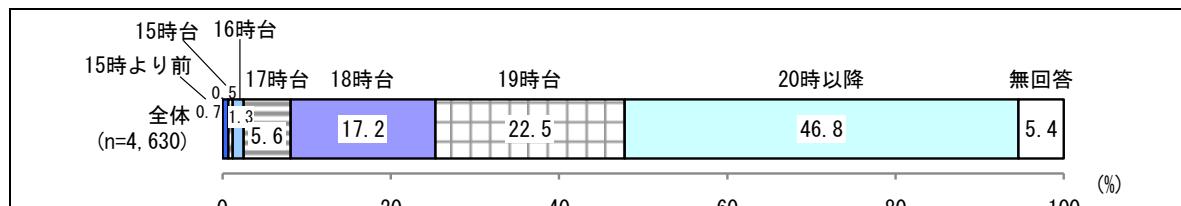
(2) 父親

- 父親の家を出る時間については、「7時台」が31.9%で最も多く、次いで「8時台」が30.0%、「7時より前」が17.7%となっている。
- 父親の帰宅時間については、「20時以降」が46.8%で最も多く、次いで「19時台」が22.5%、「18時台」が17.2%となっている。

・父親の家を出る時間



・父親の帰宅時間



4 パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望

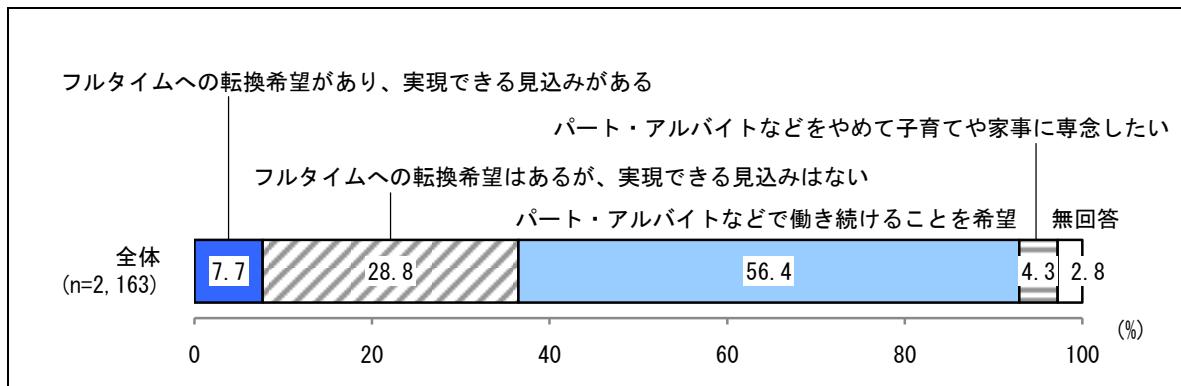
問9で「パート・アルバイトなどで就労」を選んだ方（パート・アルバイトの方）におうかがいします。

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。（母親・父親いずれも○は1つ）

（1）母親

■パート・アルバイト就労者にフルタイムへの転換希望をたずねると、母親では「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が56.4%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.7%となっている。

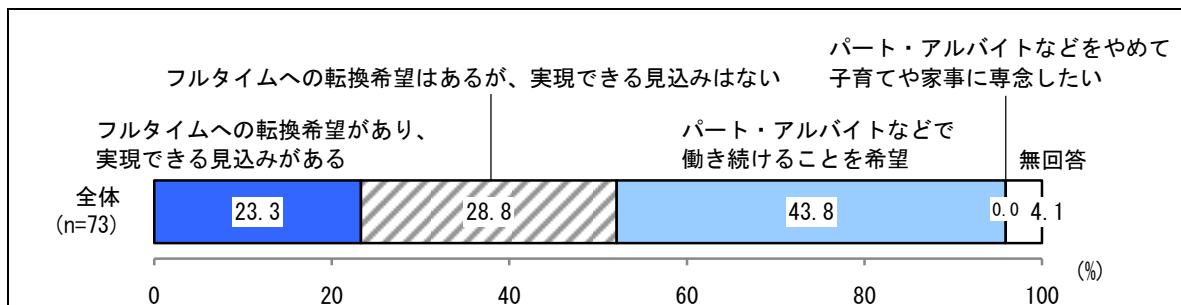
・母親のフルタイム転換希望



（2）父親

■父親では「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が43.8%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が23.3%となっている。

・父親のフルタイム転換希望



5 就労していない保護者の就労希望

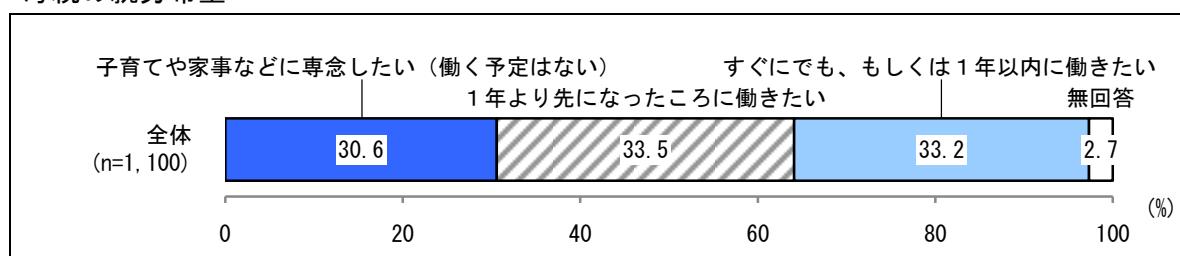
問9で『就労していない』を選んだ方（仕事をお持ちでない方）におうかがいします。

問11 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に○をつけ、具体的な数字を記入してください。（母親・父親いずれも○は1つ）

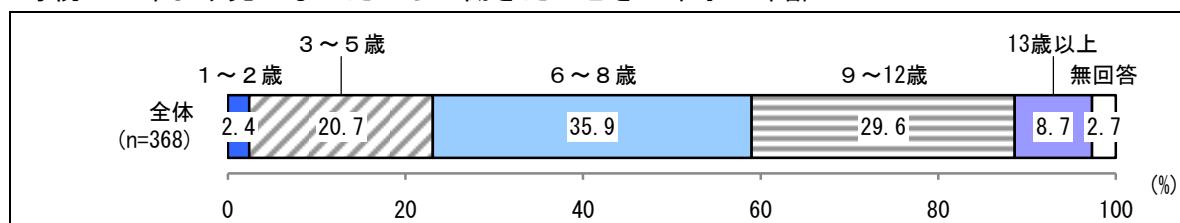
（1）母親

- 母親で、「就労していないまたは就労したことがない」と回答した人に、就労希望をたずねると、「1年より先になったころに働きたい」が33.5%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が33.2%、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が30.6%となっている。
- 「1年より先になったころに働きたい」と回答した人に、末子の子どもが何歳になったころに働きたいかをたずねると、「6～8歳」が35.9%で最も多く、次いで「9～12歳」が29.6%、「3～5歳」が20.7%となっている。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」と回答した人に、希望する就労形態をたずねると、「パートタイム、アルバイトなど」が88.2%、「フルタイム」が10.7%となっている。

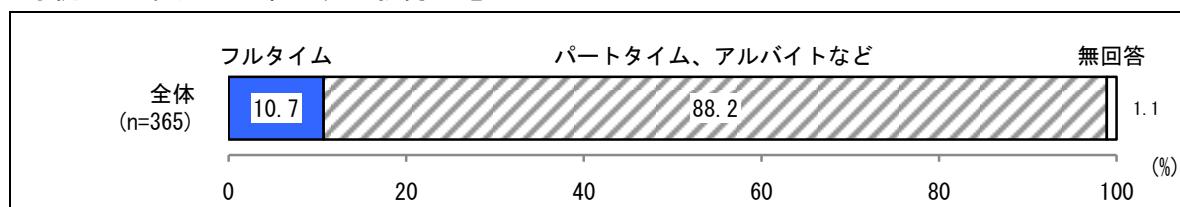
・母親の就労希望



・母親が1年より先になったころに働きたいときの末子の年齢



・母親が1年以内に希望する就労形態

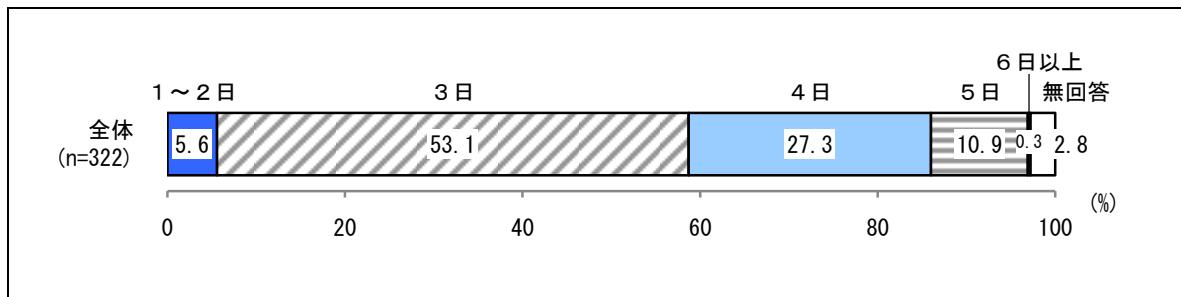


◆母親の希望するパートタイム等の1週当たり日数と1日当たりの就労時間

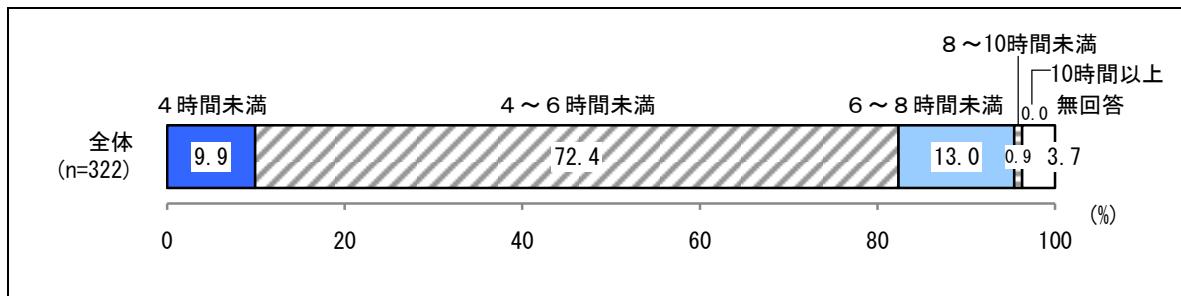
■「パートタイム、アルバイトなどを希望する」と回答した人に、1週当たり日数をたずねると、「3日」が53.1%で最も多く、次いで「4日」が27.3%となっており、平均は3.5日となっている。

■希望する1日当たりの就労時間は、「4～6時間未満」が72.4%で最も多く、次いで「6～8時間未満」が13.0%となっており、平均は4.7時間となっている。

・母親の希望するパートタイム等の1週当たり日数



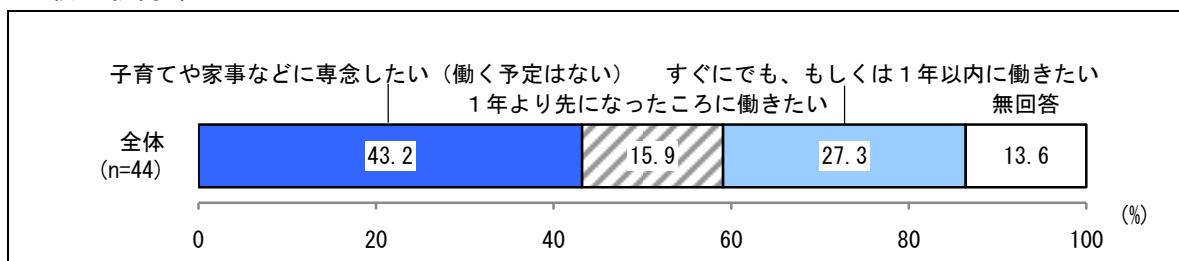
・母親の希望するパートタイム等の1日当たりの就労時間



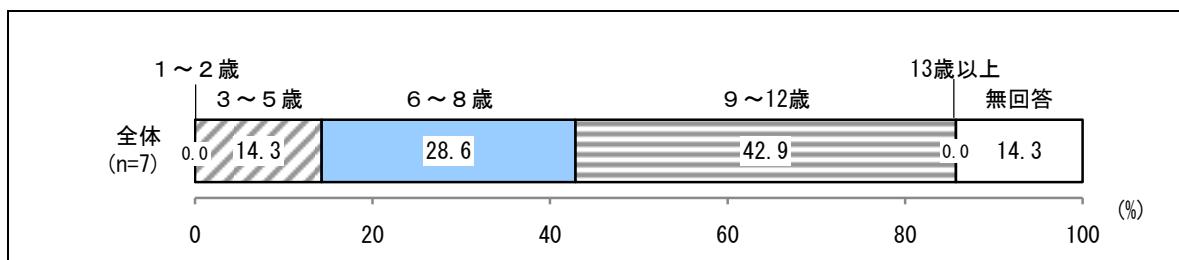
(2) 父親

- 父親で、「就労していないまたは就労したことがない」と回答した人に、就労希望をたずねると、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が43.2%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が27.3%、「1年より先になったころに働きたい」が15.9%となっている。
- 「1年より先になったころに働きたい」と回答した人に、末子の子どもが何歳になったころに働きたいかをたずねると、「9～12歳」が42.9%で最も多くなっている。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」と回答した人に、希望する就労形態をたずねると、「フルタイム」が91.7%、「パートタイム、アルバイトなど」が8.3%となっている。

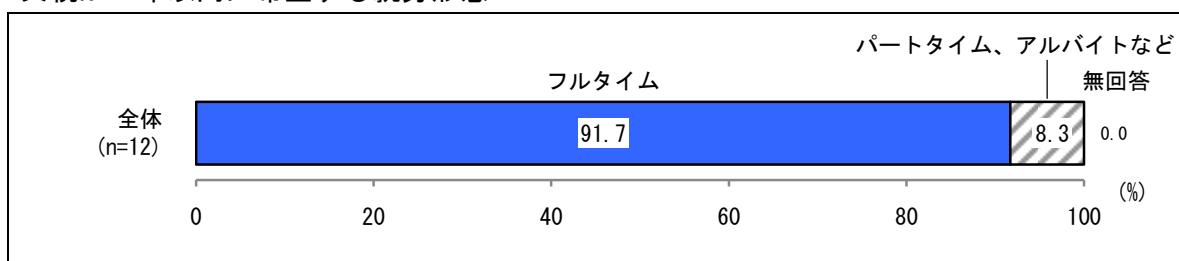
・父親の就労希望



・父親が1年より先になったころに働きたいときの末子の年齢



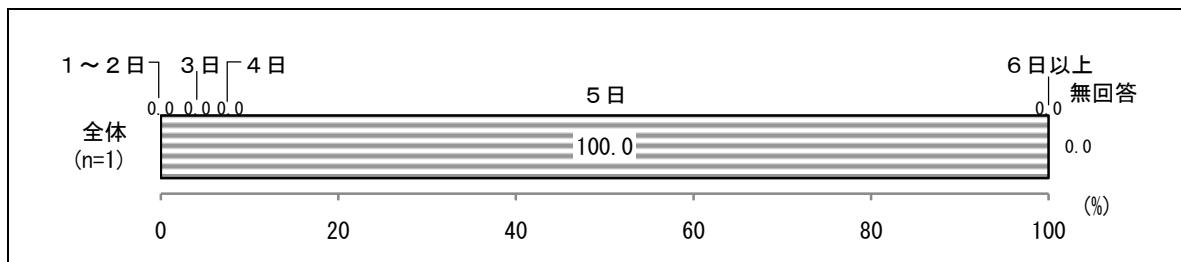
・父親が1年以内に希望する就労形態



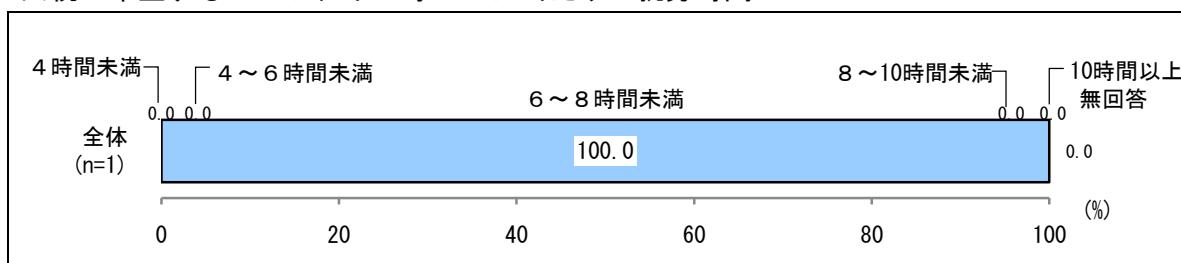
◆父親の希望するパートタイム等の1週当たり日数と1日当たりの就労時間

- 「パートタイム、アルバイトなどを希望する」と回答した人に、1週当たりの就労日数をたずねると、「5日」(100.0%)と回答している。
- 希望する1日当たりの就労時間は、「6～8時間未満」(100.0%)と回答している。

・父親の希望するパートタイム等の1週当たり日数



・父親の希望するパートタイム等の1日当たりの就労時間



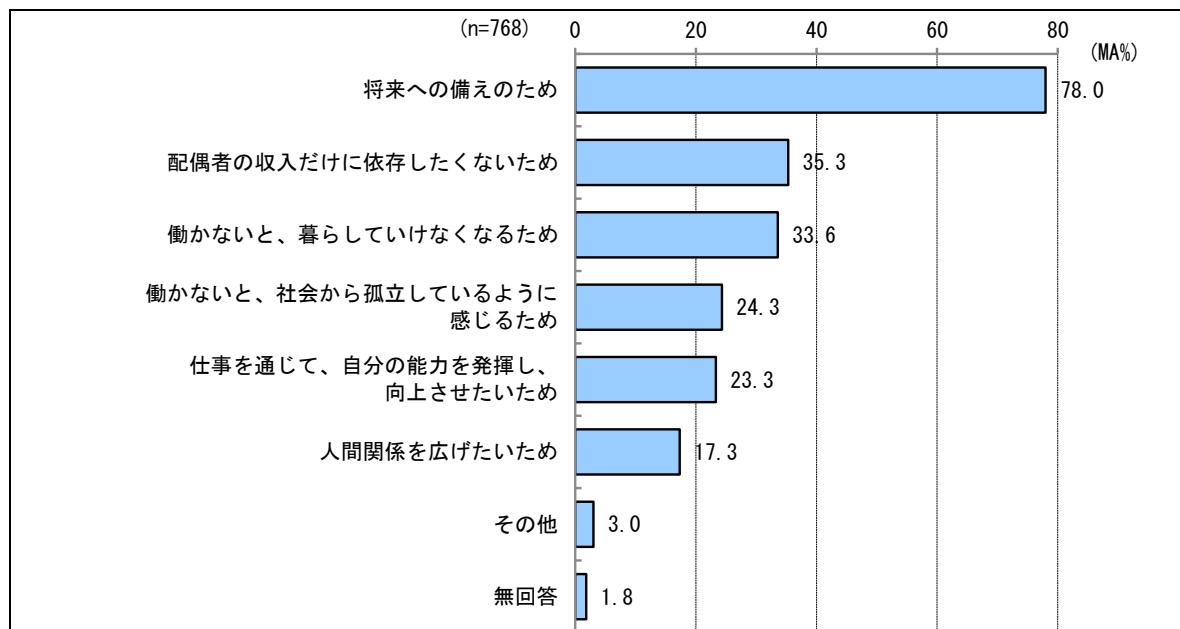
6 就労していない保護者が今後働きたい理由

問11で、『今後働きたい』を選んだ方におうかがいします。

問12 働きたい理由は何ですか。 (○はいくつでも)

■「就労していない人で今後働きたい」と回答した人に、働きたい理由をたずねると、「将来への備えのため」が78.0%で最も多く、次いで「配偶者の収入だけに依存したくないため」が35.3%、「働かないと、暮らしていくなくなるため」が33.6%となっている。

・今後働きたい理由

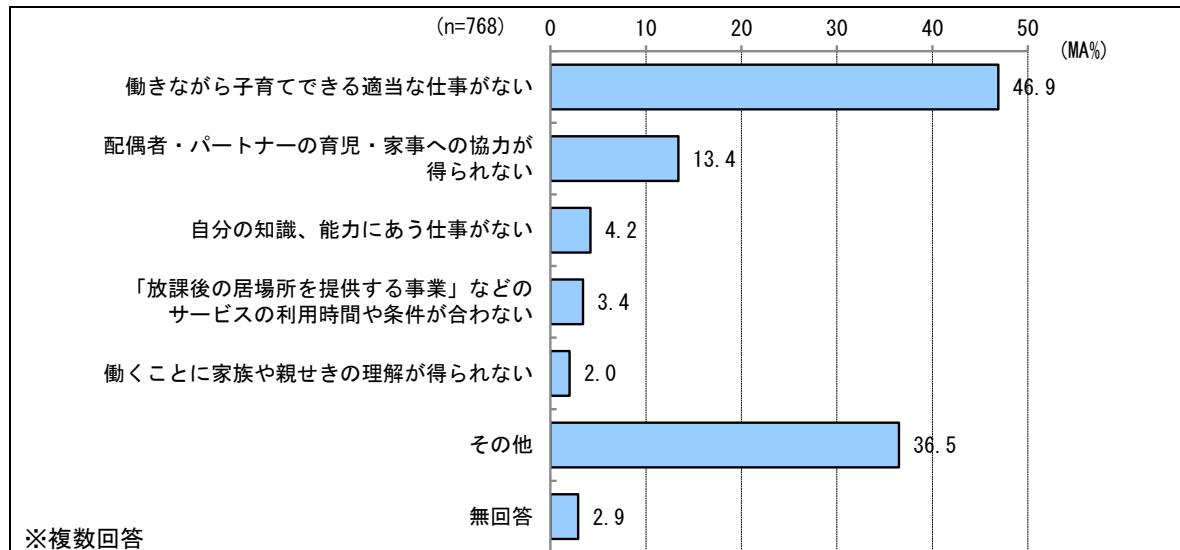


7 現在働いていない理由

問12-1 就労希望がありながら、現在働いていない最大の理由は何ですか。 (○は1つ)

■就労希望がありながら、現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が46.9%で最も多く、次いで「配偶者・パートナーの育児・家事への協力が得られない」が13.4%となっている。

・現在働いていない理由



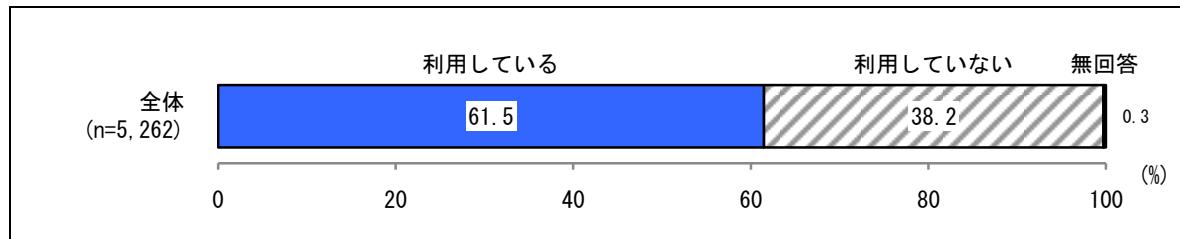
IV. 「放課後の居場所を提供する事業」の利用状況と今後の希望について

1 「放課後の居場所を提供する事業」の利用状況

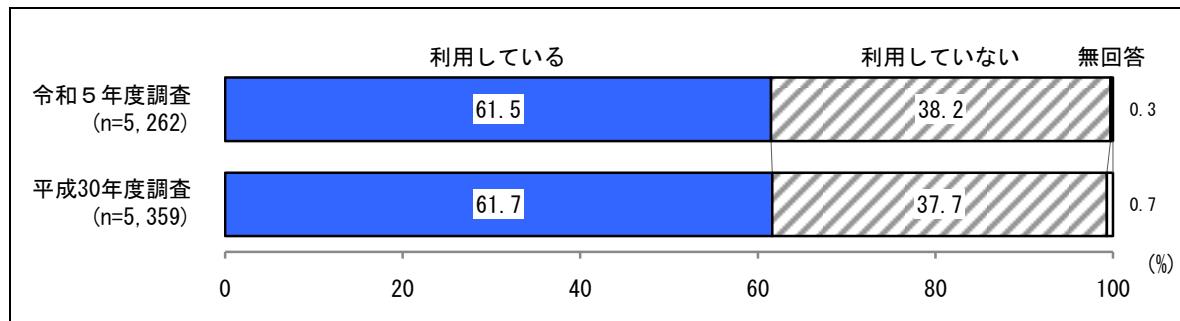
問13 あて名のお子さんについて、現在、「放課後の居場所を提供する事業」を利用して いますか。 (○は1つ)

- 「放課後の居場所を提供する事業」の利用状況は、「利用している」が61.5%、「利用して いない」が38.2%となっている。
- 平成30年度調査と比較しても、大きな差はみられない。

・「放課後の居場所を提供する事業」の利用状況



・「放課後の居場所を提供する事業」の利用状況【平成30年度調査との比較】



2 「放課後の居場所を提供する事業」の平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日の利用状況と利用時間

問13で「利用している」を選ばれた方におうかがいします。

問13-1 現在利用している事業について、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日それぞれの「利用状況」と「利用時間帯」をご記入ください。（それぞれ○は1つ）

※不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

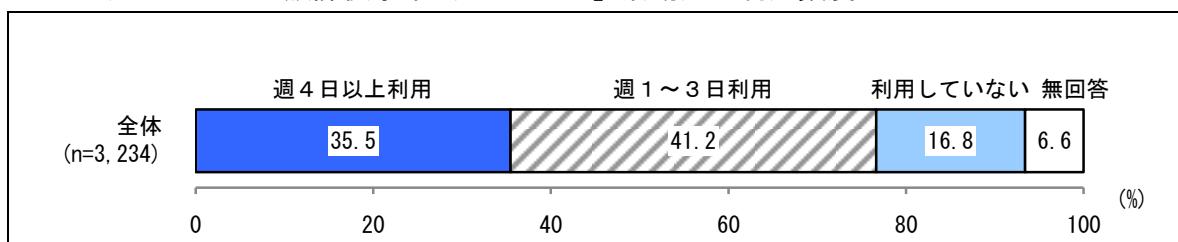
※時間帯は「16：00」のように24時間制でご記入ください。

(1) 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）

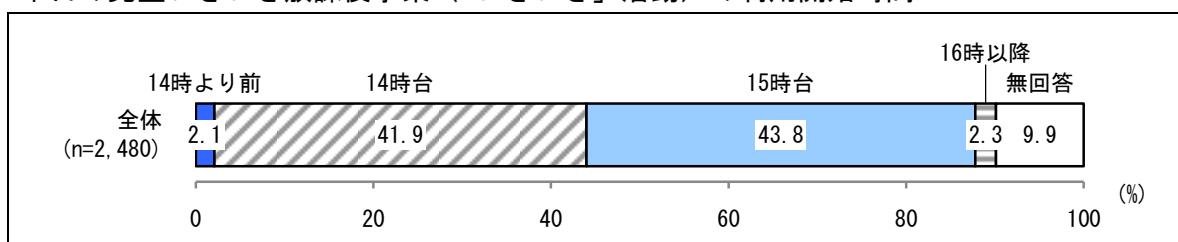
①平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況

- 平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況は、「週1～3日利用」が41.2%で最も多く、次いで「週4日以上利用」が35.5%となっており、両者をあわせた『利用している』は76.7%となっている。
- 平日の利用開始時間は、「15時台」が43.8%で最も多く、次いで「14時台」が41.9%となっている。
- 平日の利用終了時間は、「16時台」が34.1%で最も多く、次いで「17時台」が33.3%、「18時台」が12.4%となっている。

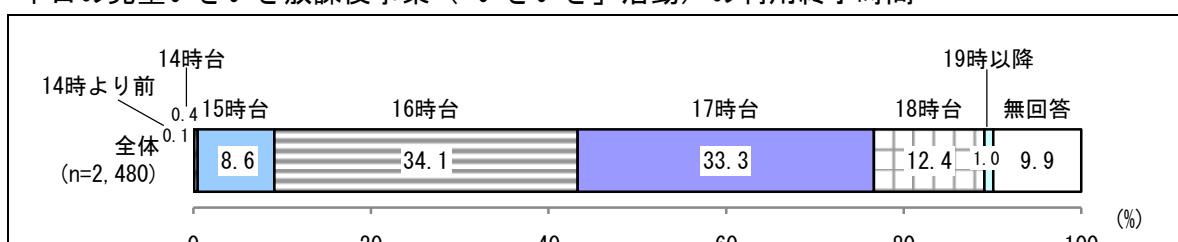
・平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度



・平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間



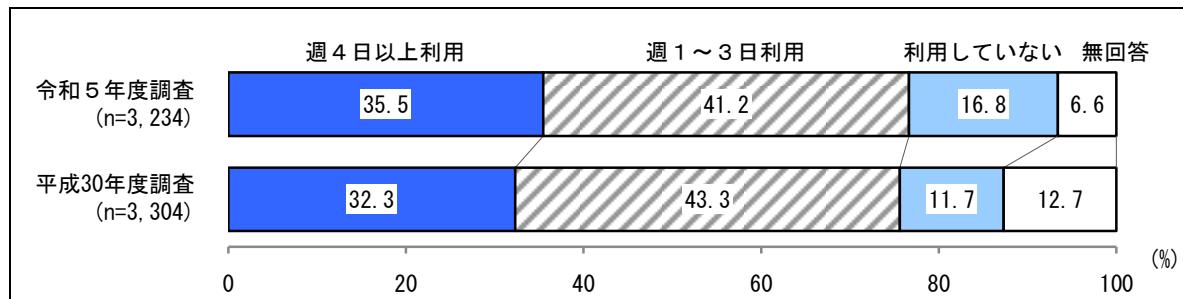
・平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間



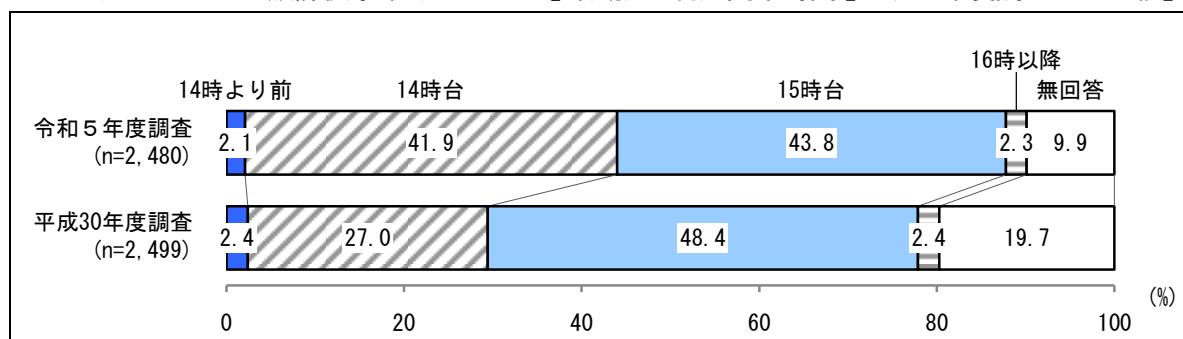
『平成30年度調査との比較』

- 平日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が3.2ポイント高くなっている。
- 平日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時台」が14.9ポイント高くなり、「15時台」は4.6ポイント低くなっている。
- 平日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「15時台」が4.9ポイント、「16時台」が3.5ポイント、「17時台」が1.6ポイント高くなっている。

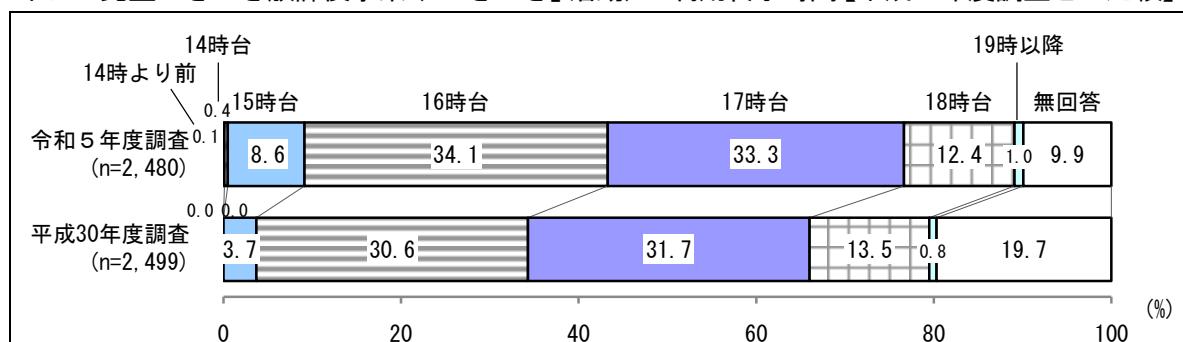
・平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



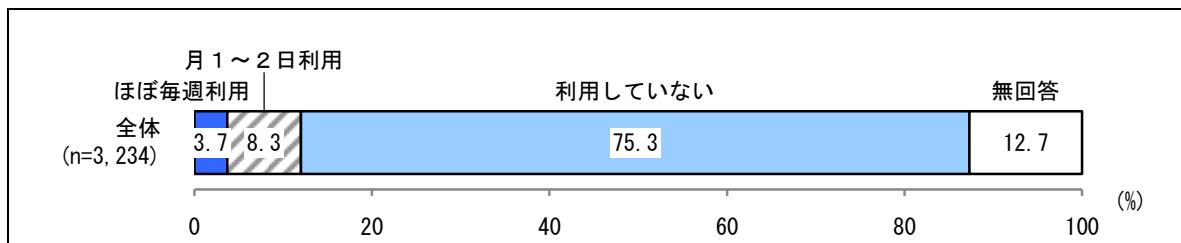
・平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



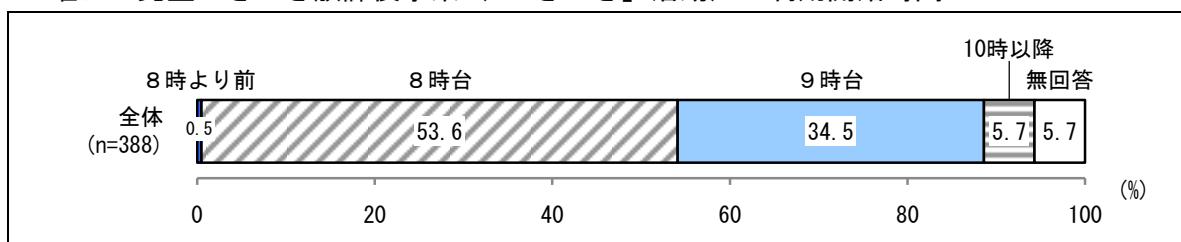
②土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況

- 土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況は、「利用していない」が75.3%で最も多くなっている。利用している人は、「月1～2日利用」が8.3%、「ほぼ毎週利用」が3.7%となっており、両者をあわせた『利用している』は12.0%となっている。
- 土曜日の利用開始時間は、「8時台」が53.6%で最も多く、次いで「9時台」が34.5%、「10時以降」が5.7%となっている。
- 土曜日の利用終了時間は、「16時台」が25.8%で最も多く、次いで「17時台」が24.5%、「18時台」が17.3%となっている。

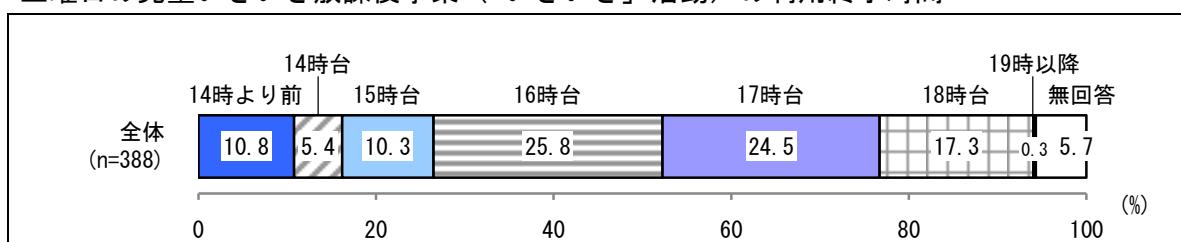
・土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況



・土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間



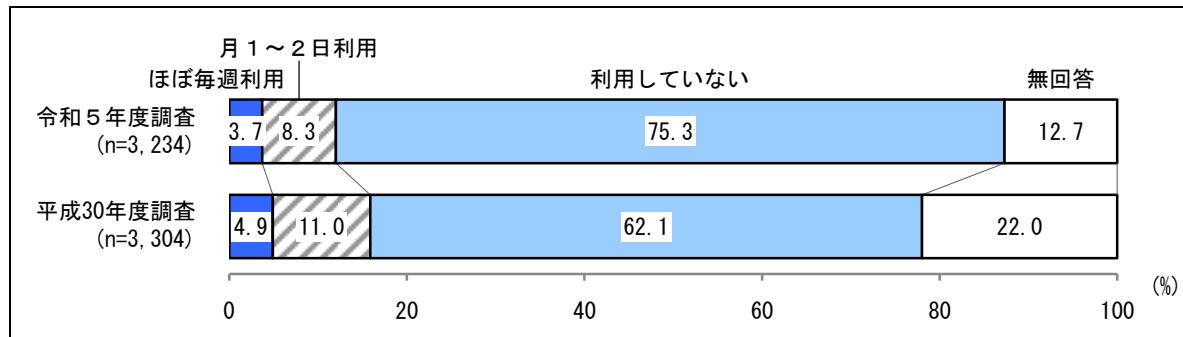
・土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間



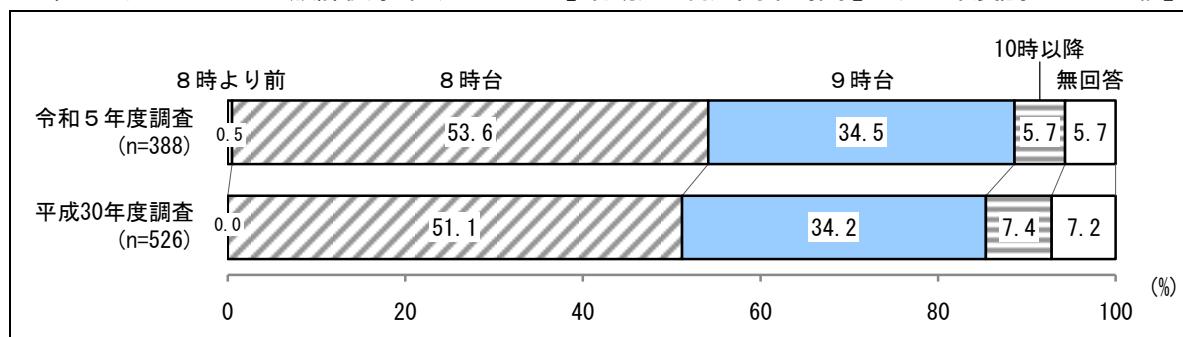
『平成30年度調査との比較』

- 土曜日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「月1～2日利用」は2.7ポイント、「ほぼ毎週利用」は1.2ポイント低くなり、両者をあわせた『利用している』は3.9ポイント低くなっている。
- 土曜日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が2.5ポイント高くなり、「10時以降」は1.7ポイント低くなっている。
- 土曜日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「16時台」が5.3ポイント高くなり、「17時台」は4.6ポイント低くなっている。

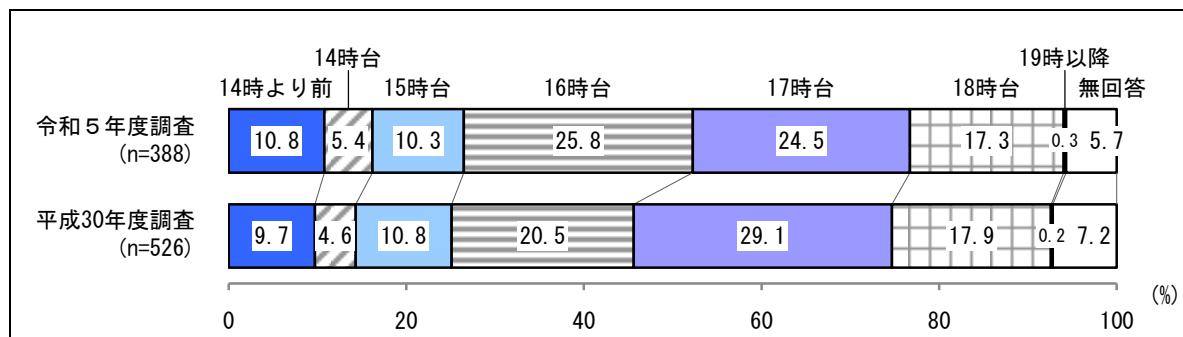
・土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況【平成30年度調査との比較】



・土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



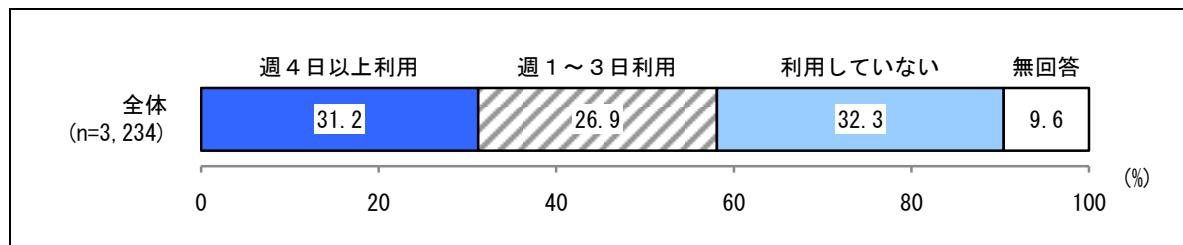
・土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



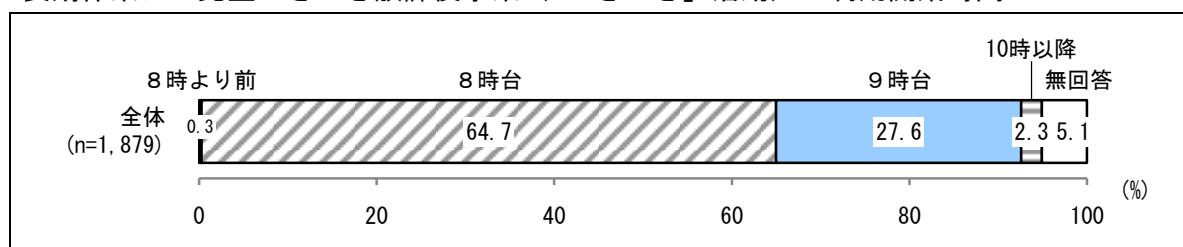
③長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況

- 長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況は、「利用していない」が32.3%で最も多くなっている。利用している人は、「週4日以上利用」が31.2%、「週1～3日利用」が26.9%となっており、両者をあわせた『利用している』は58.1%となっている。
- 長期休業日の利用開始時間は、「8時台」が64.7%で最も多く、次いで「9時台」が27.6%となっている。
- 長期休業日の利用終了時間は、「17時台」が28.7%で最も多く、次いで「16時台」が25.5%、「18時台」が14.4%となっている。

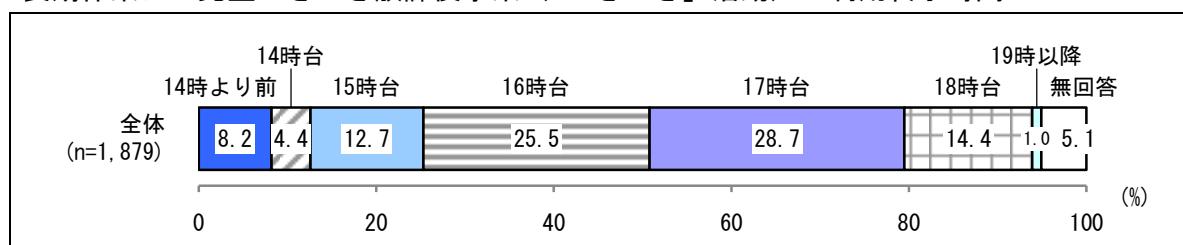
・長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況



・長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間



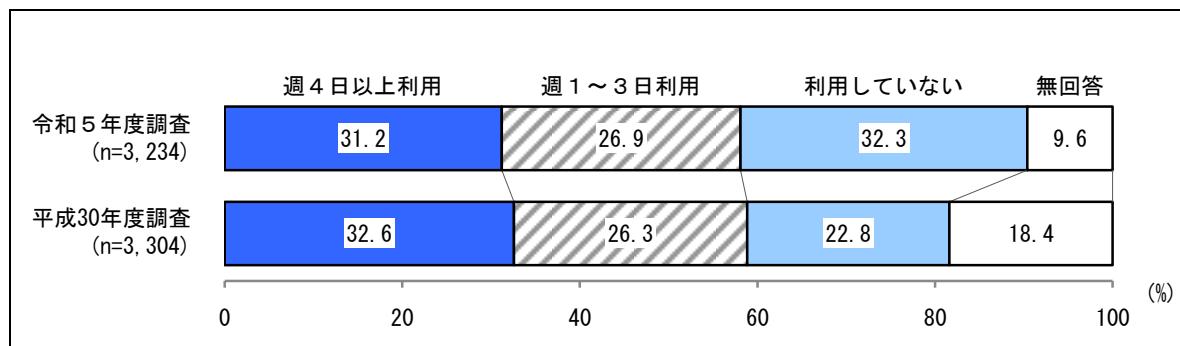
・長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間



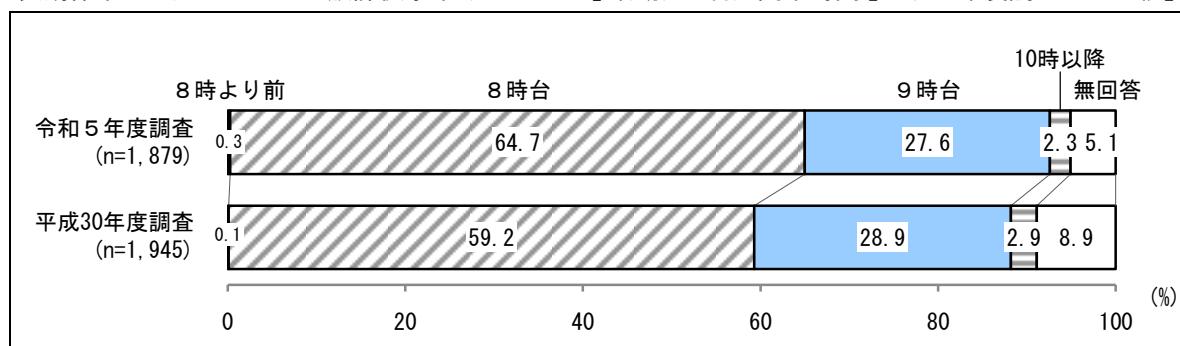
『平成30年度調査との比較』

- 長期休業日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」は1.4ポイント低くなっている。
- 長期休業日の利用開始時間は、「8時台」が5.5ポイント高くなっている。
- 長期休業日の利用終了時間は、「17時台」が2.7ポイント、「16時台」が2.2ポイント高くなり、「19時以降」は4.3ポイント低くなっている。

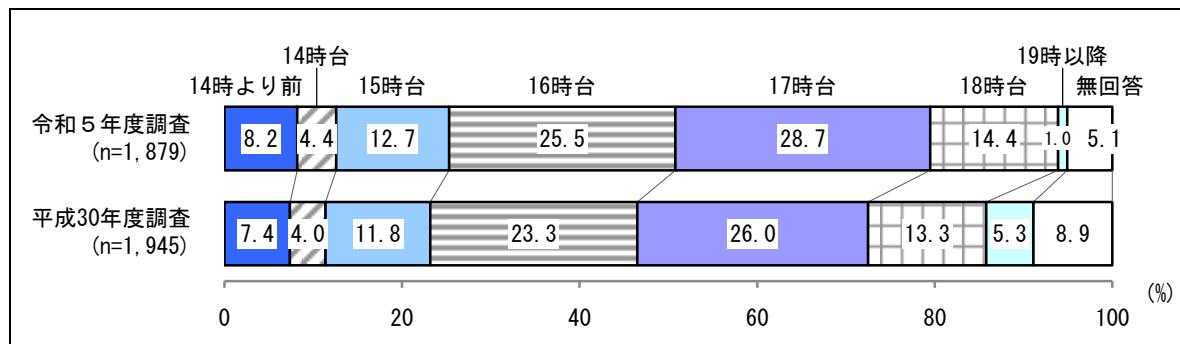
・長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用状況【平成30年度調査との比較】



・長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】

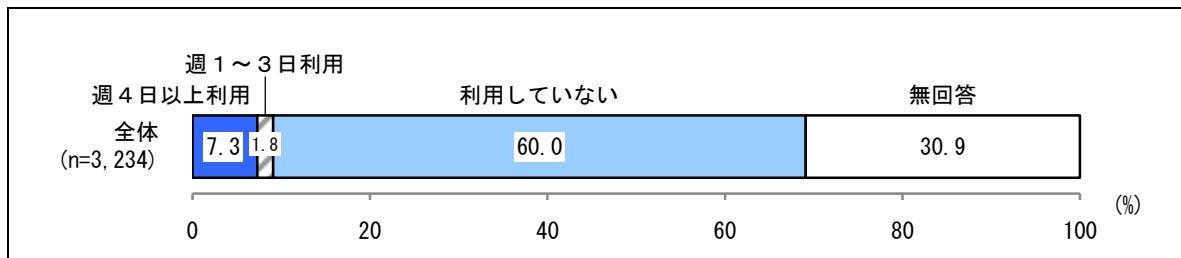


(2) 留守家庭児童対策事業（学童保育）

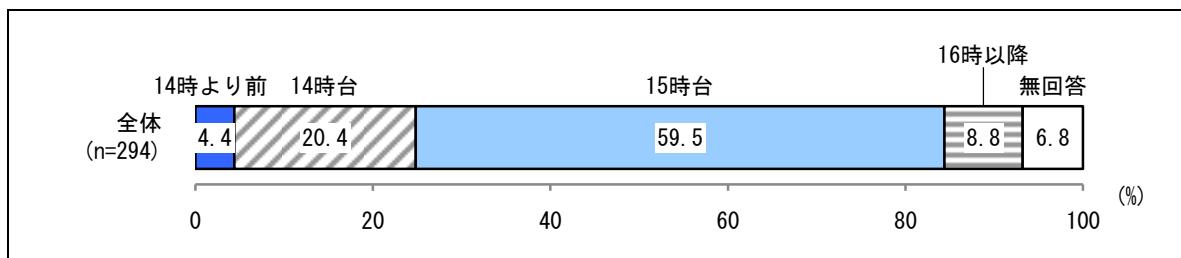
①平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況

- 平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況は、「利用していない」が60.0%で最も多くなっている。利用している人では、「週4日以上利用」が7.3%、「週1～3日利用」が1.8%となっており、両者をあわせた『利用している』は9.1%となっている。
- 平日の利用開始時間は、「15時台」が59.5%で最も多く、次いで「14時台」が20.4%、「16時以降」が8.8%となっている。
- 平日の利用終了時間は、「18時台」が51.0%で最も多く、次いで「19時以降」が20.7%、「17時台」が15.6%となっている。

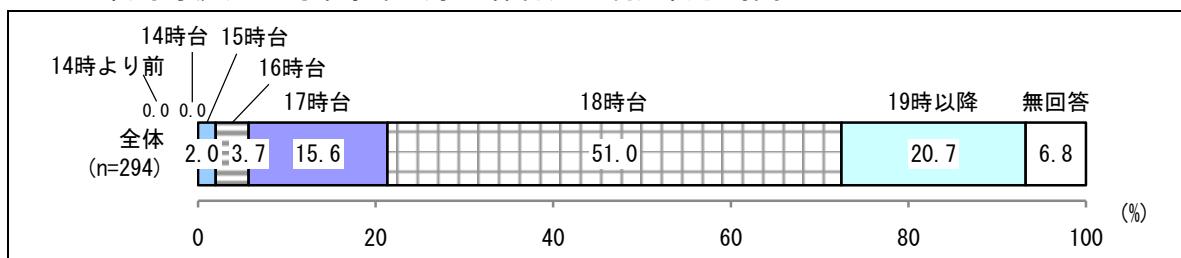
・平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況



・平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間



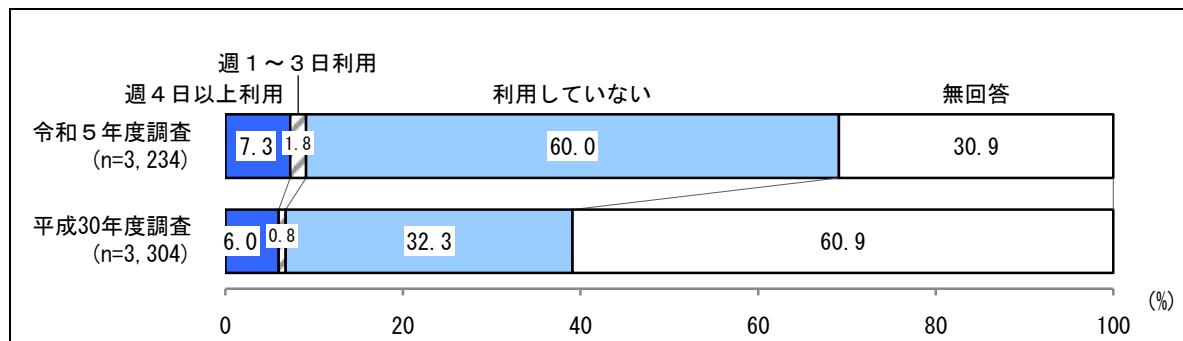
・平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間



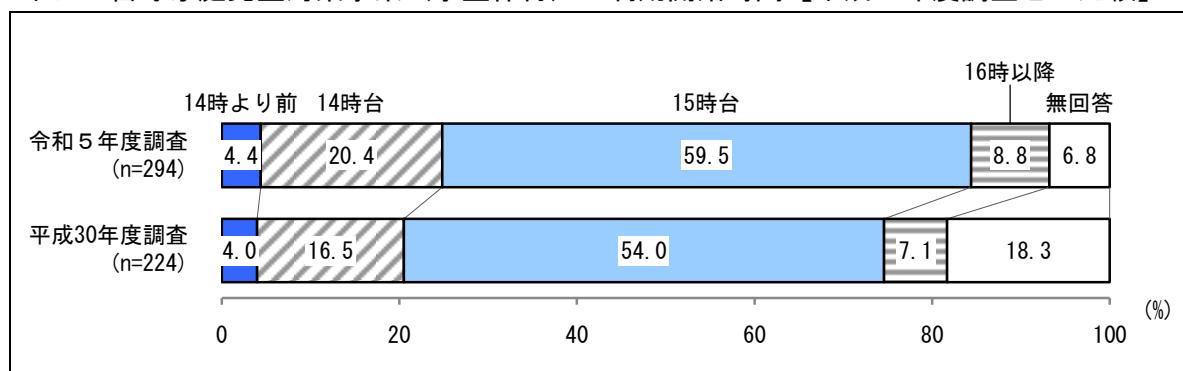
«平成30年度調査との比較»

- 平日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が1.3ポイント、「週1～3日利用」が1.0ポイント高くなり、両者をあわせた『利用している』は2.3ポイント高くなっている。
- 平日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「15時台」が5.5ポイント、「14時台」が3.9ポイント、「16時以降」が1.7ポイント高くなっている。
- 平日の利用終了時間は、「18時台」が10.8ポイント、「17時台」が7.6ポイント高くなり、「19時以降」は12.8ポイント低くなっている。

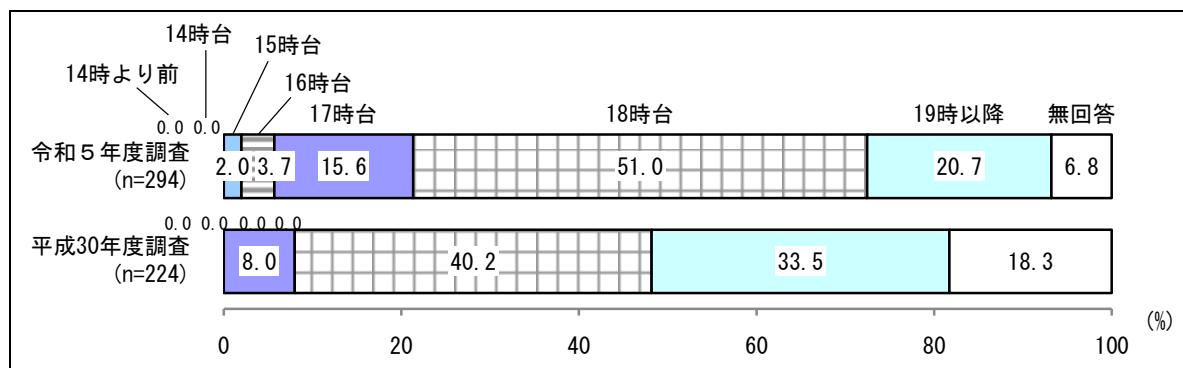
・平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況【平成30年度調査との比較】



・平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



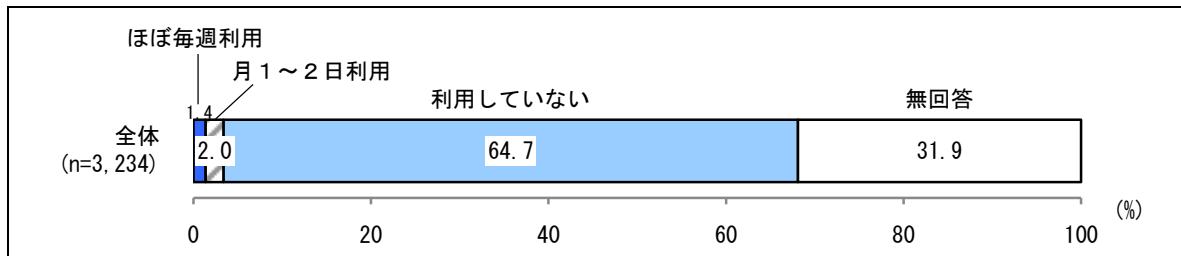
・平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



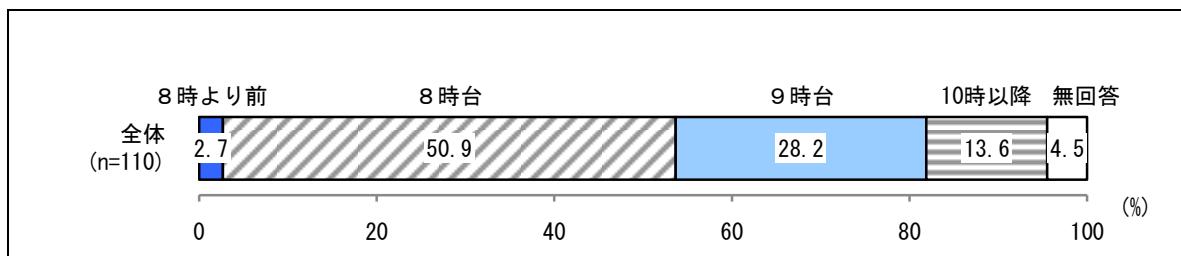
②土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況

- 土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況は、「利用していない」が64.7%で最も多くなっている。利用している人では、「月1～2日利用」が2.0%、「ほぼ毎週利用」が1.4%となっており、両者をあわせた『利用している』は3.4%となっている。
- 土曜日の利用開始時間は、「8時台」が50.9%で最も多く、次いで「9時台」が28.2%、「10時以降」が13.6%となっている。
- 土曜日の利用終了時間は、「18時台」が38.2%で最も多く、次いで「17時台」が26.4%、「16時台」と「19時以降」がともに10.0%となっている。

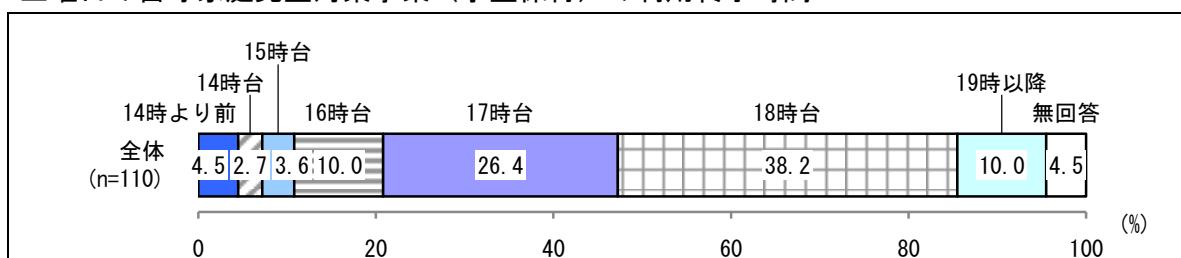
・土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況



・土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間



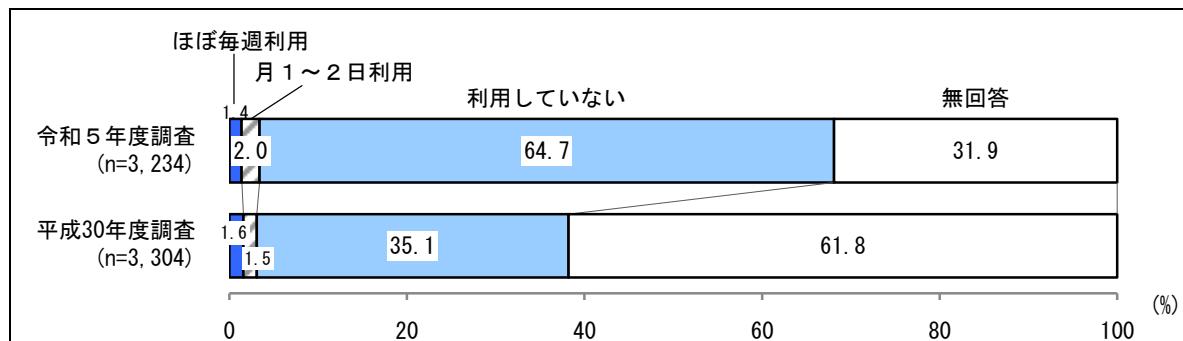
・土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間



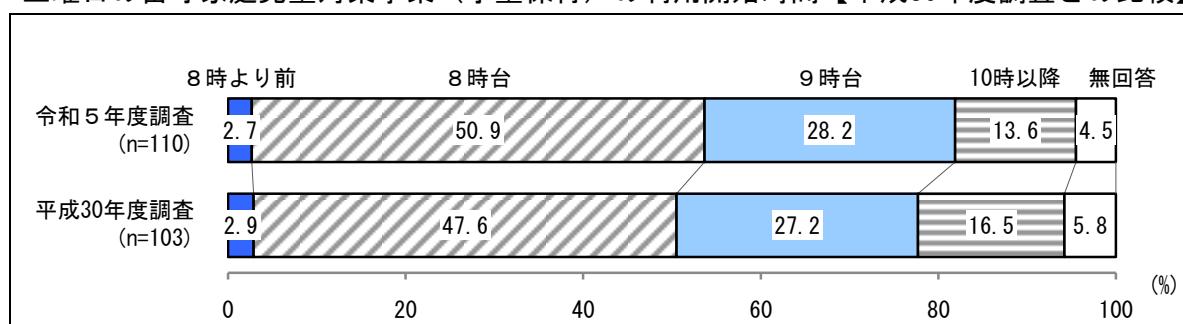
『平成30年度調査との比較』

- 土曜日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、『利用している』割合に大きな差はみられない。
- 土曜日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が3.3ポイント、「9時台」が1.0ポイント高くなり、「10時以降」は2.9ポイント低くなっている。
- 土曜日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「16時台」が4.2ポイント、「14時より前」が1.6ポイント、「18時台」が1.3ポイント高くなり、「19時以降」は7.5ポイント低くなっている。

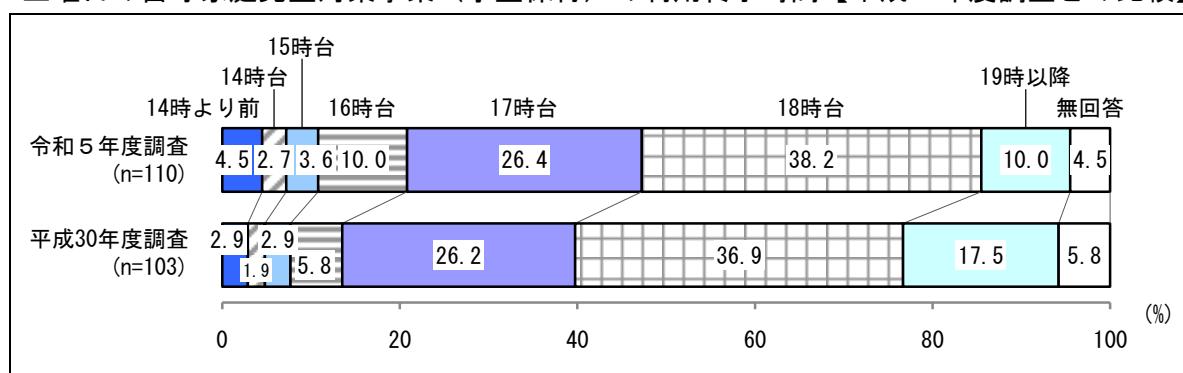
・土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況【平成30年度調査との比較】



・土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



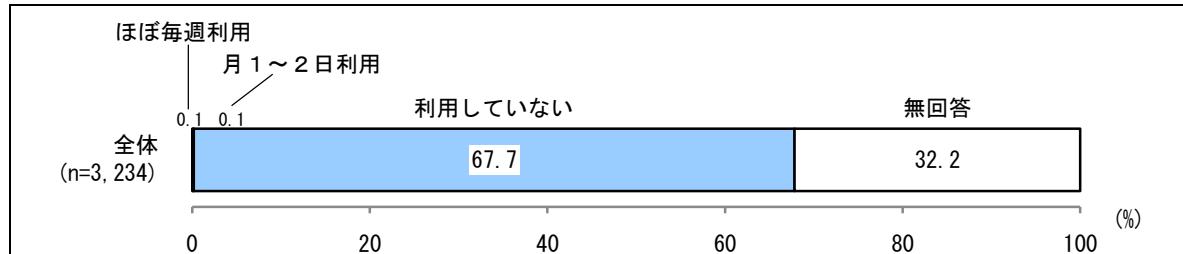
③日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況

■日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況は、「利用していない」が67.7%となっており、利用している人は「ほぼ毎週利用」と「月1～2日利用」がともに0.1%で各2人の回答となっている。

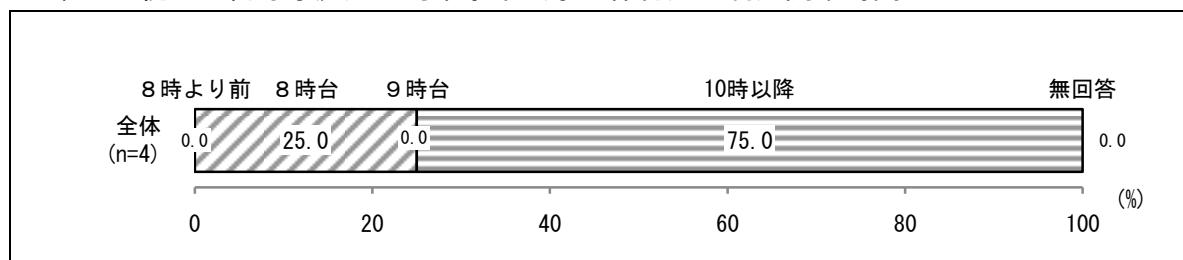
■日曜日・祝日の利用開始時間は、「10時以降」が3人、「8時台」が1人となっている。

■日曜日・祝日の利用終了時間は、「17時台」が2人、「16時台」と「18時台」が各1人となっている。

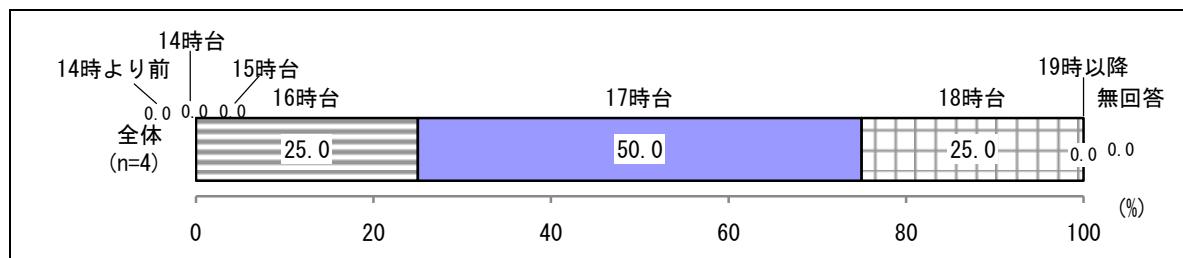
・日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況



・日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間



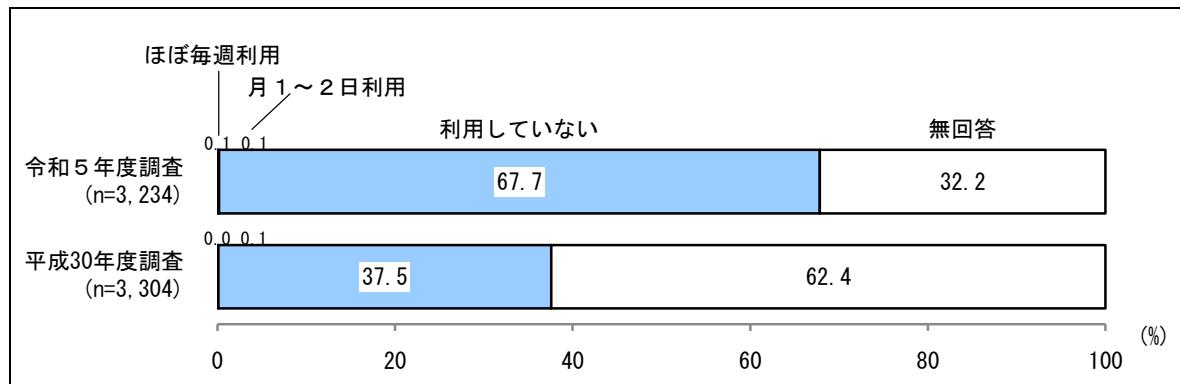
・日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間



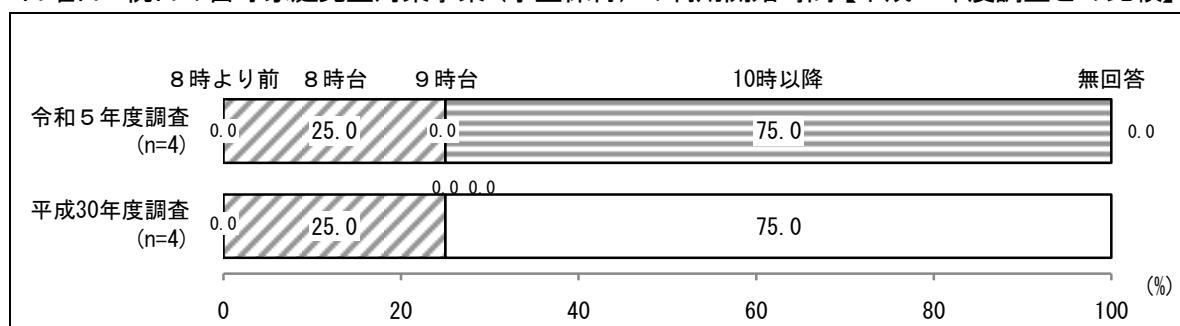
『平成30年度調査との比較』

- 日曜日・祝日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、『利用している』割合に大きな差はみられない。
- 日曜日・祝日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「10時以降」が75.0ポイント高くなっている。
- 日曜日・祝日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が50.0ポイント、「16時台」が25.0ポイント高くなっている。

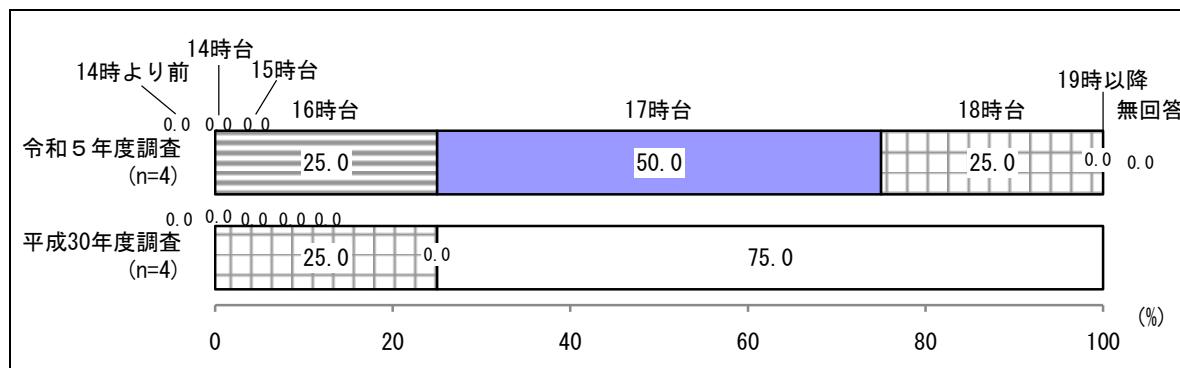
・日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況【平成30年度調査との比較】



・日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



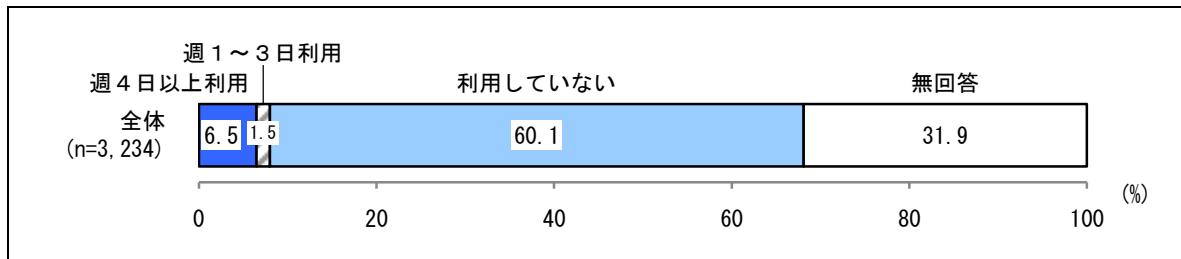
・日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



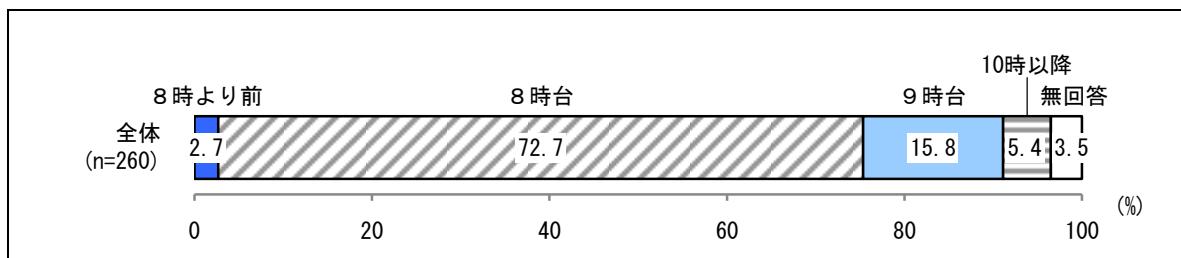
④長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況

- 長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況は、「利用していない」が60.1%で最も多くなっている。利用している人では、「週4日以上利用」が6.5%、「週1～3日利用」が1.5%となっており、両者をあわせた『利用している』は8.0%となっている。
- 長期休業日の利用開始時間は、「8時台」が72.7%で最も多く、次いで「9時台」が15.8%、「10時以降」が5.4%となっている。
- 長期休業日の利用終了時間は、「18時台」が51.5%で最も多く、次いで「19時以降」が21.5%、「17時台」が14.6%となっている。

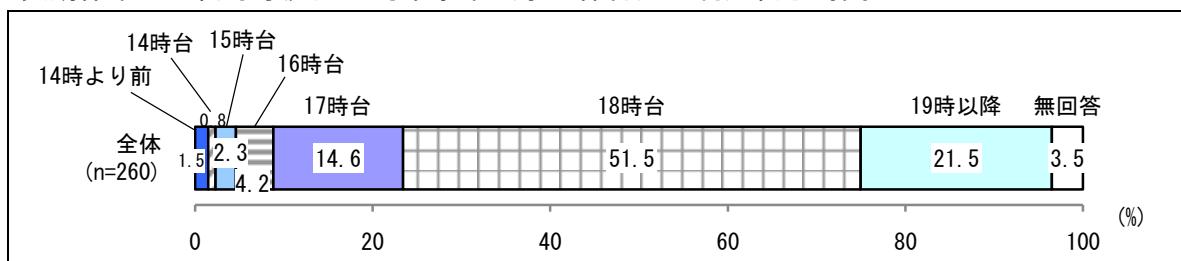
・長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況



・長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間



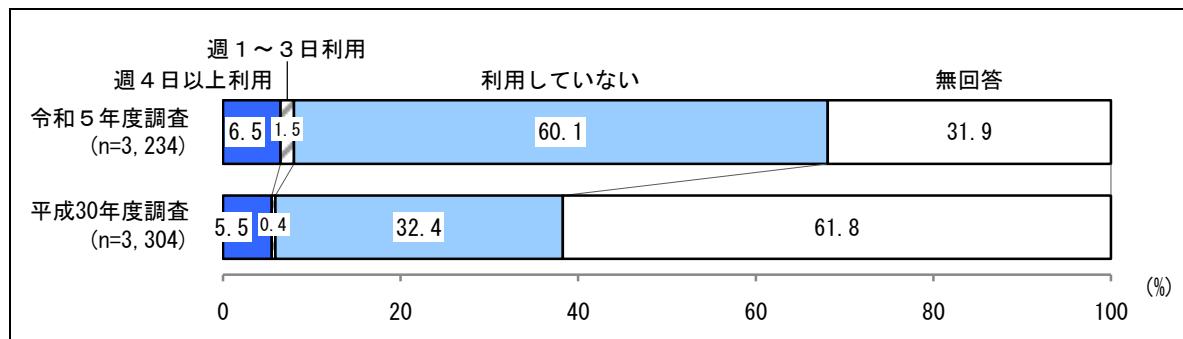
・長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間



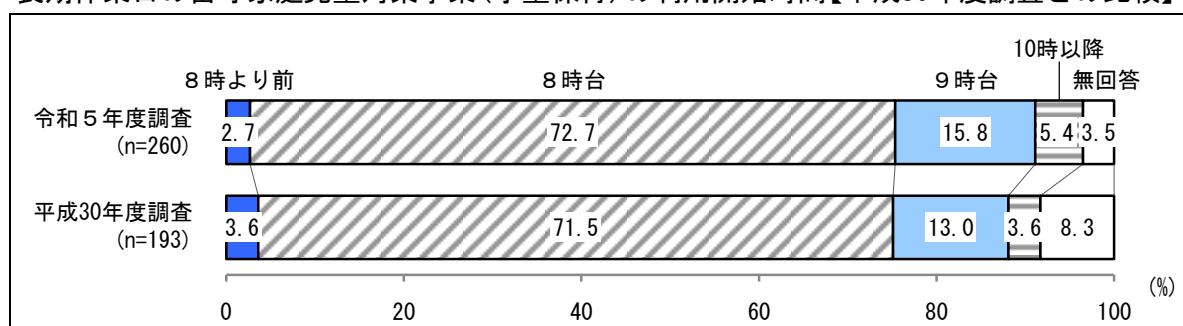
『平成30年度調査との比較』

- 長期休業日利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「週1～3日利用」が1.1ポイント、「週4日以上利用」が1.0ポイント高くなり、両者をあわせた『利用している』は2.1ポイント高くなっている。
- 長期休業日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「9時台」が2.8ポイント、「10時以降」が1.8ポイント、「8時台」が1.2ポイント高くなっている。
- 長期休業日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が6.8ポイント、「18時台」が4.3ポイント高くなり、「19時以降」は14.8ポイント低くなっている。

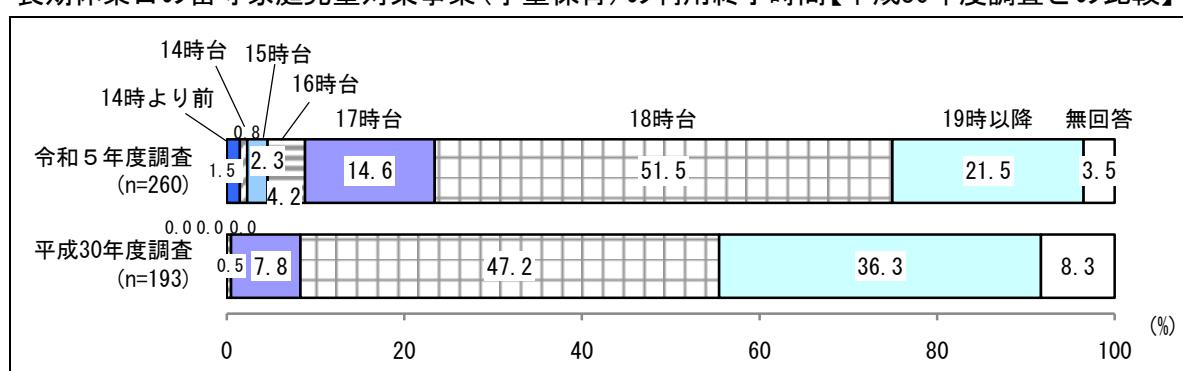
・長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用状況【平成30年度調査との比較】



・長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】

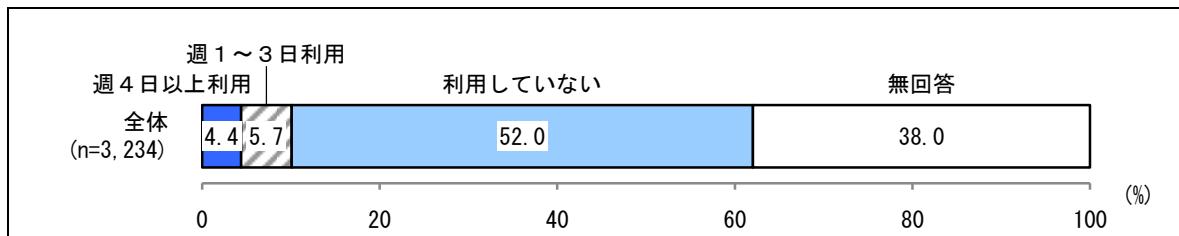


(3) その他の事業・サービス

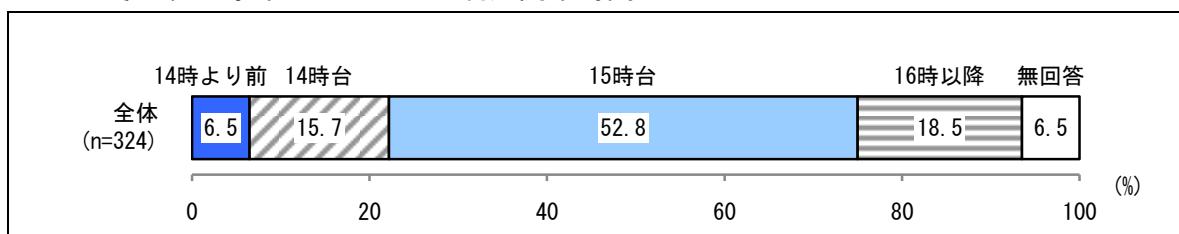
① 平日の他の事業・サービスの利用状況

- 平日の他の事業・サービスの利用状況は、「利用していない」が52.0%で最も多くなっている。利用している人では、「週1～3日利用」が5.7%、「週4日以上利用」が4.4%となっており、両者をあわせた『利用している』は10.1%となっている。
- 平日の利用開始時間は、「15時台」が52.8%で最も多く、次いで「16時以降」が18.5%、「14時台」が15.7%となっている。
- 平日の利用終了時間は、「18時台」が39.2%で最も多く、次いで「17時台」が33.6%、「19時以降」が13.6%となっている。

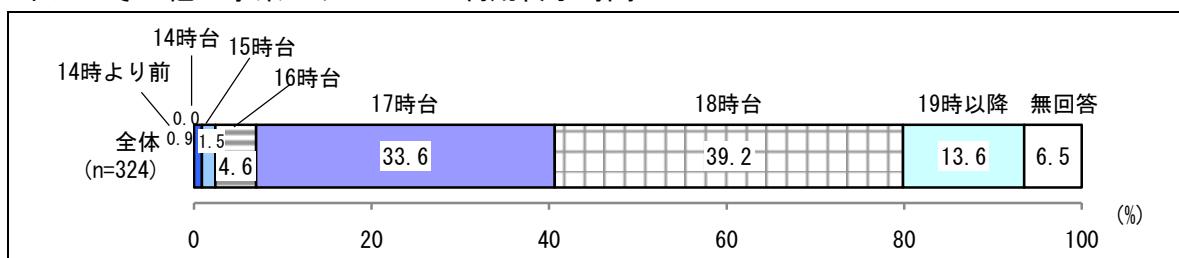
・ 平日の他の事業・サービスの利用状況



・ 平日の他の事業・サービスの利用開始時間



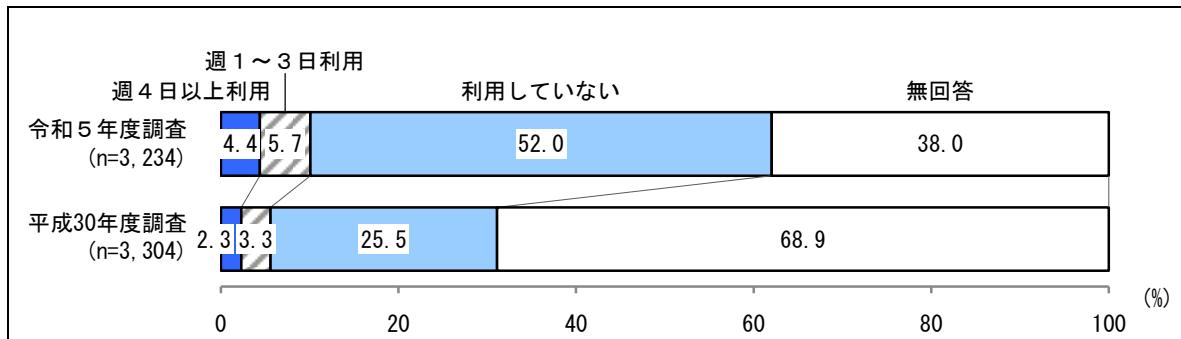
・ 平日の他の事業・サービスの利用終了時間



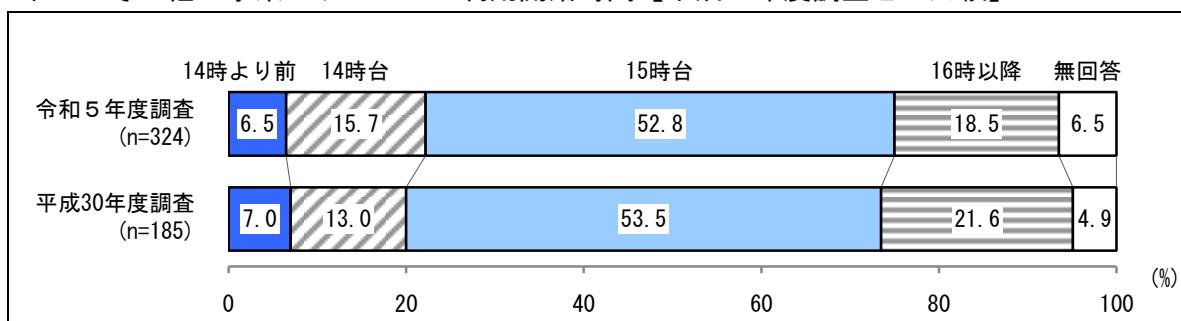
«平成30年度調査との比較»

- 平日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「週1～3日利用」が2.4ポイント、「週4日以上利用」が2.1ポイント高くなり、両者をあわせた『利用している』は4.5ポイント高くなっている。
- 平日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時台」が2.7ポイント高くなり、「16時以降」は3.1ポイント低くなっている。
- 平日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「19時以降」が4.2ポイント低くなっている。

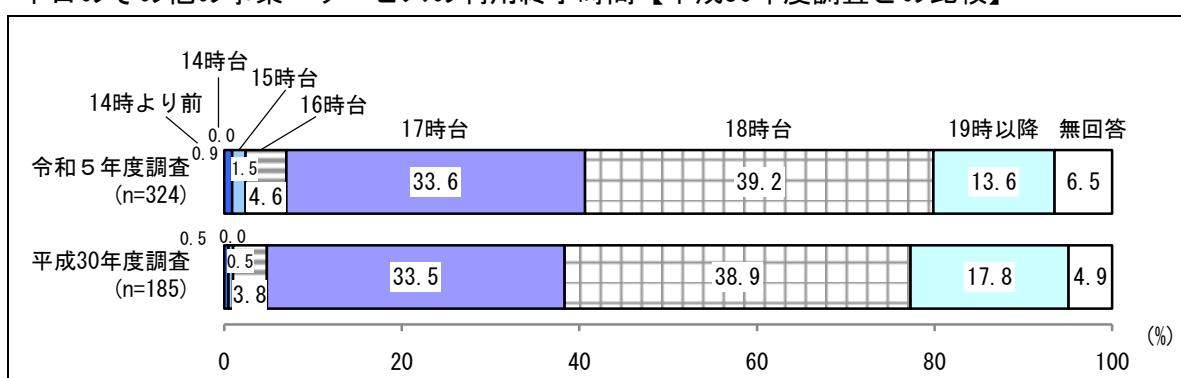
・平日のその他の事業・サービスの利用状況【平成30年度調査との比較】



・平日のその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



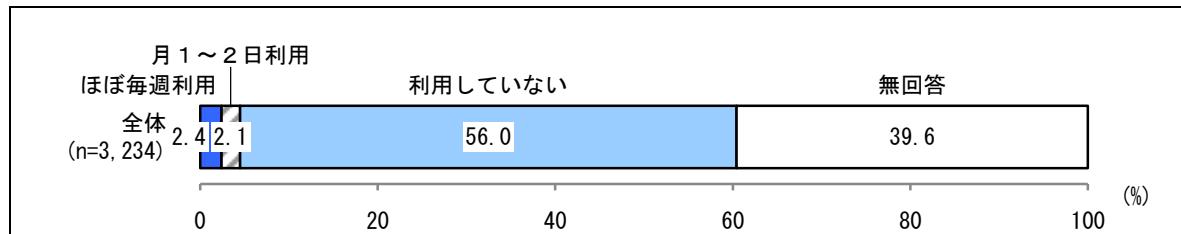
・平日のその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



②土曜日のその他の事業・サービスの利用状況

- 土曜日のその他の事業・サービスの利用状況は、「利用していない」が56.0%で最も多くなっている。利用している人では、「ほぼ毎週利用」が2.4%、「月1～2日利用」が2.1%となっており、両者をあわせた『利用している』は4.5%となっている。
- 土曜日の利用開始時間は、「10時以降」が75.7%で最も多く、次いで「9時台」が11.1%となっている。
- 土曜日の利用終了時間は、「17時台」が32.6%で最も多く、次いで「16時台」が27.8%、「18時台」が11.8%となっている。

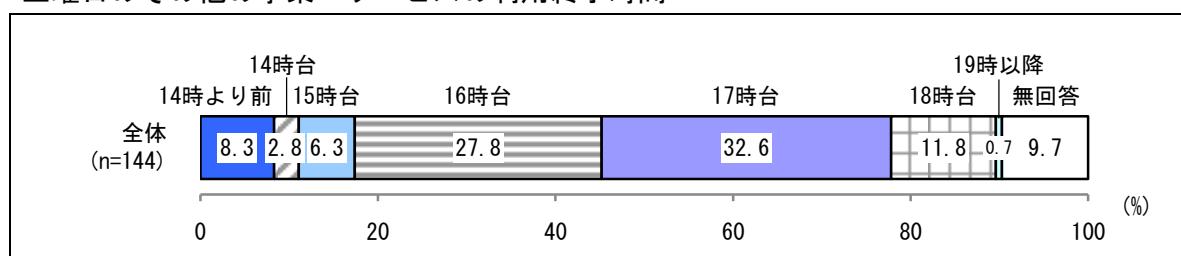
・土曜日のその他の事業・サービスの利用状況



・土曜日のその他の事業・サービスの利用開始時間



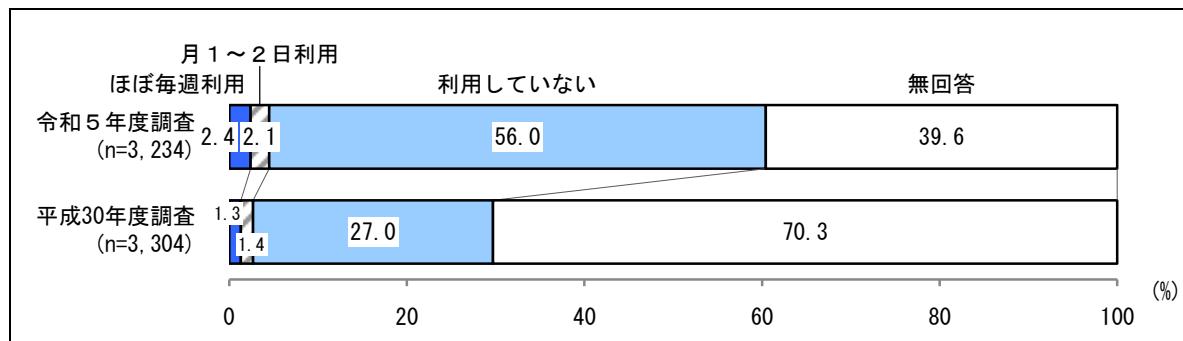
・土曜日のその他の事業・サービスの利用終了時間



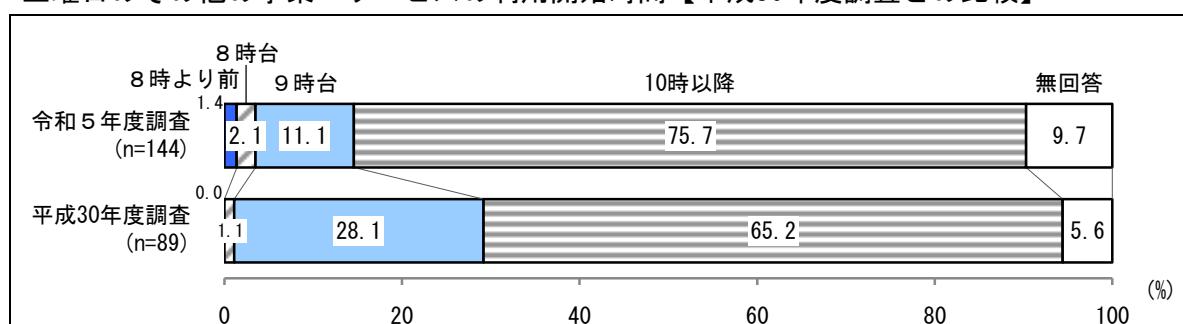
『平成30年度調査との比較』

- 土曜日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎週利用」が1.1ポイント高くなり、「利用している」は1.8ポイント高くなっている。
- 土曜日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「10時以降」が10.5ポイント高くなり、「9時台」は17.0ポイント低くなっている。
- 土曜日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「16時台」が4.2ポイント、「14時より前」が3.8ポイント、「17時台」が3.4ポイント高くなり、「18時台」は10.7ポイント、「19時以降」は2.7ポイント低くなっている。

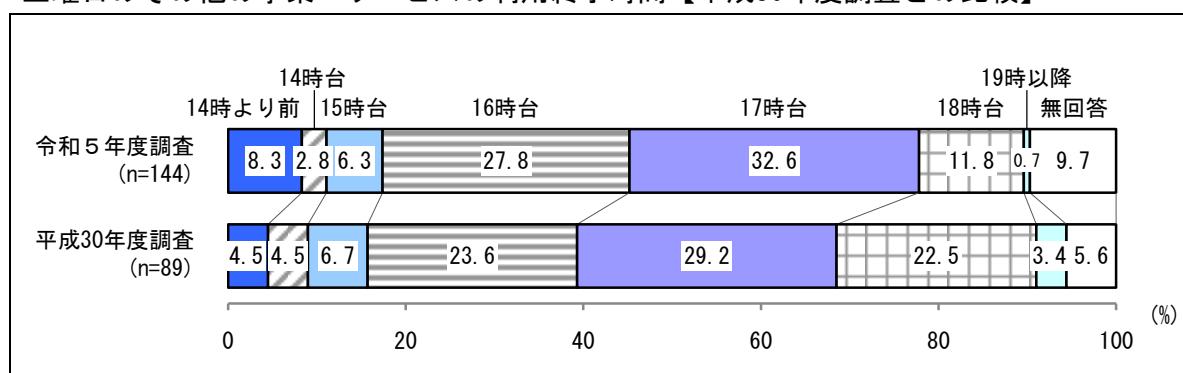
・ 土曜日のその他の事業・サービスの利用状況【平成30年度調査との比較】



・ 土曜日のその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



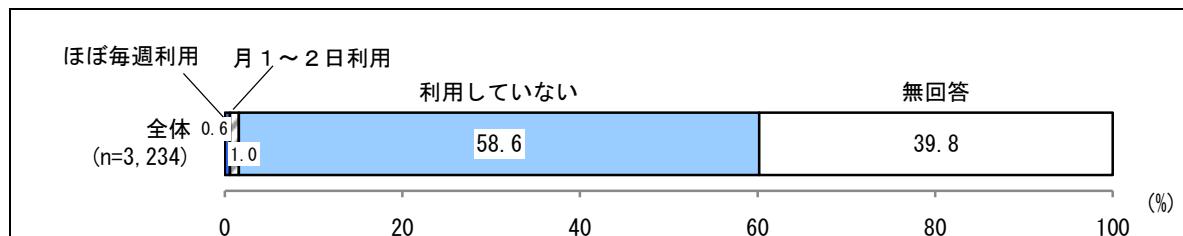
・ 土曜日のその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



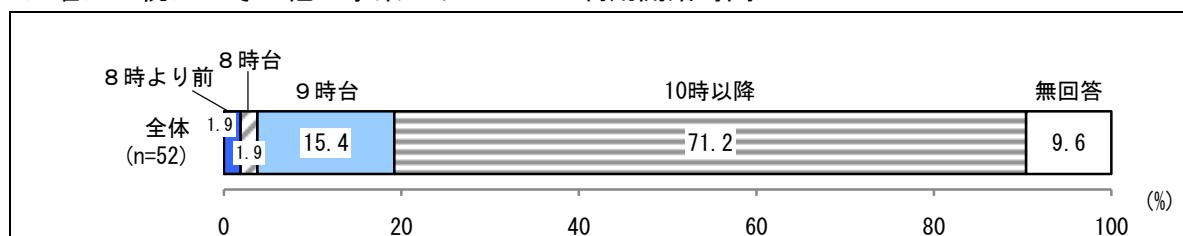
③日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用状況

- 日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用状況は、「利用していない」が58.6%で最も多くなっている。利用している人では、「月1～2日利用」が1.0%、「ほぼ毎週利用」が0.6%となっており、両者をあわせた『利用している』は1.6%となっている。
- 日曜日・祝日の利用開始時間は、「10時以降」が71.2%で最も多く、次いで「9時台」が15.4%となっている。
- 日曜日・祝日の利用終了時間は、「17時台」が36.5%で最も多く、次いで「16時台」が19.2%、「14時より前」が15.4%となっている。

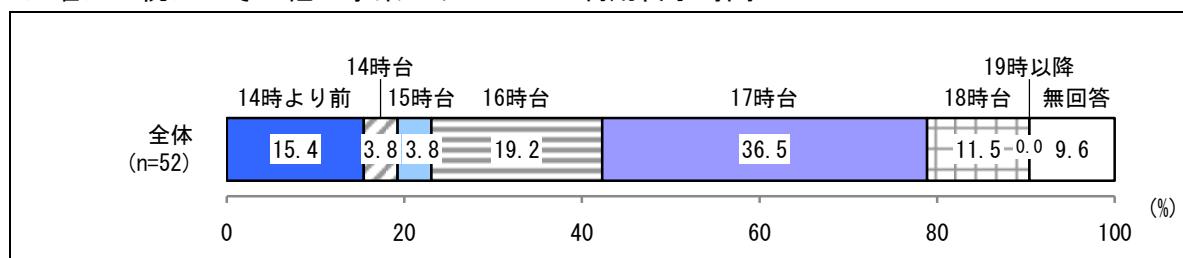
・日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用状況



・日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用開始時間



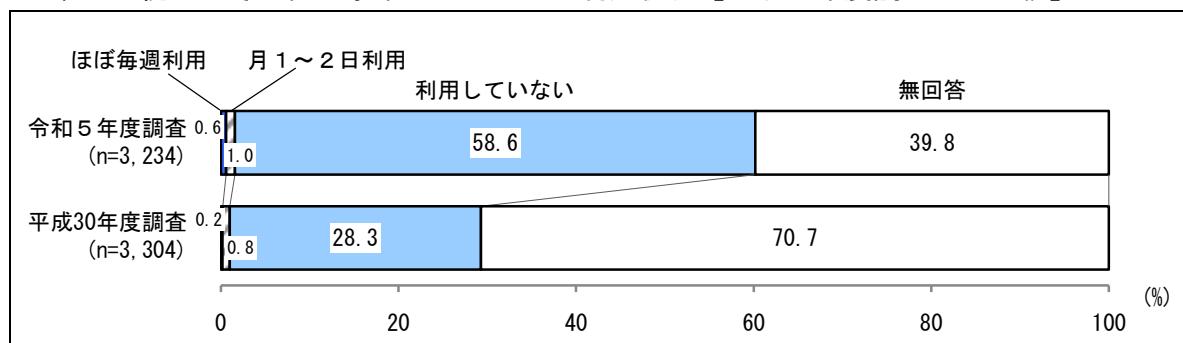
・日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用終了時間



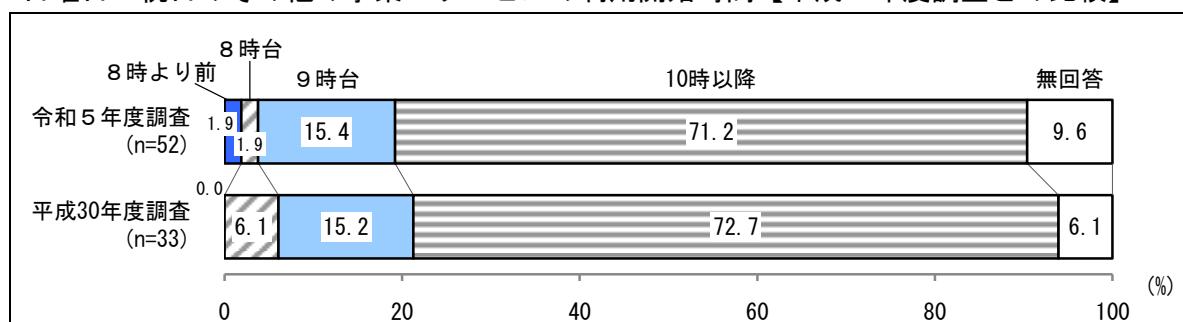
『平成30年度調査との比較』

- 日曜日・祝日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、『利用している』割合に大きな差はみられない。
- 日曜日・祝日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時より前」が1.9ポイント高くなり、「8時台」は4.2ポイント、「10時以降」は1.5ポイント低くなっている。
- 日曜日・祝日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時より前」が6.3ポイント、「14時台」が3.8ポイント高くなり、「19時以降」は6.1ポイント、「17時台」は5.9ポイント、「16時台」は2.0ポイント低くなっている。

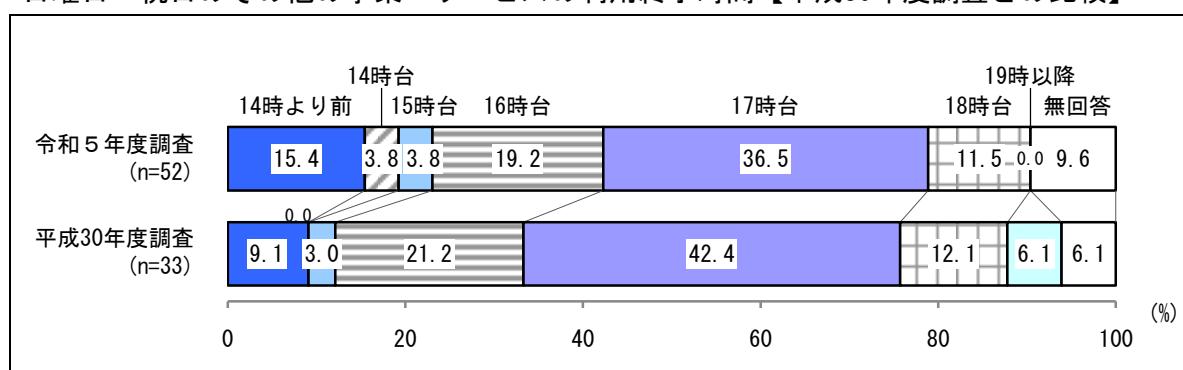
・日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用状況【平成30年度調査との比較】



・日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



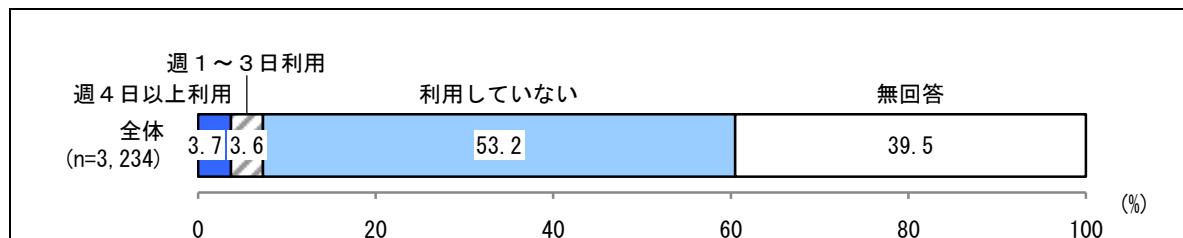
・日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



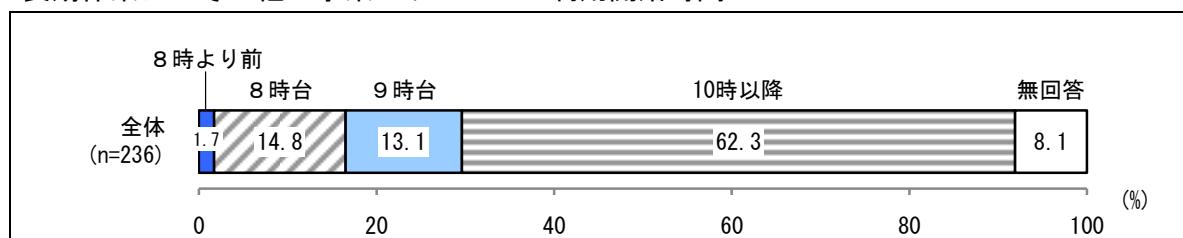
④長期休業日のその他の事業・サービスの利用状況

- 長期休業日のその他の事業・サービスの利用状況は、「利用していない」が53.2%で最も多くなっている。利用している人では、「週4日以上利用」が3.7%、「週1～3日利用」が3.6%となっており、両者をあわせた『利用している』は7.3%となっている。
- 長期休業日の利用開始時間は、「10時以降」が62.3%で最も多く、次いで「8時台」が14.8%、「9時台」が13.1%となっている。
- 長期休業日の利用終了時間は、「17時台」が30.9%で最も多く、次いで「18時台」が26.3%、「16時台」が19.1%となっている。

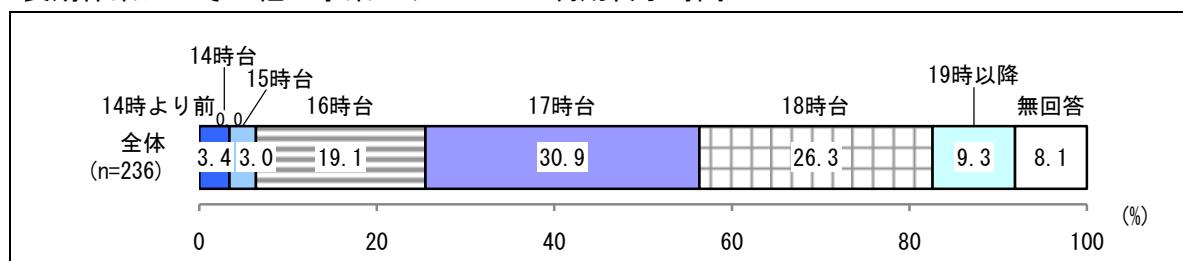
・長期休業日のその他の事業・サービスの利用状況



・長期休業日のその他の事業・サービスの利用開始時間



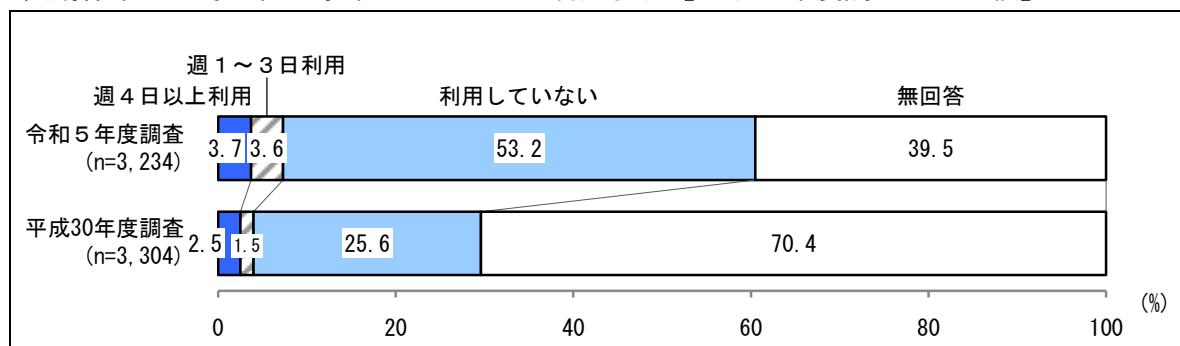
・長期休業日のその他の事業・サービスの利用終了時間



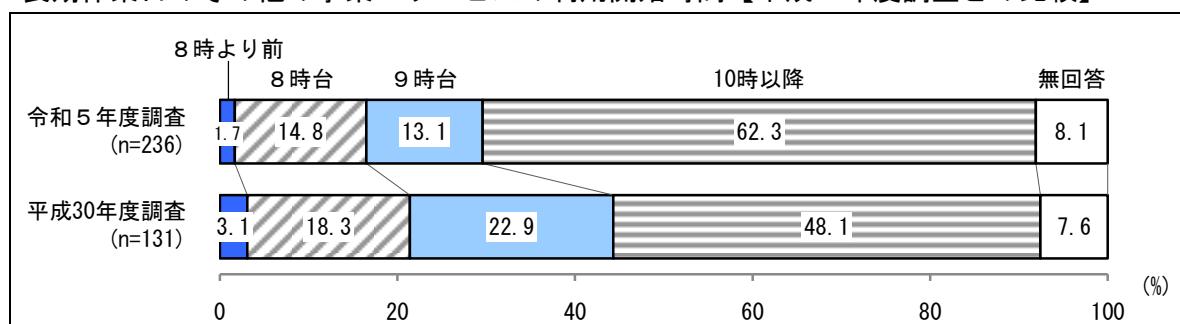
『平成30年度調査との比較』

- 長期休業日の利用状況について、平成30年度調査と比較すると、「週1～3日利用」が2.1ポイント、「週4日以上利用」が1.2ポイント高くなり、両者をあわせた『利用している』は3.3ポイント高くなっている。
- 長期休業日の利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「10時以降」が14.2ポイント高くなり、「9時台」は9.8ポイント、「8時台」は3.5ポイント低くなっている。
- 長期休業日の利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が4.2ポイント、「16時台」が3.8ポイント高くなり、「19時以降」は7.5ポイント、「18時台」は5.0ポイント低くなっている。

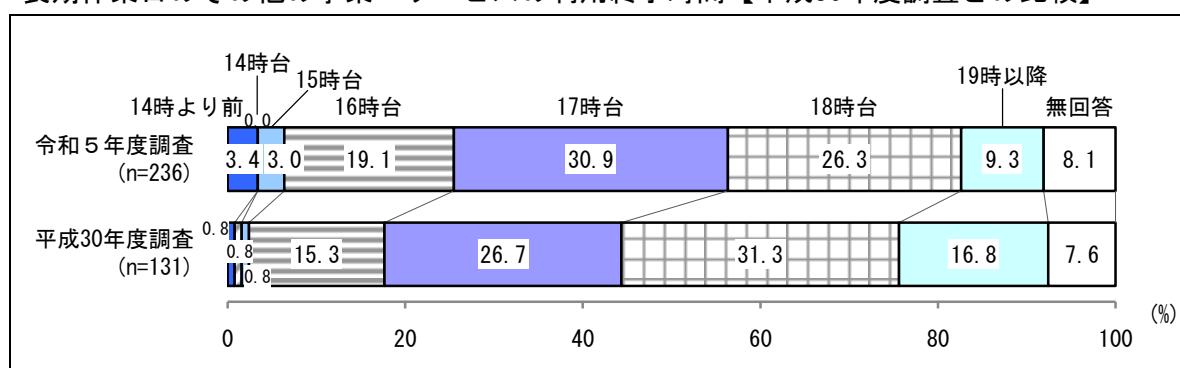
・長期休業日のその他の事業・サービスの利用状況【平成30年度調査との比較】



・長期休業日のその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・長期休業日のその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】

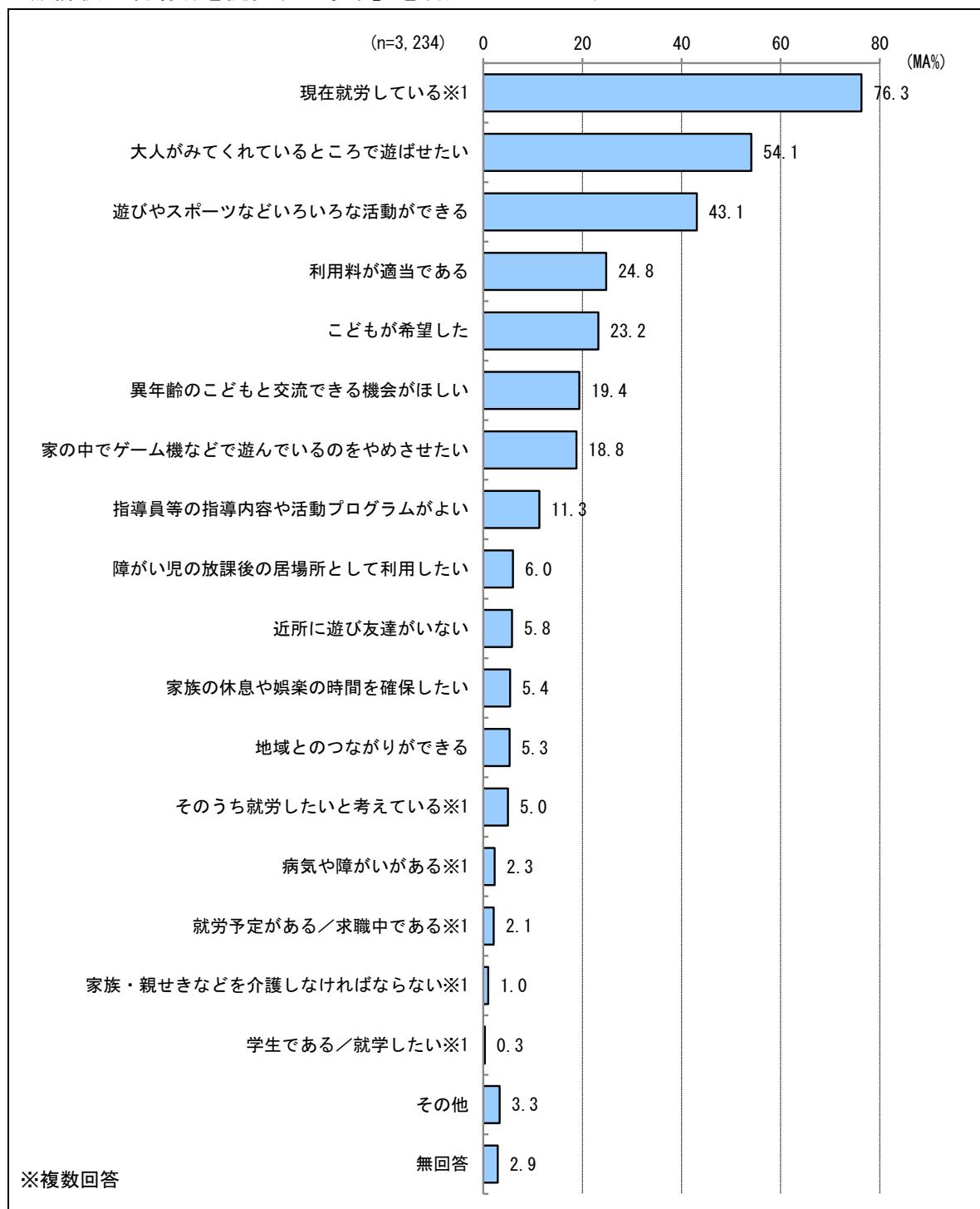


3 「放課後の居場所を提供する事業」を利用している理由

問13-2 利用している理由は何ですか。 (○は1つ)

■ 「放課後の居場所を提供する事業」を利用している理由は、「(保護者が) 現在就労している」が76.3%で最も多く、次いで「大人がみてくれているところで遊ばせたい」が54.1%、「遊びやスポーツなどいろいろな活動ができる」が43.1%となっている。

・「放課後の居場所を提供する事業」を利用している理由

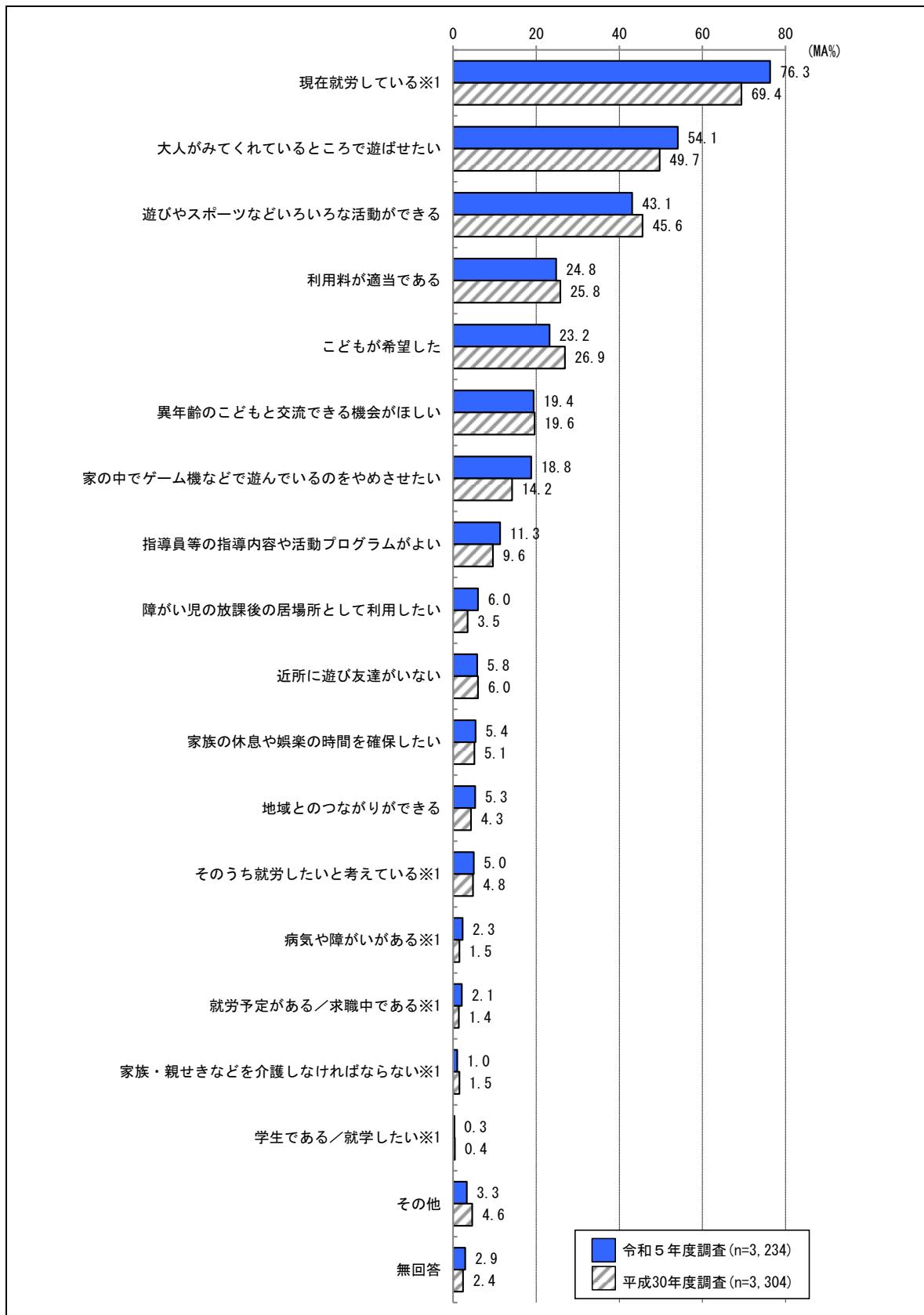


※複数回答

※1 は「子どもの身の回りの世話を主にしている方」について

■平成30年度調査と比較すると、「(保護者が) 現在就労している」が6.9ポイント、「家の中でゲーム機などで遊んでいるのをやめさせたい」が4.6ポイント、「大人がみてくれているところで遊ばせたい」が4.4ポイント高くなっている。

・「放課後の居場所を提供する事業」を利用している理由【平成30年度調査との比較】

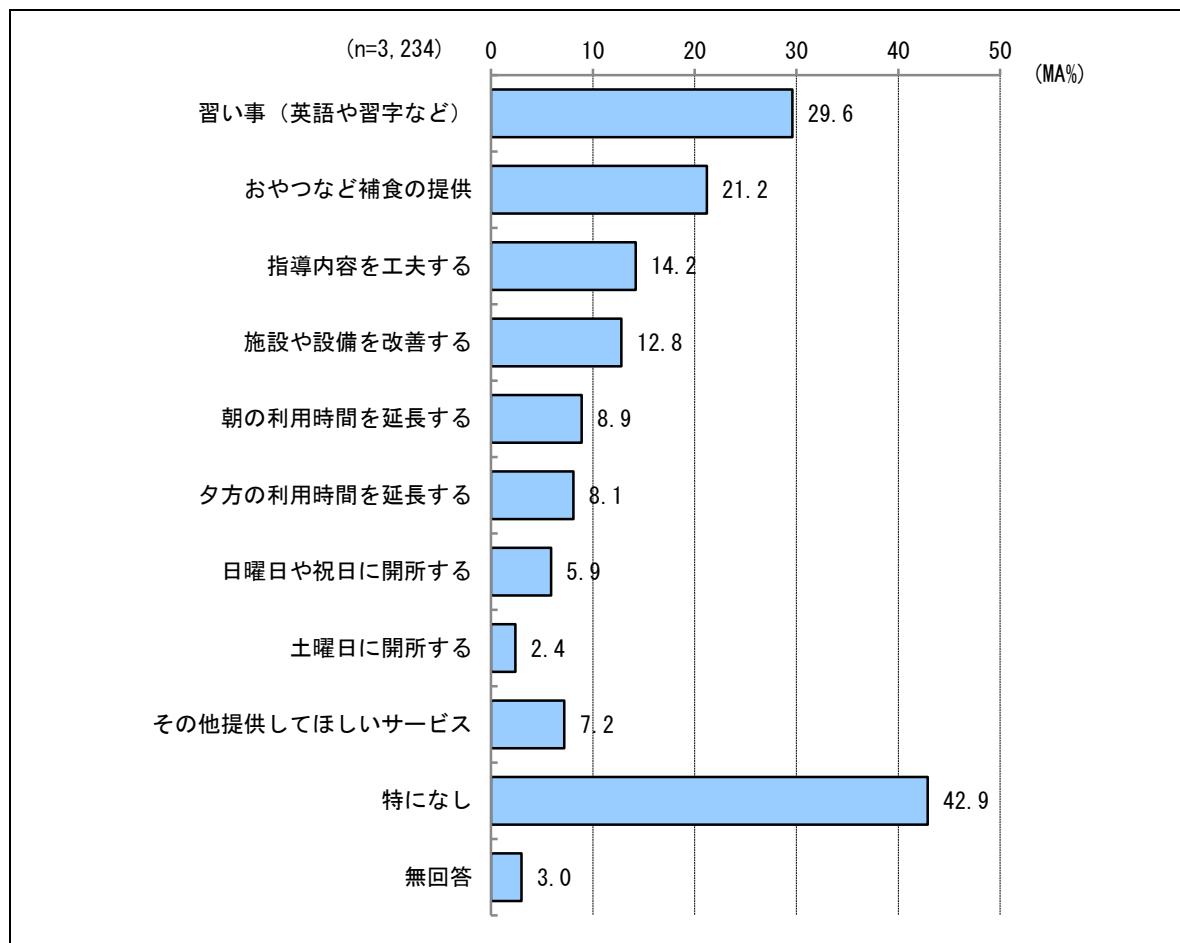


4 「放課後の居場所を提供する事業」に希望すること

問13-3 現在利用している事業にどのようなことを希望しますか。 (○はいくつでも)
希望するサービス内容及び負担するにあたり妥当と思う金額についてご記入ください。

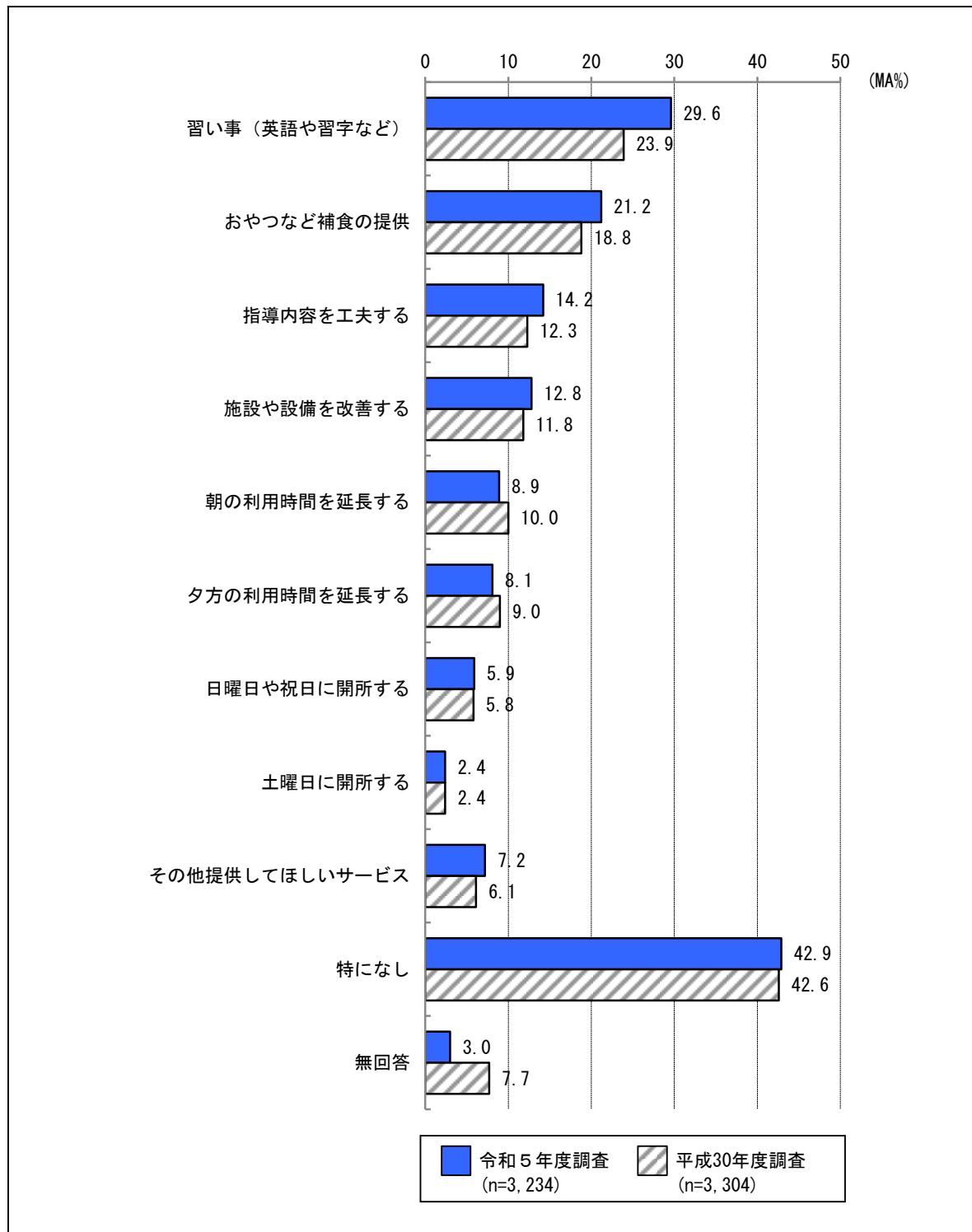
■ 「放課後の居場所を提供する事業」に希望することについては、「特になし」が42.9%で最も多くなっている。希望することがある人では、「習い事（英語や習字など）」が29.6%で最も多く、次いで「おやつなど補食の提供」が21.2%、「指導内容を工夫する」が14.2%となっている。

・「放課後の居場所を提供する事業」に希望すること



■平成30年度調査と比較すると、「習い事（英語や習字など）」が5.7ポイント、「おやつなど補食の提供」が2.4ポイント、「指導内容を工夫する」が1.9ポイント高くなっている。

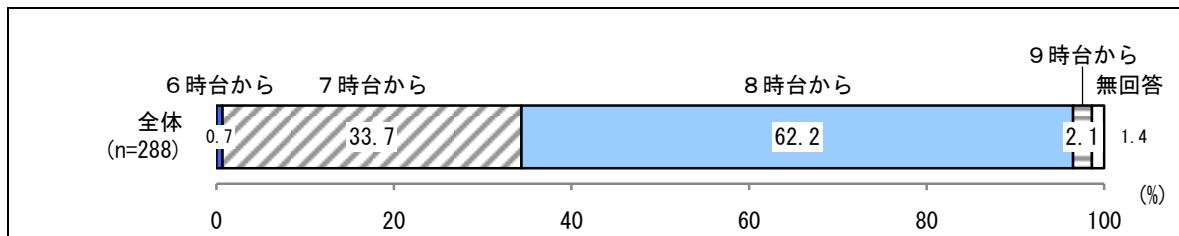
・「放課後の居場所を提供する事業」に希望すること【平成30年度調査との比較】



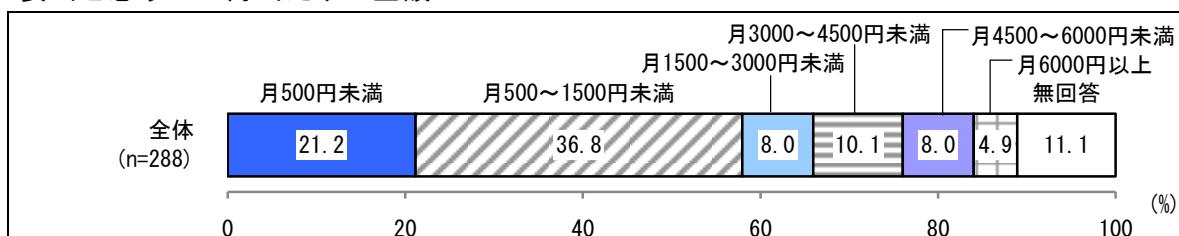
◆朝の利用に希望する延長時間帯と妥当と思う1か月当たりの金額

- 「朝の利用時間を延長する」と回答した人の希望する延長時間は、「8時台から」が62.2%で最も多く、次いで「7時台から」が33.7%となっている。
- 妥当と思う1か月当たりの金額は、「500～1,500円未満」が36.8%で最も多く、次いで「月500円未満」が21.2%となっており、平均は2,337円となっている。

・朝の利用に希望する延長時間



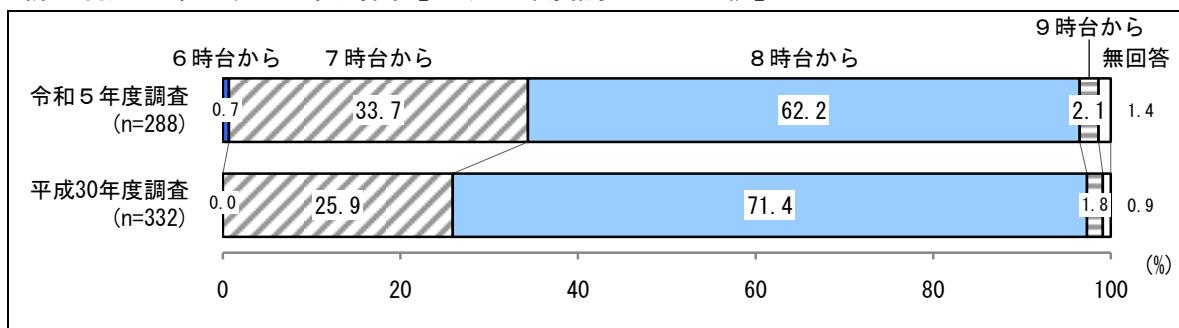
・妥当と思う1か月当たりの金額



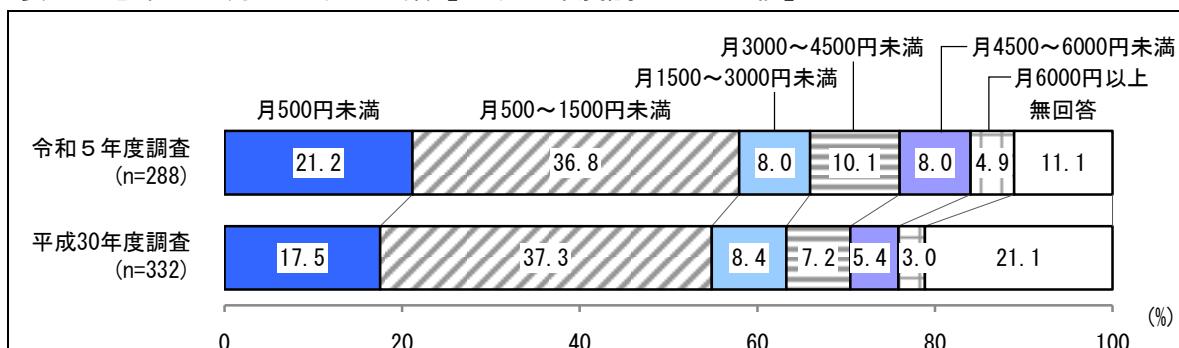
《平成30年度調査との比較》

- 希望する延長時間について、平成30年度調査と比較すると、「7時台から」が7.8ポイント高くなり、「8時台から」は9.2ポイント低くなっている。
- 妥当と思う1か月当たりの金額について、平成30年度調査と比較すると、「500円未満」が3.7ポイント、「3,000～4,500円未満」が2.9ポイント、「4,500～6,000円未満」が2.6ポイント、「6,000円以上」が1.9ポイント高くなっている。

・朝の利用に希望する延長時間【平成30年度調査との比較】



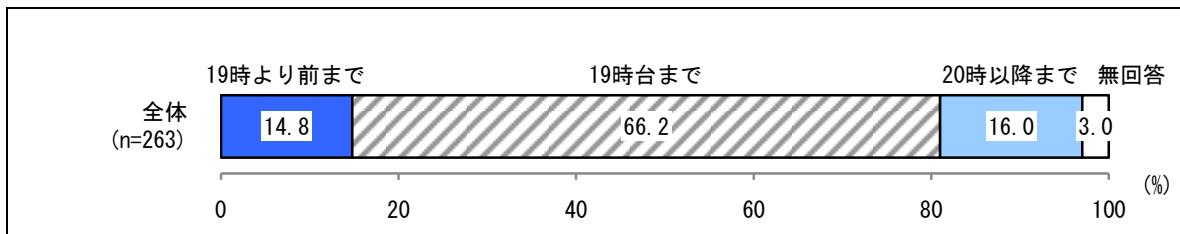
・妥当と思う1か月当たりの金額【平成30年度調査との比較】



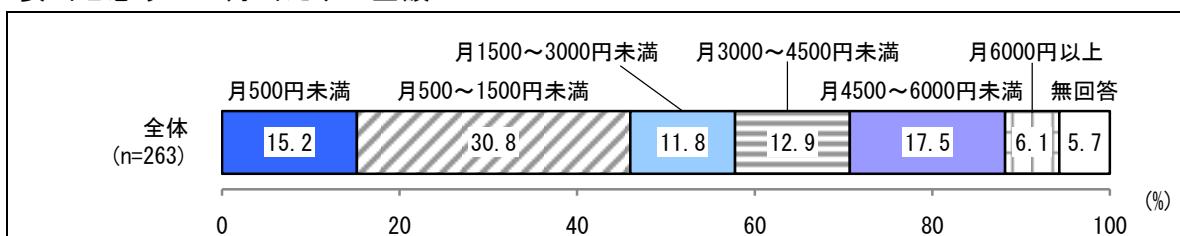
◆夕方の利用に希望する延長時間帯と妥当と思う1か月当たりの金額

- 「夕方の利用時間を延長する」と回答した人の希望する延長時間は、「19時台まで」が66.2%で最も多く、次いで「20時以降まで」が16.0%となっている。
- 妥当と思う1か月当たりの金額は、「500～1,500円未満」が30.8%で最も多く、次いで「4,500～6,000円未満」が17.5%となっており、平均は2,494円となっている。

・夕方の利用に希望する延長時間



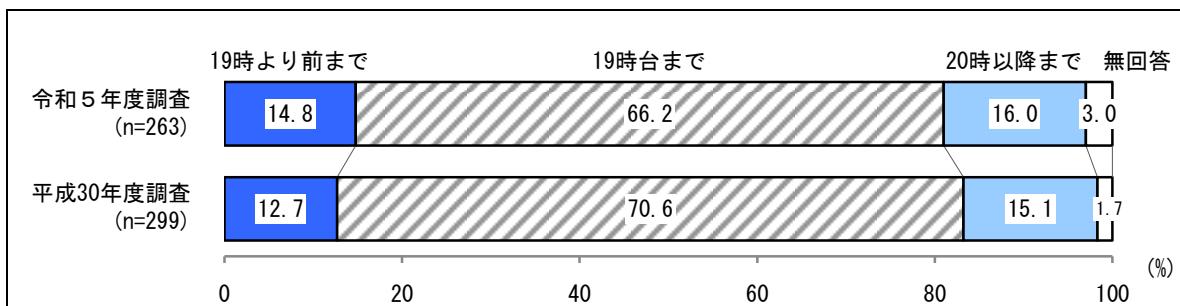
・妥当と思う1か月当たりの金額



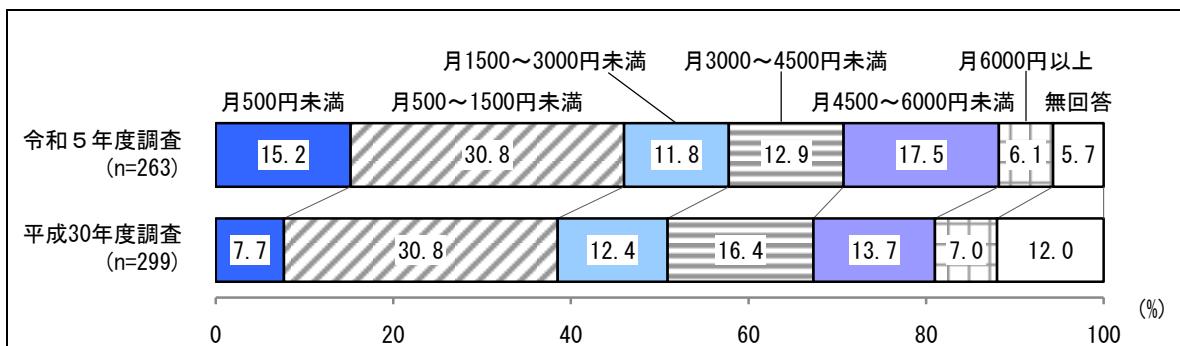
《平成30年度調査との比較》

- 希望する延長時間について、平成30年度調査と比較すると、「19時より前まで」が2.1ポイント高くなり、「19時台まで」は4.4ポイント低くなっている。
- 妥当と思う1か月当たりの金額について、平成30年度調査と比較すると、「500円未満」が7.5ポイント、「4,500～6,000円未満」が3.8ポイント高くなり、「3,000～4,500円未満」は3.5ポイント低くなっている。

・夕方の利用に希望する延長時間【平成30年度調査との比較】



・妥当と思う1か月当たりの金額【平成30年度調査との比較】

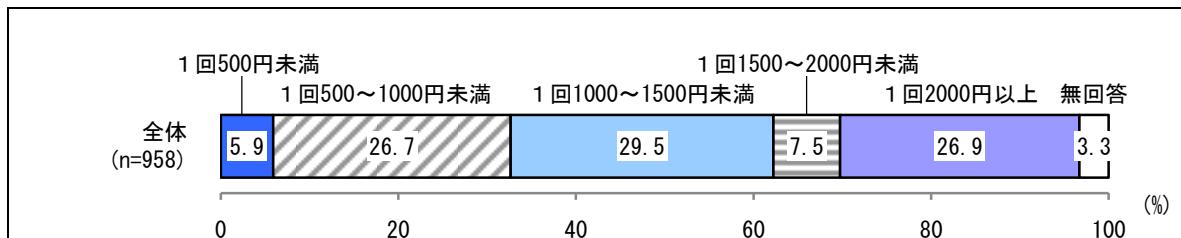


◆習い事の妥当と思う1回当たりの金額

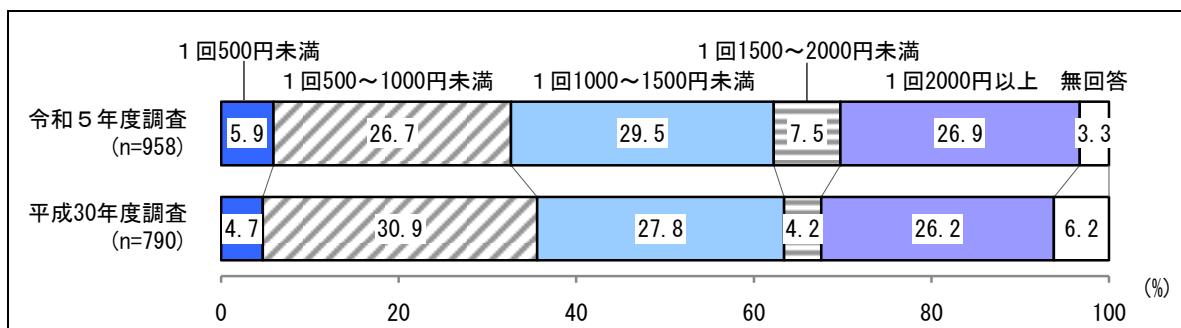
■「習い事」と回答した人の妥当と思う1回当たりの金額は、「1,000～1,500円未満」が29.5%で最も多く、次いで「500～1,000円未満」が26.7%となっており、平均は1,578円となっている。

■平成30年度調査と比較すると、「1,500～2,000円未満」が3.3ポイント高くなり、「500～1,000円未満」は4.2ポイント低くなっている。

・習い事の妥当と思う1回当たりの金額



・習い事の妥当と思う1回当たりの金額【平成30年度調査との比較】

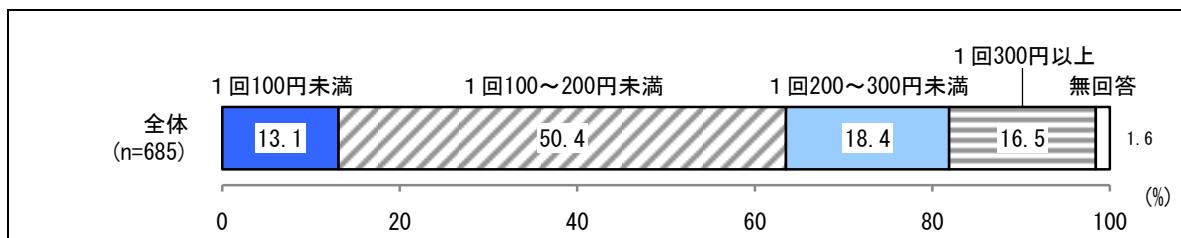


◆おやつなど補食を提供する1回当たりの金額

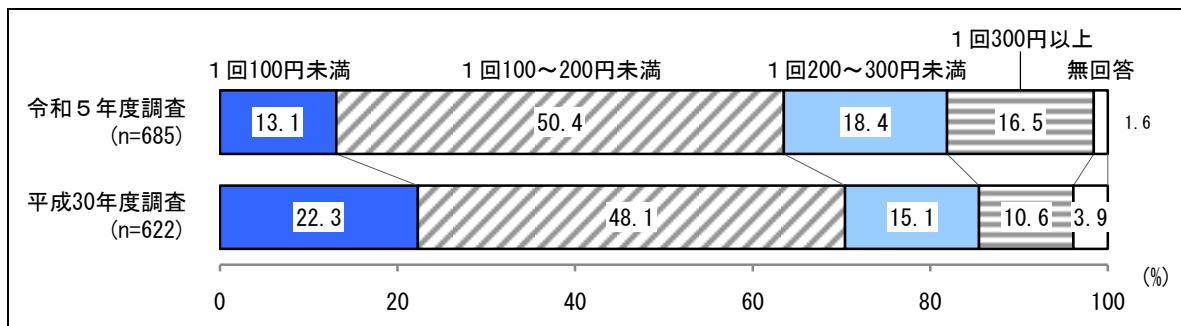
■「おやつなど捕食の提供」と回答した人の1回当たりの金額は、「100～200円未満」が50.4%で最も多く、次いで「200～300円未満」が18.4%となっており、平均は158円となっている。

■平成30年度調査と比較すると、「300円以上」が5.9ポイント、「200～300円未満」が3.3ポイント高くなり、「100円未満」は9.2ポイント低くなっている。

・おやつなど補食を提供する1回当たりの金額



・おやつなど補食を提供する1回当たりの金額【平成30年度調査との比較】

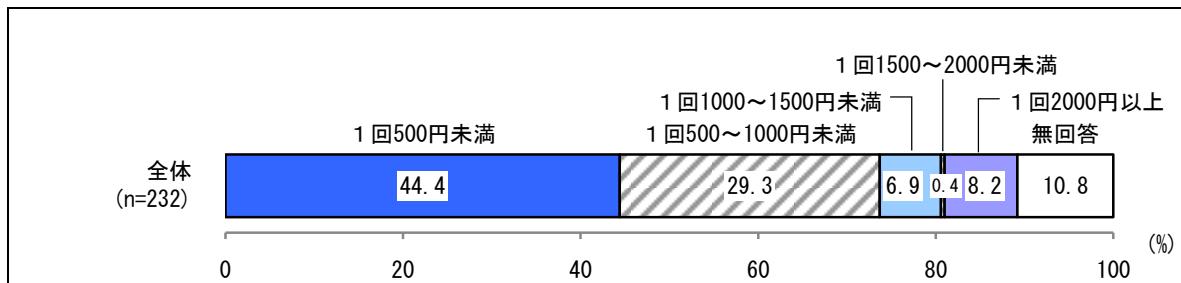


◆その他提供してほしいサービスの妥当と思う1回当たりの金額

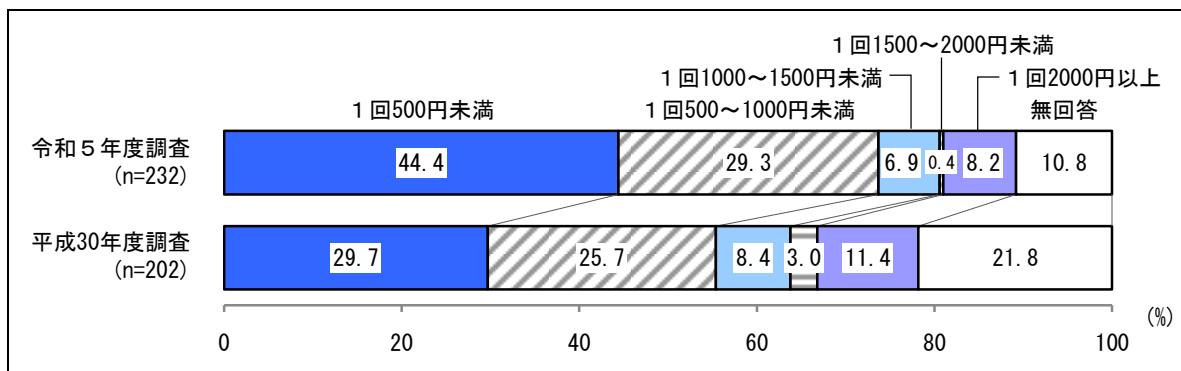
■「その他提供してほしいサービス」と回答した人の1回当たりの金額は、「500円未満」が44.4%で最も多く、次いで「500～1,000円未満」が29.3%となっており、平均は888円となっている。

■平成30年度調査と比較すると、「500円未満」が14.7ポイント、「500～1,000円未満」が3.6ポイント高くなり、「2,000円以上」は3.2ポイント低くなっている。

・その他提供してほしいサービスの妥当と思う1回当たりの金額



・その他提供してほしいサービスの妥当と思う1回当たりの金額【平成30年度調査との比較】



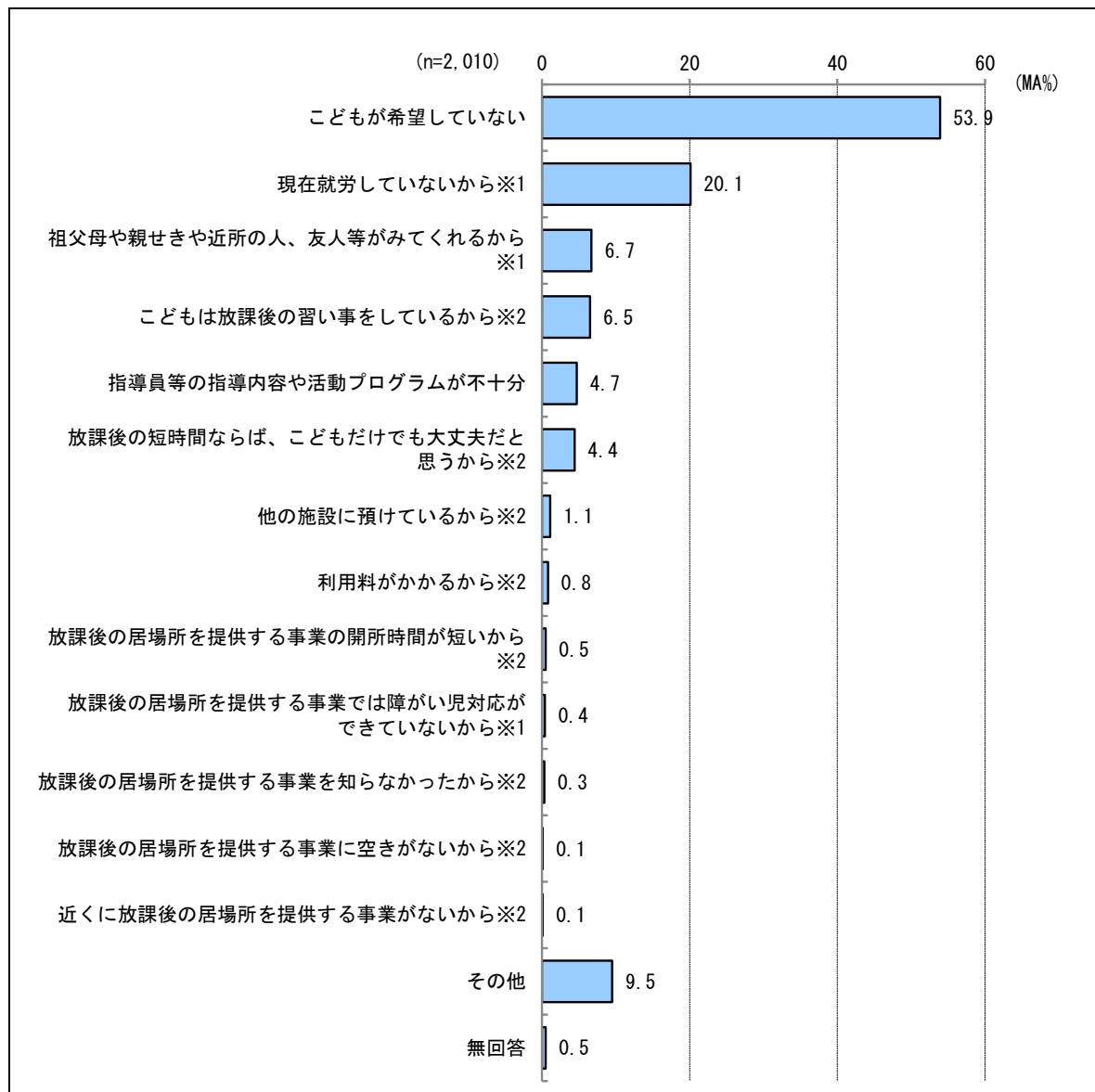
5 「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない理由

問13で「利用していない」を選んだ方におうかがいします。

問13-4 利用していない最大の理由は何ですか。 (○は1つ)

■「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない理由は、「子どもが希望していない」が53.9%で最も多く、次いで「(保護者が) 現在就労していないから」が20.1%、「祖父母や親せきや近所の人、友人等がみてくれるから」が6.7%、「(保護者は就労中しているが) こどもは放課後の習い事をしているから」が6.5%となっている。

・「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない理由

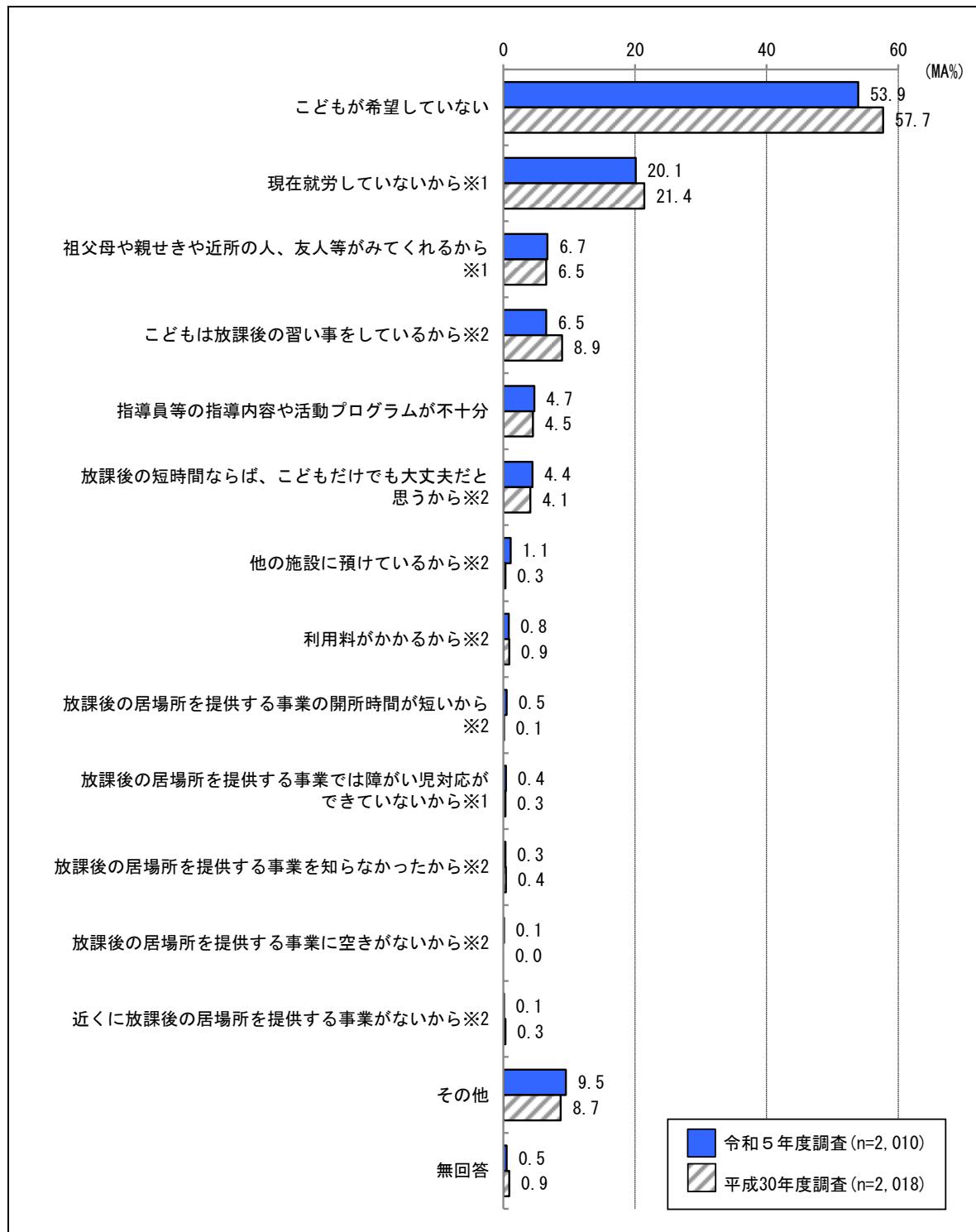


※1 は「子どもの身の回りの世話を主にしている方」について

※2 は「子どもの身の回りの世話を主にしている方で就労している方」について

- 平成30年度調査と比較すると、「こどもが希望していない」が3.8ポイント、「(保護者は就労しているが) こどもは放課後の習い事をしているから」が2.4ポイント、「(保護者が) 現在就労していないから」が1.3ポイント低くなっている。

・「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない理由【平成30年度調査との比較】



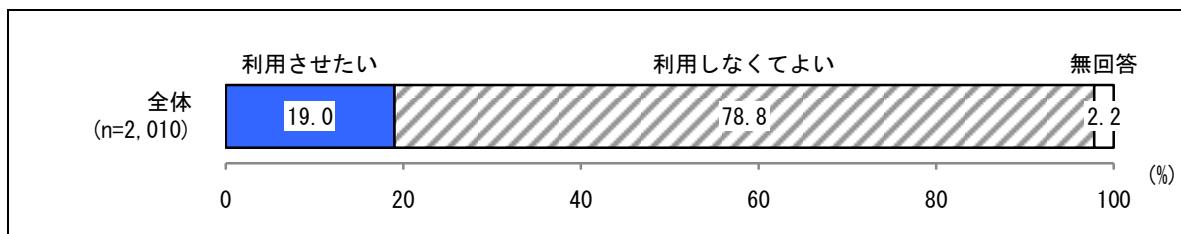
6 「放課後の居場所を提供する事業」を利用していない人の今後の利用希望

問13で「利用していない」を選んだ方におうかがいします

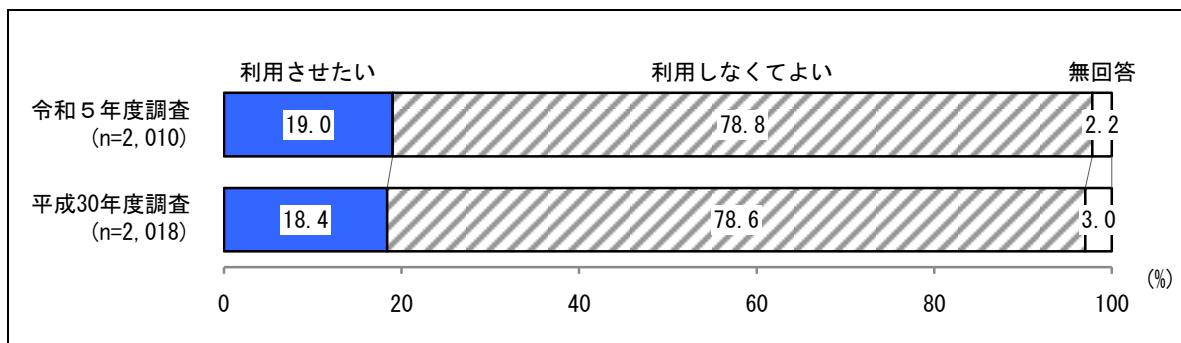
問13-5 あて名のお子さんに、今後「放課後の居場所を提供する事業」を利用させたいとお考えですか。 (○は1つ)

- 「放課後の居場所を提供する事業を利用していない」と回答した人に、今後の利用希望についてたずねると、「利用させたい」が19.0%、「利用しなくてよい」が78.8%となっている。
- 平成30年度調査と比較しても、大きな差はみられない。

・事業未利用者の今後の利用希望



・事業未利用者の今後の利用希望【平成30年度調査との比較】



7 「放課後の居場所を提供する事業」の利用を希望する頻度と時間帯

問13-5で「利用させたい」を選んだ方におうかがいします。

問13-6（1）～（3）の各事業について、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日のそれぞれで、利用を希望する頻度と時間帯をご記入ください。（それぞれ○は1つ）

※時間帯は「16：00」のように24時間制でご記入ください。

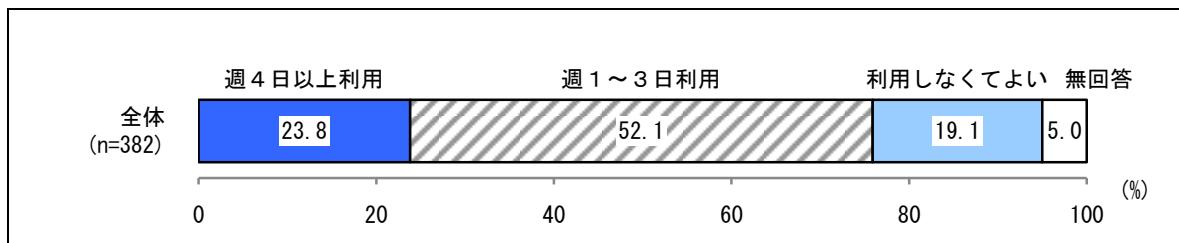
※事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

（1）児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）

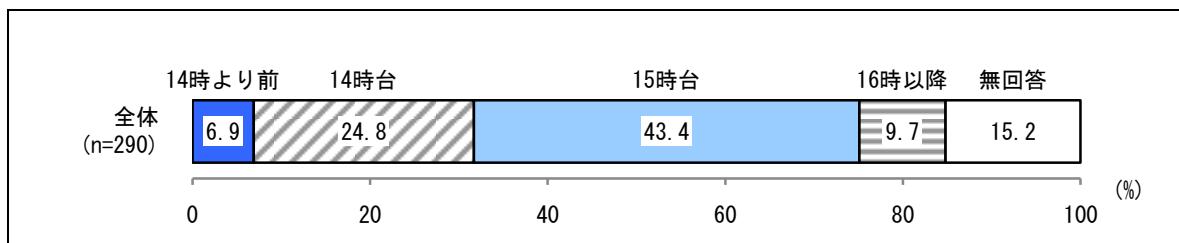
①平日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望

- 平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度は、「週1～3日利用」が52.1%で最も多く、次いで「週4日以上利用」が23.8%となっており、両者をあわせた『利用したい』は75.9%となっている。
- 平日に希望する利用開始時間は、「15時台」が43.4%で最も多く、次いで「14時台」が24.8%、「16時以降」が9.7%となっている。
- 平日に希望する利用終了時間は、「17時台」が41.4%で最も多く、次いで「18時台」が20.7%、「16時台」が14.5%となっている。

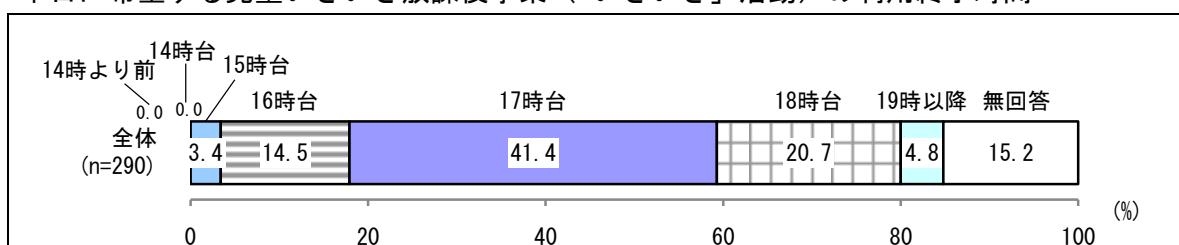
・平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度



・平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間



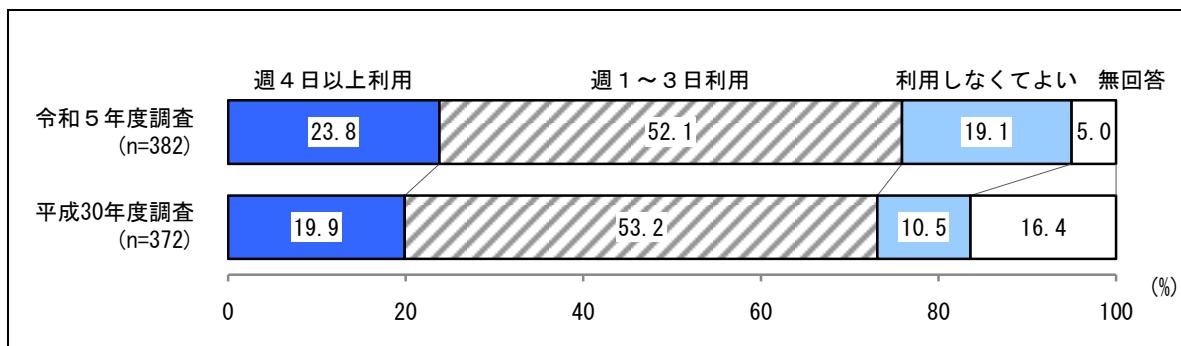
・平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間



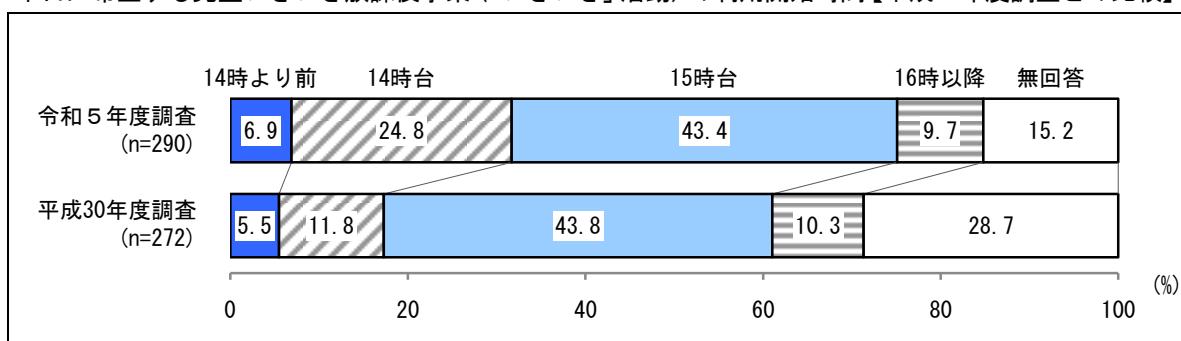
《平成30年度調査との比較》

- 平日の希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が3.9ポイント高くなっている。
- 平日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時台」が13.0ポイント高くなっている。
- 平日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が5.4ポイント、「16時台」が4.2ポイント、「15時台」が2.7ポイント高くなっている。

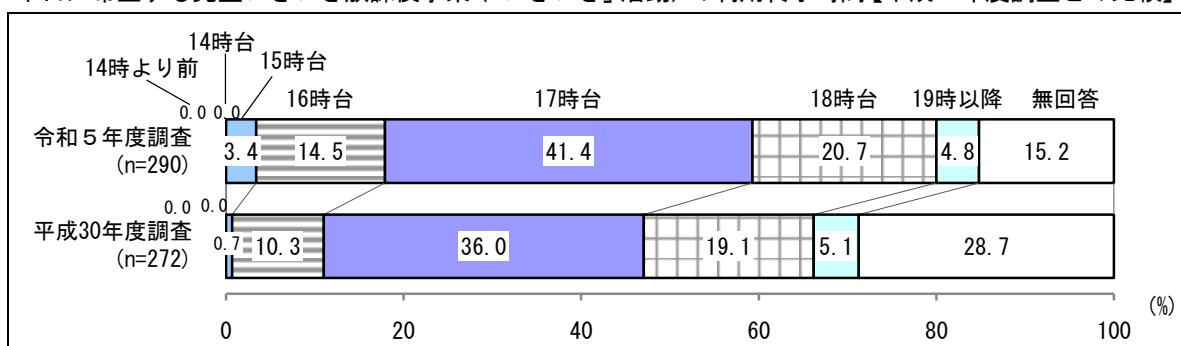
・平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



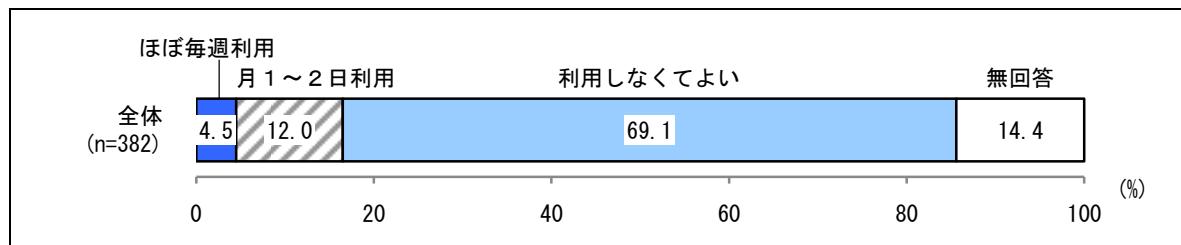
・平日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



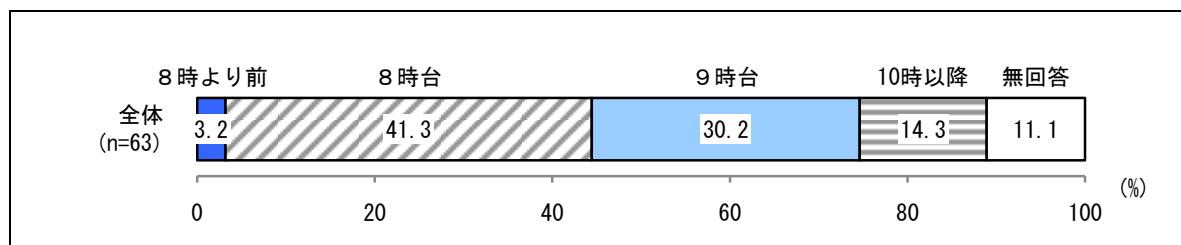
②土曜日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望

- 土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度は、「利用しなくてよい」が69.1%で最も多くなっている。利用したい人では、「月1～2日利用」が12.0%、「ほぼ毎週利用」が4.5%となっており、両者をあわせた『利用したい』は16.5%となっている。
- 土曜日に希望する利用開始時間は、「8時台」が41.3%で最も多く、次いで「9時台」が30.2%、「10時以降」が14.3%となっている。
- 土曜日に希望する利用終了時間は、「17時台」が28.6%で最も多く、次いで「18時台」が22.2%、「15時台」が14.3%となっている。

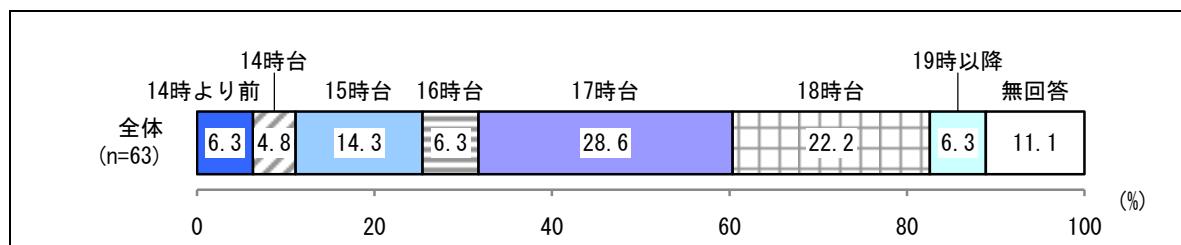
・土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度



・土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間



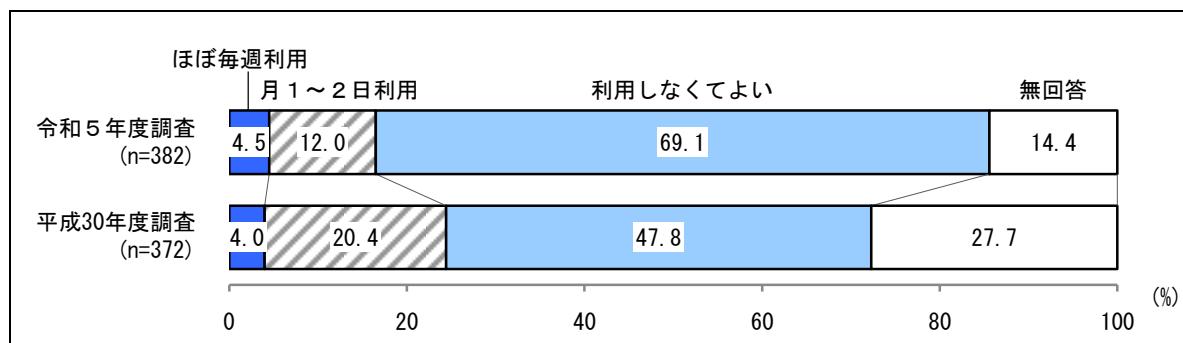
・土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間



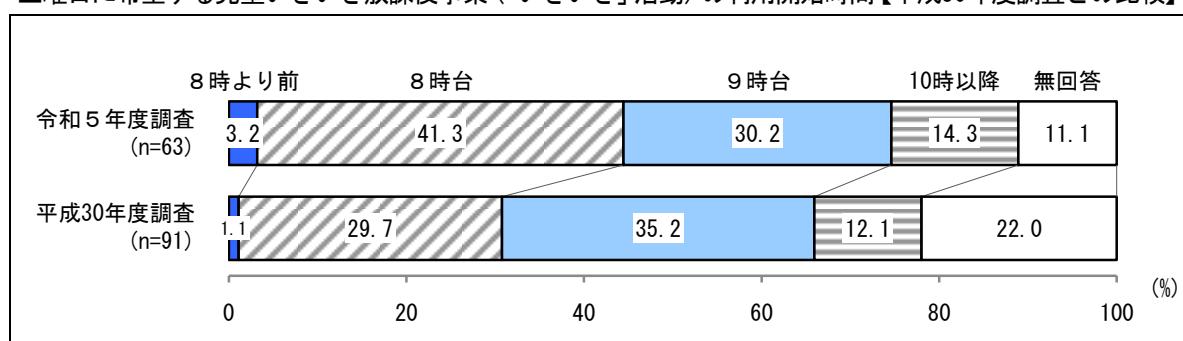
『平成30年度調査との比較』

- 土曜日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「月1～2日利用」が8.4ポイント低くなっている。
- 土曜日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が11.6ポイント高くなり、「9時台」は5.0ポイント低くなっている。
- 土曜日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が5.5ポイント、「18時台」が4.6ポイント、「14時台」が3.7ポイント高くなり、「14時より前」は4.7ポイント低くなっている。

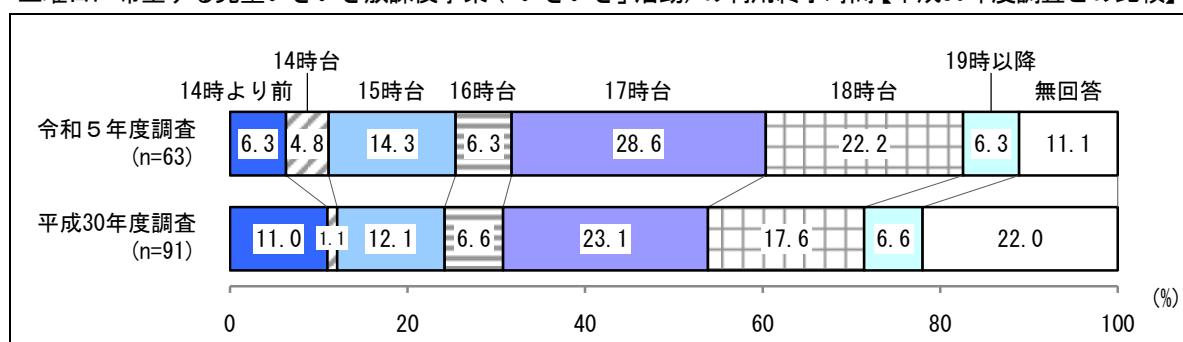
・土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



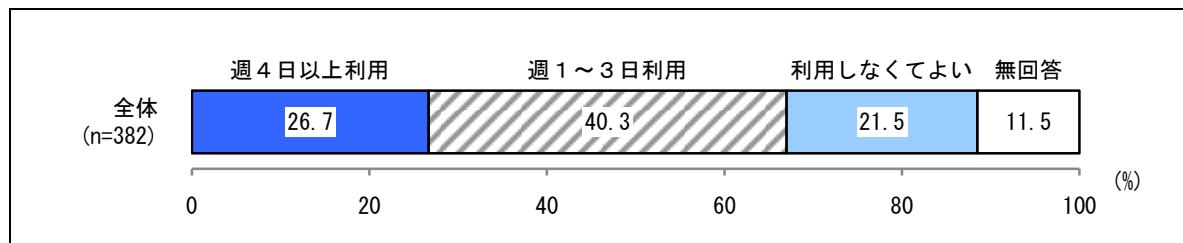
・土曜日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



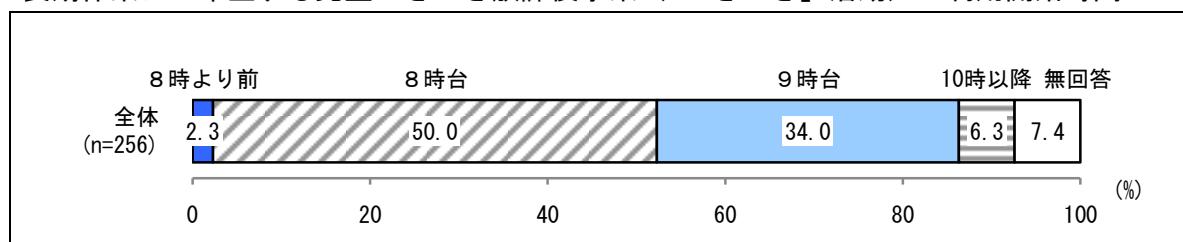
③長期休業日の児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用希望

- 長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度は、「週1～3日利用」が40.3%で最も多く、次いで「週4日以上利用」が26.7%となっており、両者をあわせた『利用したい』は67.0%となっている。
- 長期休業日に希望する利用開始時間は、「8時台」が50.0%で最も多く、次いで「9時台」が34.0%、「10時以降」が6.3%となっている。
- 長期休業日に希望する利用終了時間は、「17時台」が26.2%で最も多く、次いで「15時台」が18.4%、「16時台」が17.6%となっている。

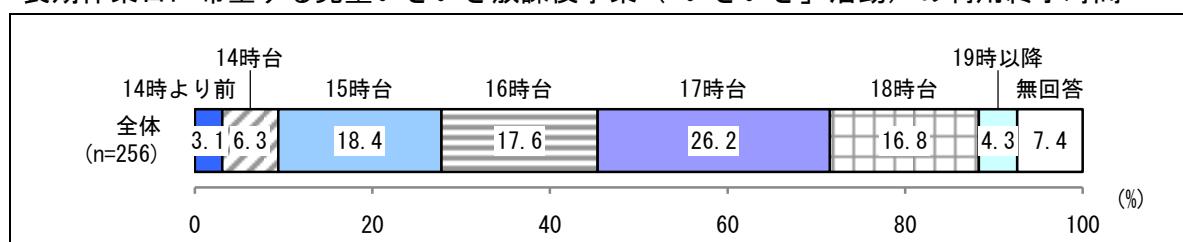
・長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度



・長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間



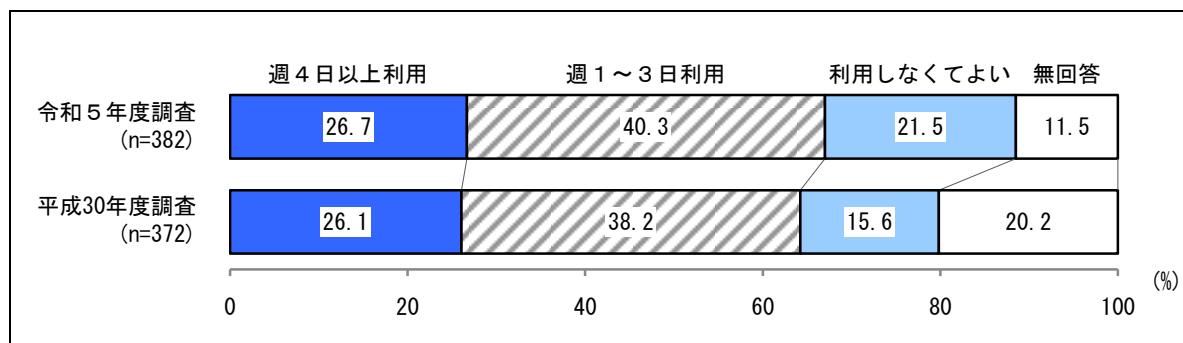
・長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間



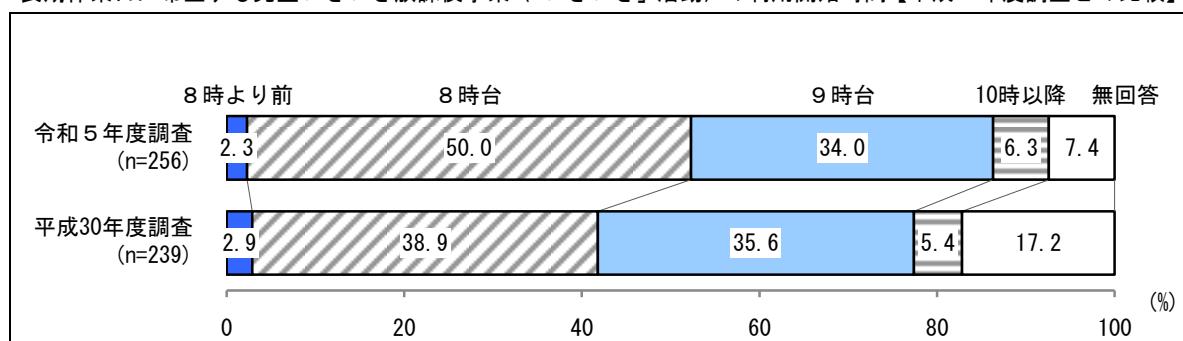
『平成30年度調査との比較』

- 長期休業日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「週1～3日利用」が2.1ポイント高くなり、『利用したい』は2.7ポイント高くなっている。
- 長期休業日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が11.1ポイント高くなっている。
- 長期休業日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「16時台」が6.3ポイント、「14時台」が3.4ポイント高くなり、「14時より前」は2.8ポイント低くなっている。

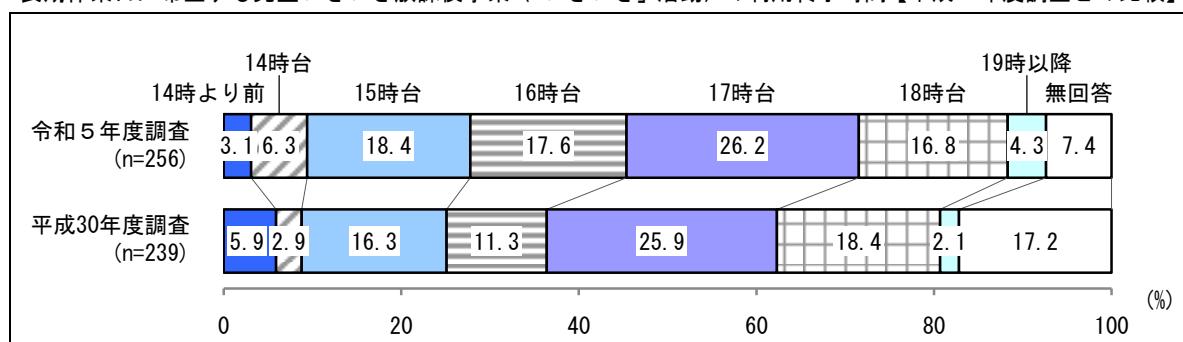
・長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・長期休業日に希望する児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】

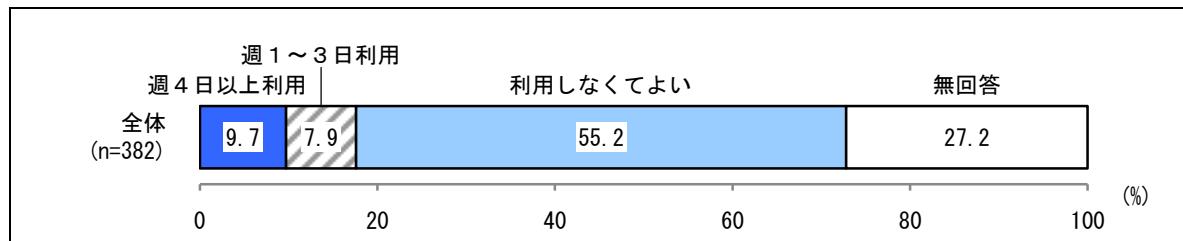


(2) 留守家庭児童対策事業（学童保育）

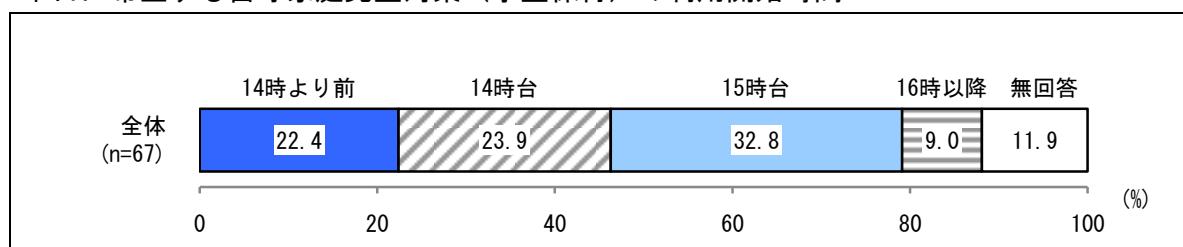
②平日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望

- 平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度は、「利用しなくてよい」が55.2%で最も多くなっている。利用したい人では、「週4日以上利用」が9.7%、「週1～3日利用」が7.9%となっており、両者をあわせた『利用したい』は17.6%となっている。
- 平日に希望する利用開始時間は、「15時台」が32.8%で最も多く、次いで「14時台」が23.9%、「14時より前」が22.4%となっている。
- 平日に希望する利用終了時間は、「17時台」と「18時台」がともに31.3%で最も多く、次いで「19時以降」が13.4%となっている。

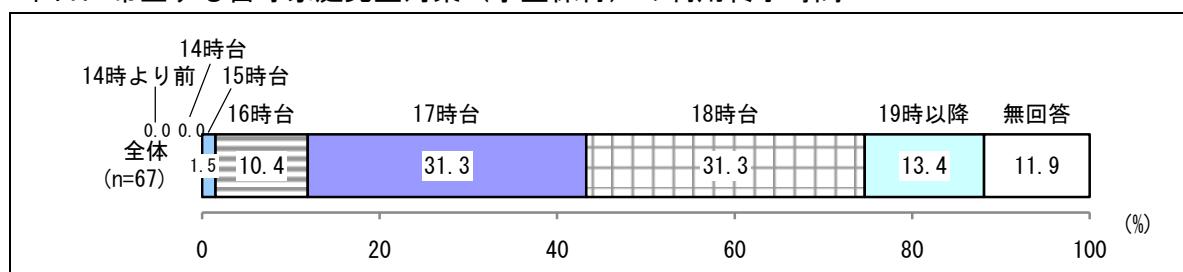
・平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度



・平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間



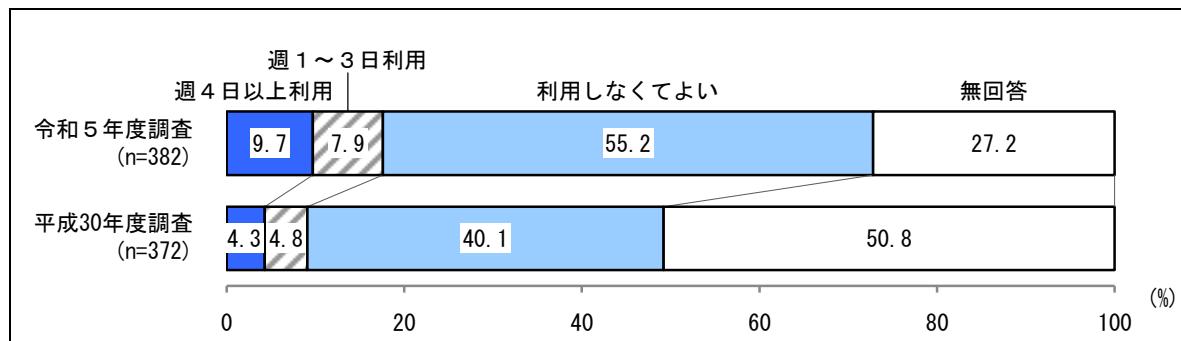
・平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間



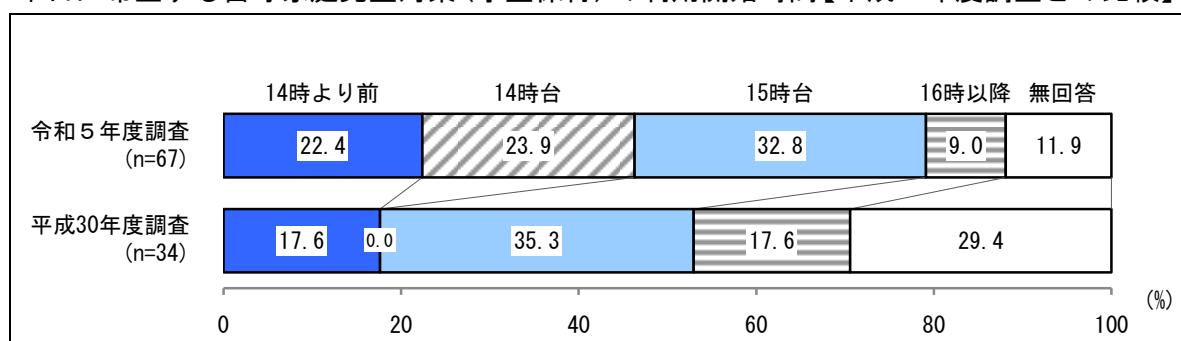
『平成30年度調査との比較』

- 平日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が5.4ポイント、「週1～3日利用」が3.1ポイント高くなり、両者をあわせた『利用したい』は8.5ポイント高くなっている。
- 平日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時台」が23.9ポイント、「14時より前」が4.8ポイント高くなり、「16時以降」は8.6ポイント低くなっている。
- 平日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が13.7ポイント、「16時台」が7.5ポイント高くなり、「19時以降」は7.2ポイント低くなっている。

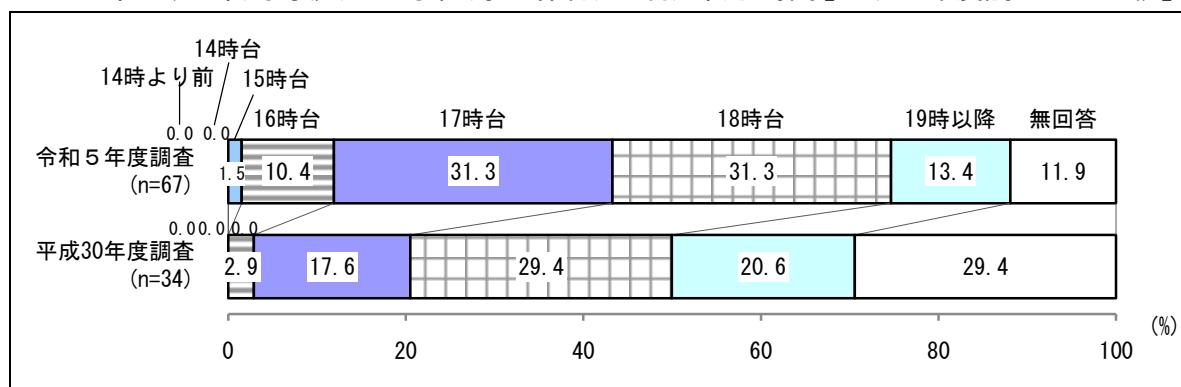
・平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



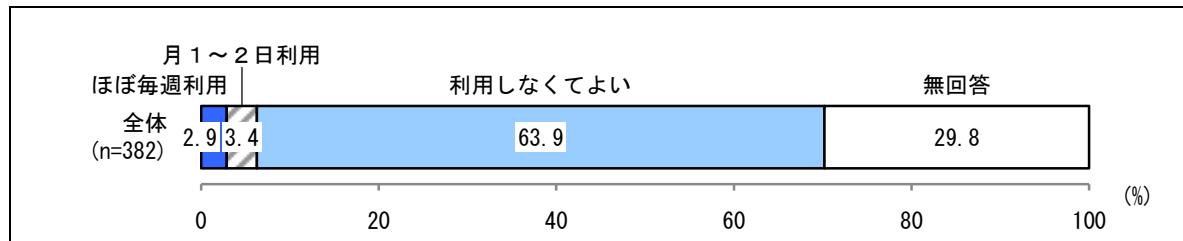
・平日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



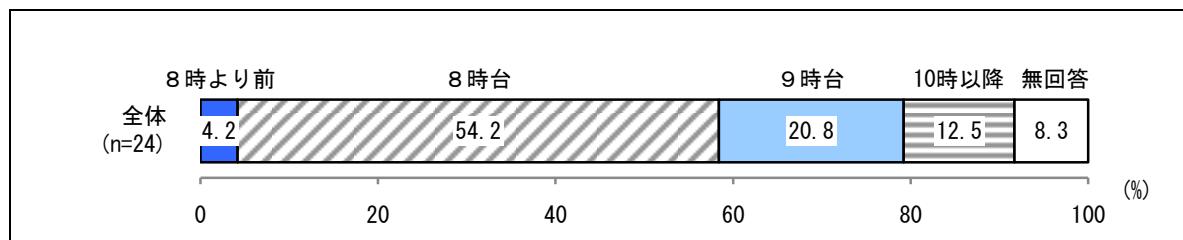
②土曜日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望

- 土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度は、「利用しなくてよい」が63.9%で最も多くなっている。利用したい人では、「月1～2日利用」が3.4%、「ほぼ毎週利用」が2.9%となっており、両者をあわせた『利用したい』は6.3%となっている。
- 土曜日に希望する利用開始時間は、「8時台」が54.2%で最も多く、次いで「9時台」が20.8%となっている。
- 土曜日に希望する利用終了時間は、「18時台」が37.5%で最も多く、次いで「17時台」と「19時以降」がともに16.7%となっている。

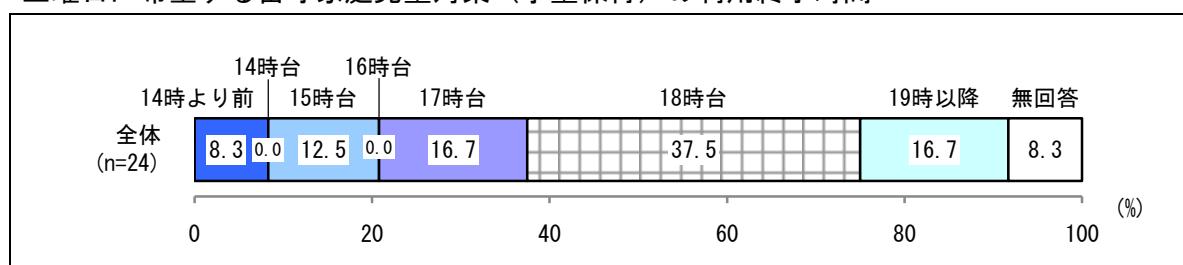
・土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度



・土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間



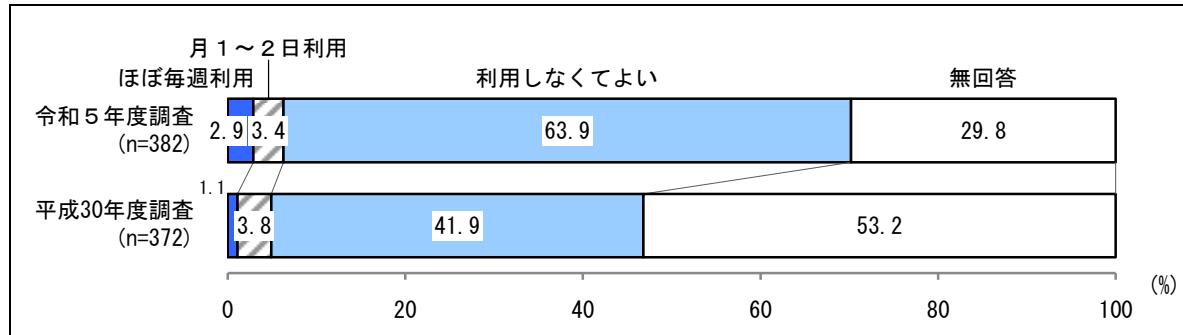
・土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間



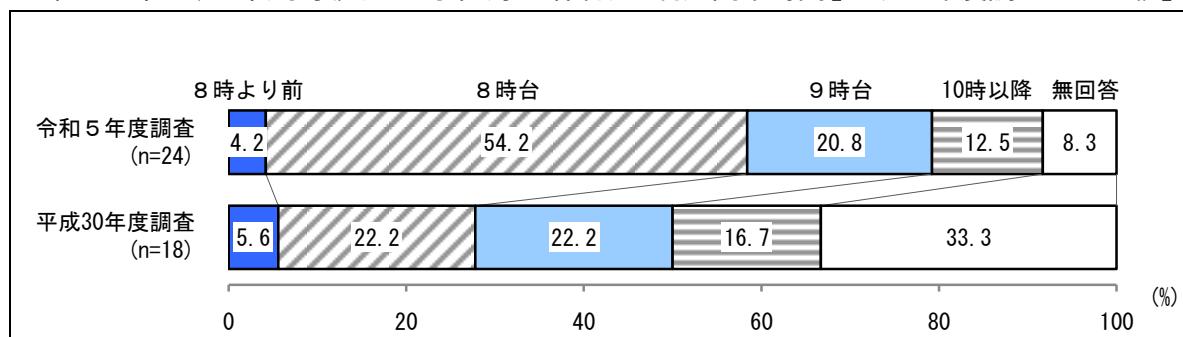
『平成30年度調査との比較』

- 土曜日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎週利用」が1.8ポイント高くなり、「利用したい」は1.4ポイント高くなっている。
- 土曜日に希望する利用開始時間はについて、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が32.0ポイント高くなり、「10時以降」は4.2ポイント低くなっている。
- 土曜日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「18時台」が10.8ポイント、「14時より前」が8.3ポイント、「15時台」が6.9ポイント高くなり、「17時台」と「19時以降」はともに5.5ポイント低くなっている。

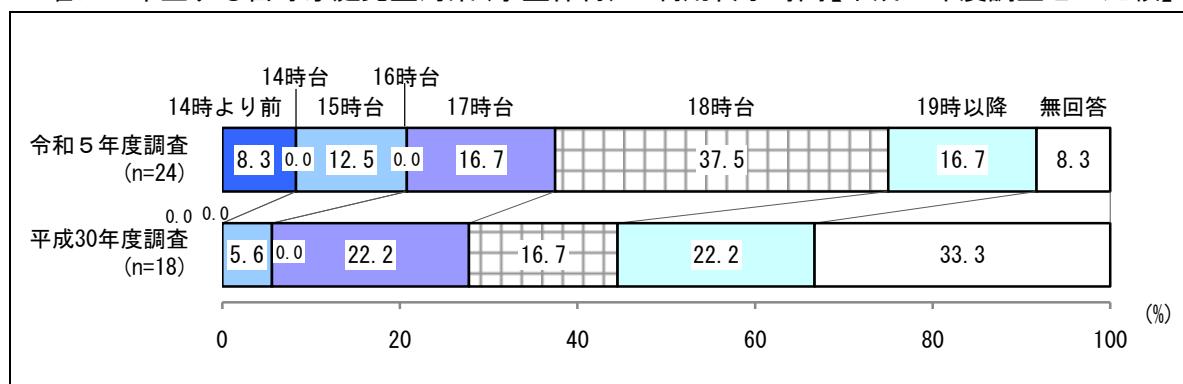
・土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



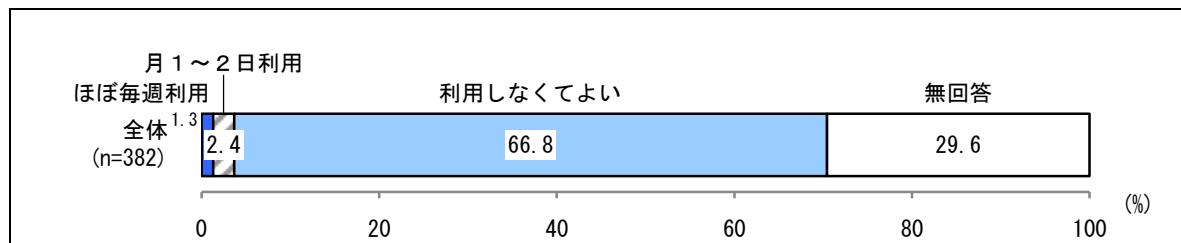
・土曜日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



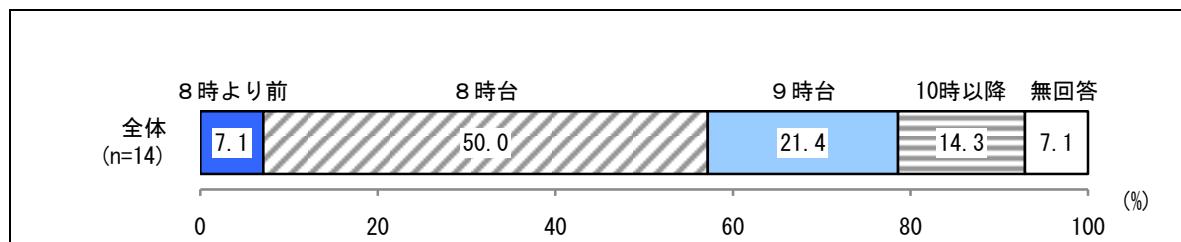
③日曜日・祝日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望

- 日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度は、「利用しなくてよい」が66.8%で最も多くなっている。利用したい人では、「月1～2日利用」が2.4%、「ほぼ毎週利用」が1.3%となっており、両者をあわせた『利用したい』は3.7%となっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用開始時間は、「8時台」が50.0%で最も多く、次いで「9時台」が21.4%となっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用終了時間は、「17時台」が35.7%で最も多く、次いで「19時以降」が28.6%となっている。

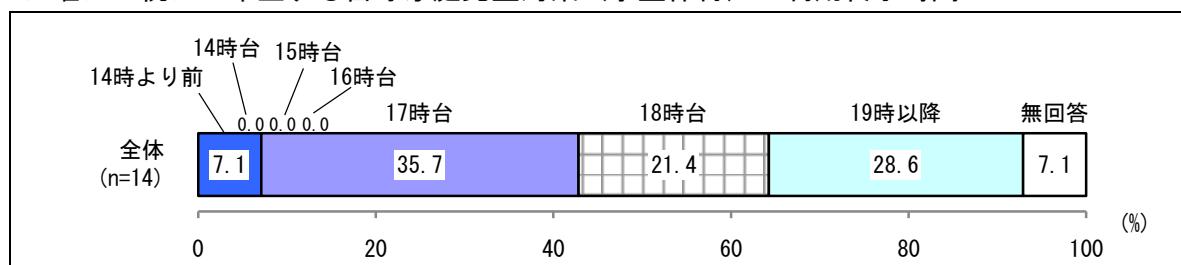
・日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度



・日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間



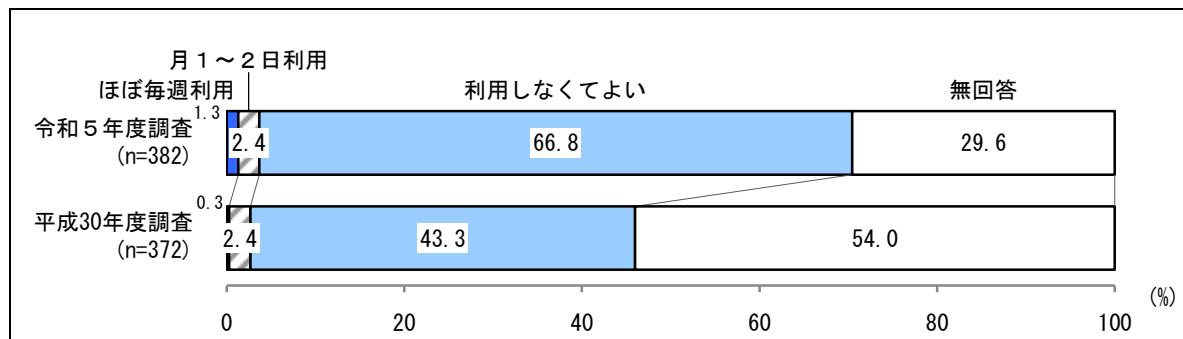
・日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間



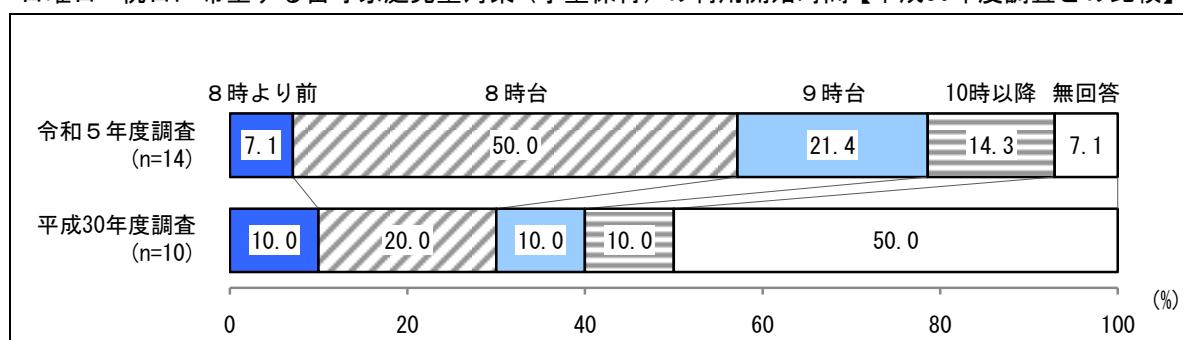
《平成30年度調査との比較》

- 日曜日・祝日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「ほぼ毎週利用」が1.0ポイント高くなっている、「月1～2日利用」に変化はみられない。
- 日曜日・祝日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が30.0ポイント、「9時台」が11.4ポイント、「10時以降」が4.3ポイント高くなっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が25.7ポイント、「19時以降」が8.6ポイント、「14時より前」が7.1ポイント高くなっている。

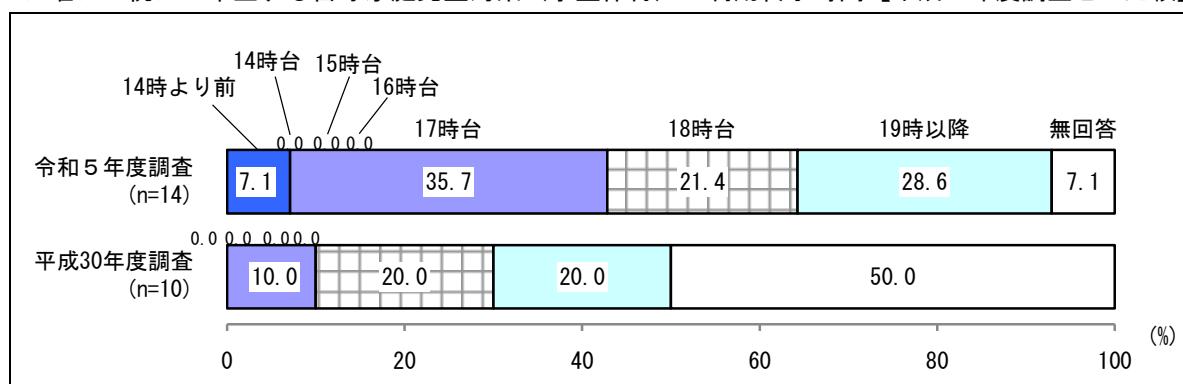
・日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



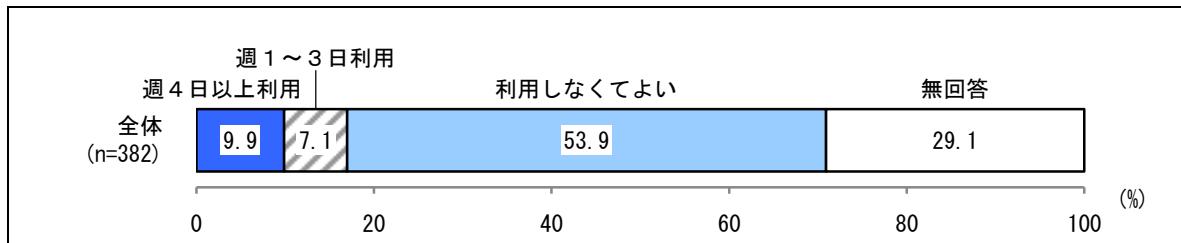
・日曜日・祝日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間【平成30年度調査との比較】



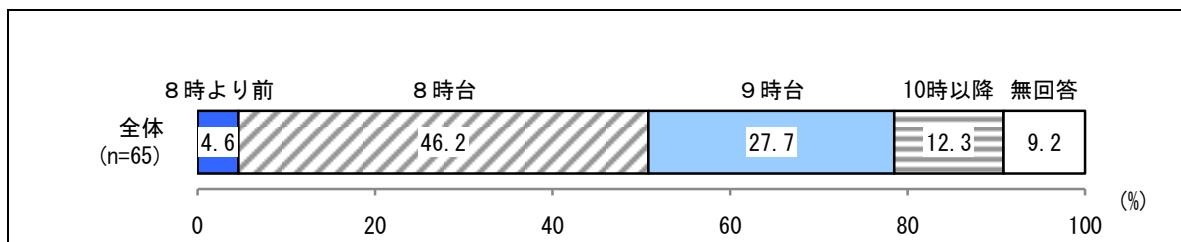
④長期休業日の留守家庭児童対策事業（学童保育）の利用希望

- 長期休業日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度は、「利用しなくてよい」が53.9%で最も多くなっている。利用したい人では、「週4日以上利用」が9.9%、「週1～3日利用」が7.1%となっており、両者をあわせた『利用したい』は17.0%となっている。
- 長期休業日に希望する利用開始時間は、「8時台」が46.2%で最も多く、次いで「9時台」が27.7%、「10時以降」が12.3%となっている。
- 長期休業日に希望する利用終了時間は、「17時台」が27.7%で最も多く、次いで「18時台」が21.5%、「16時台」が13.8%となっている。

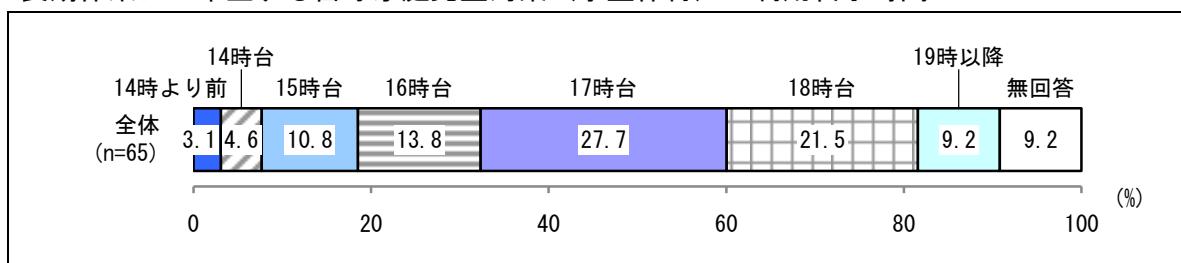
・長期休業日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用頻度



・長期休業日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用開始時間



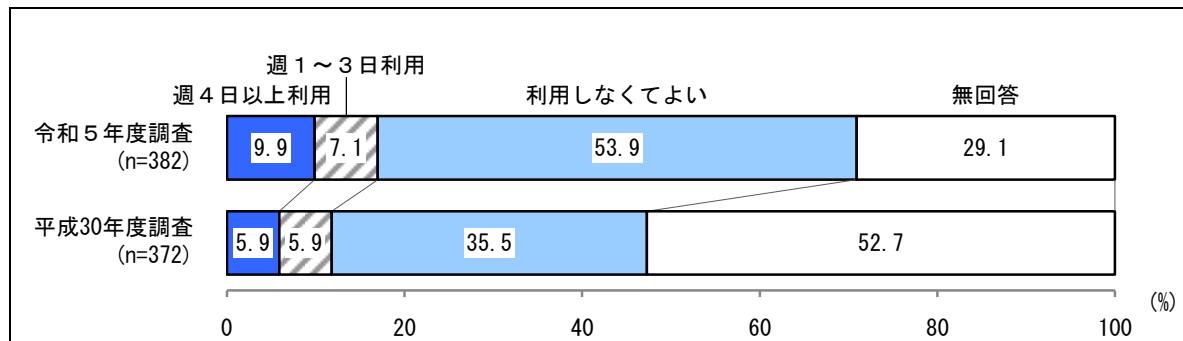
・長期休業日に希望する留守家庭児童対策（学童保育）の利用終了時間



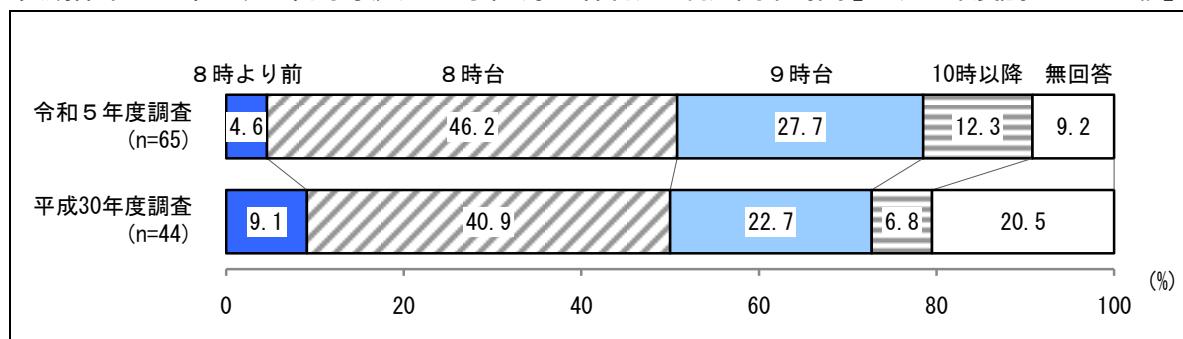
『平成30年度調査との比較』

- 長期休業日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が4.0ポイント、「週1～3日利用」が1.2ポイント高くなり、両者をあわせた『利用したい』は5.2ポイント高くなっている。
- 長期休業日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「10時以降」が5.5ポイント、「8時台」が5.3ポイント、「9時台」が5.0ポイント高くなり、「8時より前」は4.5ポイント低くなっている。
- 長期休業日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が11.8ポイント、「16時台」が4.7ポイント高くなり、「18時台」は5.8ポイント低くなっている。

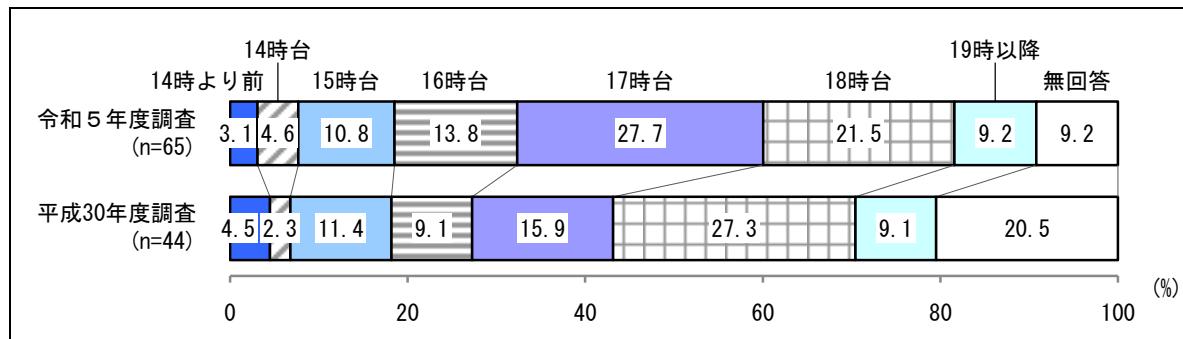
・長期休業日に希望する留守家庭児童対策(学童保育)の利用頻度【平成30年度調査との比較】



・長期休業日に希望する留守家庭児童対策(学童保育)の利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・長期休業日に希望する留守家庭児童対策(学童保育)の利用終了時間【平成30年度調査との比較】

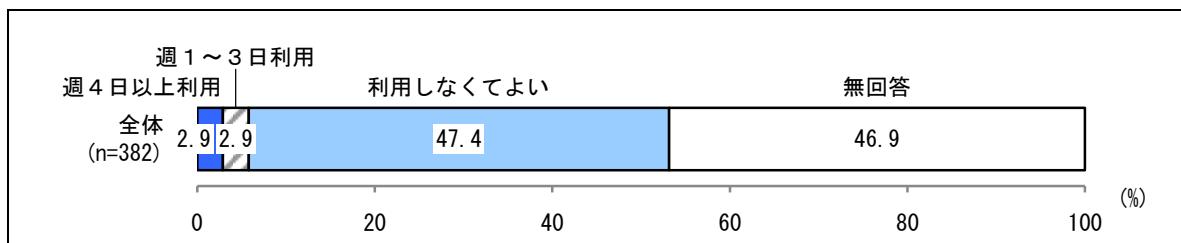


(3) その他の事業・サービス

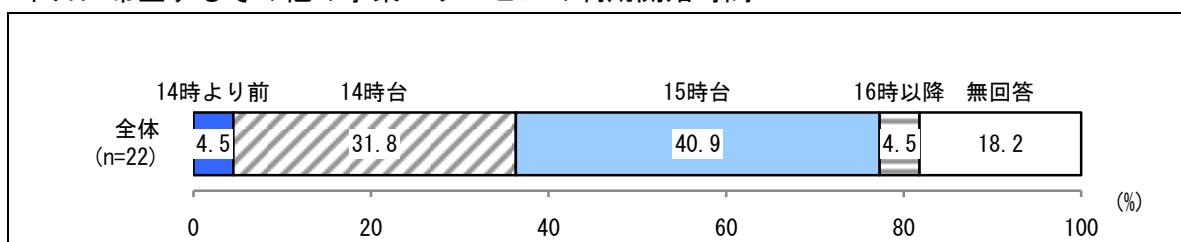
①平日のその他の事業・サービスの利用希望

- 平日に希望する他の事業・サービスの利用頻度は、「利用しなくてよい」が47.4%で最も多くなっている。利用したい人では、「週4日以上利用」と「週1～3日利用」がともに2.9%となっており、両者をあわせた『利用したい』は5.8%となっている。
- 平日に希望する利用開始時間は、「15時台」が40.9%で最も多く、次いで「14時台」が31.8%となっている。
- 平日に希望する利用終了時間は、「17時台」が31.8%で最も多く、次いで「18時台」が22.7%となっている。

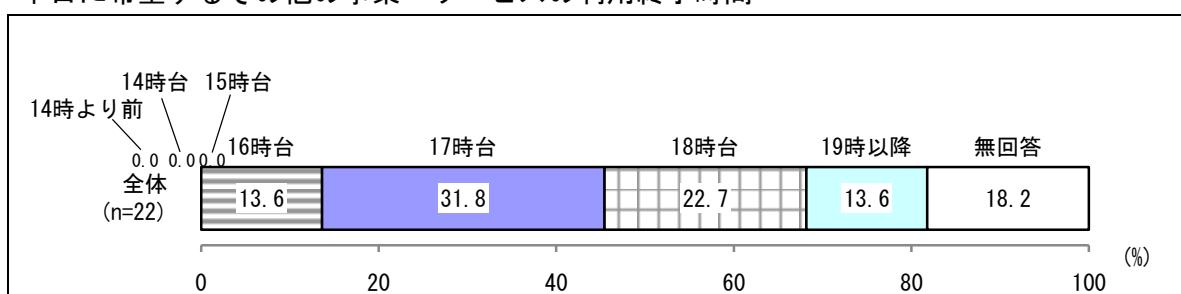
・平日に希望する他の事業・サービスの利用頻度



・平日に希望する他の事業・サービスの利用開始時間



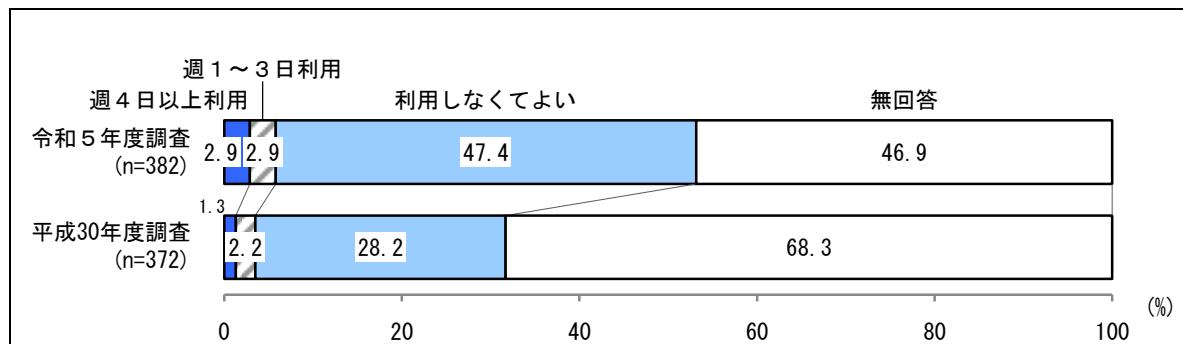
・平日に希望する他の事業・サービスの利用終了時間



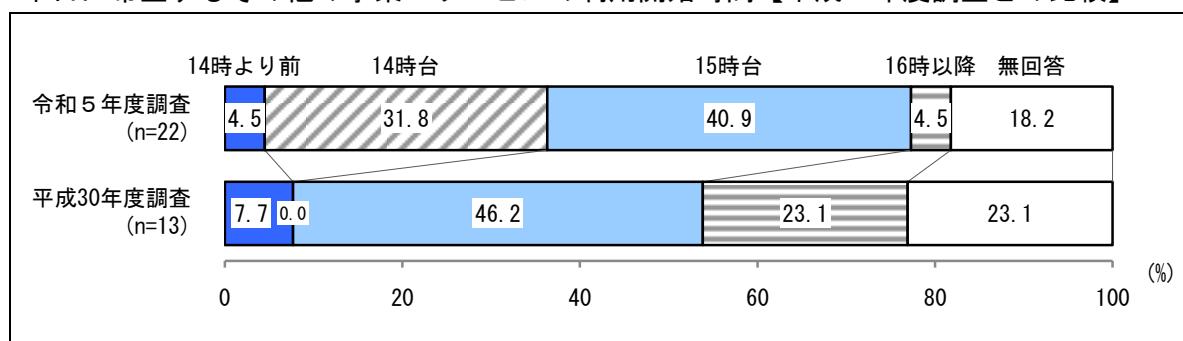
『平成30年度調査との比較』

- 平日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が1.6ポイント高くなり、『利用したい』は2.3ポイント高くなっている。
- 平日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時台」が31.8ポイント高くなり、「16時以降」は18.6ポイント、「15時台」は5.3ポイント、「14時より前」は3.2ポイント低くなっている。
- 平日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「17時台」が8.7ポイント、「16時台」が5.9ポイント高くなり、「19時以降」は9.5ポイント低くなっている。

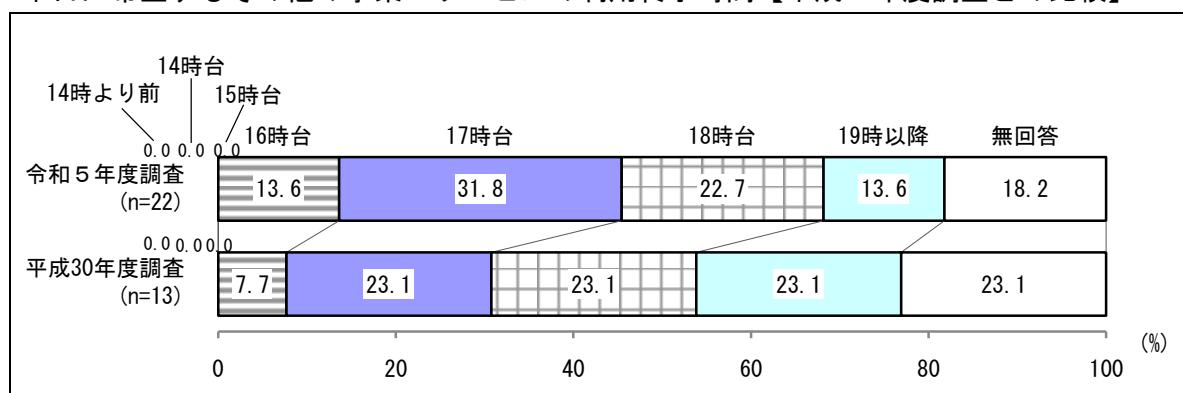
・平日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度【平成30年度調査との比較】



・平日に希望するその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



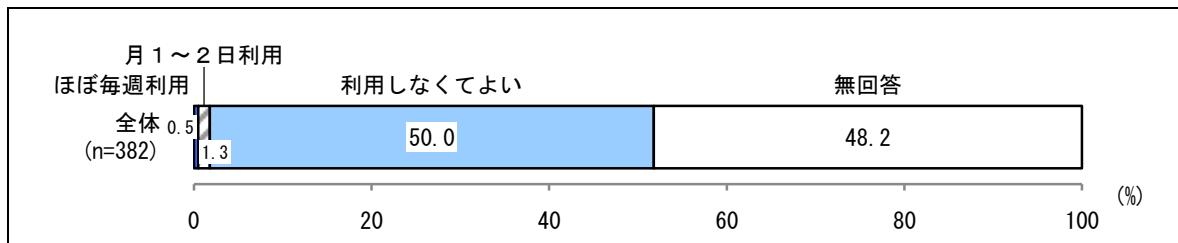
・平日に希望するその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



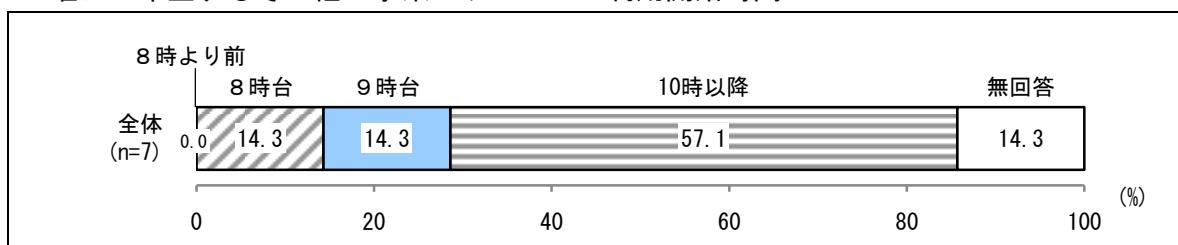
②土曜日のその他の事業・サービスの利用希望

- 土曜日に希望する他の事業・サービスの利用頻度は、「利用しなくてよい」が50.0%で最も多くなっている。利用したい人では、「月1～2日利用」が1.3%、「ほぼ毎週利用」が0.5%となっており、両者をあわせた『利用したい』は1.8%となっている。
- 土曜日に希望する利用開始時間は、「10時以降」が57.1%で最も多くなっている。
- 土曜日に希望する利用終了時間は、「18時台」が42.9%で最も多く、次いで「17時台」が28.6%となっている。

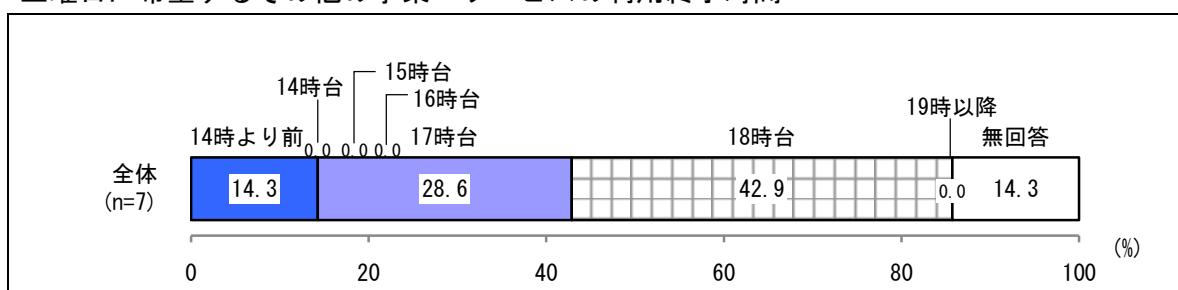
・土曜日に希望する他の事業・サービスの利用頻度



・土曜日に希望する他の事業・サービスの利用開始時間



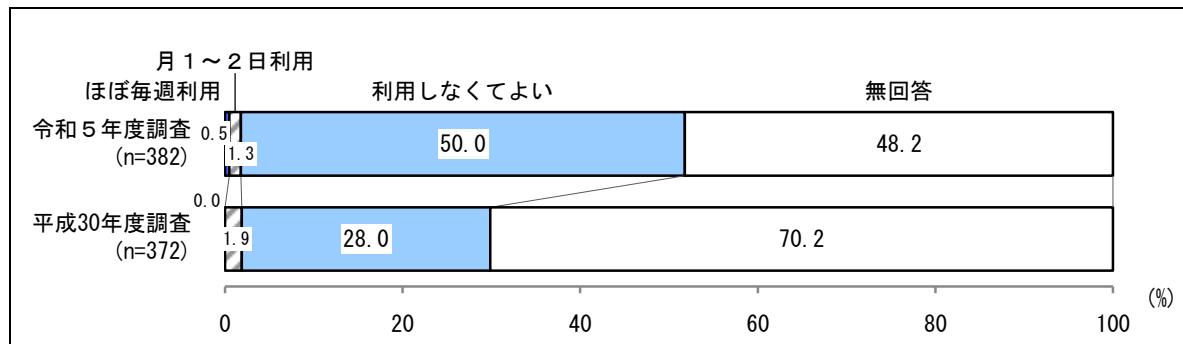
・土曜日に希望する他の事業・サービスの利用終了時間



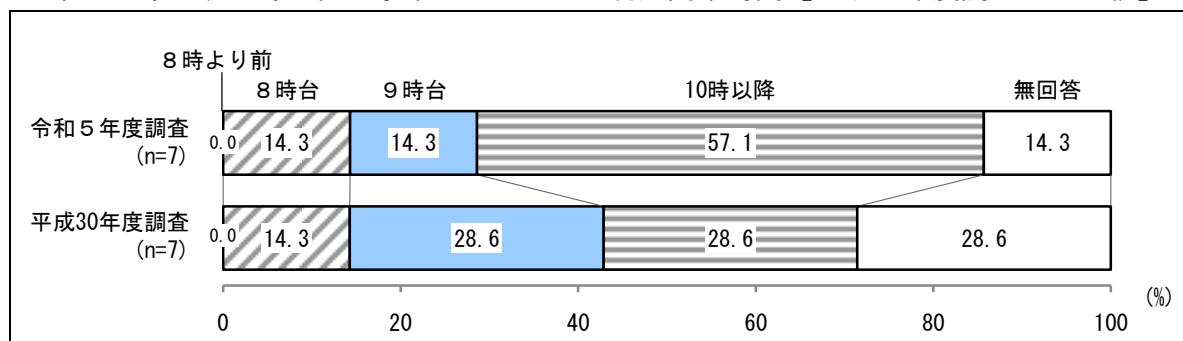
『平成30年度調査との比較』

- 土曜日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、『利用したい』割合に大きな差はみられない。
- 土曜日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「10時以降」が28.5ポイント高くなり、「9時台」は14.3ポイント低くなっている。
- 土曜日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「18時台」が42.9ポイント高くなっている。

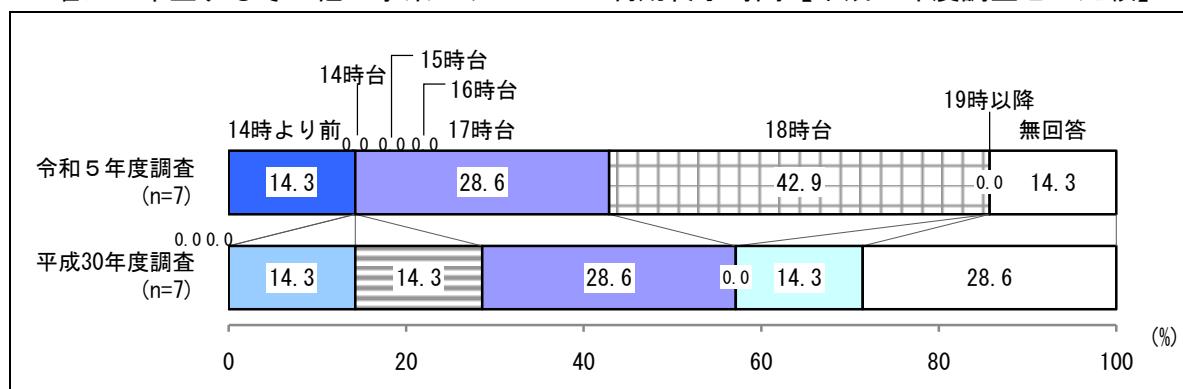
・土曜日に希望する他の事業・サービスの利用頻度【平成30年度調査との比較】



・土曜日に希望する他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



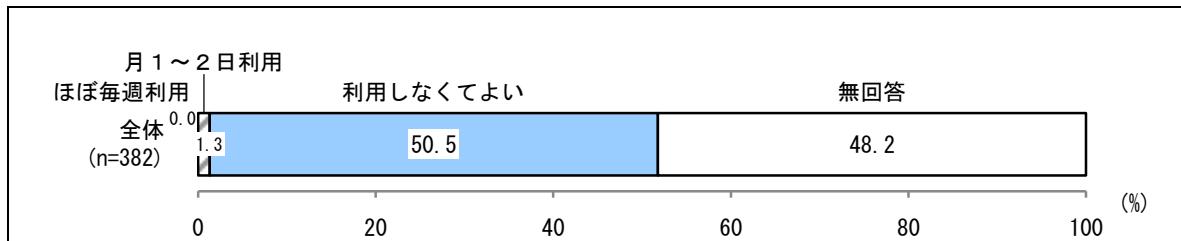
・土曜日に希望する他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



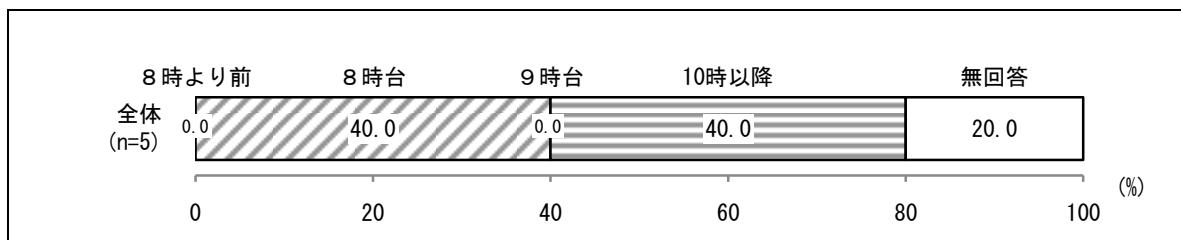
③日曜日・祝日のその他の事業・サービスの利用希望

- 日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度は、「利用しなくてよい」が50.5%で最も多くなっている。利用したい人では、「月1～2日利用」が1.3%となっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用開始時間は、「8時台」と「10時以降」がともに40.0%となっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用終了時間は、「14時台」「15時台」「17時台」「19時以降」が、いずれも20.0%となっている。

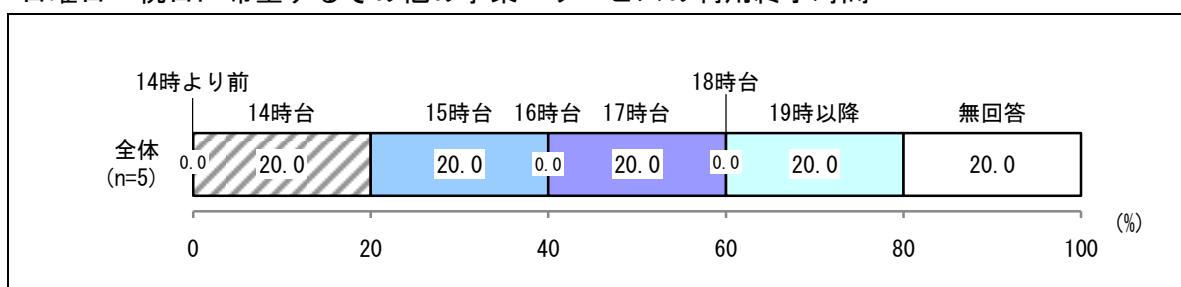
・日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度



・日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用開始時間



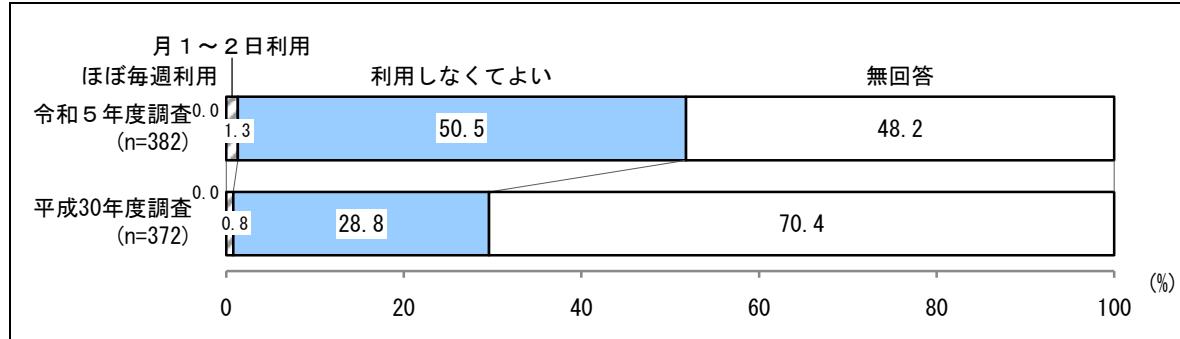
・日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用終了時間



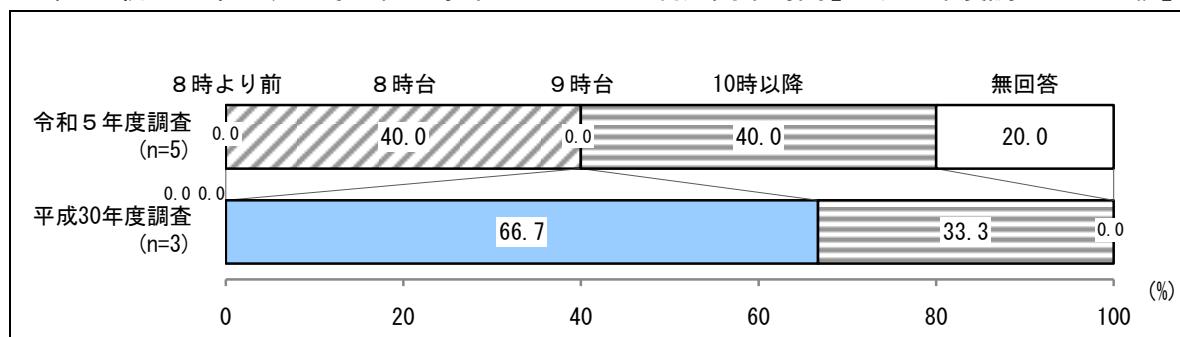
《平成30年度調査との比較》

- 日曜日・祝日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「月1～2日利用」が0.5ポイント高くなっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「8時台」が40.0ポイント高くなっている。
- 日曜日・祝日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「14時台」と「15時台」がともに20.0ポイント高くなっている。

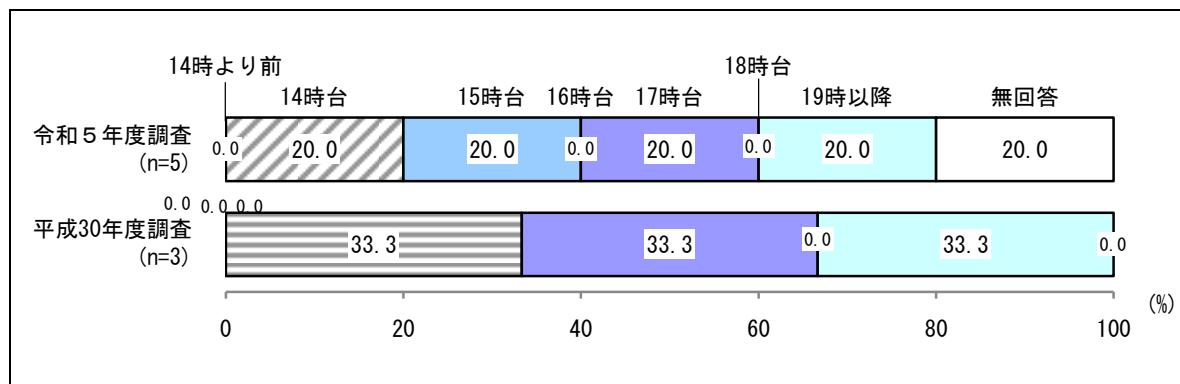
・日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度【平成30年度調査との比較】



・日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・日曜日・祝日に希望するその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



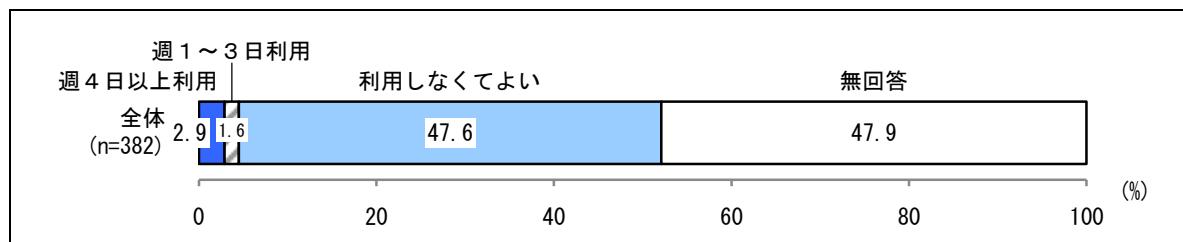
④長期休業日のその他の事業・サービスの利用希望

■長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度は、「利用しなくてよい」が47.6%で最も多くなっている。利用したい人では、「週4日以上利用」が2.9%、「週1～3日利用」が1.6%となっており、両者をあわせた『利用したい』は4.5%となっている。

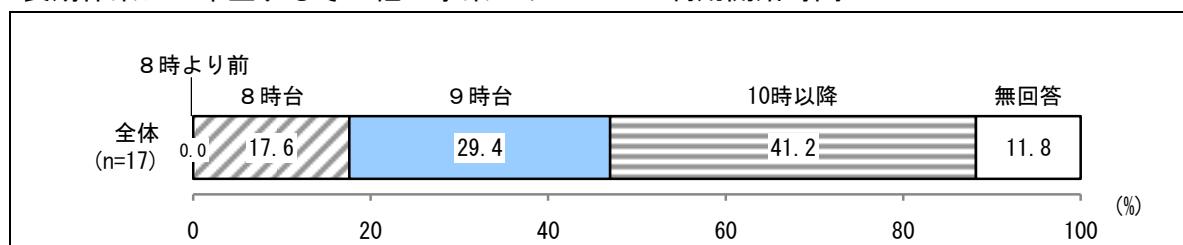
■長期休業日に希望する利用開始時間は、「10時以降」が41.2%で最も多くなっている。

■長期休業日に希望する利用終了時間は、「18時台」が23.5%で最も多く、次いで「16時台」と「17時台」がともに17.6%となっている。

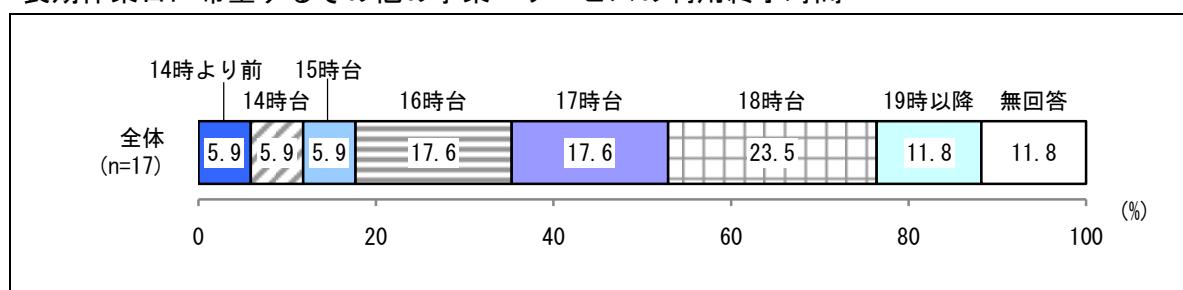
・長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度



・長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用開始時間



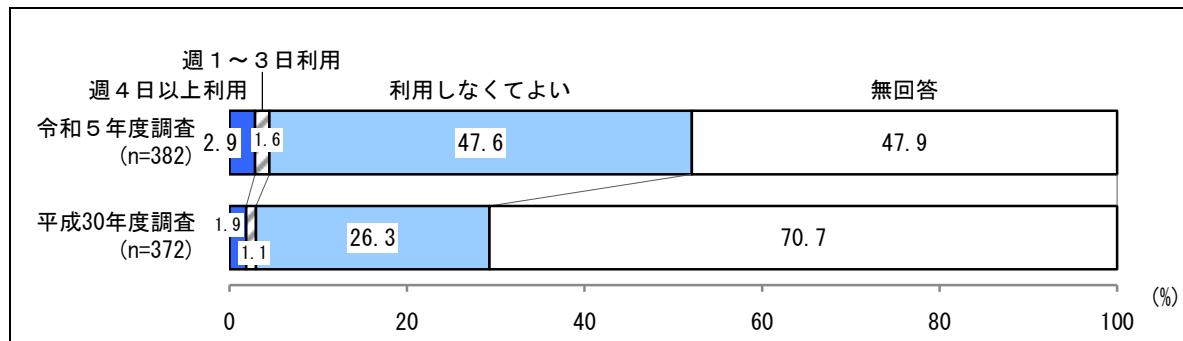
・長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用終了時間



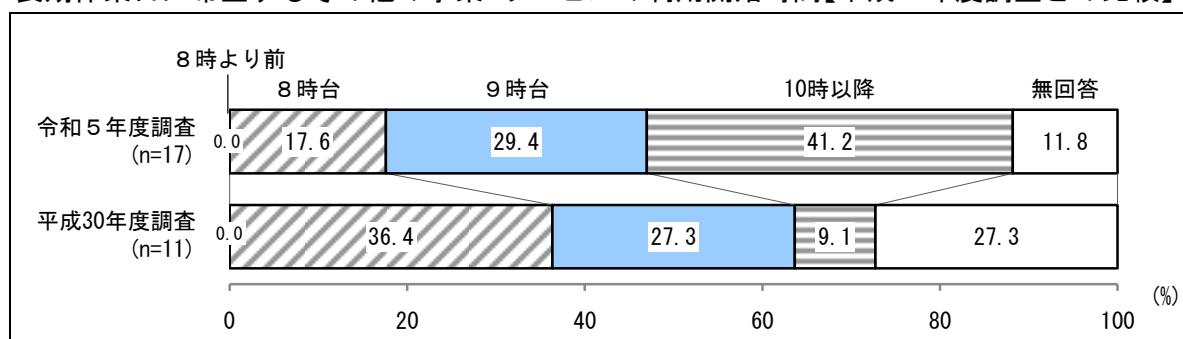
『平成30年度調査との比較』

- 長期休業日に希望する利用頻度について、平成30年度調査と比較すると、「週4日以上利用」が1.0ポイント高くなり、『利用したい』は1.5ポイント高くなっている。
- 長期休業日に希望する利用開始時間について、平成30年度調査と比較すると、「10時以降」が32.1ポイント高くなっている。
- 長期休業日に希望する利用終了時間について、平成30年度調査と比較すると、「18時台」が14.4ポイント、「16時台」が8.5ポイント高くなっている。

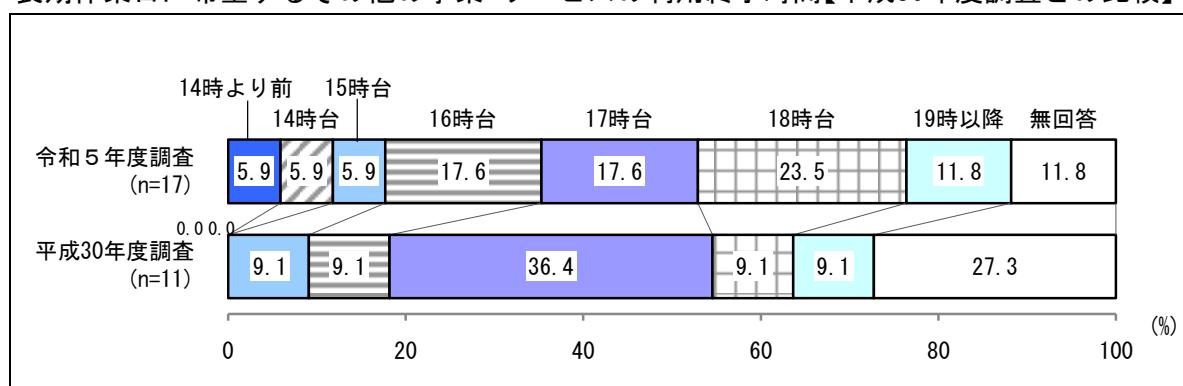
・長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用頻度【平成30年度調査との比較】



・長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用開始時間【平成30年度調査との比較】



・長期休業日に希望するその他の事業・サービスの利用終了時間【平成30年度調査との比較】



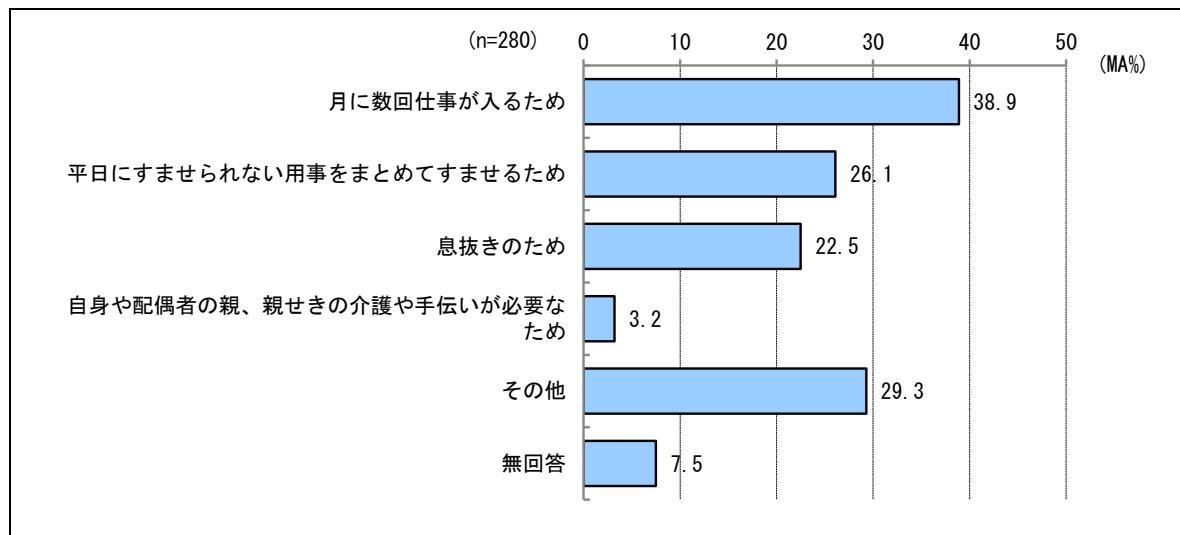
8 「放課後の居場所を提供する事業」をたまに利用したい理由

問13-6の平日、長期休業日で「週1～3日利用」および土曜日、日曜日・祝日で「月に1～2日利用」を選んだ方におうかがいします。

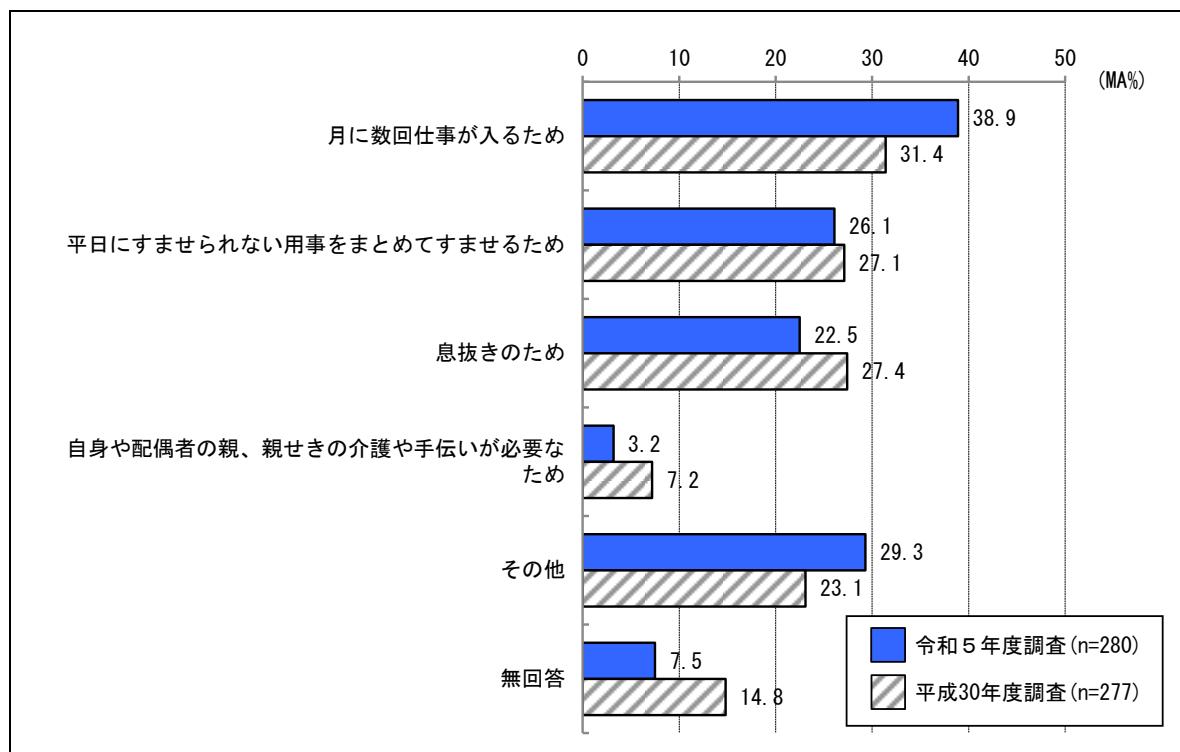
問13-7 毎日および毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 毎日・毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が38.9%で最も多く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が26.1%、「息抜きのため」が22.5%となっている。
- 平成30年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」が7.5ポイント高くなり、「息抜きのため」は4.9ポイント、「自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため」は4.0ポイント低くなっている。

・「放課後の居場所を提供する事業」をたまに利用したい理由



・「放課後の居場所を提供する事業」をたまに利用したい理由【平成30年度調査との比較】

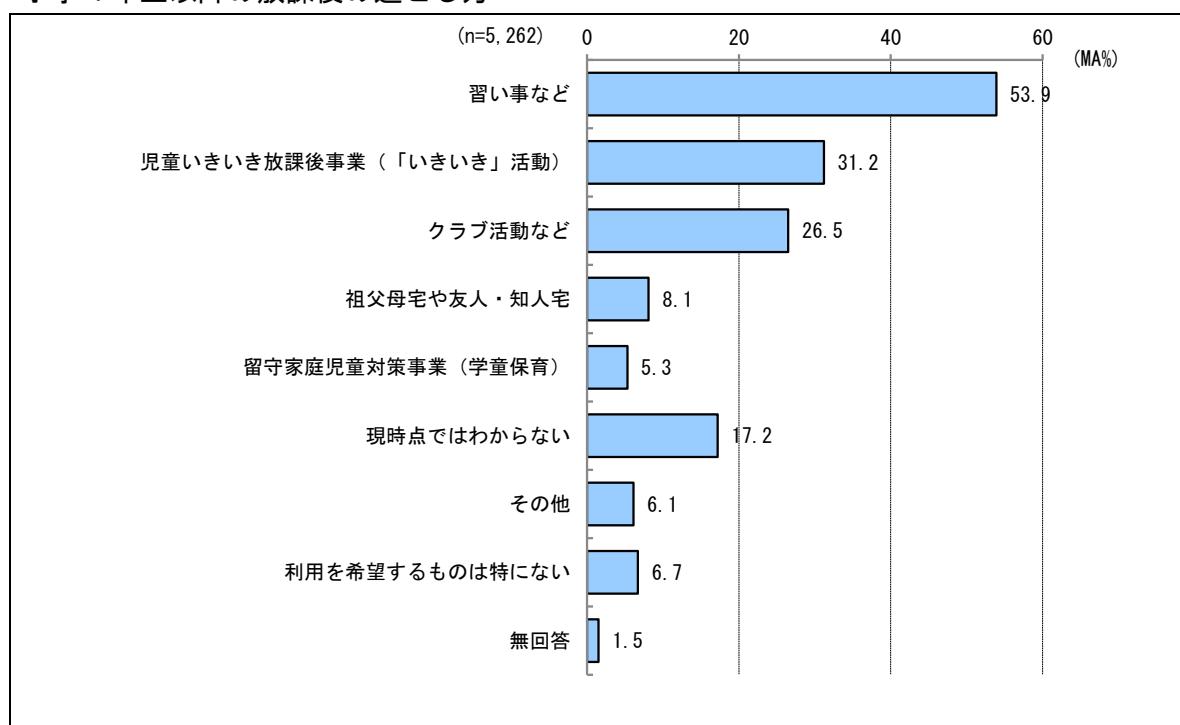


9 小学4年生以降の放課後の過ごし方

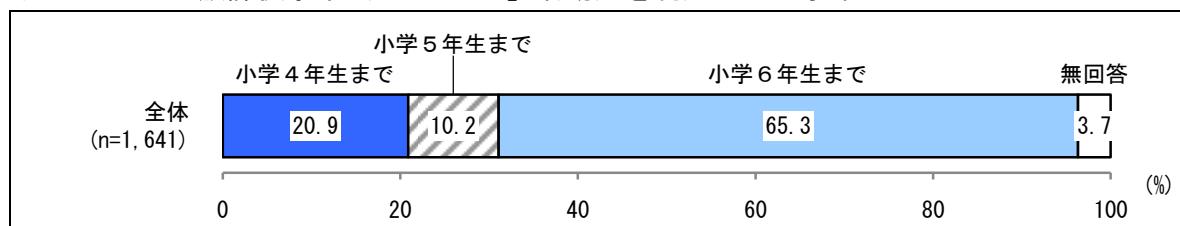
問14 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方に、どのようなことを望みますか。（○はいくつでも）

- 小学4年生以降の放課後の過ごし方は、「習い事など」が53.9%で最も多く、次いで「児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）」が31.2%、「クラブ活動など」が26.5%となっている。
- 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）を利用したい学年については、「小学6年生まで」が65.3%で最も多く、次いで「小学4年生まで」が20.9%となっている。
- 留守家庭児童対策事業（学童保育）を利用したい学年については、「小学6年生まで」が80.1%で最も多くなっている。

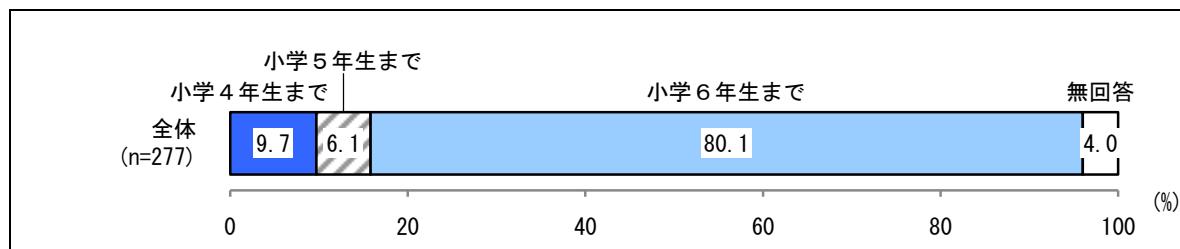
・ 小学4年生以降の放課後の過ごし方



・ 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）を利用したい学年



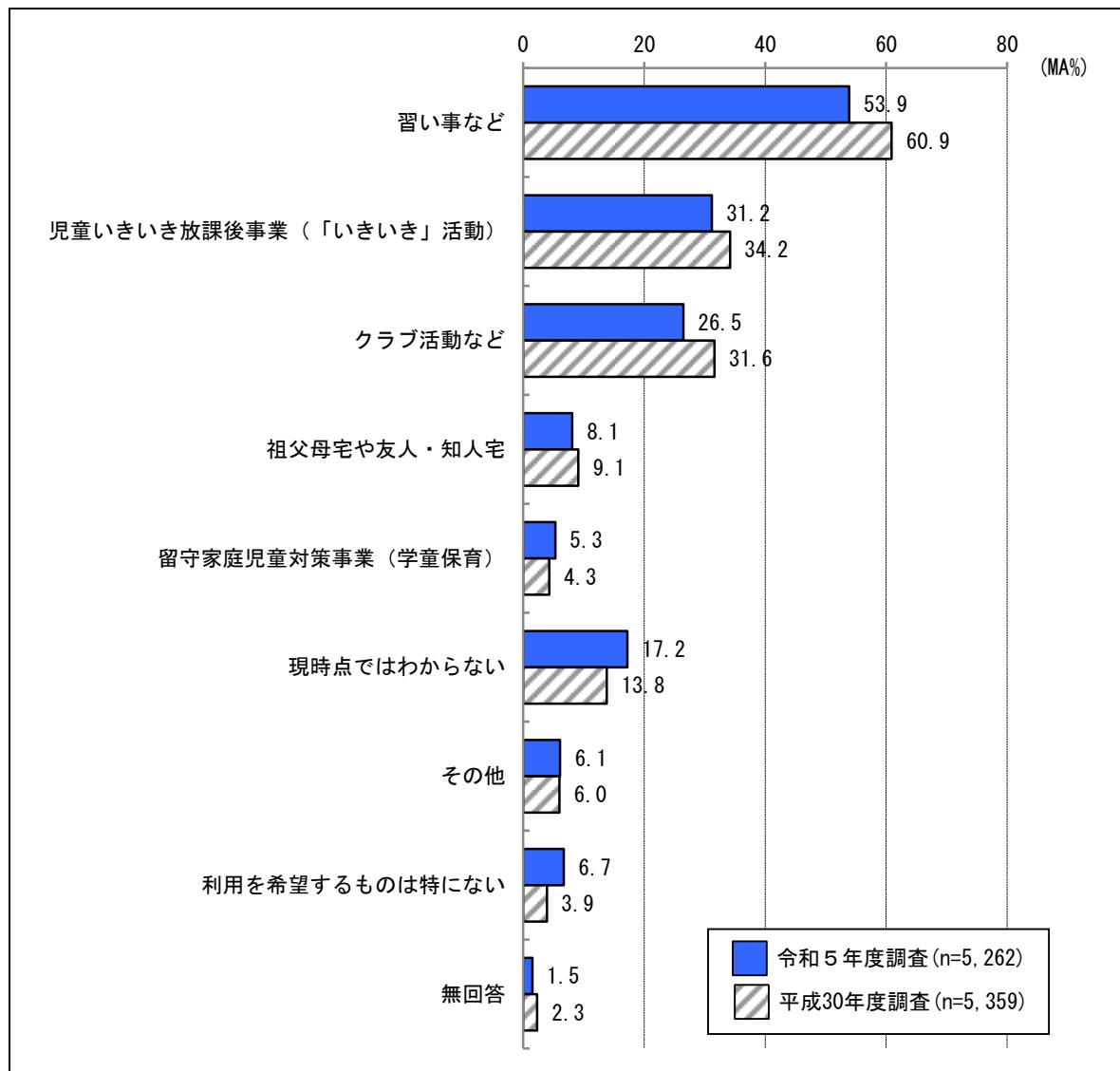
・ 留守家庭児童対策事業（学童保育）を利用したい学年



《平成30年度調査との比較》

■小学4年生以降の放課後の過ごし方について、平成30年度調査と比較すると、「習い事など」が7.0ポイント、「クラブ活動など」が5.1ポイント、「児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）」が3.0ポイント低くなっている。

・小学4年生以降の放課後の過ごし方【平成30年度調査との比較】

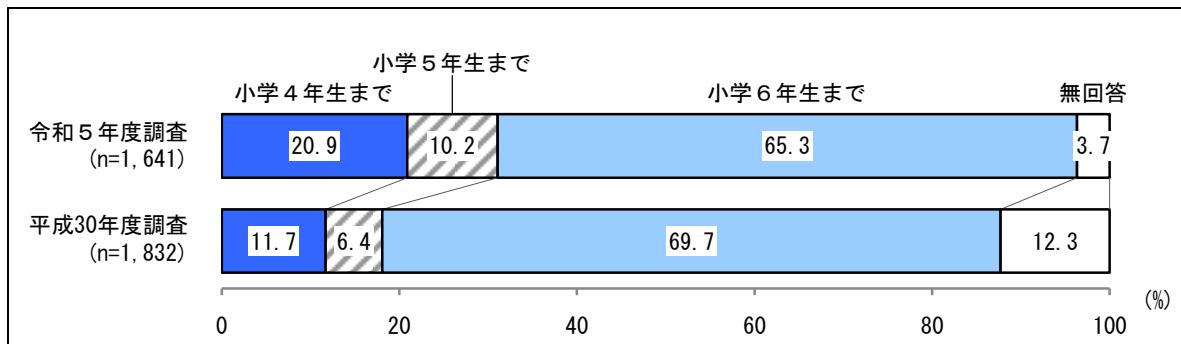


《平成30年度調査との比較》

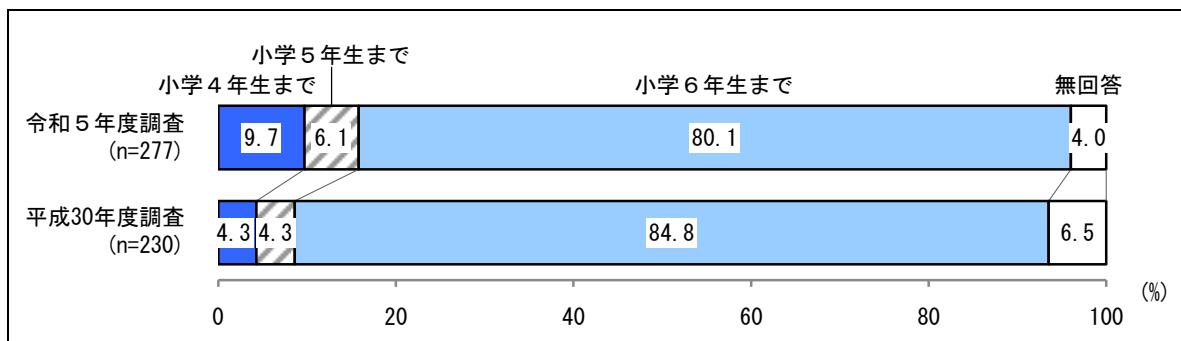
■児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）を利用したい学年について、平成30年度調査と比較すると、「小学4年生まで」が9.2ポイント、「小学5年生まで」が3.8ポイント高くなり、「小学6年生まで」は4.4ポイント低くなっている。

■留守家庭児童対策事業（学童保育）を利用したい学年について、平成30年度調査と比較すると、「小学4年生まで」が5.4ポイント、「小学5年生まで」が1.8ポイント高くなり、「小学6年生まで」は4.7ポイント低くなっている。

・児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）を利用したい学年【平成30年度調査との比較】



・留守家庭児童対策事業（学童保育）を利用したい学年【平成30年度調査との比較】



V. 病児・病後児の対応について

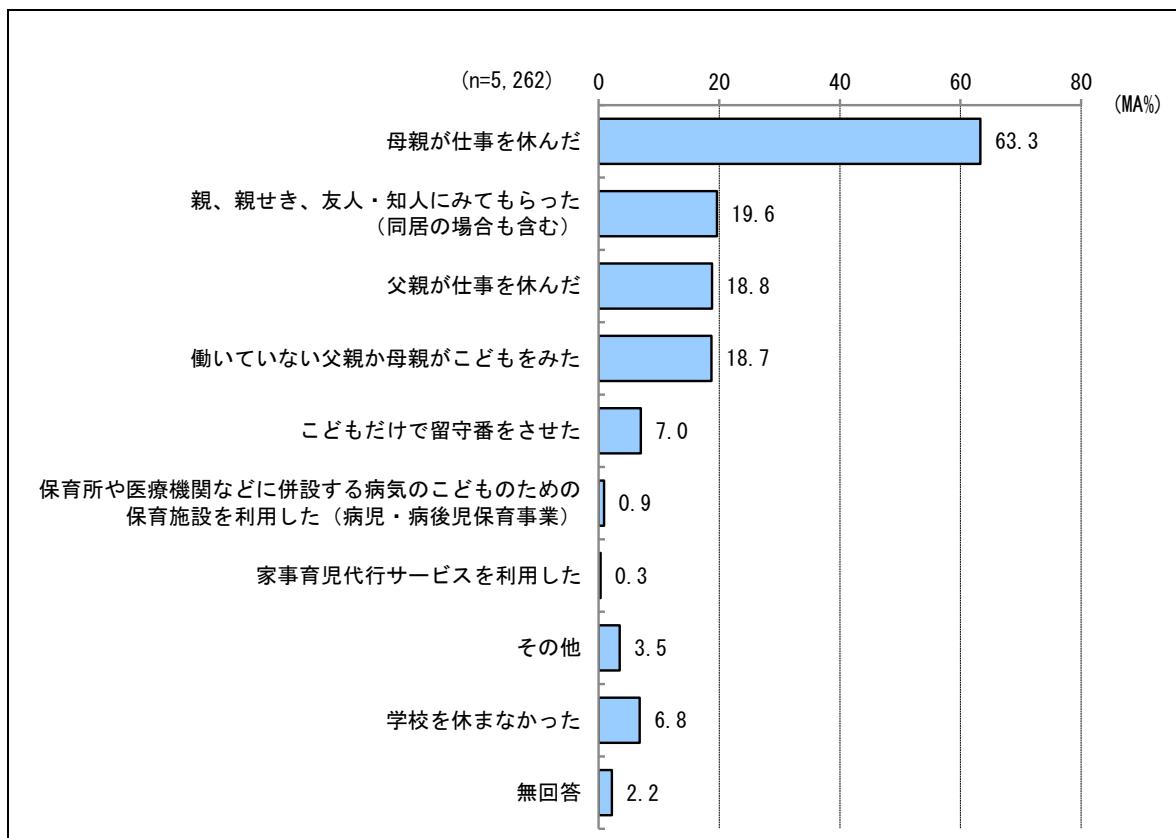
1 こどもが病気やけがで「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法

問15 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法で、あてはまる番号に○ををつけ、その日数を記入してください。

※半日程度についても1日としてカウントしてください。

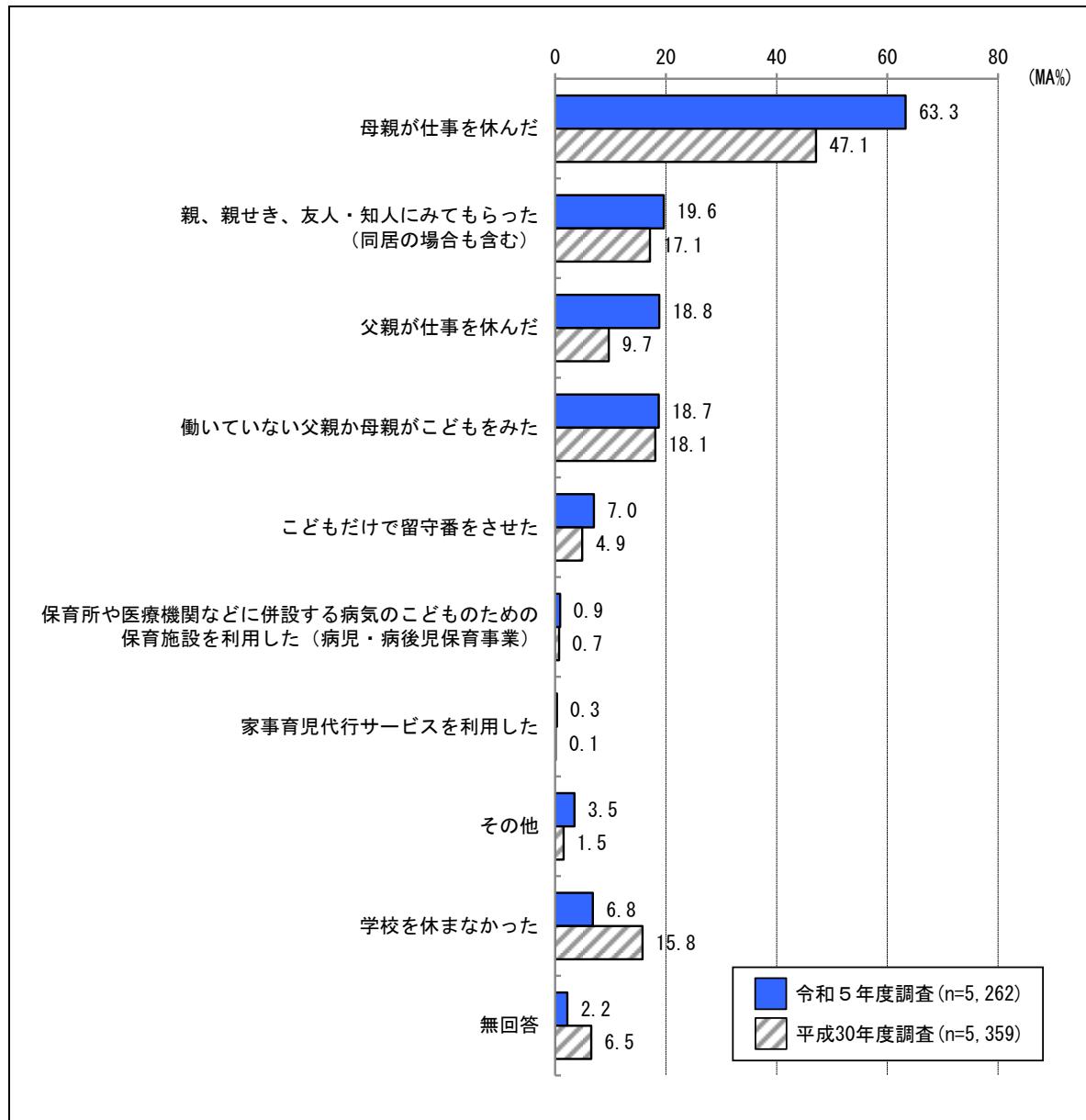
■こどもが病気やケガで「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が63.3%で最も多く、次いで「親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居の場合も含む）」が19.6%、「父親が仕事を休んだ」が18.8%、「働いていない父親か母親がこどもをみた」が18.7%となっている。

・こどもが病気やケガで「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法



■平成30年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」が16.2ポイント、「父親が仕事を休んだ」が9.1ポイント高くなっている、「学校を休まなかった」は9.0ポイント低くなっている。

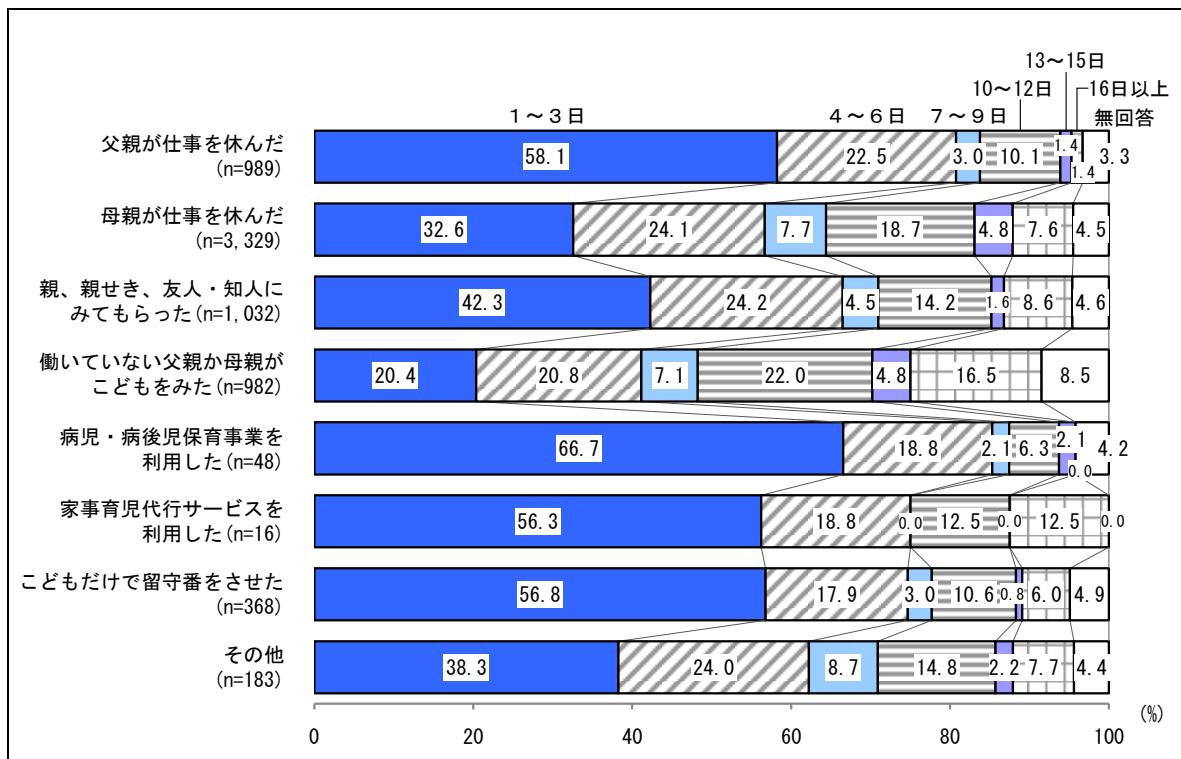
- ・こどもが病気やケガで「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法
【平成30年度調査との比較】



◆対処方法の年間日数

■対処方法の年間日数は、「働いていない父親か母親がこどもをみた」は「10～20日」が最も多いが、他の対処方法では「1～3日」が最も多くなっている。また、平均日数では“父親が仕事を休んだ”は平均4.2日、“母親が仕事を休んだ”は平均7.6日となっている。

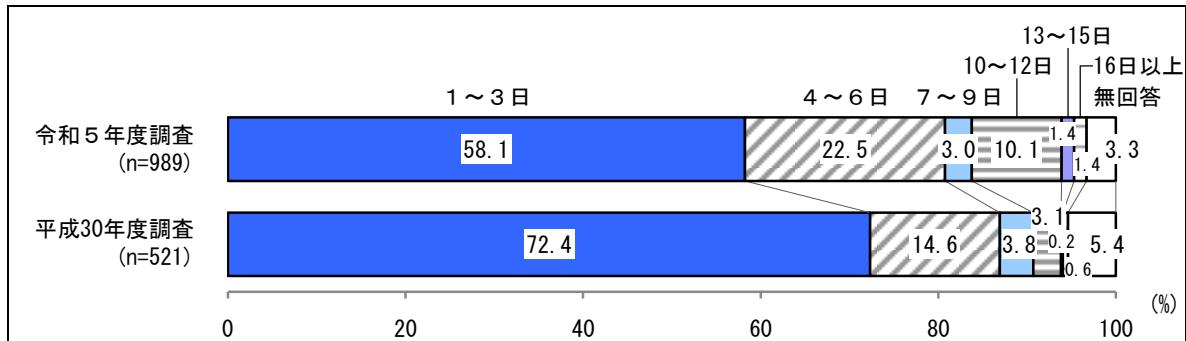
・対処方法の年間日数



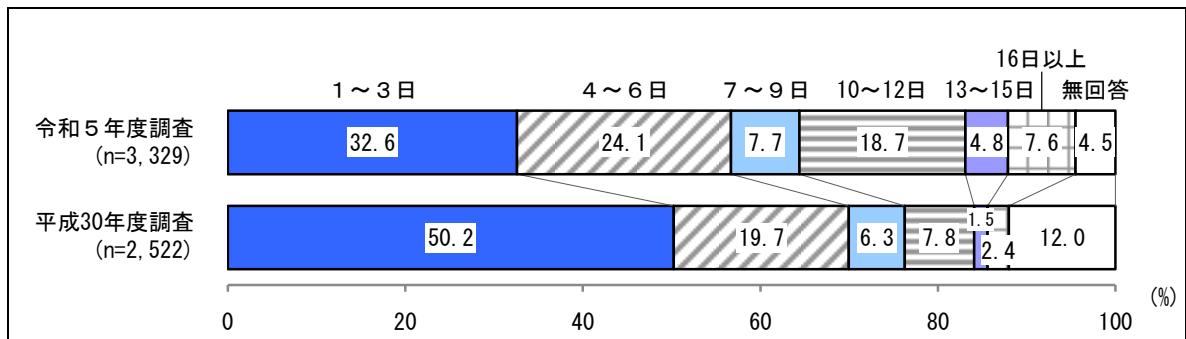
《平成30年度調査との比較》

- 父親が仕事を休んだ年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「4～6日」が7.9ポイント、「10～12日」が7.0ポイント高くなっている。
- 母親が仕事を休んだ年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「10～12日」が10.9ポイント高くなり、4日以上の割合が高くなっている。
- 親、親せき、友人・知人にみてもらった年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「4～6日」が9.1ポイント、「10～12日」が8.9ポイント、「16日以上」が7.0ポイント高くなっている。
- 働いていない父親か母親がこどもをみた年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「10～12日」が15.4ポイント、「16日以上」が13.6ポイント高くなり、4日以上の割合が高くなっている。
- 病児・病後児保育事業を利用した年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「1～3日」が8.8ポイント高くなっている。
- 家事育児代行サービスを利用した年間日数について、平成30年度調査と比較すると、4日以上の割合が高くなっている。
- こどもだけで留守番をさせた年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「4～6日」が9.2ポイント、「10～12日」が6.8ポイント高くなっている。
- その他の対処方法を利用した年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「1～3日」が11.5ポイント、「10～12日」が8.7ポイント、「4～6日」が8.1ポイント高くなっている。

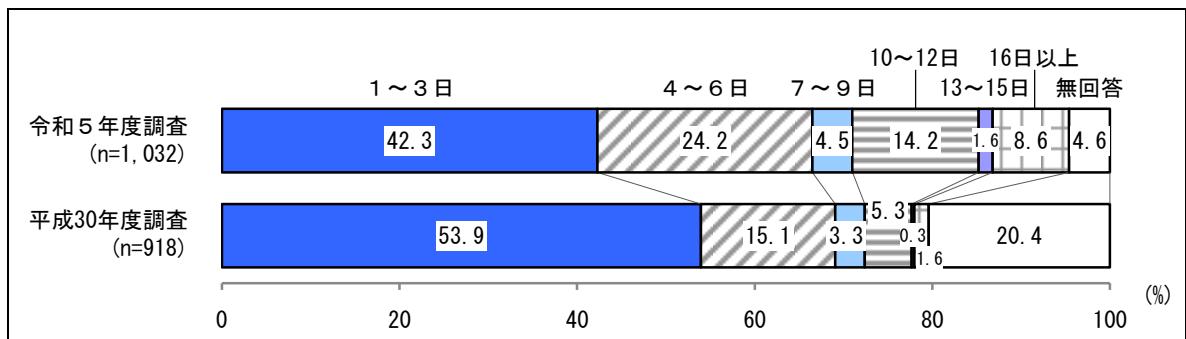
・父親が仕事を休んだ年間日数【平成30年度調査との比較】



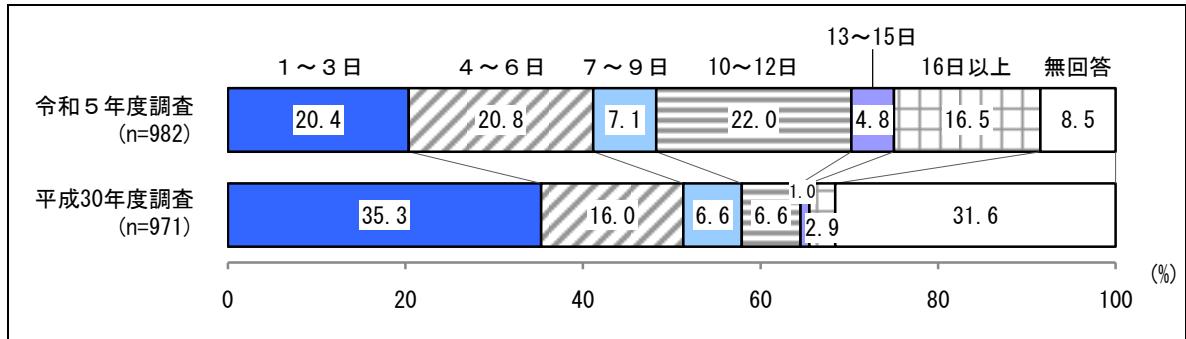
・母親が仕事を休んだ年間日数【平成30年度調査との比較】



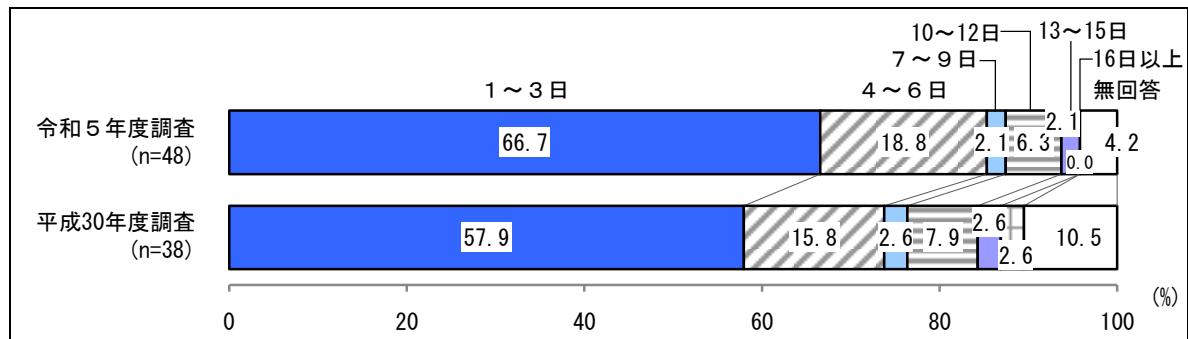
・親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居も含む）年間日数【平成30年度調査との比較】



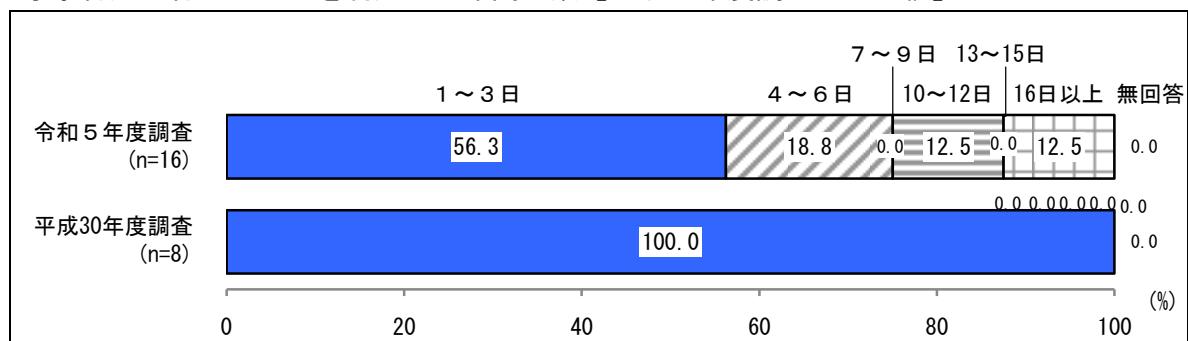
・働いていない父親か母親がこどもをみた年間日数【平成30年度調査との比較】



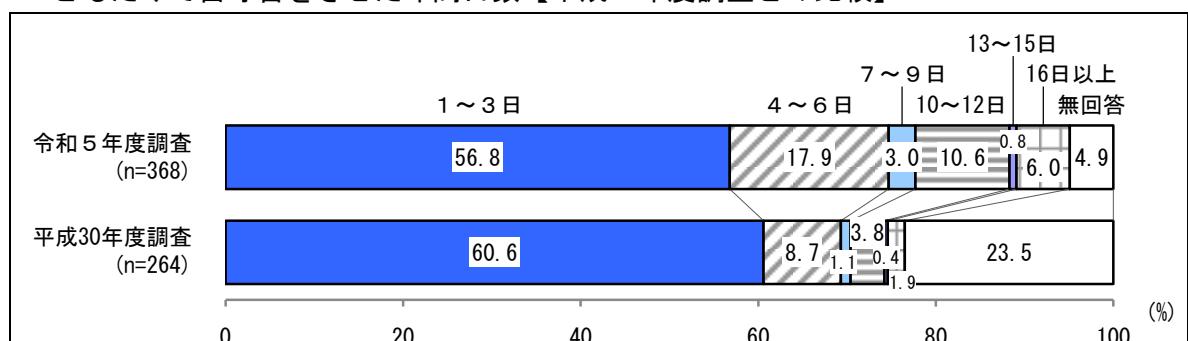
・病児・病後児保育事業を利用した年間日数【平成30年度調査との比較】



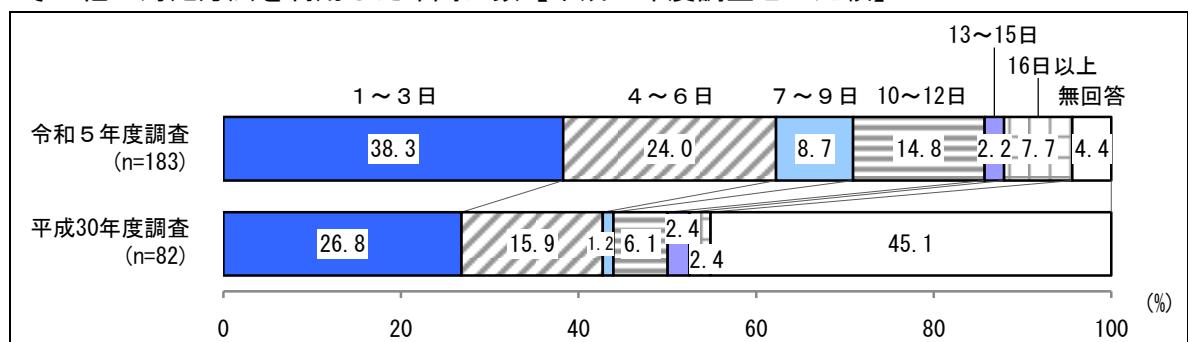
・家事育児代行サービスを利用した年間日数【平成30年度調査との比較】



・こどもだけで留守番をさせた年間日数【平成30年度調査との比較】



・その他の対処方法を利用した年間日数【平成30年度調査との比較】



2 病気の子どものための保育施設などの利用希望

問15で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。

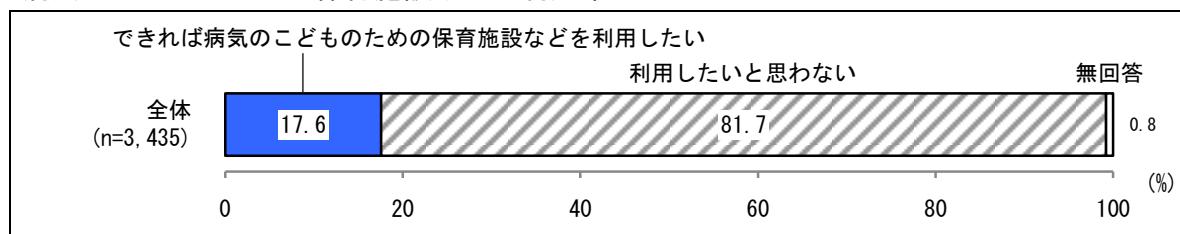
問15-1 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。（○は1つ）希望がある方は具体的な数字を入れてください。

※病気や病気の回復期の子どものための保育施設などの利用には一定の利用料がかかり、また利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

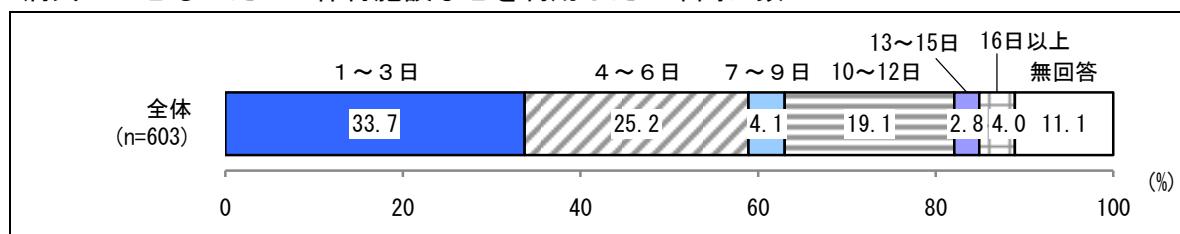
■病気の子どものための保育施設などの利用希望は、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が17.6%、「利用したいと思わない」が81.7%となっている。

■「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と回答した人が希望する年間日数は、「1～3日」が33.7%で最も多く、次いで「4～6日」が25.2%となっており、平均は6.5日となっている。

・病気の子どものための保育施設などの利用希望



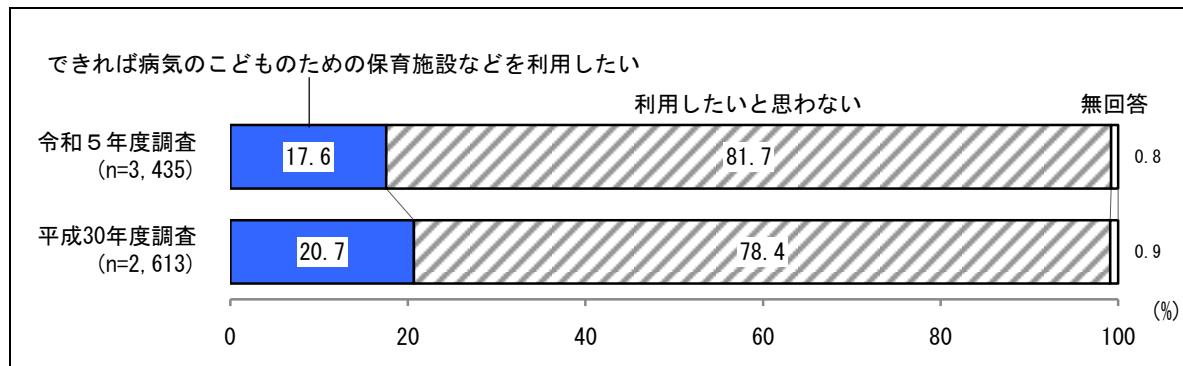
・病気の子どものための保育施設などを利用したい年間日数



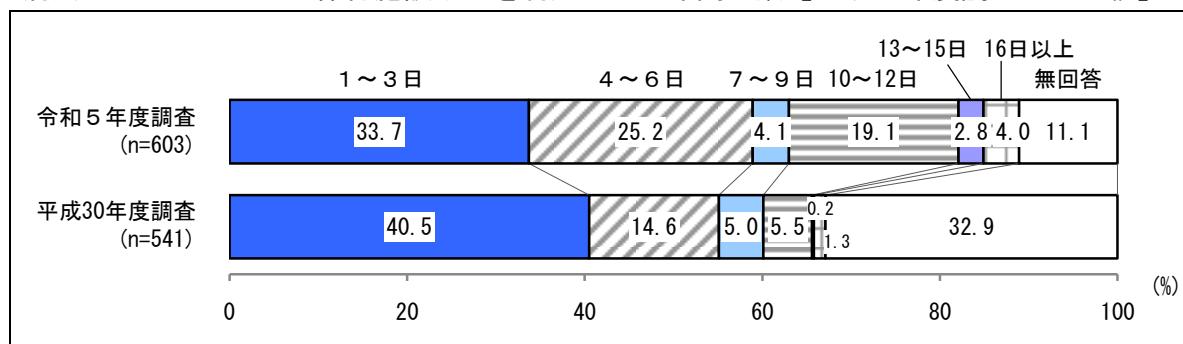
«平成30年度調査との比較»

- 病気の子どものための保育施設などの利用希望について、平成30年度調査と比較すると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は3.1ポイント低くなっている。
- 希望する年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「10~12日」が13.6ポイント、「4~6日」が10.6ポイント高くなっている。

・病気の子どものための保育施設などの利用希望【平成30年度調査との比較】



・病気の子どものための保育施設などを利用したい年間日数【平成30年度調査との比較】



3 病気の子どものための保育施設で希望するサービス

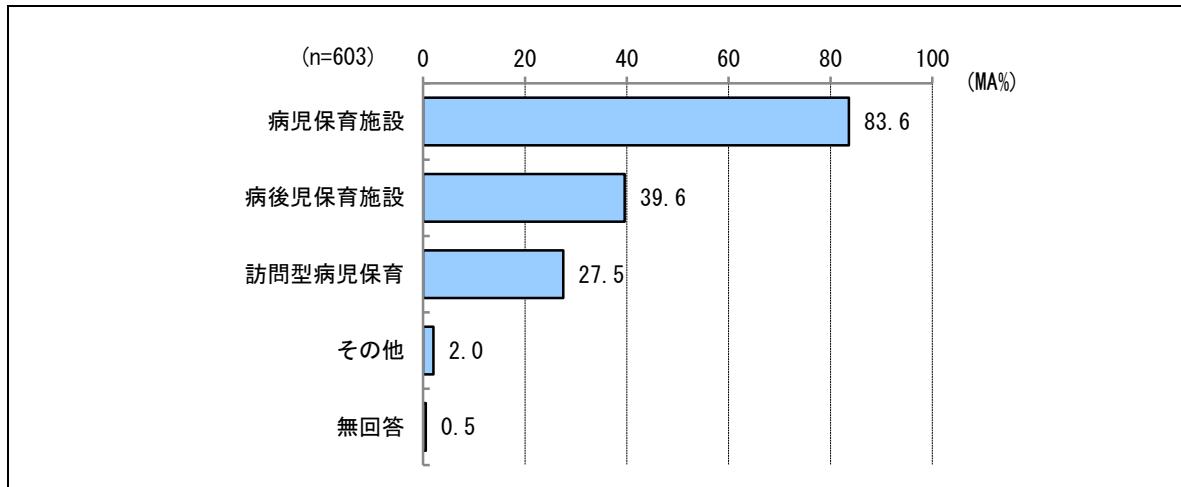
問15-1で「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問15-2 利用する場合、下記のいずれの施設を利用したいと思われますか。（○はいくつでも）※現在、大阪市で行っていないサービスも含んでいます。

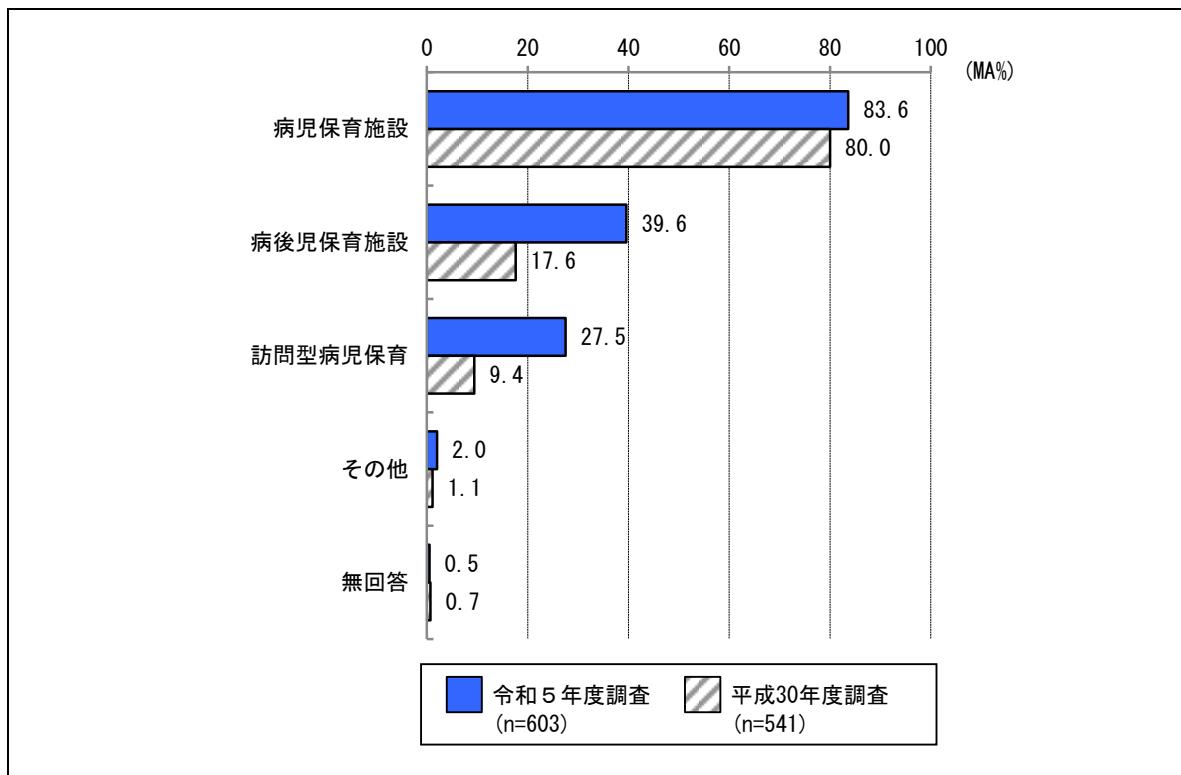
■病気の子どものための保育施設で希望するサービスは、「病児保育施設」が83.6%で最も多く、次いで「病後児保育施設」が39.6%、「訪問型病児保育」が27.5%となっている。

■平成30年度調査と比較すると、「病後児保育施設」が22.0ポイント、「訪問型病児保育」が18.1ポイント、「病児保育施設」が3.6ポイント高くなっている。

・病気の子どものための保育施設で希望するサービス



・病気の子どものための保育施設で希望するサービス【平成30年度調査との比較】



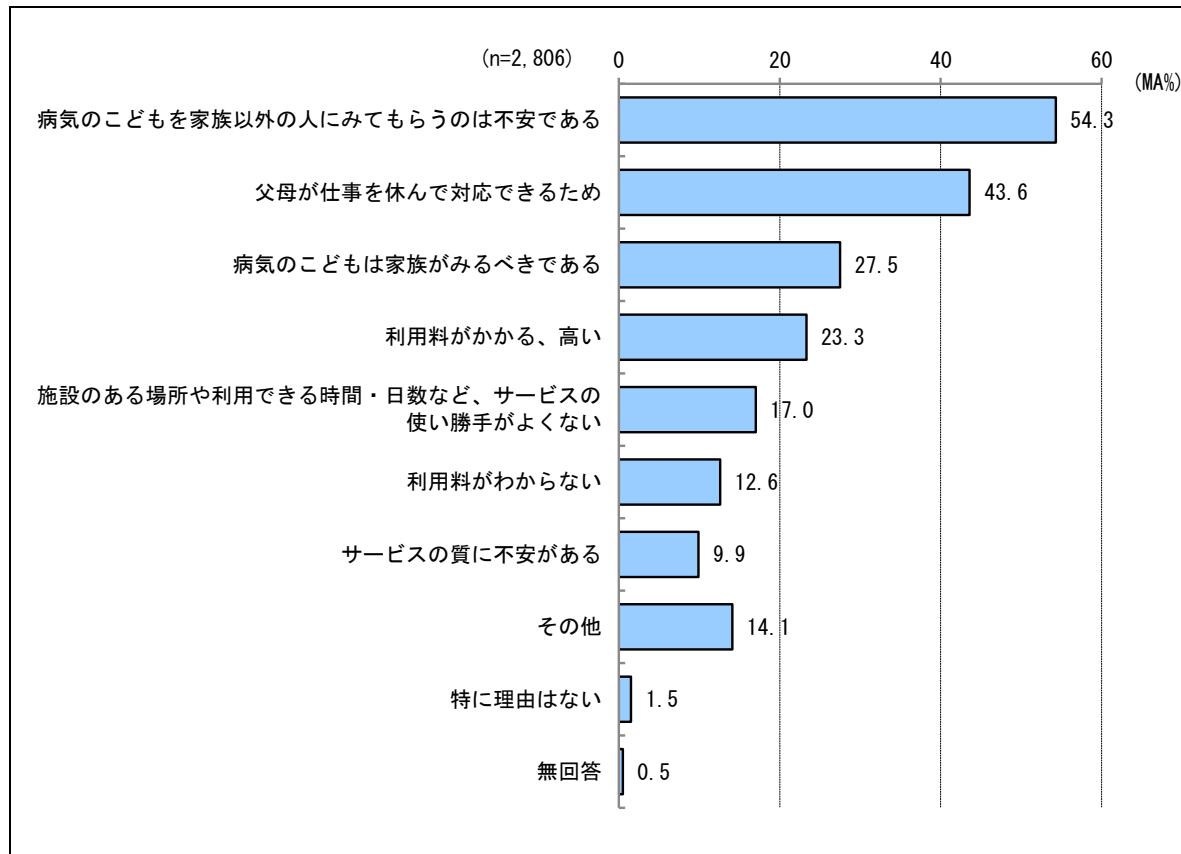
4 病気の子どものための保育施設を利用したくない理由

問15-1で「利用したいと思わない」を選んだ方におうかがいします。

問15-3 利用したいと思わない理由をお答えください。 (○はいくつでも)

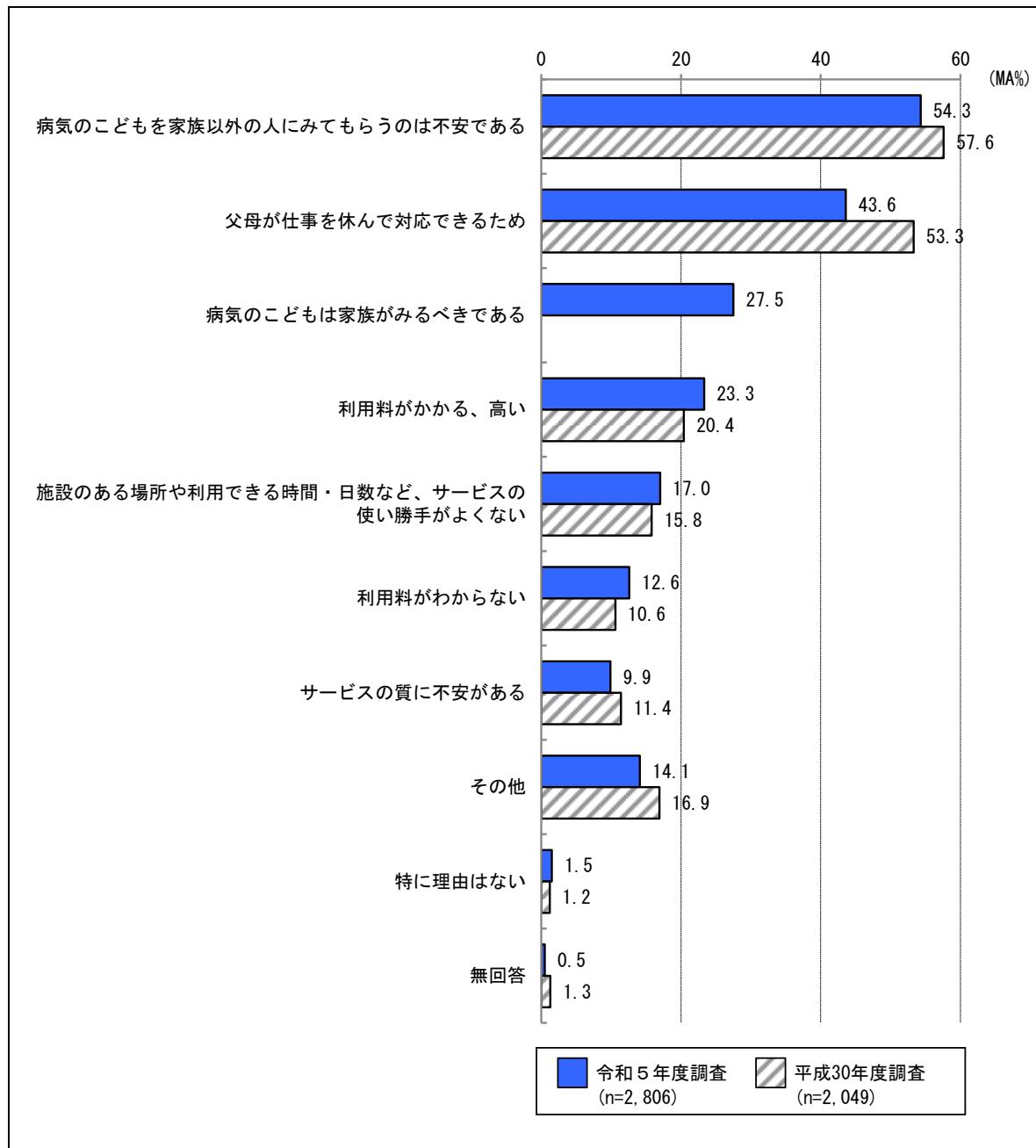
■ 「病気の子どものための保育施設を利用したいと思わない」と回答した人に、その理由をたずねると、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が54.3%で最も多く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」が43.6%、「病気の子どもは家族がみるべきである」が27.5%、「利用料がかかる、高い」が23.3%となっている。

・病気の子どものための保育施設を利用したくない理由



■平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる、高い」が2.9ポイント、「利用料がわからない」が2.0ポイント高くなり、「父母が仕事を休んで対応できるため」は9.7ポイント、「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」は3.3ポイント低くなっている。

・病気のこどものための保育施設を利用したくない理由【平成30年度調査との比較】



※「病気のこどもは家族がみるべきである」は令和5年度調査からの新規項目。

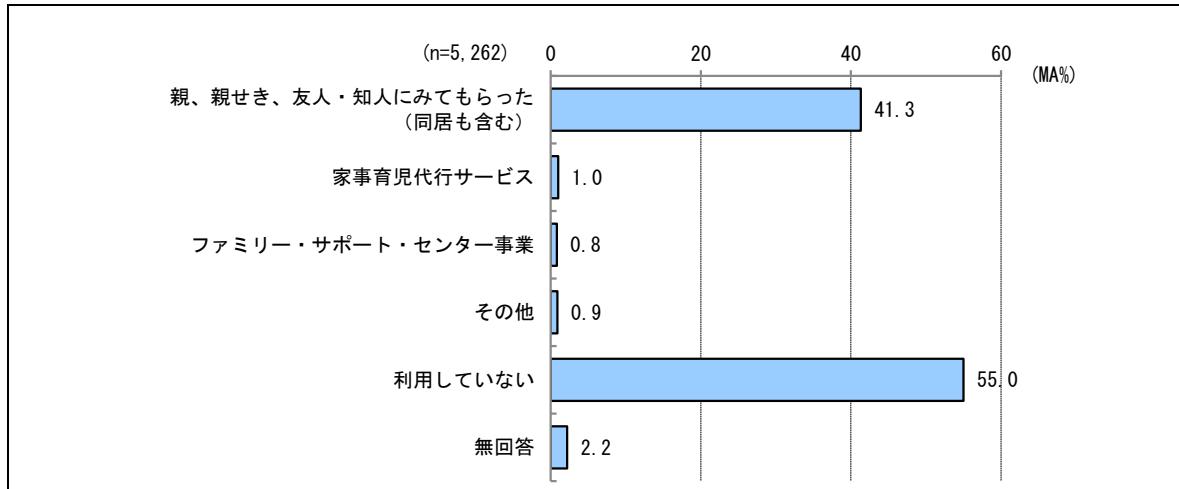
VI. 不定期な一時預かりについて

1 一時預かり等のサービスの利用状況

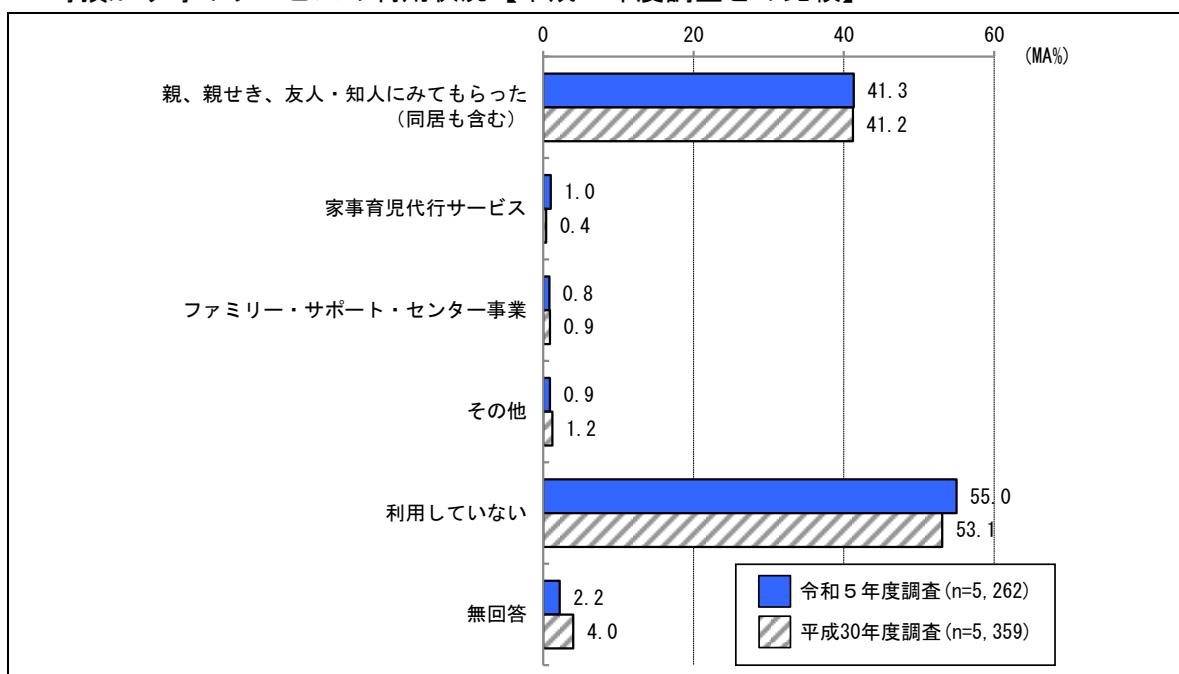
問16 この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由に、こどもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる番号に○をつけ、1年間のおおよその利用日数を記入してください。
※こどもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

- 一時預かり等のサービスの利用状況については、「利用していない」が55.0%で最も多くなっている。預けた人では、「親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居も含む）」が41.3%で最も多くなっている。
- 平成30年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

・一時預かり等のサービスの利用状況



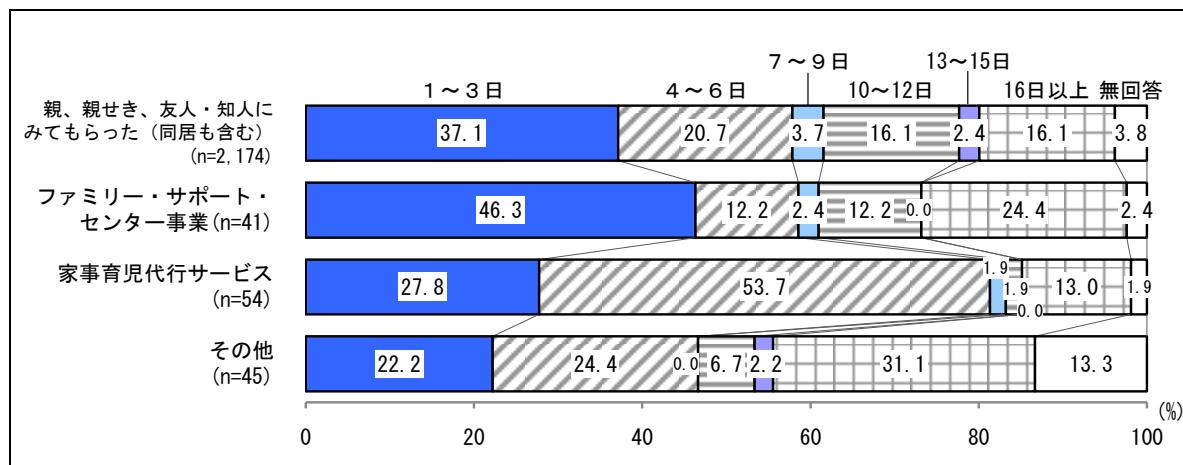
・一時預かり等のサービスの利用状況【平成30年度調査との比較】



◆利用したサービスの年間日数

■利用したサービスの年間日数は、「親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居も含む）」と「ファミリー・サポート・センター事業」は「1～3日」が最も多く、それぞれの平均は14.9日、22.2日となっている。「家事育児代行サービス」は「4～6日」が最も多く、平均は10.2日となっている。

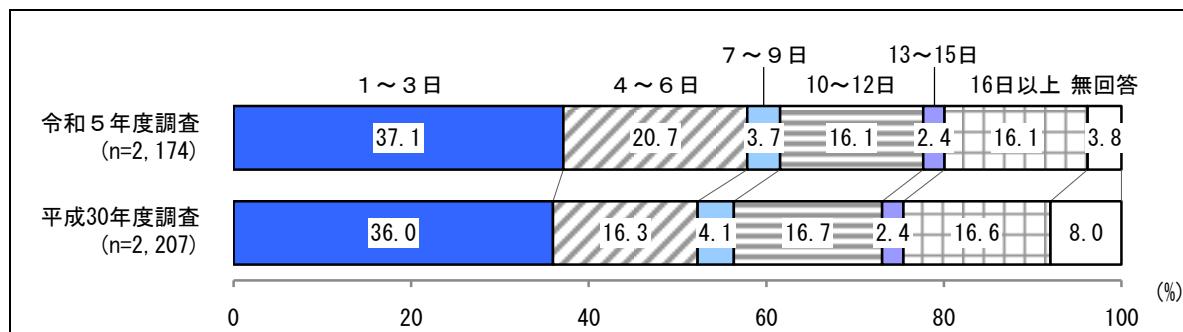
・利用したサービスの年間日数



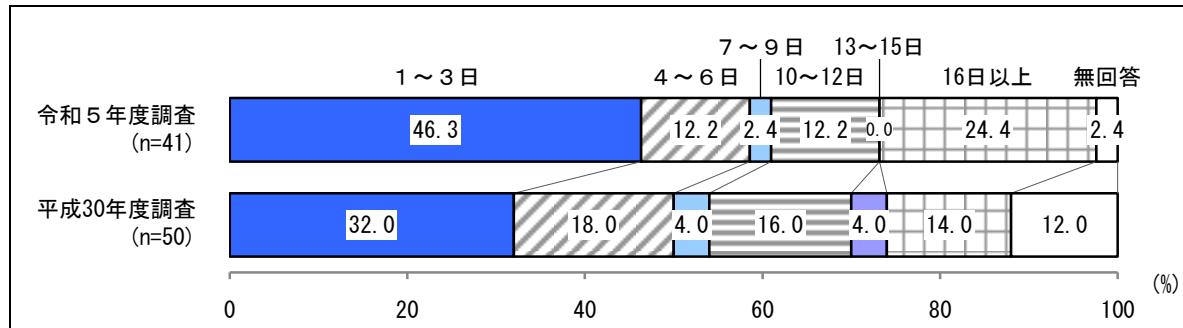
《平成30年度調査との比較》

- 親、親せき、友人・知人にみてもらった年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「4～6日」が4.4ポイント高くなっている。
- ファミリー・サポート・センター事業を利用した年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「1～3日」が14.3ポイント、「16日以上」が10.4ポイント高くなっている。
- 家事育児代行サービスを利用した年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「4～6日」が40.7ポイント高くなっている。
- その他サービスを利用した年間日数について、平成30年度調査と比較すると、「16日以上」が12.9ポイント、「4～6日」が7.7ポイント高くなっている。

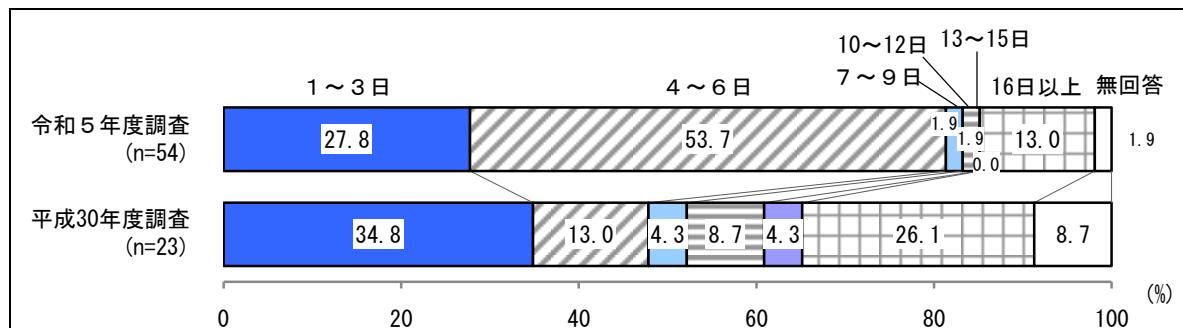
・親、親せき、友人・知人にみてもらった年間日数【平成30年度調査との比較】



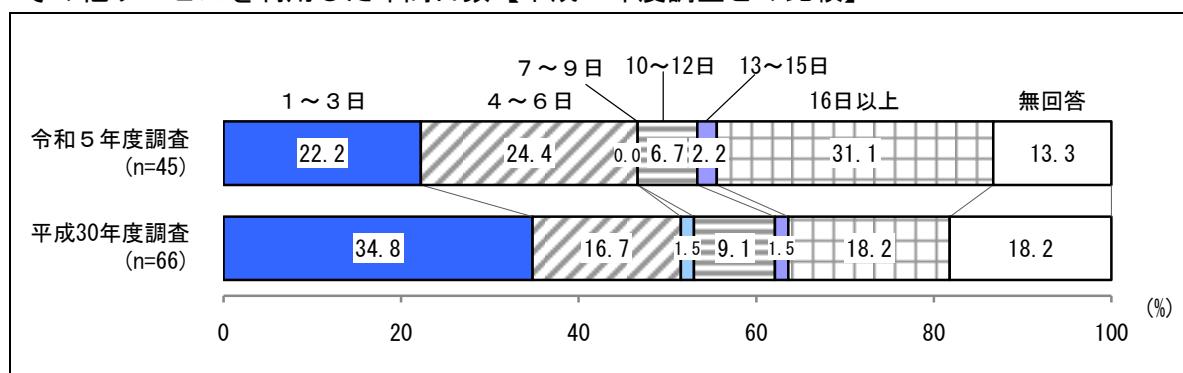
・ ファミリー・サポート・センター事業を利用した年間日数【平成30年度調査との比較】



・ 家事育児代行サービスを利用した年間日数【平成30年度調査との比較】



・ その他サービスを利用した年間日数【平成30年度調査との比較】



2 こどもを「泊りがけ」で預かるサービスの利用希望

問17 冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけ」で年間何日くらい家族以外にみてもらう必要があると思いますか。

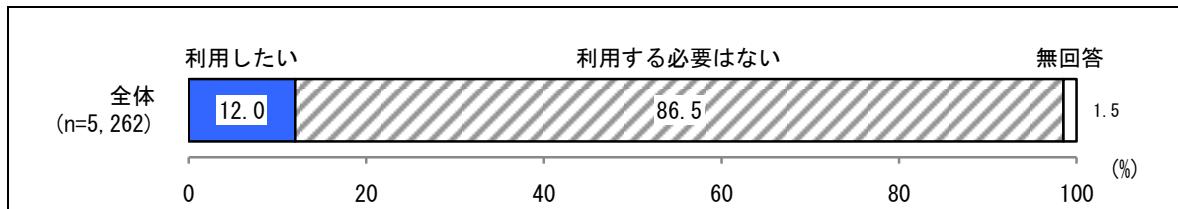
「利用したい」「利用する必要はない」のどちらかに○をつけてください。

また、利用したい場合、その利用目的ごとに泊数と、合計欄にその泊数の計を記入してください。

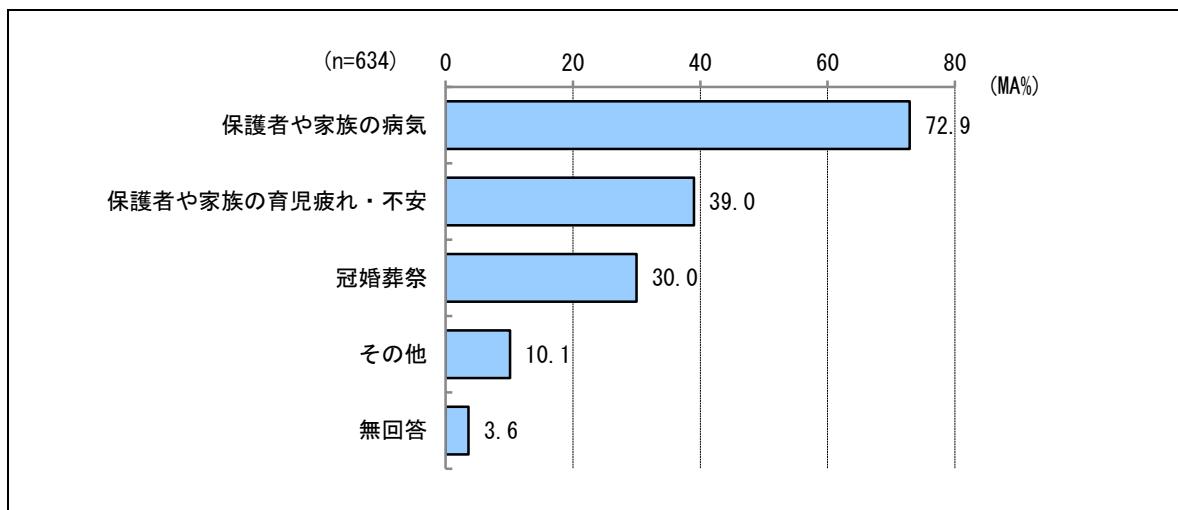
※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

- こどもを「泊りがけ」で預かるサービスの利用希望については、「利用したい」が12.0%、「利用する必要はない」が86.5%となっている。
- 「泊りがけ」で預かるサービスを利用したい目的は、「保護者や家族の病気」が72.9%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が39.0%、「冠婚葬祭」が30.0%となっている。

・こどもを「泊りがけ」で預かるサービスの利用希望

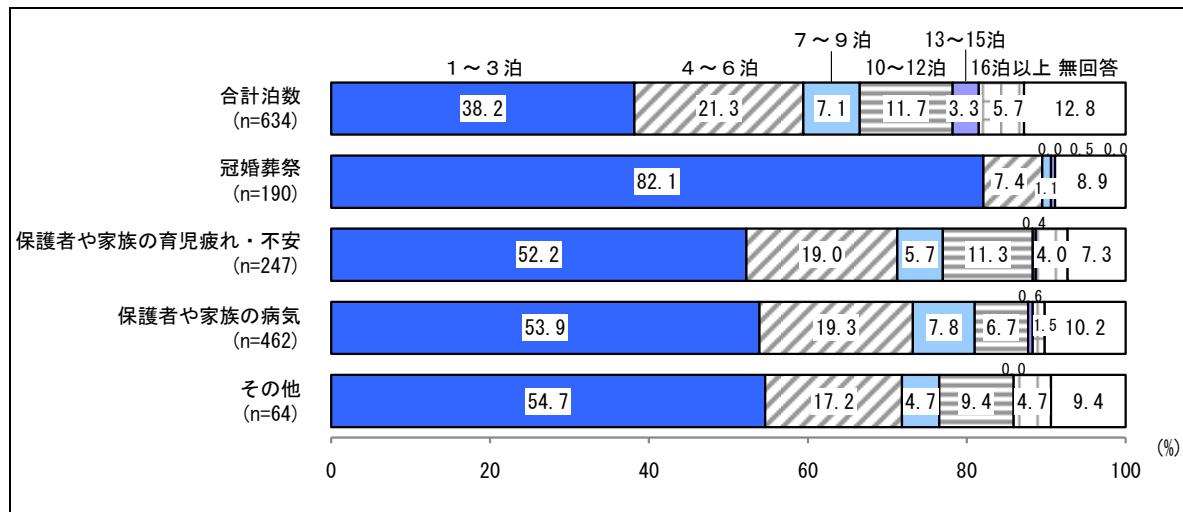


・「泊りがけ」で預かるサービスを利用したい目的



- 「泊りがけ」で預かるサービスを利用したい年間泊数について、合計泊数は「1～3泊」が38.2%で最も多く、次いで「4～6泊」が21.3%となっており、平均は7.3泊となっている。なお、目的にかかわらず「1～3泊」が最も多く、「冠婚葬祭」は82.1%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」と「保護者や家族の病気」は50%台を占めている。

・「泊りがけ」で預かるサービスを利用したい年間泊数



VII. こどもが心身ともに健やかに成長するための取組について

1 平日の放課後および休日のこどもの過ごし方

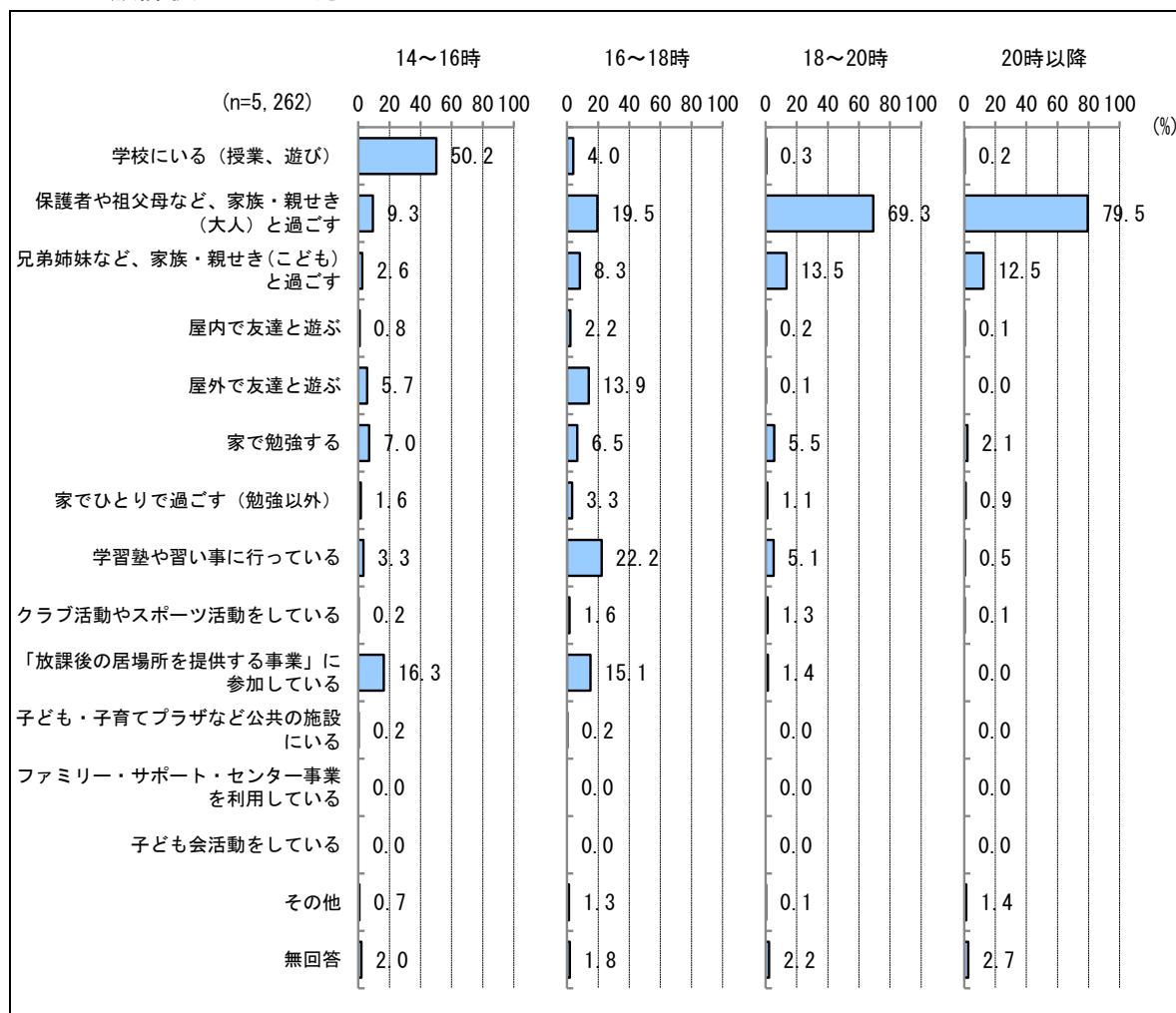
問18 平日の放課後および休日の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものをお答えください。

選択肢1～14から、平日は時間帯ごとにあてはまる番号をそれぞれ1つずつ、休日は3つ選んで、次の表にご記入ください。

(1) 平日の放課後の過ごし方

■平日の放課後のこどもの過ごし方について、「14～16時」は「学校にいる（授業、遊び）」が50.2%で最も多く、「16～18時」は「学習塾や習い事に行っている」が22.2%で最も多くなっている。「18～20時」と「20時以降」は「保護者や祖父母など、家族・親せき（大人）と過ごす」が過半数を占めている。

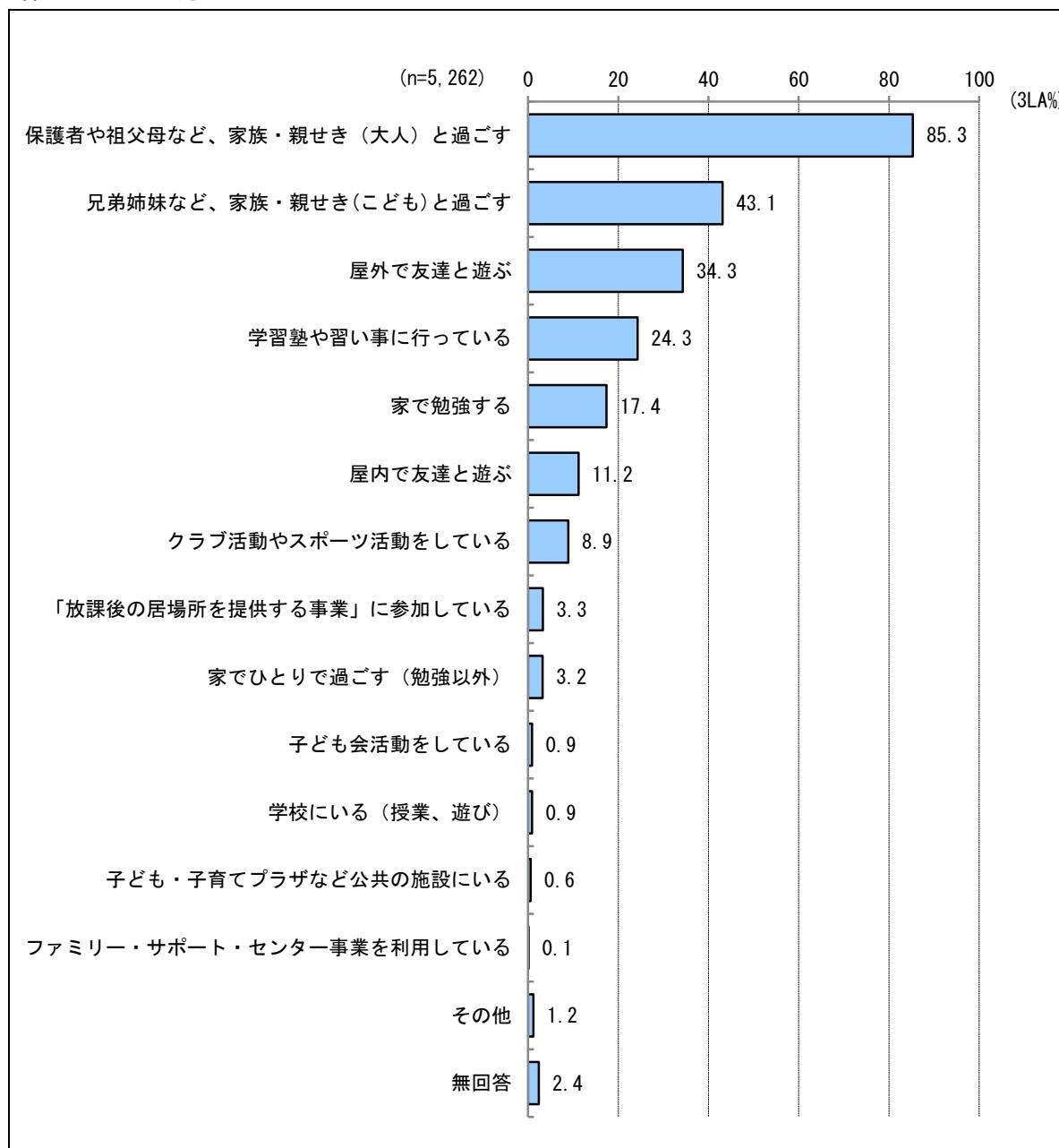
・ 平日の放課後の過ごし方



(2) 休日の過ごし方

■休日の子どもの過ごし方については、「保護者や祖父母など、家族・親せき（大人）と過ごす」が85.3%で最も多く、次いで「兄弟姉妹など、家族・親せき（子ども）と過ごす」が43.1%、「屋外で友達と遊ぶ」が34.3%となっている。

・休日の過ごし方



2 地域のグループ活動やイベントの参加状況

問19 あて名のお子さんは地域のグループ活動やイベントなどに参加されたことがありますか。

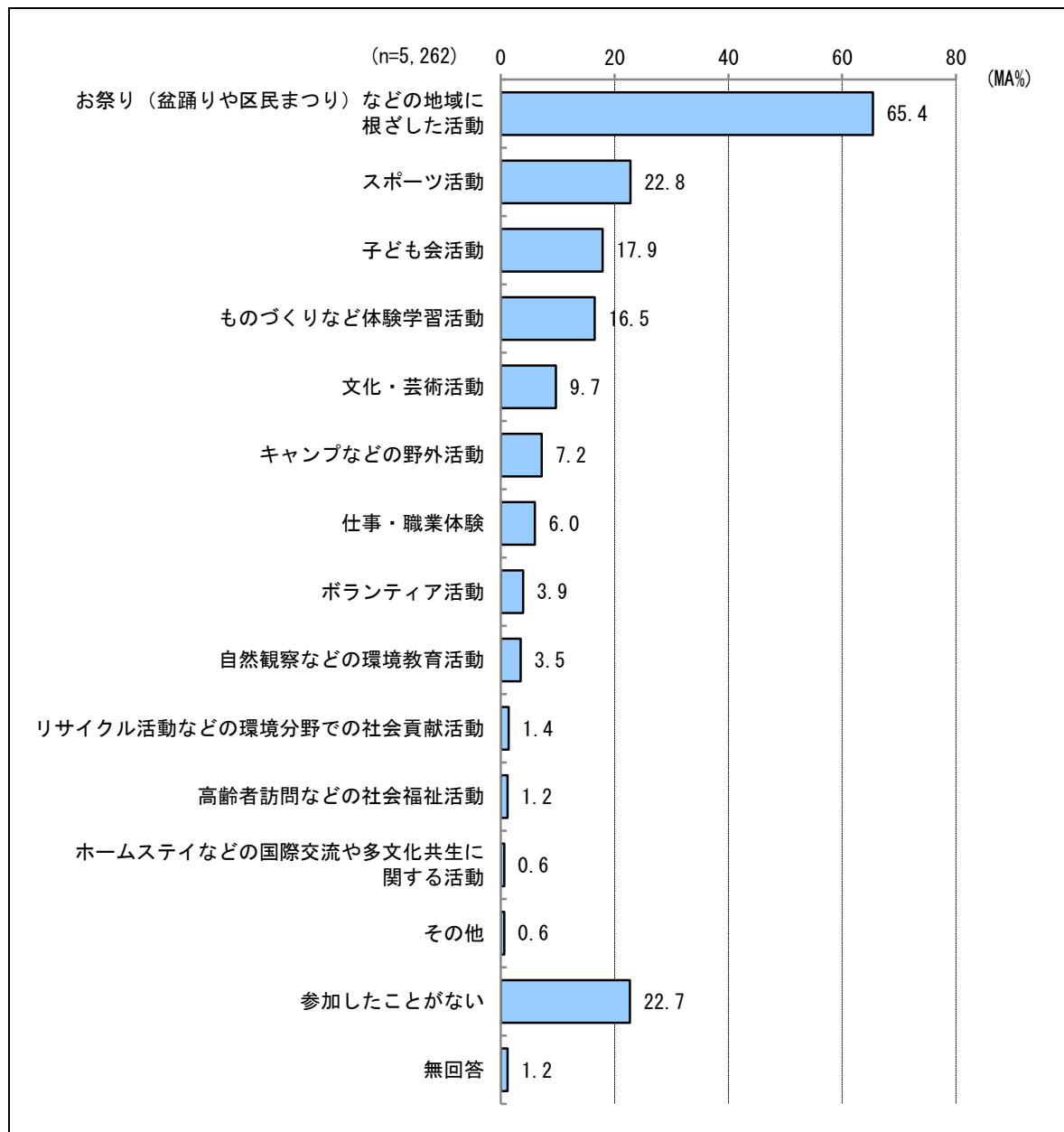
また、今後参加させたいと思っている地域のグループ活動やイベントの種類は何ですか。

(それぞれの番号に○をしてください。○はいくつでも可)

(1) 参加したことがある活動

■参加したことがある活動については、「お祭り（盆踊りや区民まつり）などの地域に根ざした活動」が65.4%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が22.8%、「子ども会活動」が17.9%、「ものづくりなどの体験学習活動」が16.5%となっている。一方、「参加したことがない」は22.7%となっている。

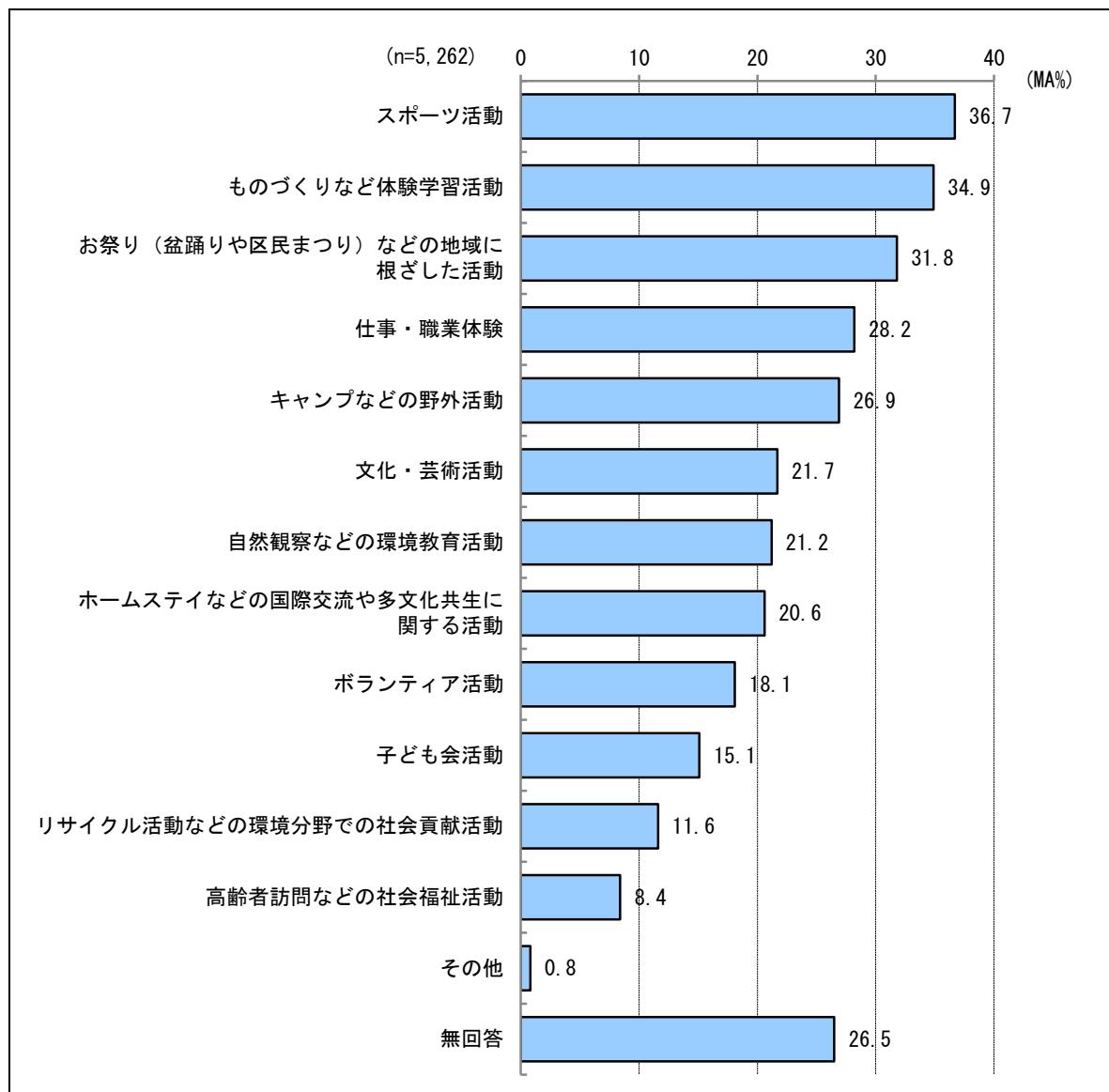
・ 参加したことがある活動



(2) 今後参加させたい活動

■今後参加させたい活動については、「スポーツ活動」が36.7%で最も多く、次いで「ものづくりなど体験学習活動」が34.9%、「お祭り（盆踊りや区民まつり）などの地域に根ざした活動」が31.8%、「仕事・職業体験」が28.2%、「キャンプなどの野外活動」が26.9%となっている。

・今後参加させたい活動



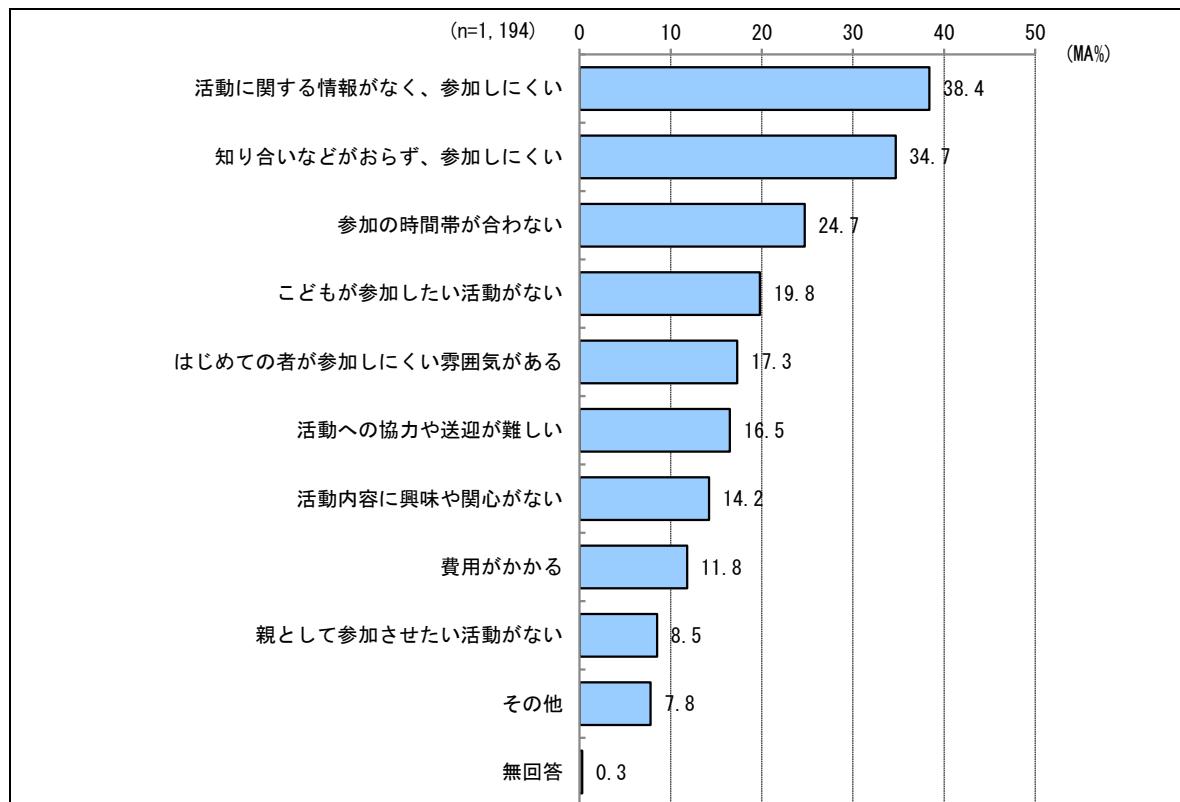
3 地域のグループ活動やイベントに参加していない理由

問19で「参加したことがない」を選んだ方におうかがいします。

問19-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。 (○はいくつでも)

■「地域のグループ活動やイベントに参加したことがない」と回答した人に、その理由をたずねると、「活動に関する情報がなく、参加しにくい」が38.4%で最も多く、次いで「知り合いなどがおらず、参加しにくい」が34.7%、「参加の時間帯が合わない」が24.7%となっている。

・地域のグループ活動やイベントに参加していない理由

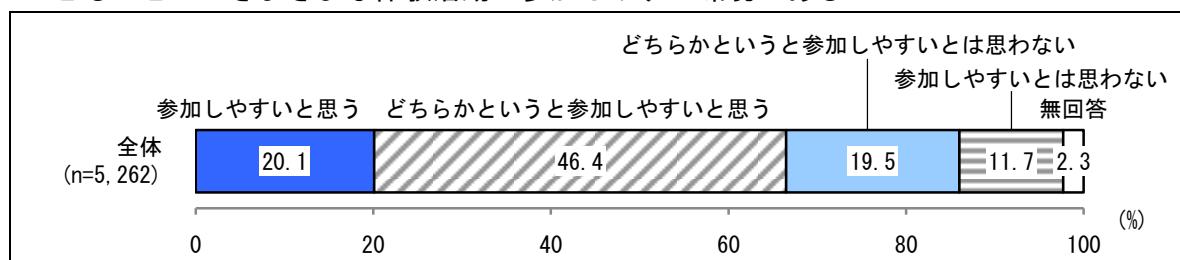


4 こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境であるか

問20 お住まいの地域は、こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境であると思いますか。 (○は1つ)

■こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境であるかについては、「どちらか」というと参加しやすいと思う」が46.4%で最も多く、次いで「参加しやすいと思う」が20.1%となっており、両者をあわせた『参加しやすい』は66.5%となっている。

・こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境であるか



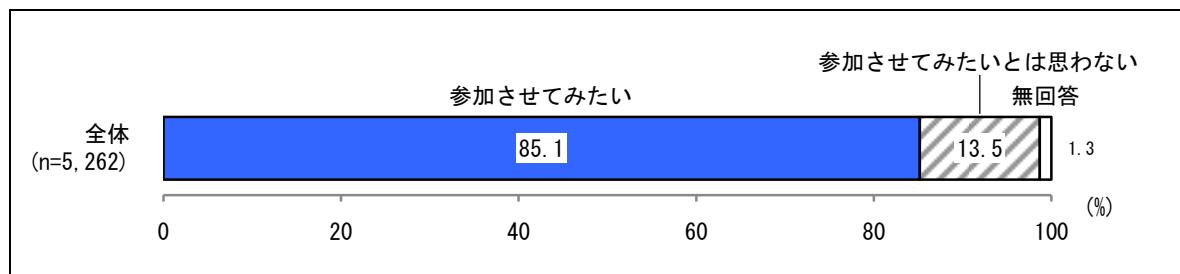
5 「こども 夢・創造プロジェクト」について

(1) 「こども 夢・創造プロジェクト」の参加意向

問21 大阪市では、こどもたちのあこがれの人物や、作品などに接する機会、興味や関心のあることに触れる機会などを通じて、さまざまな分野で、こどもたちの個性や創造性をはぐくむ体験機会を提供する事業（こども 夢・創造プロジェクト）を実施しています。このような事業に、お子さんを参加させてみたいと思いますか。（○は1つ）

- 「こども 夢・創造プロジェクト」の参加意向については、「参加させてみたい」が85.1%、「参加させてみたいとは思わない」が13.5%となっている。

・「こども 夢・創造プロジェクト」の参加意向



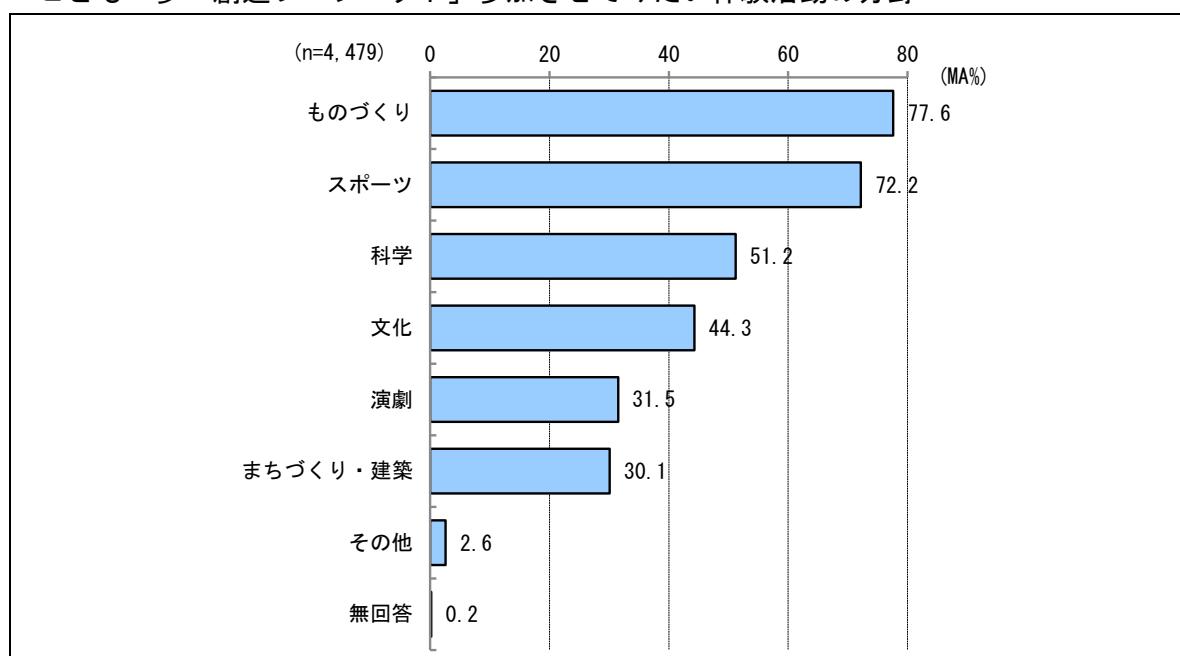
(2) 「こども 夢・創造プロジェクト」に参加させてみたい体験活動の分野

問21で「参加させてみたい」を選んだ方におうかがいします。

問21-1 どのような分野の体験活動に参加させてみたいと思いますか。（○はいくつでも）

- 「こども 夢・創造プロジェクト」に参加させてみたいと回答した人に、参加させてみたい体験活動の分野をたずねると、「ものづくり」が77.6%で最も多く、次いで「スポーツ」が72.2%、「科学」が51.2%となっている。

・「こども 夢・創造プロジェクト」参加させてみたい体験活動の分野



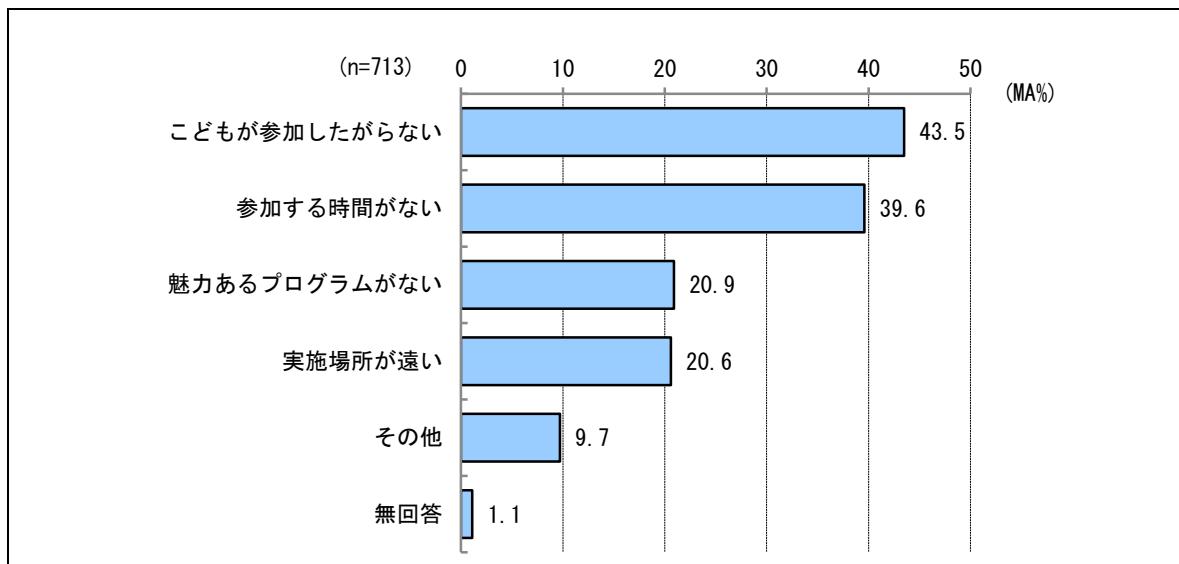
(3) 「こども 夢・創造プロジェクト」体験活動に参加させたいと思わない理由

問21で「参加させてみたいとは思わない」を選んだ方におうかがいします。

問21-2 その理由は何ですか。 (○はいくつでも)

■ 「こども 夢・創造プロジェクトに参加させてみたいと思わない」と回答した人に、その理由をたずねると、「こどもが参加したがらない」が43.5%で最も多く、次いで「参加する時間がない」が39.6%、「魅力あるプログラムがない」が20.9%、「実施場所が遠い」が20.6%となっている。

・「こども 夢・創造プロジェクト」体験活動に参加させたくない理由



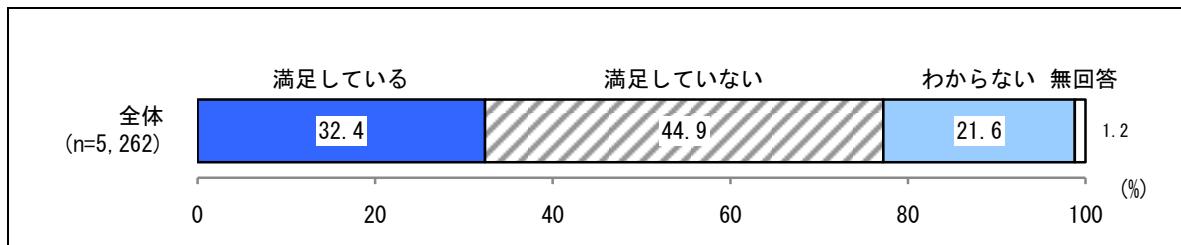
6 子どもの遊び場に関する満足度

問22 お住まいの地域における子どもの遊び場に関する満足度について満足していますか。（○は1つ）

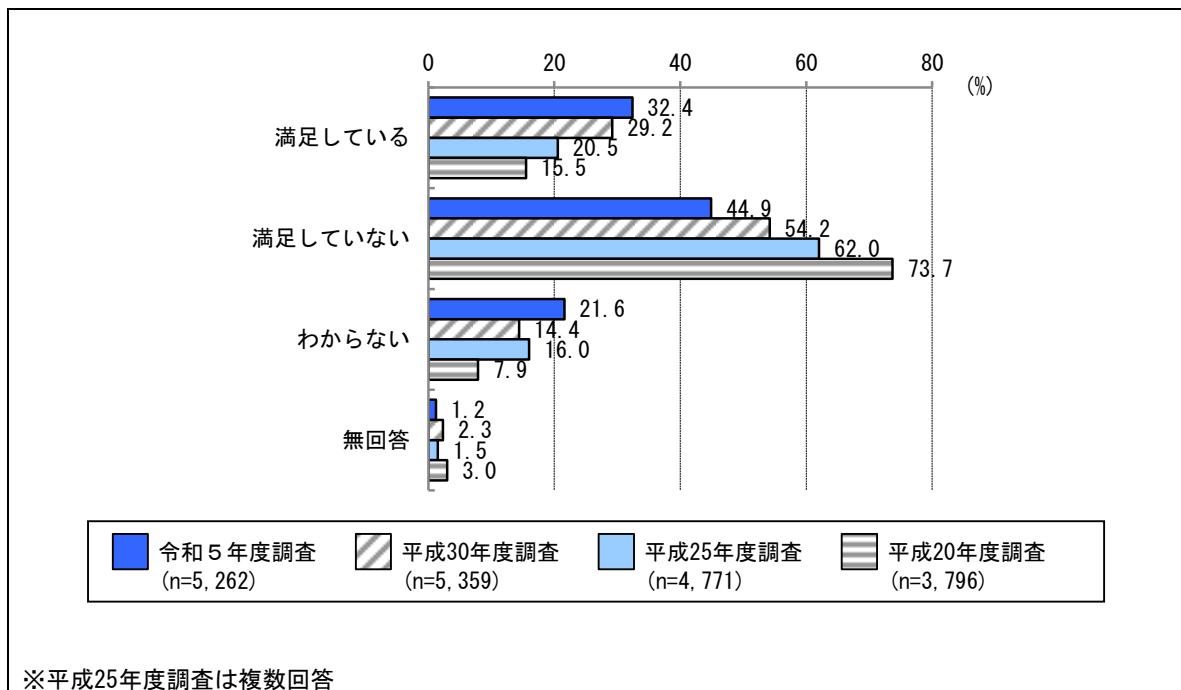
■子どもの遊び場に関する満足度については、「満足していない」が44.9%で最も多く、「満足している」は32.4%となっている。

■平成30年度・25年度・20年度調査と比較すると、「満足している」は調査を重ねるごとに割合が高くなっている。

・子どもの遊び場に関する満足度



・子どもの遊び場に関する満足度【平成30年度・25年度・20年度調査との比較】



※平成25年度調査は複数回答

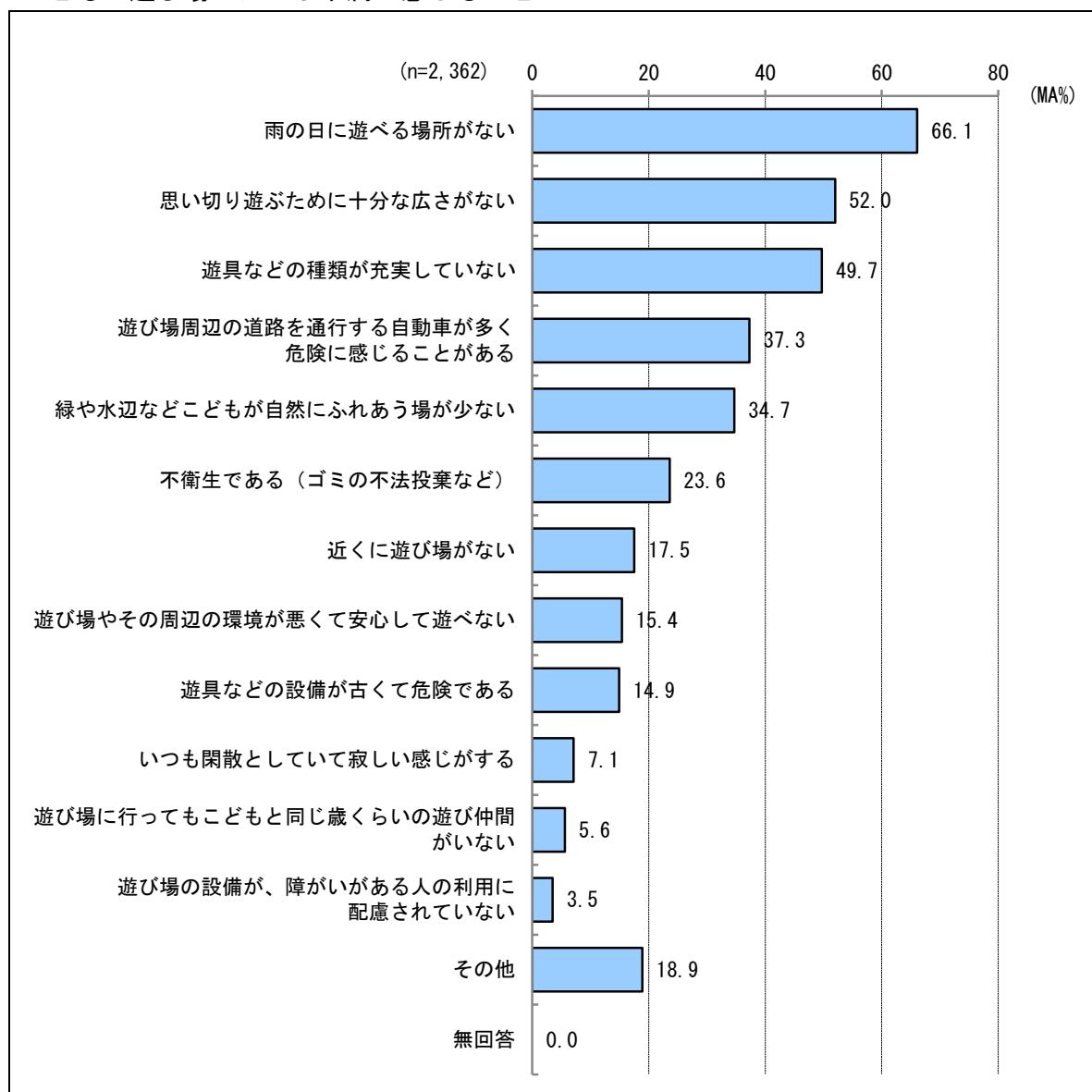
7 こどもの遊び場に日ごろ不満に感じること

問22で「満足していない」を選んだ方におうかがいします。

問22-1 お住まいの地域のこどもの遊び場について日ごろ不満に感じることは何ですか。
(○はいくつでも)

■ 「こどもの遊び場に満足していない」と回答した人に、こどもの遊び場について日ごろ不満に感じることをたずねると、「雨の日に遊べる場所がない」が66.1%で最も多く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が52.0%、「遊具などの種類が充実していない」が49.7%となっている。

・ こどもの遊び場に日ごろ不満に感じること



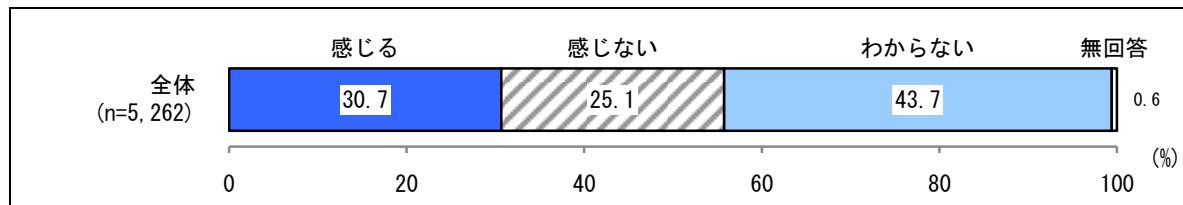
VIII. 子育て全般について

1 こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか

問23 お住まいの地域で、こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。 (○は1つ)

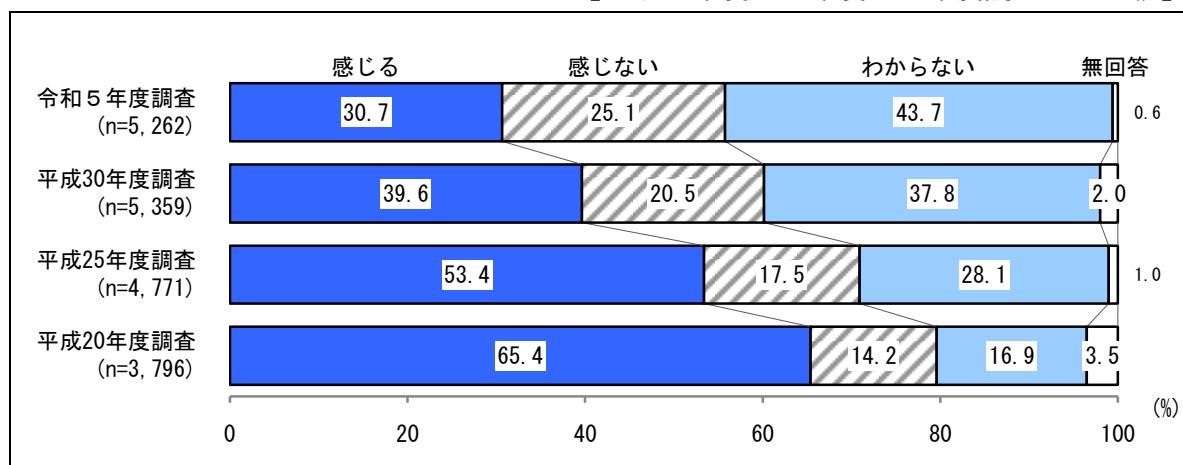
- こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるかについては、「感じる」が30.7%、「感じない」が25.1%となっている。
- 平成30年度・25年度・20年度調査と比較すると、「感じる」は調査を重ねるごとに割合が低くなっている。

・ こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか



・ こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか

【平成30年度・25年度・20年度調査との比較】



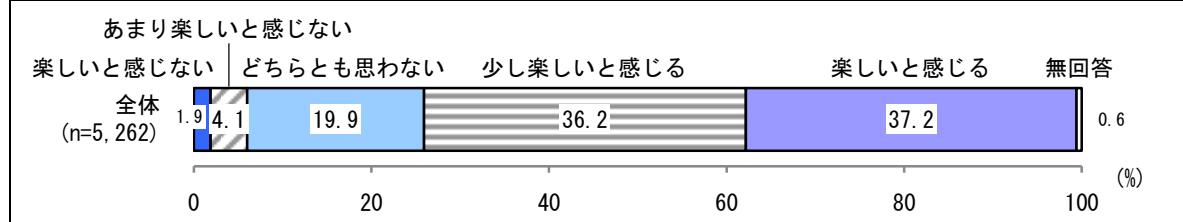
2 子育ての楽しさや負担感の程度

問24 子育てについてどのように感じていますか。それぞれあてはまる数字に1つだけ○をつけてください。

(1) 子育てを楽しいと感じるか

- 子育てを楽しいと感じるかについては、「楽しいと感じる」が37.2%で最も多く、次いで「少し楽しいと感じる」が36.2%となっており、両者をあわせた『楽しいと感じる』は73.4%となっている。
- 子育てをつらいと感じるか別でみると、『楽しいと感じる』は、つらいと感じる人ほど割合が低くなっている。

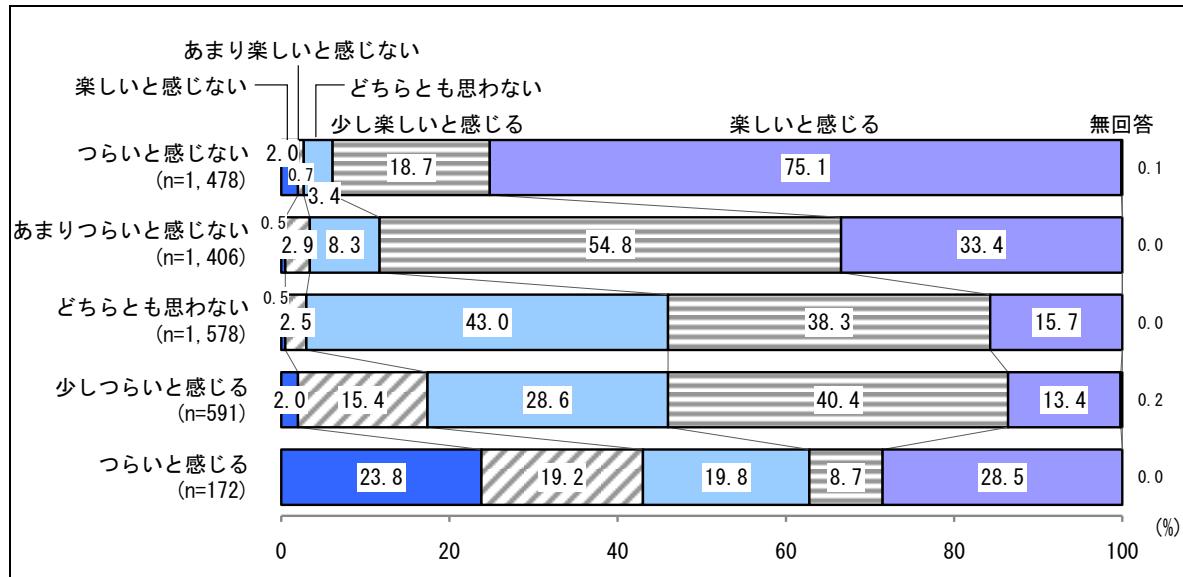
・子育てを楽しいと感じるか



※元の調査項目では「楽しいと感じない」から「楽しいと感じる」までの1～5段階に示した調査だが、グラフ化のため以下の区分で集計を行っている。

- 1 = 楽しいと感じない
- 2 = あまり楽しいと感じない
- 3 = どちらとも思わない
- 4 = 少し楽しいと感じる
- 5 = 楽しいと感じる

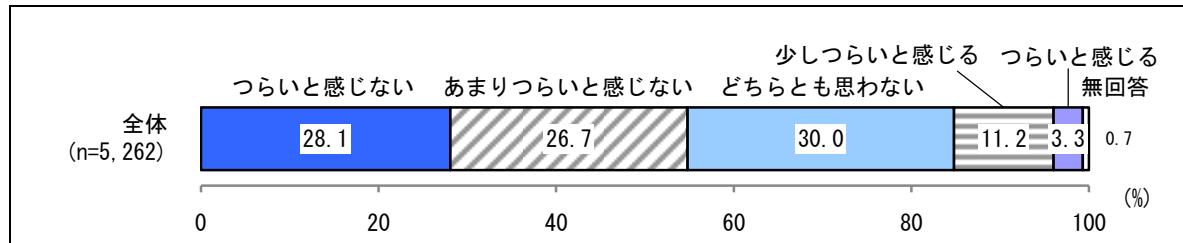
・子育てをつらいと感じるか別 子育てを楽しいと感じるか



(2) 子育てをつらいと感じるか

■子育てをつらいと感じるかについては、「どちらとも思わない」が30.0%で最も多くなっている。これに次いで、「つらいと感じない」が28.1%、「あまりつらいと感じない」が26.7%となっており、両者をあわせた『つらいと感じない』は54.8%となっている。

・子育てをつらいと感じるか



※元の調査項目では「つらいと感じない」から「つらいと感じる」までを1～5段階に示した調査だが、グラフ化のため以下の区分で集計を行っている。

- 1 = つらいと感じない
- 2 = あまりつらいと感じない
- 3 = どちらとも思わない
- 4 = 少しつらいと感じる
- 5 = つらいと感じる

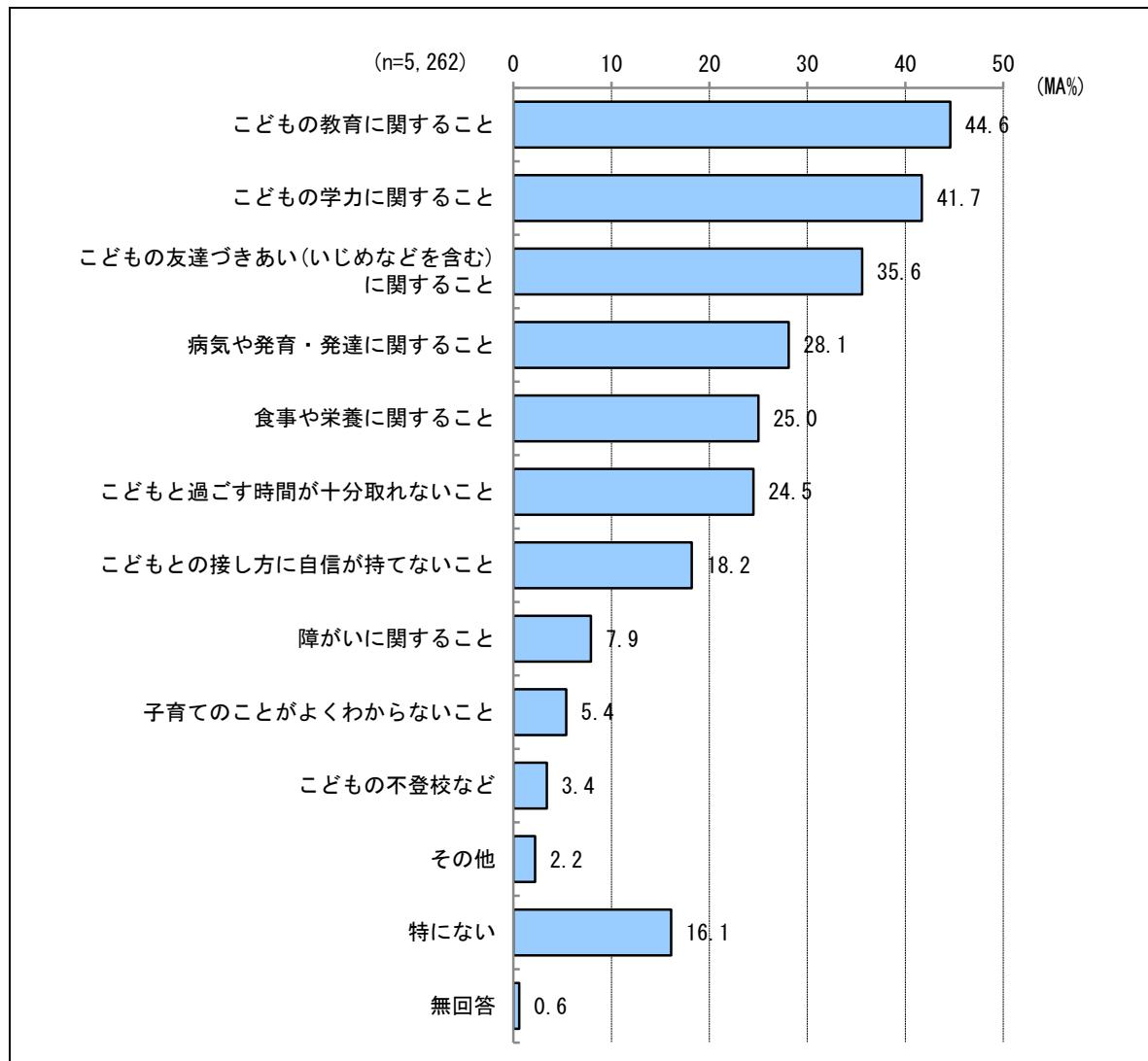
3 子育てに関する悩みや気になること

問25 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
(○はいくつでも)

(1) こどもに関する悩み

■こどもに関する悩みについては、「子どもの教育に関するこども」が44.6%で最も多く、次いで「子どもの学力に関するこども」が41.7%、「子どもの友達づきあい（いじめなどを含む）に関するこども」が35.6%となっている。

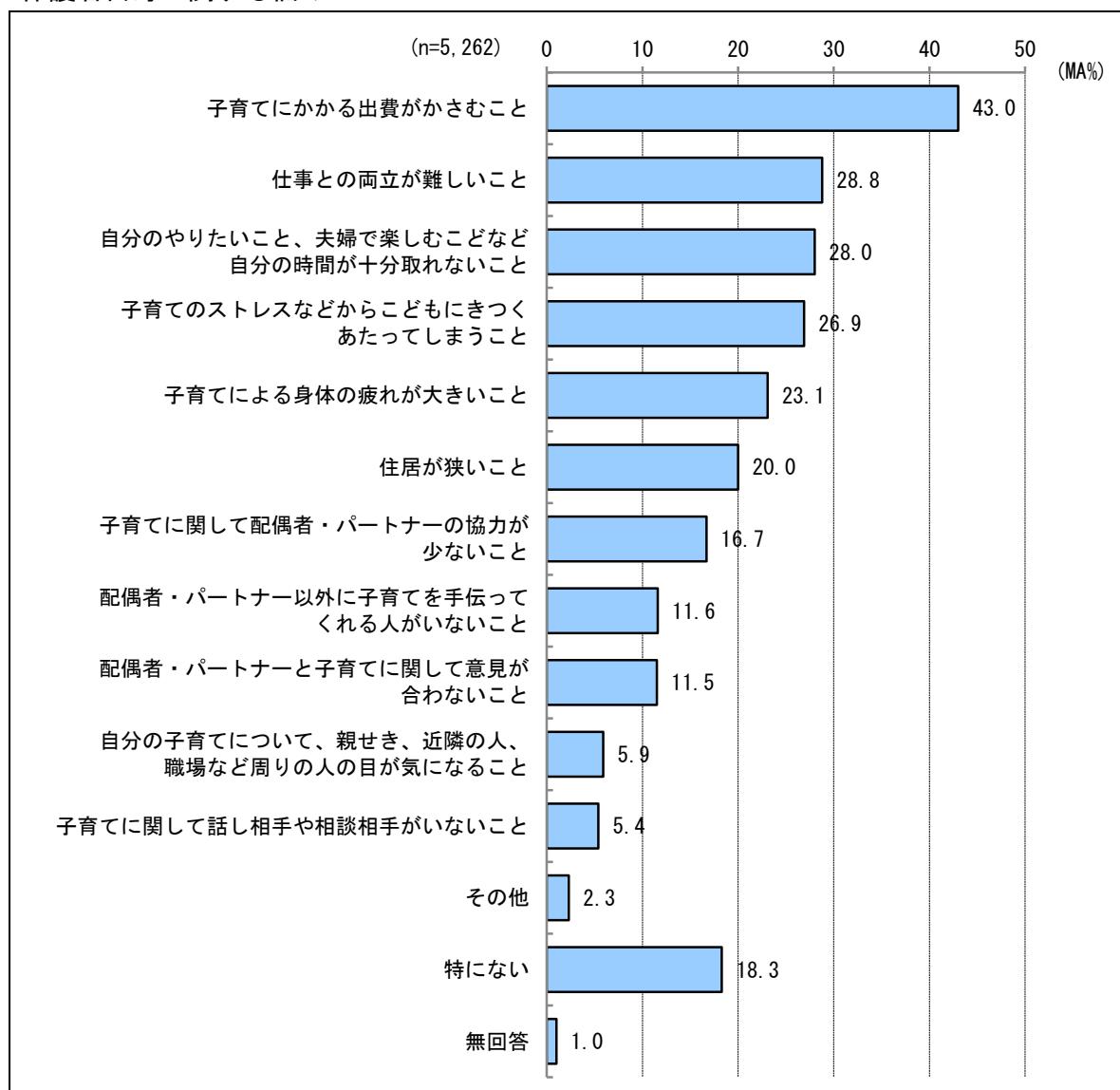
・ こどもに関する悩み



(2) 保護者自身に関する悩み

■保護者自身に関する悩みについては、「子育てにかかる出費がかさむこと」が43.0%で最も多く、次いで「仕事との両立が難しいこと」が28.8%、「自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分取れないこと」が28.0%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が26.9%となっている。

・保護者自身に関する悩み



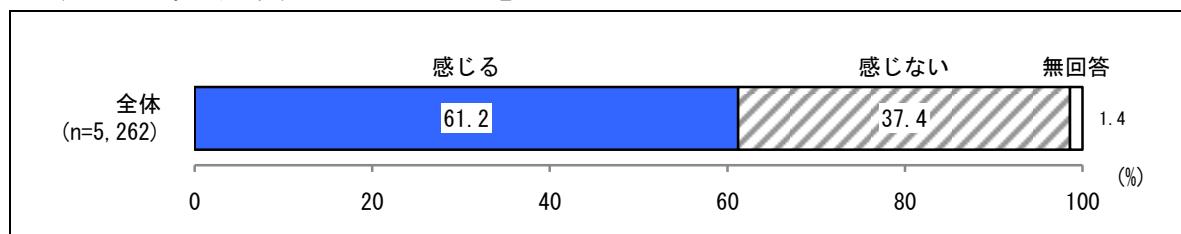
4 子育てに対する地域の人や社会からの支えへの評価

問26 ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。 (○は1つ)
「感じる」を選ばれた方は、誰に支えられていると感じますか。
「感じない」を選ばれた方は、誰に支えられたいと感じますか。
枠内の選択肢の中から選び番号を記入してください。 (複数回答可)

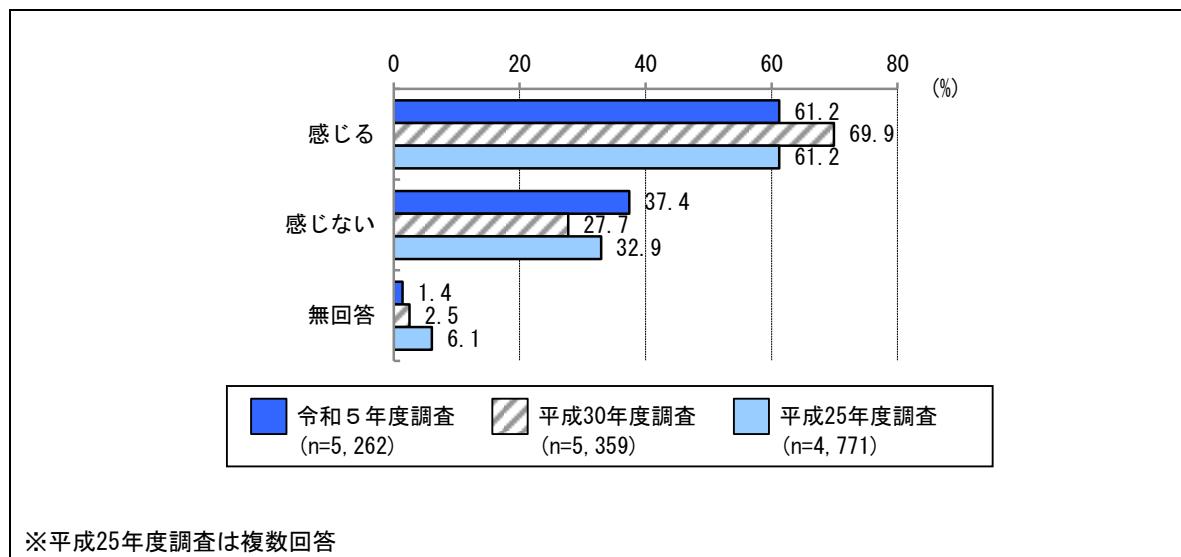
(1) 支えられていると感じるか

- 子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかについては、「感じる」が61.2%、「感じない」が37.4%となっている。
- 平成30年度・25年度調査と比較すると、「感じる」は平成30年度調査(27.7%)より8.7ポイント低くなり、平成25年度調査(61.2%)と同率になっている。

・地域の人や社会に支えられていると感じるか



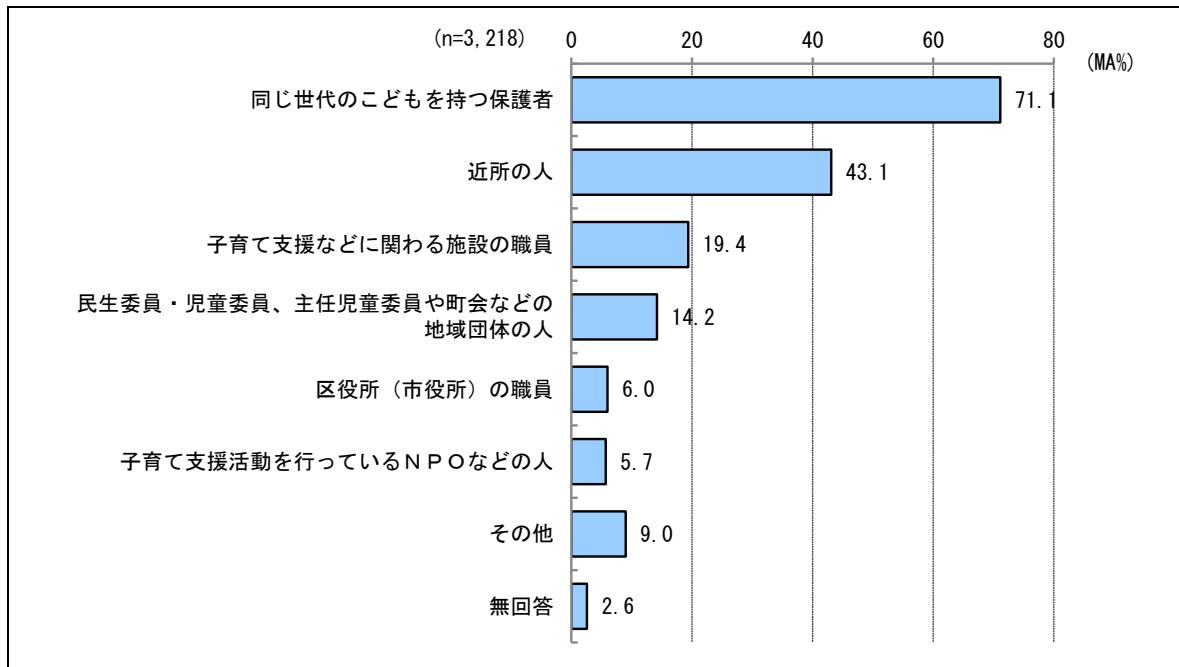
・地域の人や社会に支えられていると感じるか【平成30年度・25年度調査との比較】



(2) 誰に支えられていると感じるか

■地域の人や社会に支えられていると感じる人に、誰に支えられていると感じるかをたずねると、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が71.1%で最も多く、次いで「近所の人」が43.1%、「子育て支援などに関わる施設の職員」が19.4%となっている。

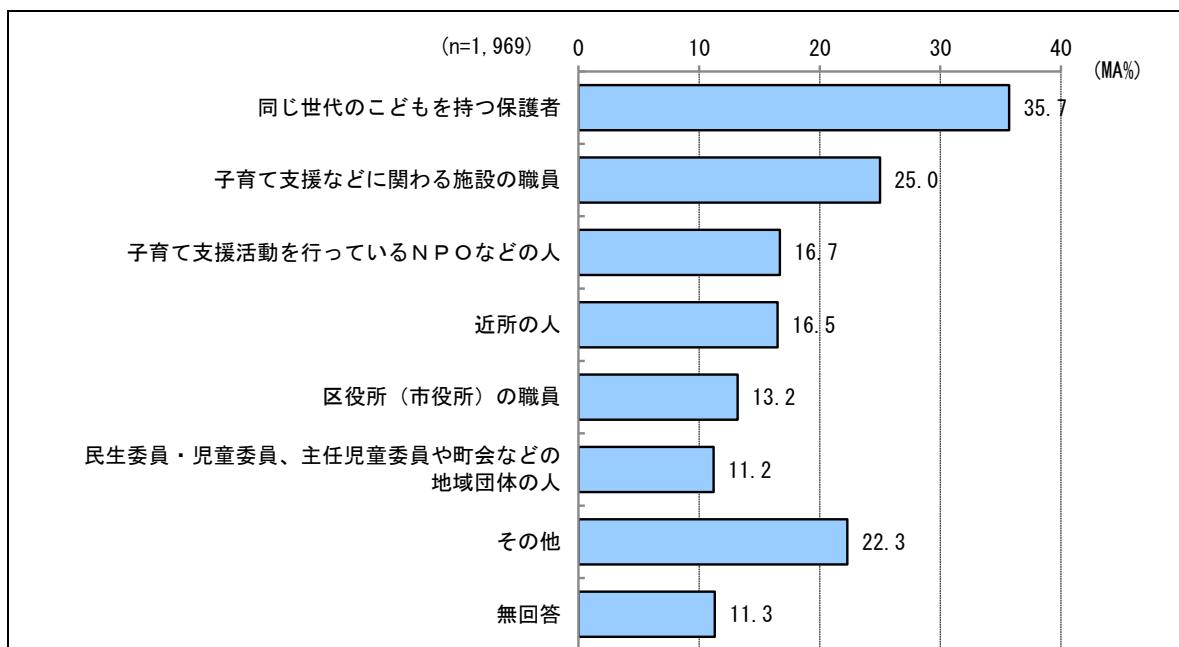
・誰に支えられていると感じるか



(3) 誰に支えられたいと感じるか

■地域の人や社会に支えられていると感じない人に、誰に支えられたいと感じるかをたずねると、「同じ世代のこどもを持つ保護者」が35.7%で最も多く、次いで「子育て支援などに関わる施設の職員」が25.0%、「子育て支援活動を行っているNPOなどの人」が16.7%、「近所の人」が16.5%となっている。

・誰に支えられたいと感じるか



IX. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

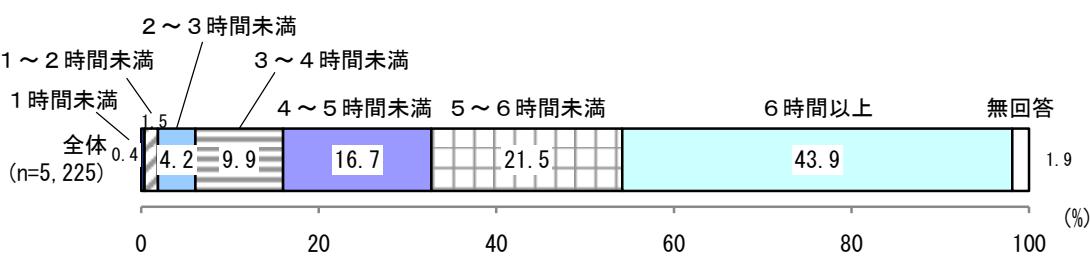
1 こどもと一緒に過ごす時間

問27 平日、こどもが起きている間にこどもと一緒に過ごす時間は、1日当たりどれくらいですか。

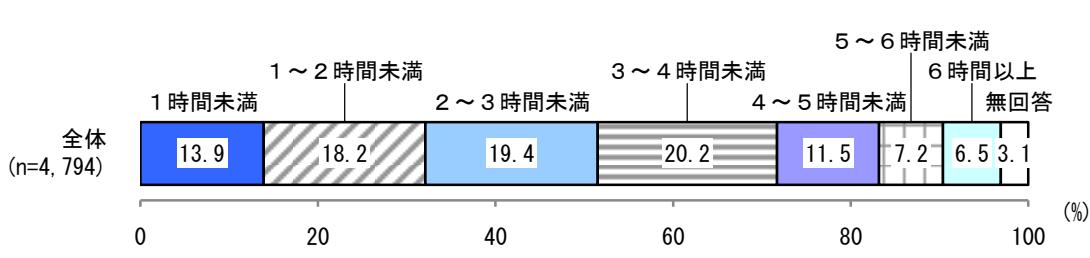
■母親がこどもと一緒に過ごす時間は、「6時間以上」が43.9%で最も多く、次いで「5～6時間未満」が21.5%、「4～5時間未満」が16.7%となっている。

■父親がこどもと一緒に過ごす時間は、「3～4時間未満」が20.2%で最も多く、次いで「2～3時間未満」が19.4%、「1～2時間未満」が18.2%となっている。

・母親がこどもと一緒に過ごす時間



・父親がこどもと一緒に過ごす時間



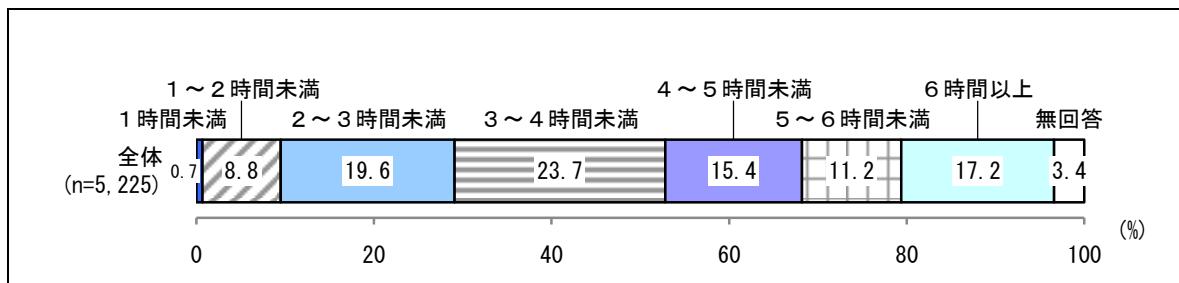
2 1日当たりの家事時間

問28 1日当たり、家事をどれくらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

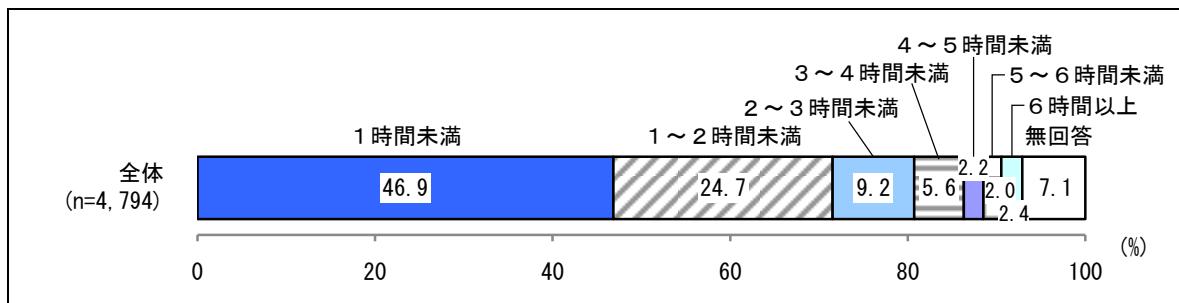
■母親の1日当たりの家事時間は、「3～4時間未満」が23.7%で最も多く、次いで「2～3時間未満」が19.6%、「6時間以上」が17.2%となっている。

■父親の1日当たりの家事時間は、「1時間未満」が46.9%で最も多く、次いで「1～2時間未満」が24.7%、「2～3時間未満」が9.2%となっている。

・母親の1日当たりの家事時間



・父親の1日当たりの家事時間

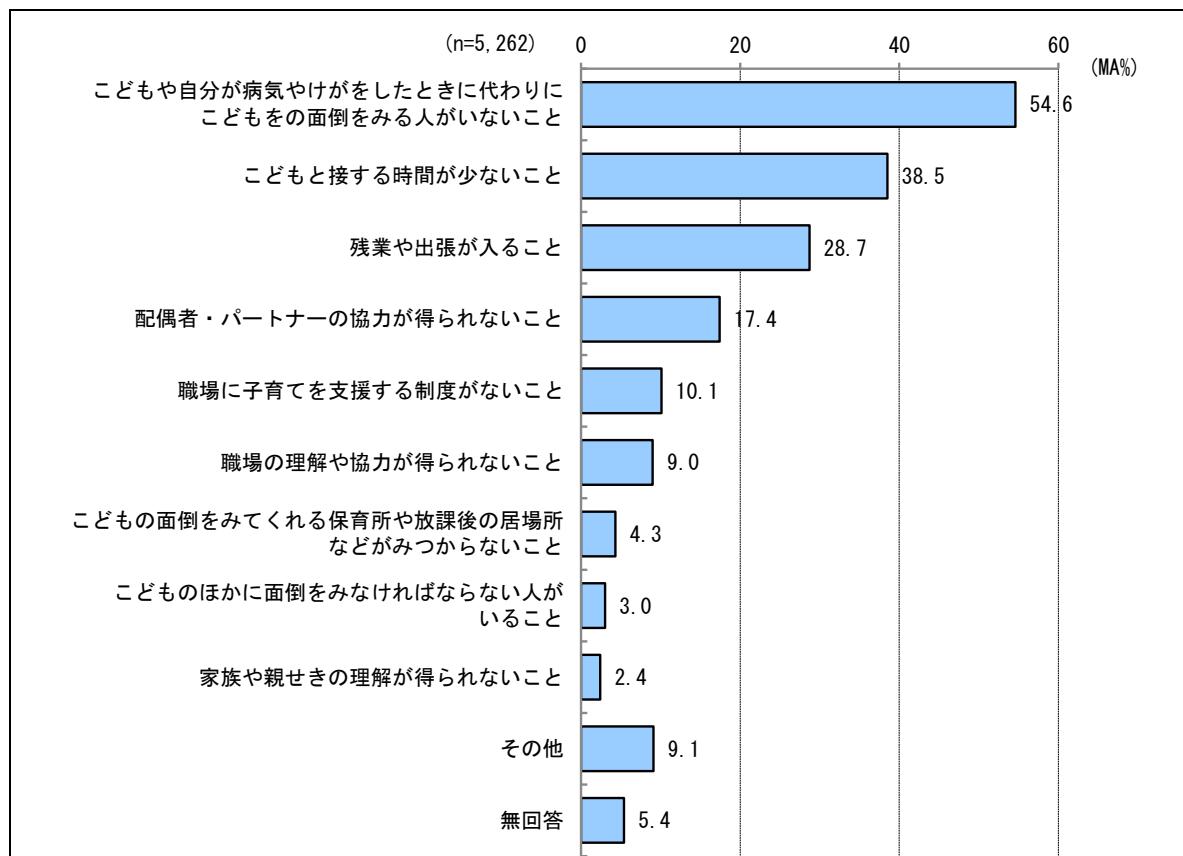


3 仕事と子育てを両立させるうえで大変なこと

問29 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは何ですか。
(○はいくつでも)

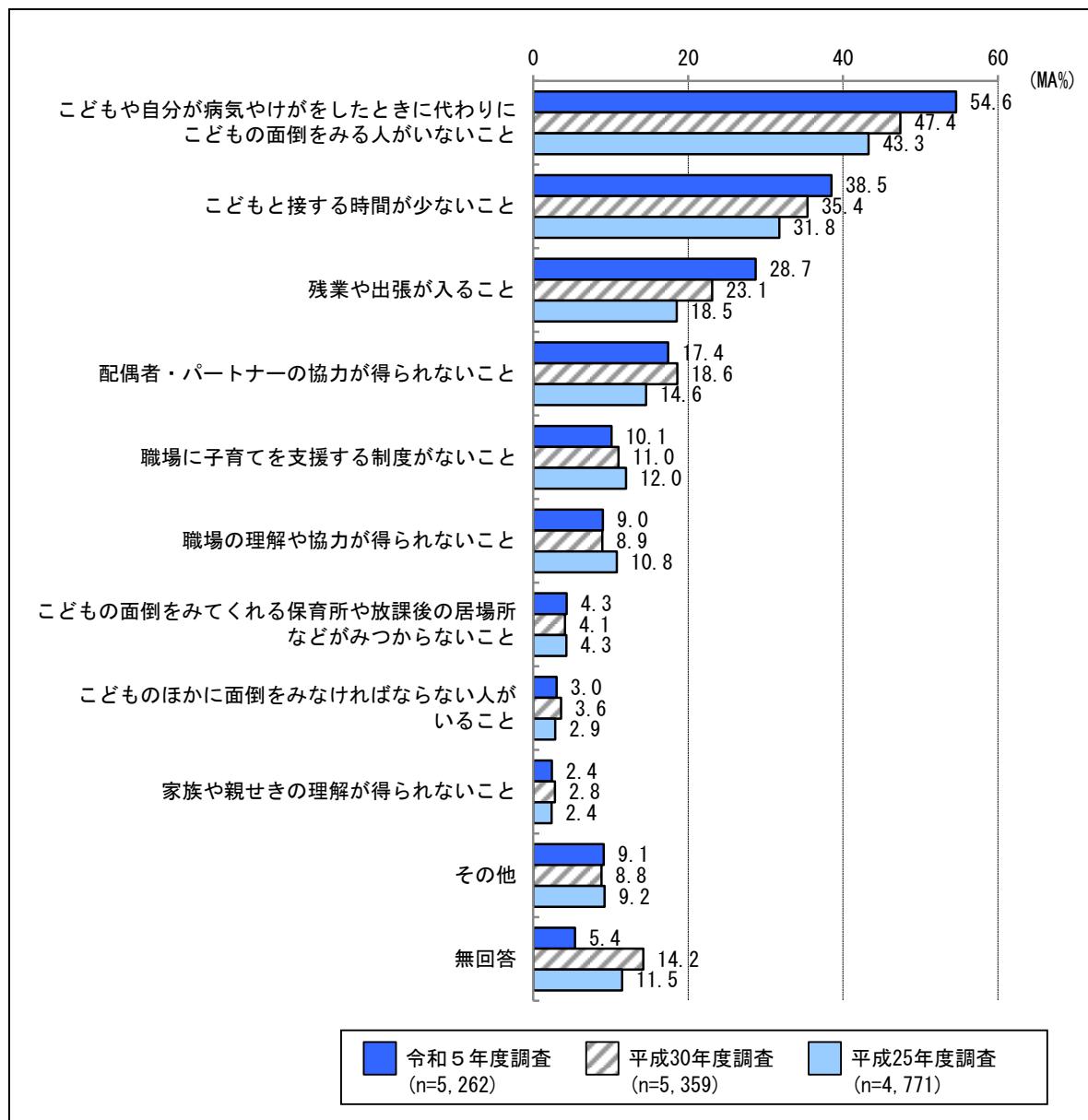
■仕事と子育てを両立させるうえで大変なことは、「こどもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」が54.6%で最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ないこと」が38.5%、「残業や出張が入ること」が28.7%となっている。

・仕事と子育てを両立させるうえで大変なこと



■平成30年度・25年度調査と比較すると、「こどもや自分が病気やけがをしたときに代わりにこどもの面倒をみる人がいないこと」や「こどもと接する時間が少ないとこと」、「残業や出張が入ること」は、調査を重ねるごとに割合が高くなっている。一方、「職場に子育てを支援する制度がないこと」は調査を重ねるごとに割合が低くなっている。

・仕事と子育てを両立させるうえで大変なこと【平成30年度・25年度調査との比較】

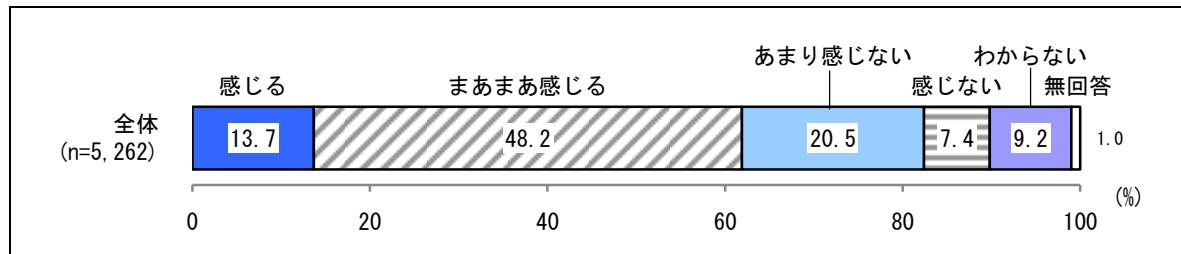


4 仕事と生活の調和が図られていると感じるか

問30 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。 (○は1つ)

■仕事と生活の調和が図られていると感じるかについて、「まあまあ感じる」が48.2%で最も多く、次いで「あまり感じない」が20.5%となっている。「感じる」(13.7%)と「まあまあ感じる」(48.2%)をあわせた『感じる』は61.9%となっている。

・仕事と生活の調和が図られていると感じるか

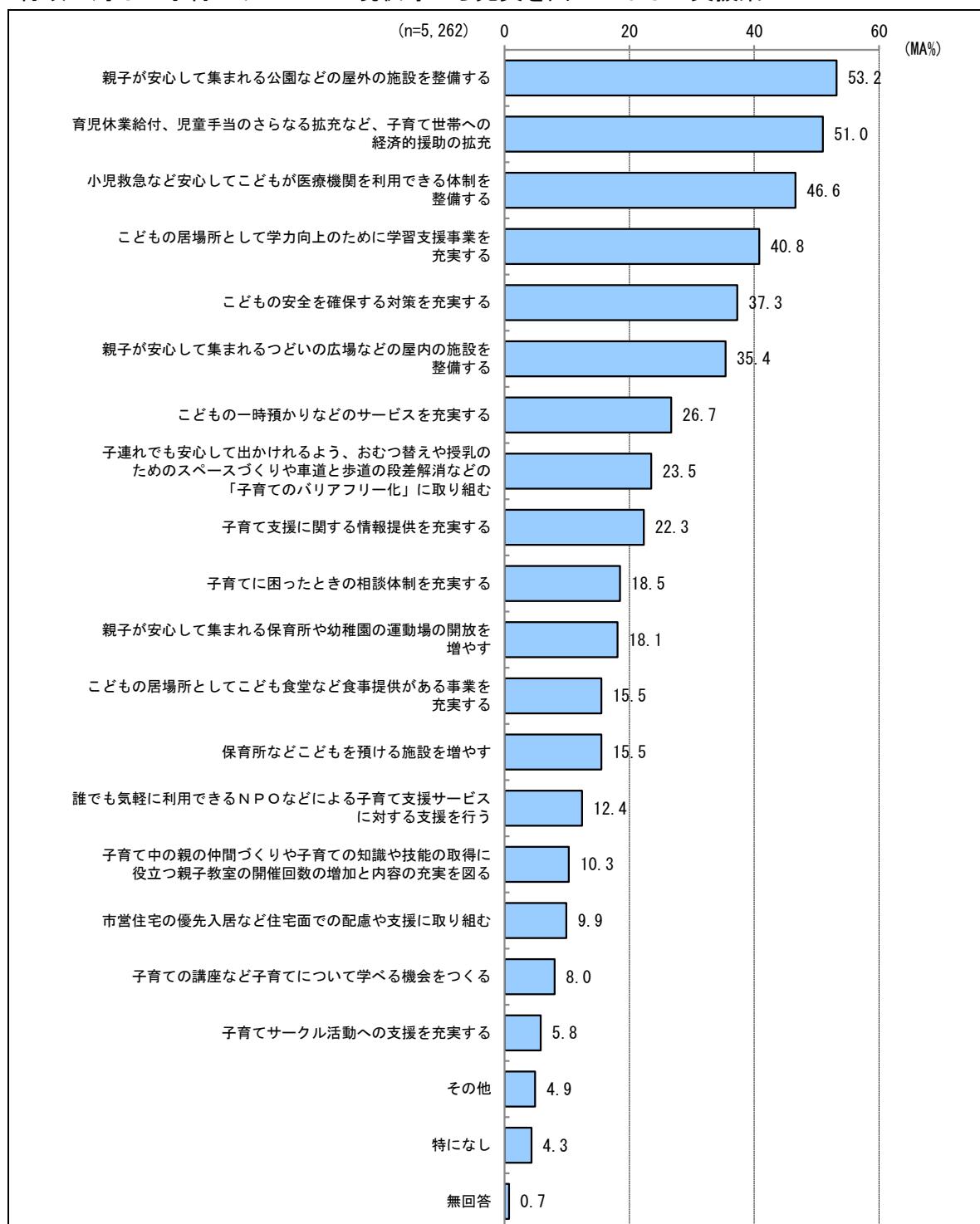


IX. 行政サービスへの要望について

問31 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（○はいくつでも）

■行政に対して子育てサービスの現状等から充実を図ってほしい支援策については、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が53.2%で最も多く、次いで「育児休業給付、児童手当のさらなる拡充など、子育て世帯への経済的援助の拡充」が51.0%、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が46.6%となっている。

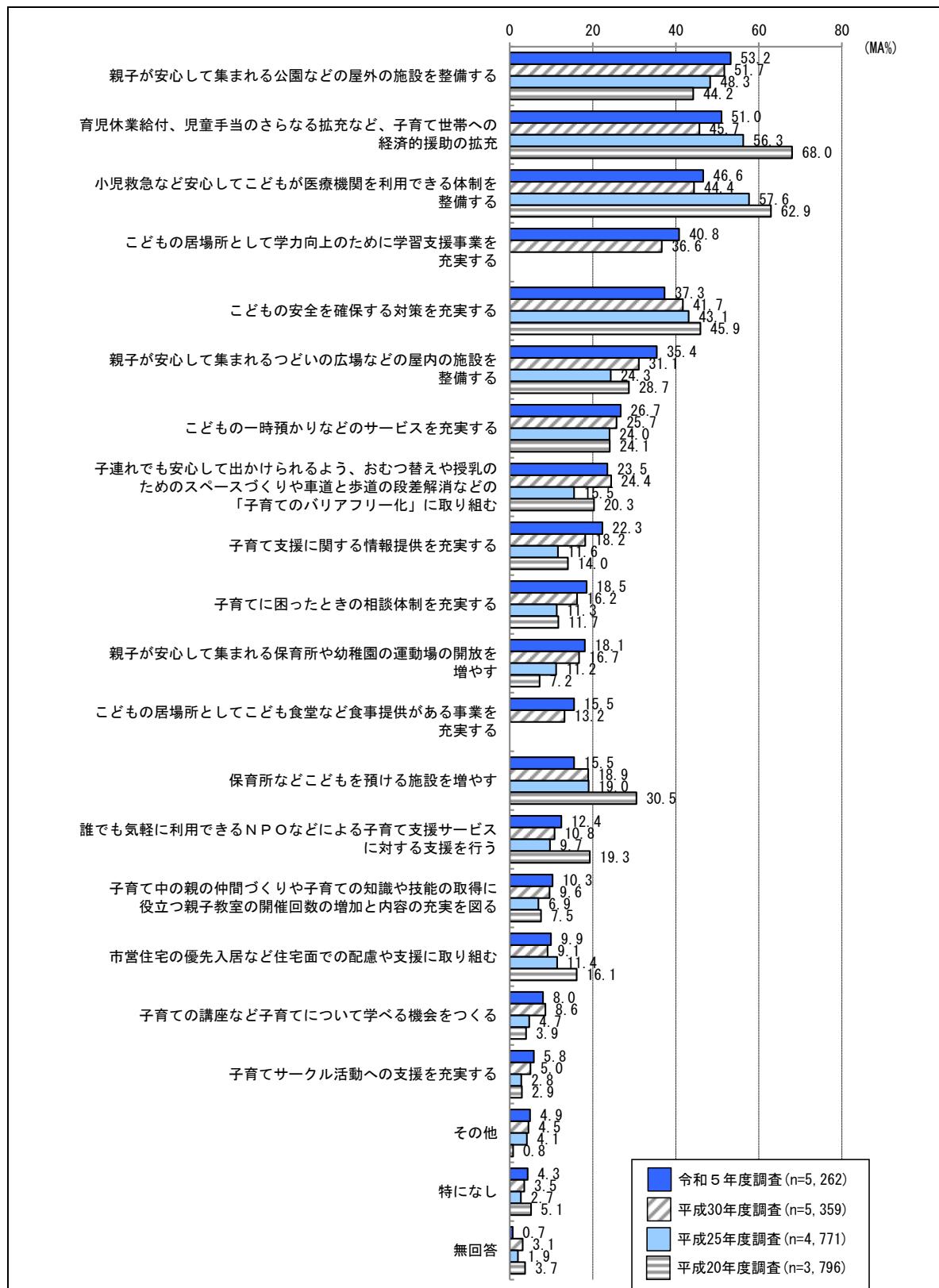
・行政に対して子育てサービスの現状等から充実を図ってほしい支援策



■平成30年度・25年度・20年度と比較すると、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」と「親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす」は、調査を重ねるごとに割合が高くなっている。

・行政に対して子育てサービスの現状等から充実を図ってほしい支援策

【平成30年度・25年度・20年度調査との比較】



※「子どもの居場所として学力向上のために学習支援事業を充実する」と「子どもの居場所としてこども食堂など食事提供がある事業を充実する」は、平成30年度調査からの新規項目